

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可
昭和十七年十月十日發行

同盟旬報

第九卷 第一號 第九月 第十年 第七十二號 第六卷 第七號

昭和十七年十月十日發行

昭和十七年九月下旬重要事項

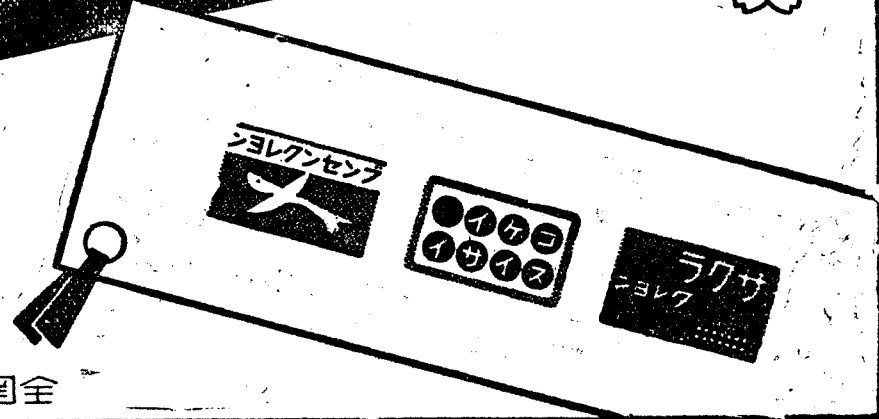
- 經濟部土木部廢止縣決定(二二日)……………六
- ウイルキー、スターリンと會談(二二日)……………七
- 帝國政府對英抗議(二二日)……………六
- 軍神加藤少將の陸軍葬(二二日)……………四
- 轉廢小賣業評價新基準決定(二二日)……………四
- 米甲巡一大破、潛艦二擊沈(二三日)……………五
- 三特派大使國書捧呈(二三日)……………五
- 汪主席三特使と公式懇談(二五日)……………五
- 帝國海軍大西洋に進出(二五日)……………五
- 陸軍防衛召集規則公布(二六日)……………七
- 華北中央物價協力會議創立(二六日)……………五
- 第三回中央協力會議(二六日)……………七
- 支那事變記念章令公布(二六日)……………六
- 金鷄勳章敘賜條例中改正公布(二六日)……………六
- 日獨伊三國條約締結二周年(二七日)……………六
- 酒井中將戰死發表(二七日)……………七
- 交換船龍田丸橫濱着(二七日)……………四
- 滿洲國政府首腦大異動(二八日)……………五
- 第二回日華蒙經濟懇談會(二八日)……………五
- 駐日大使王允卿氏發令(二九日)……………六
- 國府青年組織訓練計畫大綱成る(二九日)……………五
- ウイルキー重慶着(二九日)……………七
- 翼贊會全國局部長會議(三〇日)……………七
- 首相、貯蓄五百億突破記念放送(三〇日)……………五
- ヒ總統戰爭完遂の決意披瀝(三〇日)……………六
- 米インフレ抑制案可決(三〇日)……………五

☆☆☆ 三星のぐ

水彩製油圖
案圖彩



三星繪具製造所 合名社



全園文具店有

同盟旬報

第六卷・第二十七號
九月下旬號

主要目次

宮廷

秋季皇靈祭に御親拜(九・三四)……………四
 三笠宮學智院卒業式(台臨)(九・二八)……………四
 梨本總裁官訪日滿洲國空軍將士(有
 功章授與)(九・三五)……………四
 伏見宮海軍聯合卒業式(台臨)(九・三〇)……………四
 賀陽宮陸軍科學學校卒業式(台臨)(九・二八)……………四
 獨伊文武官に勳章御贈與(九・二六)……………四

世界戰況

大東亞戰爭

米甲巡一大破、潛艦二擊沈(九・三三)……………五
 擊沈破敵潜水艦百二隻……………五
 米驅逐艦及補助船擊沈さる……………五
 帝國海軍兵力大西洋に進出(九・二五)……………五
 ポート・ダーウイン連爆(九・二六・二七)……………六
 【感狀・行賞】
 陸鷲の武功上聞に達す(九・三二)……………七
 整備中隊高層氣象班に感狀(九・二九)……………七

支那方面

【綜合戰況】
 支那派遣軍週聞戰況……………七
 酒井中將戰死……………七
 【北支戰況】
 北支軍安達部隊長談……………八
 北支軍八月中綜合戰果……………八
 冀東に新剿共作戰(九・三二)……………八

歐米戰爭

魯西に剿共新作戰(九・三〇)……………八
 山西共匪討伐八月中綜合戰果……………九
 太行山脈に剿共新作戰開始(九・二七)……………九
 【中支戰況】
 浙江省方面作戰綜合戰果……………一〇
 金華前面の敵を擊滅……………一〇

綜合戰況

獨軍公表戰況(九・三三、三五、三六、三七、三九)……………一〇
 獨ソ戰況(九・三三、三四、三五、三六、三七、三九)……………一〇
 獨軍戰況發表(九・三三、三四、三五)……………一〇
 ソ聯機九百六十を擊墜破(九・二九)……………一〇
 獨ソ戰概觀(九・三三)……………一〇

中北部

獨軍ルゾフ地區で勇戰……………一〇
 伊機レ市戰線に初陣(九・二四)……………一〇
 【南部】
 テリヨク戰線二要衝占領……………一〇
 獨軍グロズヌイ油田に迫る……………一〇
 獨軍ツアプセ港外に達す……………一〇

ス市政略戰

獨側發表戰況(九・三三、三六、三八、三九)……………一〇
 ソ聯側發表戰況(九・三三、三六、三九)……………一〇
 ス市廢墟と化す……………一〇
 婦女子に最後の避難命令(九・三二)……………一〇
 ス市市街戰熾烈……………一〇
 二千門の砲火集中(九・三〇)……………一〇

海上戰況

加驅逐艦擊沈(九・三〇)……………一三
 敵艦船二十三隻激沈(九・二四)……………一四
 獨九月中の大戦果……………一四
 獨潜水艦の大戦果……………一四

マ島戰線

英軍マ島首都に迫る……………一五
 英軍タナナリヴォ占領(九・二四)……………一五
 英軍ツレア港占領(九・二九)……………一五

政治・外交

拜謁・奏上……………一五
 樞密院……………一五
 行政簡素化審査委員會(九・三三、三六、三九)……………一五
 大東亞省樞府審査委員決る(九・二八)……………一五

内閣

兵士、學生の農村援助……………一五
 西日本の風水害に贈金……………一五
 ▲放送
 首相五百億突破記念放送……………一五

各省

經濟部、土木廢止縣決定……………一六
 海軍教育視察に侍從御差遣……………一六
 商船學校長會議……………一六
 内外地鐵道行政一元化建議……………一六
 地方衛生課長會議……………一六

外地・地方

貴衆兩院……………一六
 衆議院災害地義捐金釀出……………一六
 多額議員同友クラブ結成……………一六
 ▲大政翼賛會
 協力會議々案總計百七十件……………一七

戰時貯蓄勸員本部強化

中央協力會議運營委員會……………一七
 全國局長會議(九・三〇)……………一七
 【第三回中央協力會議】
 ▲第一日
 國民總發言開かる(九・二六)……………一七
 ▲政府側發言要旨
 東條首相兼總裁挨拶……………一七
 ▲議事
 ▲第二日
 經濟戰突破の決意を強化(九・二七)……………一七
 協力會議部門別委員長決定……………一七
 ▲政府側發言要旨
 ▲議事
 ▲第三日
 ▲委員會
 第一―第六委員會(九・二八)……………一七
 ▲政府側發言明
 ▲第四日
 緊張裡に閉幕(九・二九)……………一七
 建設的意見は現實施策に織込む(首相挨拶)……………一七
 大東亞戰爭完遂決議……………一七
 ▲委員長報告……………一七
 ▲政府側發言……………一七

法令

陸軍防衛召集規則發令(九・二五)……………一七
 支那事變紀念章制定(九・二六)……………一七
 金鶏勳章敘賜條例改正(九・二六)……………一七

軍事

米國の非道なる抑留邦人措置是正要
 求(九・三二)……………一七
 帝國政府對英抗議……………一七
 伯國政府の猛省を促す(九・二六)……………一七
 世界新秩序建設を聲明……………一七
 平沼特使等歸國(九・二七)……………一七

外交

米國の非道なる抑留邦人措置是正要
 求(九・三二)……………一七
 帝國政府對英抗議……………一七
 伯國政府の猛省を促す(九・二六)……………一七
 世界新秩序建設を聲明……………一七
 平沼特使等歸國(九・二七)……………一七

ウイスキーの空言..... 三〇
【人 事】..... 三〇

財政經濟

一般

轉廢の小賣業評價新基準決定..... 三三
電力消費規正實施要領..... 三三
全購販聯總代會..... 三三
海 運..... 三三

財政・金融

本年度豫算節約約額..... 三三
八月末國庫現計..... 三三
第三四半期起債計畫決定..... 三三
第三四半期の公債消化狀況..... 三三
預金部資金運用額..... 三三
第二豫備金支出..... 三三
專 賣..... 三三

生 産

【統制會】
損保統制會に設立命令..... 三三
麻統制會創立認可..... 三三
自動車修理用部分品統制強化..... 三三
會 社..... 三三

配 給

麥酒配給統制機構確立..... 三三
アルコール販賣機構整備..... 三三
物 價..... 三三

社會・文化

▲學術・文化
史蹟・名勝・天然記念物新指定(九・二二)..... 三六
山陰地方にアイヌの史蹟..... 三六
文部省推薦圖書(九月分)..... 三六

「東京新聞」生る..... 三〇
▲教 育..... 三〇
東大卒業式(九・二五)..... 三〇
國史、算數、音樂の新教科書揃ふ..... 三〇
國民學校體操科教授要項決る..... 三〇
▲勞務・厚生..... 三〇
鶴鳴職土を表彰..... 三〇
結核病床十萬床を三箇年に建設..... 三〇
勞務報國會を設立..... 三〇
▲社會一般..... 三〇
新祭神一萬五千廿一柱..... 三〇
三國同盟記念大會(九・二七)..... 三〇
交換龍田丸橫濱着(九・二七)..... 三〇
濠、米、加の抑留邦人..... 三〇
軍神加藤少將の陸軍葬(九・二七)..... 三〇
訪日滿洲機立川着(九・二七)..... 三〇
▲檢察・裁判..... 三〇
配給ルート攪亂に嚴罰..... 三〇
人民戦線事件第一審判決(九・二七)..... 三〇
一齊取締網に不良二萬五千餘名..... 三〇
▲災 害..... 三〇
愛媛縣下の被害..... 三〇
九龍號確認さる..... 三〇
▲體 育..... 三〇

東 亞

國民政府

▲特派大使..... 三三
國書を捧呈(九・二二)..... 三三
聲明・歡迎..... 三三
中山陵參拜並に視察..... 三三
汪主席三特使と公式懇談..... 三三
「道義を基底に新秩序を築け」(平沼大使放送)(九・二六)..... 三三
第二次會談で意見交換..... 三三
答訪特派大使等南京出發(九・二七)..... 三三
▲一 般..... 三三

青年組織訓練計畫大綱決る..... 三五
孔子祭執行..... 三五
林宣傳部長渡日(九・二〇)..... 三五
▲國府へ讓渡武器引渡式(九・二〇)..... 三五
▲人事消息..... 三五
【北支情勢】
華北編譯館で日本著書翻譯..... 三五
山西和平地區の人口増加..... 三五
▲經 濟..... 三五
華北中央物價協力會議創立(九・二六)..... 三五
北京配給機構整備進む..... 三五
第二回日華蒙經濟懇談會..... 三五
新民會勞務動員體制を確立..... 三五
▲【中支情勢】
中支那振興會社の方針..... 三五
▲上 海..... 三五
上海商議機構改革..... 三五
保險業同業公會創立..... 三五
▲【南支情勢】
廣東・香港貿易繼續..... 三五
香港の人口九十七萬九千餘人..... 三五

滿 洲 國

皇帝陛下博覽會御臨..... 三五
▲大異動..... 三五
政府首腦大異動(九・二〇)..... 三五
駐日大使王九卿氏發令(九・二〇)..... 三五
▲一 般..... 三五
長白山調査團歸る..... 三五
全滿に亘る産業實態調査..... 三五
北鐵務整理事務所廢止..... 三五
▲政 權..... 三五
▲政治・一般..... 三五
蔣廷黻諸施策の困難を嘆く..... 三五
余漢謀李漢魂反目深刻..... 三五
▲人の動き..... 三五
ウイスキー重慶着(九・二九)..... 三五
▲西北工作..... 三五
回教軍將領を懐柔..... 三五
國民の關心を西北へ..... 三五

西北へ視察團派遣..... 三六
▲【財政・經濟】
大公報抗戰財政の危機指摘..... 三六
來年度建設豫算二十億元..... 三六
團體生命保險獎勵..... 三六
▲食糧對策..... 三六
農產物豐作を宣傳..... 三六
▲中 共..... 三六
蔣軍幹部強硬論具申..... 三六
中共の對重慶根本方針..... 三六
重慶軍、共產黨彈壓..... 三六

佛 印

佛印滿關支とバーター貿易..... 三六
日佛印協定は明年改訂..... 三六
最近の經濟事情..... 三六
泰國文化研究所開く..... 三六

ビ ル マ

ランゲイン市應開廠式(九・三〇)..... 三六
煙害對策に感謝..... 三六
▲マ レ ー..... 三六
昭南に公共施設總局設置..... 三六
中國共產黨員を嚴刑..... 三六
マレー、スマトラ間に通貨新交換制實施..... 三六

交 換 船

鎌倉丸昭南着(九・二五)..... 三六
三百五十名昭南下船..... 三六
鎌倉丸昭南港出帆(九・二七)..... 三六

比 島

比島の治安は全し..... 三六
軍政財政根本的改革..... 三六
インフレ抑制策..... 三六
陸運管理局設置..... 三六
▲東印度諸島..... 三六

【軍政第二期に入る(兒玉顧問談)】……三〇
 【ジャワ】
 中央行政機構強化……………〇〇
 司法機構擴充……………〇〇

【濠洲】
 金屬増産に大進……………〇〇
 ニュージールランド
 炭坑問題で内紛……………〇〇

【政治】
 印度國防費の出所を誇稱……………三〇
 會議派領袖を國外追放……………〇〇
 ビルマ奪還の懸話……………〇〇
 シーク派も即時獨立要求(九・二八)……………〇〇

【インド】
 議會英當局苦しい辨明……………〇〇
 國民政府樹立問題で激論……………〇〇
 ▲騷擾事件
 爆彈事件相次ぐ……………〇〇
 ベンガル州で民衆蜂起……………〇〇
 英將兵を虐殺……………〇〇
 學生騷擾止まず……………〇〇

歐 米

【ドイツ】
 羅國副首相、ヒ總統と會見……………三〇
 天皇陛下親電(九・二七)……………〇〇
 外相メツセーヂ……………〇〇
 外相重要演説……………〇〇
 戰爭完遂の決意披露(ヒットラー演説)(九・二七)……………〇〇
 在獨印、回獨立大會(九・二三)……………〇〇
 日本潜水艦を送る……………〇〇
 勞働力補給解決……………〇〇
 戰時運輸改善……………〇〇

【イタリヤ】
 三國條約二周年外相メツセーヂ……………〇〇

【法王廳】
 米特使歸國(九・二二)……………〇〇
 汪政權と事務的聯絡……………〇〇
 フランス
 ヴイシー外交界活況……………〇〇
 獨佛勞働者供給協定成立(九・四)……………〇〇
 プノア・メシヤン辭職(九・二七)……………〇〇

【スペイン】
 内外根本策を確定……………〇〇
 テーラー、マドリッド着(九・二九)……………〇〇
 バルカン諸國
 ドナウ航行協定成立……………〇〇

【ソ聯邦】
 ウイルキー、スターリンと會談(九・二二)……………〇〇
 ウイルキー授ソを泣訴……………〇〇
 對芬媾和説否定……………〇〇
 ド・ゴール政權承認(九・二七)……………〇〇
 石炭増産成績……………〇〇

【西亞諸國】
 【トルコ】
 外相重患……………〇〇
 米土關係漸次惡化……………〇〇
 【イラク】
 元首相死亡……………〇〇
 ウイルソン、バグダッド着(九・四)……………〇〇
 【イラン】
 首相英米のデマを粉碎……………〇〇
 【アラビア】
 サウジ・アラビアの首府移轉……………〇〇
 アフリカ
 米増援部隊アフリカ着……………〇〇

【エチオピア】
 英埃及王の特權を停止……………〇〇
 カイロの大學生反英デモ……………〇〇
 【ダカール】
 婦女子引揚準備……………〇〇

【米 英】
 ウイルキー言明の波紋……………三〇
 船腹不足に悲鳴……………〇〇
 世界棉花消費戰爭で一大變貌……………〇〇
 イギリス

【政治・軍事】
 會議派を反印的と強ふ……………〇〇
 第二戰線問題で政府を難詰……………〇〇
 首相上陸作戰の失敗報告(九・二二)……………〇〇
 ド・ゴール歸英……………〇〇

【財政・經濟】
 航空機増産を焦る……………〇〇
 新造船に手が廻らず……………〇〇
 戰時財政と國民生活……………〇〇
 アメリカ

【政治】
 「五人委員會」新設……………〇〇
 ソ聯へ精油工場を移讓……………〇〇
 インフレ問題
 上院農業委員會農村プロックの修正案を可決……………〇〇
 インフレ抑制修正案下院通過……………〇〇
 修正案可決の意義……………〇〇
 上院インフレ防止案可決……………〇〇
 ▲インフレ問題
 印度産業支配を企圖……………〇〇

▲一般
 胡適離米(九・二二)……………〇〇
 收容邦人を農作に使役……………〇〇
 グルイ四度國民に警告……………〇〇
 【軍事】
 本土危し(下院議員演説)……………〇〇
 アラスカ公路竣成を急ぐ……………〇〇
 航空戰闘力が重要……………〇〇
 大型輸送艇の試作を許可……………〇〇
 開戦以來の艦艇損失……………〇〇

▲新空母進水(九・二二)……………〇〇
 ▲ハワイ防衛に二千萬弗支出……………〇〇
 ▲【財政・經濟】
 ▲新海軍豫算要求……………〇〇
 ▲政府負債九百億ドル……………〇〇
 ▲在米封鎖歐洲資産四十七億ドル……………〇〇
 ▲軍需生産……………〇〇
 ▲戰時生産局報告(九・二二)……………〇〇

▲金 屬
 ▲ブラジルのニツケル増産に乗出す……………〇〇
 ▲燃料
 ▲全米にガソリン切符制……………〇〇
 ▲米墨ゴム協定……………〇〇

▲船 舶
 ▲商船建造に躍起……………〇〇
 ▲武器貸與
 ▲武器貸與計畫と對外貿易……………〇〇
 ▲勞 働
 ▲減らぬ勞働爭議……………〇〇

▲中南米諸國
 ▲【メキシコ】
 ▲登録制實施……………〇〇
 ▲暴動勃發……………〇〇
 ▲【パナマ】
 ▲ノックス視察……………〇〇
 ▲【コロンビア】
 ▲海上交通杜絶……………〇〇
 ▲【ブラジル】
 ▲伊軍領事ほか逮捕……………〇〇
 ▲ノックス、リオ着(九・二九)……………〇〇
 ▲モラトリアム布告(九・二七)……………〇〇
 ▲米の兵器廠と化するブラジル……………〇〇

▲【アルゼンチン】
 ▲下院對樞軸斷交勸告案可決(九・二九)……………〇〇
 ▲【チリ】
 ▲經濟界近況……………〇〇
 ▲【パラグワイ】
 ▲大統領重任……………〇〇

宮廷

秋季皇靈祭に御親拜

【八三】秋季皇靈祭の廿四日宮中では、三笠宮同妃兩陛下を始め各皇族方御参列東條首相以下文武顯官等参列の裡に長く、天皇陛下には黄櫨染御袍の御束帶神々しく、午前十時皇靈殿内陣の御座に御参進、御親拜の御後、御告文を奏せられ、次いで皇太后陛下の御代拜を高松掌侍が奉仕し、神座に於かせられても御同様の御儀を行はせられた、尙引續き東遊を行はしめられて神慮を御慰め遊ばされた

三笠宮殿下學習院卒業式 台臨

【九二】學習院高等科の卒業式は廿八日、御差遣の三笠宮殿下の臺臨を仰ぎ皇太子殿下にも學生の御資格に御参列あらせられて舉行された、院長より高等科卒業學生百九十七名に卒業證書を授與、優等卒業生に御下賜品傳達、褒狀、賞品の授與があり、院長の告辭、次で白根宮内次官が松平官相告辭を代讀して感銘深き式を終了、御差遣宮殿下には、更に運動場に成らせられ高等科學生の馬術教練、初等科中御科學生の體操を台覽あらせられた、御下賜品拜受の優等卒業學生は左の二名である、高等科文科卒業優等學生 賀來得四郎、同理科同 三島有良

梨本總裁官訪日滿洲國空軍將士へ有功章御授與

【九三】去る廿三日午後立川飛行場着晴の入京をした訪日謝恩飛行の總指揮官滿洲國治安部參謀司長郭若霖少將並に空中指揮官野口少將外操縱士十六名は廿五日に梨本宮家に伺ひ大日本飛行協會總裁梨本宮殿下から個別拜謁仰付けられた後郭總指揮官並に野口指揮官に對し白色有功章、乾將顯少校外三名は綠色、竹下廣徳上尉以下十二名は紅色の有功章を授與され、別室で總裁宮殿下を中心に記念撮影を行つて茶菓を賜はつた

伏見宮海軍聯合卒業式台臨

【九三】横須賀海軍航空隊及び海軍七校(通信、砲術、工作、水雷、航海、工機機雷)の聯合卒業式は廿日、長き邊りより御差遣の伏見宮博恭王殿下の台臨を仰ぎ、横須賀鎮守府大會議室に於て舉行された、式は卒業申渡式にはじまり優等卒業生の横須賀海軍航空隊整備學生機關中尉渡邊幸藏氏(新潟縣西蒲原郡内野村出身)に對する御下賜品の傳達、海軍機雷學校高等科機雷術水中測練習生三等兵曹鈴木男三氏(東京市本所區練町出身)等に對する大員賞授與があつて閉式

賀陽宮陸軍科學校卒業式 台臨

【九二】陸軍科學校普通科學生卒業式は廿八日午前十時から賀陽宮恒憲王殿下の台臨を仰ぎ東京市牛込區若松町の同校に於て舉行、濱田和夫中尉、奥山史郎大尉の兩優等學生の御前講演の後左の三優等學生に對し

恩賜品が授與された
△優等學生 千葉戰車學校教導隊付中尉濱田和夫(千葉縣出身) 豐橋陸軍豫備士官學校砲兵生徒隊付大尉奥山史郎(靜岡縣出身) 中部第四十一部隊中隊長中尉川道貞一郎(廣島縣出身)

獨伊文武官に勳章御贈與

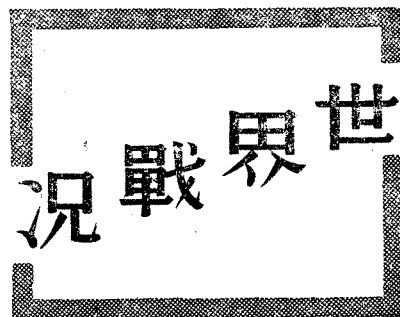
【九三】畏くも、天皇陛下に於せられては樞軸軍連勝のうちに迎へる日獨伊三國同盟二周年の記念日を前に廿六日ゲーリング獨空相はじめドイツ文武官四十六名並にクラチャーニ伊國元帥以下同國文武官二十六名に對し、三國國交親善に盡力したるを思召されそれぞれ勳章贈與の御沙汰あらせられた、右勳章は陸海軍並に外務省において同日それぞれ傳達の手續がとられた

三勅使夫々參向

【九三】長き邊りでは、來る十月十四日順徳天皇七百年式年祭に付京都大原の大原陵に室町掌典を、同月十七日神嘗祭には神宮へ伊藤掌典を、同日は朝鮮神宮例祭に付同神宮に小磯總督をそれぞれ勅使として參向せしめられる旨廿八日仰付けられた

高丘親王奉議會設立

【九三】今を去る一千百年の昔、尊き御身)で薨去遊ばれた高丘親王の御遺徳と御事蹟を顯彰する「高丘親王奉議會」は文部省後援、陸、海、宮内三省の緊密な連絡を得て二十八日午後五時から帝國ホテルで成立發會式を舉げた



帝國海軍潜水艦は大西洋に出動、樞軸海軍と協同作戰に出つた、一隻は獨海軍寄地に寄港後ふたたび作戰海域に出動したといふ廿五日の大本營發表は大東亞戰爭が地球的にも世界戰爭の一環として戦はれつつあることを遺憾なく世界に示した。反樞軸諸國の作戰計畫がいかなるものであらうとも、帝國の作戰は極めて斷乎たる實力を以てすすめられる。廿三日の發表によれば八月卅一日アリユン

ヤン列島アトカ島を奇襲、米甲巡一隻を大破せめし、九月中旬には同方面にあつて敵潜水艦二隻を撃沈した。一方、南太平洋方面には廿五日より數日に亘り、モレスビー、ダーウインの空襲がつづけられてゐること看過すべきでない。

三國同盟二週年を迎へて、漸く米國の戰時經濟體制は軌道にのりつつある。それは大東亞戰爭を戦ひ抜く帝國にとつて十分に銘記を要すること、米國の東京空襲計畫にみる通りである。

本句に於ける感狀發表左の如し。龜山部隊中隊長陸軍大尉堀田邦美、加藤飛行部隊陸軍中尉岡井正文(廿一日)。マレー、スマトラ方面作戰における中西地上整備部隊、梅谷内高層氣象隊(廿八日)。

北支における剿共作戰は極めて重要な戦争を意味する。作戰の規模は南方作戰と同日の談ならずとも、その本質に於てこれは極めて高度な「政治戰」である。廿七日には魯西地區黃河流域、また晋察冀邊區掃蕩戰が開始され、それは文字通り地下組織に對する剔抉作戰である。

歐洲に於ては久振りに獨總統の獅子吼が卅日行はれた。要約すれば獨軍作戰のゾオルガ掌握とス市の斷乎攻略と占領地の經營方針である。ス市は既にその南半を完全に制壓され、赤軍踏死の防禦反撃も残された北半に對する獨軍の總攻撃の前にあと幾日を保つてあらうか。(高)

大東亞戦争

米甲巡一大破、潜艦二

撃沈

—アリニューシヤン海軍部隊の戦果
 【九三】大本營發表(廿三日午後三時三十分)アリニューシヤン列島帝國潜水艦は八月廿一日アトカ島ナザン灣を奇襲し、米甲巡ノーザンプトン型一隻に大損害を與へ、更に帝國驅逐艦は九月中旬同方面に於て敵潜水艦二隻を撃沈せり

が驅逐艦二隻に發見追跡され、爆雷攻撃によつて撃沈されたものでこれには我が特務船も協力し敵潜水艦から噴出する重油は午後に至るまで海面に浮上り、自らの沈没を確認せしめた、敵は去る八月下旬以來例の對日總反攻を企圖し八月八日アリニューシヤン方面においても有力部隊を出撃せしめたが脆くも我れに撃退され今同重ねて奇襲攻撃を浴びてその虎の子の甲巡大破の運命に見舞はれたのである

撃沈敵潜水艦百二隻

【九三】帝國海軍部隊は今大開戦以來茫茫二億四千萬平方料の太平洋、印度の南洋に跨り赫々の戦果をあげつつあるが、八月廿一日我が精銳潜水艦は日本を距る二千數百哩の北洋アリニューシヤン列島に俊足を伸ばしアトカ島ナザン灣を奇襲、米甲巡ノーザンプトン型一隻に魚雷を命中せしめ大損害を與へた、この日北洋は特有の悪天候にして雲低く視界は頗る悪かつたが、我が鐵艦はこの悪條件を悠々克服ナザン灣深く進入、米甲巡に魚雷一本を命中させたのである、また越えて九月中旬我が水上機が米本土オレゴン州を初空襲して米國民を戦慄の坩堝に叩き込んだ直後我が驅逐艦は北洋に蠢動せる敵潜水艦二隻を捕捉、確實にこれを海底深く屠り去つた、このうち一隻は夜光虫妖しく光る北海に浮上してゐるのを〇〇米より砲撃、五發を命中せしめ、更に爆雷攻撃によつてこれを確實に撃沈し、他の一隻は潜望鏡を我

【九三】帝國海軍驅逐艦は廿三日大本營發表の如く九月中旬北洋に蠢動せる敵潜水艦二隻を捕捉直に猛攻を加へ忽ちこれを撃沈した、これにより我が海軍が大東亞戦争勃發以來撃沈せる敵潜水艦は百二隻となつた即ち去る七月十九日の大本營發表によれば七月十日迄の敵潜水艦撃沈五十九隻、撃破三十八隻計九十七隻といふ赫々たるものでその後第一次ソロモン海戦において三隻を撃沈し、これに今回の二隻を加へると撃沈敵實に百二隻となる、而してこの撃沈敵は確實なるもののみで、これ以外に不確かなものが相當數に上つてゐるものと見られる

米驅逐艦及補助船撃沈さる

【九三】アリニューシヤン列島方面に於ける我が海軍の戦果は、八月廿一日アトカ島ナザン灣を奇襲し、米甲巡ノーザンプトン型一隻に大損害を與へ、更に帝國驅逐艦は九月中旬同方面に於て敵潜水艦二隻を撃沈せり

【九三】帝國海軍部隊は今大開戦以來茫茫二億四千萬平方料の太平洋、印度の南洋に跨り赫々の戦果をあげつつあるが、八月廿一日我が精銳潜水艦は日本を距る二千數百哩の北洋アリニューシヤン列島に俊足を伸ばしアトカ島ナザン灣を奇襲、米甲巡ノーザンプトン型一隻に魚雷を命中せしめ大損害を與へた、この日北洋は特有の悪天候にして雲低く視界は頗る悪かつたが、我が鐵艦はこの悪條件を悠々克服ナザン灣深く進入、米甲巡に魚雷一本を命中させたのである、また越えて九月中旬我が水上機が米本土オレゴン州を初空襲して米國民を戦慄の坩堝に叩き込んだ直後我が驅逐艦は北洋に蠢動せる敵潜水艦二隻を捕捉、確實にこれを海底深く屠り去つた、このうち一隻は夜光虫妖しく光る北海に浮上してゐるのを〇〇米より砲撃、五發を命中せしめ、更に爆雷攻撃によつてこれを確實に撃沈し、他の一隻は潜望鏡を我

太平洋水域で日本潜水艦により撃沈されたものと推定され又補助輸送船リツトル(一〇六〇噸)がソロモン群島水域において日本海軍部隊に撃沈された旨廿四日發表した、但し撃沈された日時、状況等は發表されてゐない

帝國海軍大西洋に進出

一 樞軸海軍協同作戦ここに確立

【九三】大本營發表(二十五日午後四時三十分)
 一、帝國海軍兵力の一部は、大西洋に進出し樞軸海軍と協同作戦行動に從事中なり

二、今次帝國海軍の大西洋作戦區域に於ける作戦行動と相俟

一、最近歐洲の獨某海軍基地に寄港し、再び作戦海域に向け出動せり

三、獨根據地に帝國潜水艦の勇姿

【九三】日本と歐洲樞軸海軍との共同作戦を具體化した我が潜水艦のドイッ基地入港は日獨關係者から非常な感激をもつて迎へられた、この日某ドイッ海軍基地ではドイッ潜水艦隊司令官デーニツ大將以下日獨關係者多數が岩壁に詰めかけ帝國軍艦の今次大戦以來初めて歐洲入港を固唾を飲んで待ちうけるうちに我が巨鯨は濼で連絡の時間と少しは違はずボツコリ同沖合に勇姿を現はし警戒中の獨艦に迎へられて靜かに港内に滑り込んで来た、岸壁には獨艦の歸港を迎へると同じやうにデーニツ大將以下ドイッ海軍の將兵や花束を抱へた娘さん達がぎつしりと詰りて居る、待ちうけた艦上樂隊が囀つて甲板上に塔列してゐるが數ヶ月の作戦の後をはじめ同盟國の港に入つたといふ興奮の色もなくまるで日本海軍の公表は廿五日午前DNB通信を通じ發表され獨夕刊各紙は何れもトツ全般に亘つて「日本潜水艦大西洋に活躍」との大見出しを掲げ

獨國民感激

【九三】日本海軍の大西洋協同作戦に關する日獨當局の公表は廿五日午前DNB通信を通じ發表され獨夕刊各紙は何れもトツ全般に亘つて「日本潜水艦大西洋に活躍」との大見出しを掲げ

反響

【九三】日本海軍の大西洋協同作戦に關する日獨當局の公表は廿五日午前DNB通信を通じ發表され獨夕刊各紙は何れもトツ全般に亘つて「日本潜水艦大西洋に活躍」との大見出しを掲げ

獨國民感激

【九三】日本海軍の大西洋協同作戦に關する日獨當局の公表は廿五日午前DNB通信を通じ發表され獨夕刊各紙は何れもトツ全般に亘つて「日本潜水艦大西洋に活躍」との大見出しを掲げ

反響

【九三】日本海軍の大西洋協同作戦に關する日獨當局の公表は廿五日午前DNB通信を通じ發表され獨夕刊各紙は何れもトツ全般に亘つて「日本潜水艦大西洋に活躍」との大見出しを掲げ

獨國民感激

【九三】日本海軍の大西洋協同作戦に關する日獨當局の公表は廿五日午前DNB通信を通じ發表され獨夕刊各紙は何れもトツ全般に亘つて「日本潜水艦大西洋に活躍」との大見出しを掲げ

【九三】日本海軍の大西洋協同作戦に關する日獨當局の公表は廿五日午前DNB通信を通じ發表され獨夕刊各紙は何れもトツ全般に亘つて「日本潜水艦大西洋に活躍」との大見出しを掲げ

大々的に報道し各方面に非常な感銘を與へてゐる、ドイツ國民はかねてから太平洋に於ける帝國海軍の素晴らしい活躍ぶりに對しては非常に感嘆の念を深めてゐたが、何分にも太平洋では歐洲に對してはその影響が間接的なので、一般國民に對してどうして協同作戦といふ自覺に乏しい憾みがあつた、ところがこんどは世界一強力な海軍として全世界に確認された帝國海軍の精銳が直接に大西洋まで出動し歐洲の作戦をも援護することになつたといふのでドイツ國民を始め歐洲新秩序國民に對しては非常な力強さを感じしめ將來の大西洋作戦の發展に大きな期待を持たせてゐる、殊に廿七日の三國同盟條約調印記念日を直前に控へて發表されたので同條約に規定される三國協同作戦の緊密化を一層強く印象づけられてゐる、ドイツ當局も樞軸協同作戦の確立を謳歌し廿四日外國記者團に對し次のやうに言明した

今回日本潜水艦の遠征は三國協同作戦の上に劃期的な重要意義をもつものでこれにより樞軸三國は遠く相隔つてゐるにもかかはらずその強大な軍事力をもつてすれば相共に手に手を取つて協同作戦を行ふことが不可能でないことを充分に實證した、これまでドイツ潜水艦の活躍により英米船舶の撃沈数は殖える一方だが日本海軍の直接参加によりこれが一層促進されるだらう

▲英米狼狽す ストックホルム【九二】日本潜水艦の大西洋進出の報は聯合國側に非常な衝撃を與へ就中米英兩國は日本海軍の行動は略々大東亞海域と西太平洋に限られ況や大西洋方面まで進出する等とは夢想だも

しなかつただけにその驚愕の度は特にひどく従つて本報道に對する反響も米英の周章狼狽ぶりを如實に示してゐる、特にロイター通信ロンドン電はその第一報に於て日獨兩國の發表は多く宣傳の効果をねらつたもので眞否については情報がないと強ひて眞偽を装ひつつその續報に於ては現在的大型潜水艦の能力を以てすれば東亞水域から大西洋に進出することは決して不可能なことではないと前電に對しては苦しい訂正を行つたほどである、且つ同通信海軍記者はこれに關聯して大西洋に進出した日本潜水艦の勢力出撃の動靜、寄港したドイツ根據地等につき種々の想定を行ひ「何れにしても右潜水艦は實に一萬六千軒の長距離を突破したことになるが大型潜水艦ならこの距離は無補給で航行し得る能力ありしかもこの間には樞軸地補給艦乃至は他の潜水艦から補給を受けることが可能である」と指摘してゐる以上の外米系及び英系情報に太平洋水域に於ても潜水艦の必要が益々痛感される今日日本海軍が敢てこの舉に出た理由として大要左の通り觀測してゐる

一、ドイツ潜水艦の活動範圍が南北大西洋を加へて北極方面にまで擴大し、この結果ドイツの保有する潜水艦勢力のみを以ては手薄となり、ドイツ側の要請に應じて日本潜水艦の派遣となつたものだらう

二、聯合國側の商船建造計畫が進捗すれば世界戦局の大勢とも影響する虞なしとなつたので樞軸國側協議の結果今回の舉となつたものであらう

三、伊紙も大々の報道「ローマ【九二】帝國海軍兵力の一部が大西洋に進出

したとの日獨兩國の發表は廿五日のイタリヤ各紙に當日の最大記事として大々的に報道された、各紙とも日本海軍の大西洋に於る活躍とドイツ潜水艦がインド洋方面に活躍してゐる事實は世界戦局に於て樞軸側が極めて緊密な協同作戦を實行してゐる生きた證左であり之は單に戰略的に重大意義があるばかりでなく政治的にも或は又交戰國民の戰意の見地からも測り知るべからざる大きな影響を齎すであらうと強調してゐる

ポート・ダーウィン連爆

リスボン【九二】メルボルン來電によれば、西南太平洋反樞軸聯合軍司令部は日本航空部隊が二十五日夜二回に亘りポート・ダーウィンを空襲した旨二十六日發表した

リスボン【九二】メルボルン來電に依れば西南太平洋反樞軸聯合軍司令部は日本航空部隊が二十六日夜ポート・ダーウィンを爆撃した旨二十七日發表した

感狀行賞

陸軍の武功上聞に達す

一 散華した堀田大尉國井中尉

【九三】大東亞戰爭劈頭の作戦にあつたつて部隊長を失つたにも拘らず剛膽沈着、自ら部隊を指揮し暗雲豪雨のタイ海上を長驅翔破しメラメラ緒戦の航空根據地撃滅戦、敵艦船攻撃に偉勳を樹て十二月十三日コタサランセムト附近に壯烈なる自爆を遂げた龜山部隊中隊長堀田邦美大尉及び同

じく緒戦における山下兵團の船團掩護を完遂後、メラメラ、スマトラの空に飛んで常に一撃必殺の銃砲火により驚異的な航空戦果を挙げ二月十三日つひにバレンバン飛行場攻撃に壯烈華と散つた軍神加藤飛行部隊の國井正文中尉に對してはさきに馬來方面陸軍航空部隊最高指揮官よりそれぞれ感狀が授與せられたが、さらにこの程その武功が畏くも上聞に達せられた旨二十一日陸軍省より發表された

陸軍省發表(九月二十一日午後四時) 馬來航空作戦に飛行部隊隊長代理として拔群なる武功を樹てたる陸軍大尉堀田邦美並に加藤部隊編隊長として毎戦偉勳を重ねたる陸軍中尉國井正文に對しさきに同方面陸軍航空部隊最高指揮官より感狀を授與せられたが、今般長くも上聞に達せられたり

△感 狀 陸軍大尉 堀田 邦美 右は大東亞戰爭劈頭の集中に方り部隊長を喪ひし後部隊を指揮して南部印度支那に展開し北部英領馬來の敵飛行場攻撃を命ぜらるるや十二月八日率先勇躍陣頭に立ち未明より長驅挺身暗雲豪雨を衝き二次に亘り渡洋攻撃を敢行し、敵航空根據地を襲ひ以て敵艦を塞かしめ翌九日以後之を反覆して敵航空根據地を爆砕せり十二月十二日ベナン島攻撃の命を受けるや部隊を率へて爆砕し勇猛の戦艦船を攻撃して之を爆砕し多大の戦果を挙げたるも十三日再び敵艦船攻撃中優勢なる敵戦闘機の攻撃を受け單機克己勇戦奮闘せしが遂に敵弾の爲乗機に火を發し、コタサランセムト附近敵地上軍隊に向ひ突進し壯烈なる自爆を遂ぐる

大尉は平素より剛膽沈着率先陣頭に立ちて衆望歸向の中心たり右英領馬來の航空撃滅戦に將又ベナン島附近の戦闘に示せる勇戦敢闘は實に之が發露に外ならず其の武功は拔群にして行動は軍人の龜鑑とするに足る

仍て茲に感狀を授與す 昭和十七年四月十四日 馬來方面陸軍航空部隊最高指揮官

△感 狀 陸軍中尉 國井 正文 右は大東亞戰爭の劈頭編隊長として夜暗と悪天候とを克服して至難なる船團掩護の任務を完遂し以て軍の作戦に寄與せし所頗る大なりしのみならず爾來二月十三日バレンバン飛行場攻撃に戦死する迄常に率先難局に立ち勇猛果敢に當り或は熾烈なる鐵火を冒して對地銃撃を敢行し或は空中に捕捉して一撃必殺の銃砲火を浴せ以て多數の敵機を撃滅せり是れ其の優秀なる技能と卓抜なる機眼に依ること固よりなるも中尉の烈々たる攻撃精神と生死を超越せる責任觀念とに基くものにして眞に空中戰士の龜鑑とすべく其の武切は拔群なり

仍て茲に感狀を授與す 昭和十七年四月二十九日 馬來方面陸軍航空部隊最高指揮官

整備中隊高層氣象班に感狀

【九二】敵機の爆撃下バレンバン飛行場の補修、飛行機の整備を完うし青木、遠藤兩飛行部隊の戦力發揮に遺憾なからしめた地上勤務部隊の精

華中西地上整備中隊およびシナガ
一ル島攻略に當り敵彈雨飛の下高層
氣象實況の放送に努め航空部隊の作
戰指導を有利ならしめた樺谷内高層
氣象班に對してはさきと同方面陸軍
航空部隊最高指揮官よりそれぞれ感
状を授與されたが今回長くも上開に
達せられた旨廿八日陸軍省から發表
された

陸軍省發表(廿八日午後四時)
馬來、スマトラ方面の航空作戰を有
利ならしめ武功拔群なる中西地上整
備中隊並に樺谷内高層氣象班に對し
曩に同方面陸軍航空部隊最高指揮官
より感状を授與せられしが、今般
長くも上開に達せられたり

感状

樺谷内高層氣象班
右は樺谷内中尉指揮の下に松井部隊
第一線に同行して測候業務に従事し
つつありしか新嘉坡島の攻撃に方り
目標附近の高層氣象實況の把握益々
緊要となるや二月三日歩兵第一線を
超越して「ジョホール」橋梁北方五
百米の臺上に突進し敵彈雨飛の下一
意任務に邁進せり、二月十二日七時
至十分敵の重砲彈は觀測所を破壊し
て死傷八名を生じ次いで通信所亦粉
砕せらるる等慘澹たる狀況の下旬自
若として觀測を續行し新嘉坡攻撃の
最高潮期に於ける高層氣象實況の放
送に努め、航空部隊の作戰指導を有
利ならしめたり

馬來方面陸軍航空部隊
最高指揮官

感状

中西地上整備中隊
久木落下傘部隊の「バレンバン」飛
行場占領に伴ひ青木飛行部隊は先づ
主力を以て敢然同飛行場に躍進して
防空に任じ遠藤飛行部隊亦續いて主
力を以て同飛行場を根據として西部
瓜哇の航空擊滅戰を開始せり
右中隊は中西大尉指揮の下に之と略
々時間を同じうして地上部隊先遣隊と
共に二月十六日「バレンバン」に上
陸し取敢へず揚陸し得たる僅少なる
兵力を以て直ちに行動を開始し屢々
來襲する敵機の爆撃下に在りて凡百
の手段を講じ飛行場の補修、飛行機
の整備を完うし、僅少なる輸送機關
を使用して燃料、彈藥等の輸送を促
進し以て活潑なる飛行部隊の活動に
資し中隊全力を集結するに至るや益
々其の能率を發揮し進んで廣汎たる
補給、輸送、給養及整備等の諸業務
に邁進し連日不眠不休一中隊の僅少
なる人員器材を以て兩飛行部隊の戦
力發揮に遺憾なからしめバレンバン
確保並に西部瓜哇航空擊滅の赫赫た
る戰果獲得の根基を爲せり

右は中隊長の陣頭指揮しきを得た
るに、將兵の崇高なる沒我協同の精
神に基く積極果敢なる奮闘努力の賜
にして實に地上勤務部隊の精華と謂
ふべく其武功拔群なり
仍て茲に感状を授與す
昭和三十七年三月十六日
馬來方面陸軍航空部隊
最高指揮官

右は班長の積極果敢なる指揮の下班
員の熾烈なる責任觀念と旺盛なる士
氣に依るものにして眞に氣象部隊
の精華を發揚せしものと謂ふべく其
の武功拔群なり
仍て茲に感状を授與す
昭和三十七年四月十五日

支那方面

綜合戰況

支那派遣軍週間戰況

南京【九・三】支那派遣軍週間戰況
(九月廿五日發表)
北支方面は各所において治安肅清工
作に呼應し、連綿不斷的討伐戰が續
けられてゐるが、特に九月中旬から
開始された冀東地區の共產軍割滅作
戰は最も大規模のもので、軍は河北
省東北部豐潤、遷安、路龍縣方面の
山岳地帯に巢窟ふ晋察冀戰區第十二
十三團に對し關東軍の策應を得て徹
底的肅清戰を續行中である、これが
ため政治經濟工作を密接に並行せし
める措置が、周到に計畫實施されつ
つあることは勿論である、浙贛作戰
終了して既に二旬に及ぶが、金華、
蘭谿、武義を含む廣大なる地區を失
つた重慶側は、金華奪回を豫想して
今に至るも金華攻勢戰が續けられて
ゐるが如き報道をしてゐるのは滑稽
千萬といはねばならぬ、また重慶が
現在最も力を注いで宣傳してゐるこ
とは西北の開發問題である、これは
恐らく抗戰前途に絶望を感ぜんとす
る民心をつなぎとめる意圖と察せら
れる、然し事實重慶は西北の軍事、
政治經濟等の問題には相當力掃を入
れて努力してゐるのである程度の進
展は想像し得るが、これと關聯して
國共兩者の間に更に新しい而も重
大な相剋の種子が蒔かれたものと見

酒井中將戰死

陸軍省發表(九月二十七日)浙贛作
戰に第一線兵團長として奮戰せる陸
軍中將酒井直次は五月二十八日蘭谿
附近の戰團に於て戰死せり
△戰死狀況【九・七】酒井兵團は蘭
谿東側高地の既設陣地に據り頑強に
抵抗中の敵六十三師に對し恒岡部隊
を蘭谿西方蘭江左岸地區に、また尾
本部隊を蘭谿南方金華江左岸地區に
出し敵の退路を遮断せしめると共に
倉橋、松尾、水野、瀨戸口の各部隊
をもつて北方より之を攻撃中であつ
たが酒井兵團長は五月廿八日朝倉橋
部隊正面の戰團が有利に進撃し蘭谿
東南方八キロに當る太子橋北方高地
線に追擊中である旨の報告により九
時四十分下吳(蘭谿北方四キロ)を
出發兵團司令部の先頭に在つて下吳
から石陣を經由、蘭谿道を蘭谿南端
に向ひ前進してゐた、しかるに同兵
團が蘭谿北方一キロに當る三叉路を
通過せんとするや突如轟然たる一大
爆音と共に馬列が四方に散亂した、
不幸敵の埋地雷雷に觸れたのである
酒井兵團長も乗馬諸共横倒しとなり
約八〇厘の地雷の爆發孔内に轉落、
時正に十時四十五分、兵團長の乗馬
は右前肢、頭部及腹部を粉碎即死し
兵團長の兩長靴は破れて鮮血が迸つ
てゐた、附近者及び軍醫部長は直ち
に手當を施したが兵團長は左脚、脛
部及び右足前部に重傷を受け、しか
も重傷に屈せず、○部隊長を呼び
喚然と「大丈夫だ、心配するな、○
部隊長は兵團長代理、俺にかまは
ずドンドン作戰を指導せい」と命令
を下し、間もなく蘭谿北方八百里の
二軒屋に收容された、兵團長は重傷
の身を横へつ、しかも續いて起る
爆雷の音を耳にして「嗚呼又部下が
地雷の犠牲となるか……」と嘆息し
部下の事のみに走つてゐたが、軍醫
部長が逐次衰弱して行く兵團長の身
を案じ血液型を尋ねたところ「俺は
部下の血を貰はうとは夢にも思は
ん」と斷乎輸血を拒絕した、兵團長
が重傷にも屈せず意外に元氣なので
部下一同は「馬が兵團長の身代りこ
ろ突如容態急變し幕僚長以下に護ら
れて午後二時十三分眠るが如く瞑目
した、爆風による内部傷が致命傷と
なつたのである、同兵團將兵は蘭谿
入城の前に散華した兵團長の靈に酬
ひるべく遺骨を抱いて衢州、玉山、
上饒へと破竹の進撃を續け遂に十數
萬の敵大軍を潰滅せしめたのであつ
た

北支戰況

北支軍安達部隊長談

北京【九・三】北支軍は北支蒙疆に蠢
動する國共黨軍を徹底殲滅すべく七
八、九の三ヶ月にわたる全華北の戰
野に肅清討伐作戰を展開し謂はゆる
敵の政治攻勢を粉碎したが、北支軍
安達部隊長は廿日記者團と會見し、
左の如き談話を發表した
「作戰狀況については第一四半期は
全支に亘り積極作戰を展開し治安肅
清の總ざらひをやつたが、今期に於
ては一面積極作戰を繼續しつ、治
安圈の擴大と固定に力を注ぎ適切な

の施策と高梁繁茂期の攻勢作戦によ
敵の企圖を完全に粉碎し多大の戦
果をあげた、これを作戦地別に見る
と次の九作戦である、即ち山東方面
においては章邱周邊作戦により死
軍翟毓麟伯文等を攻撃、遺棄死體
二〇六、捕虜三八五の戦果をあげ
徠山周邊作戦においては共産軍泰安
偽縣長荏子元匪を捕撃三千餘名を歸
順せしめ、その數次に亘り于學忠軍
を攻撃、遂に于學忠に重傷を負はし
めた、更に蒙疆方面に敵遊撃支隊、
共産雜軍を捕撃、更に守備地區を遠
く離れて出撃し烏鎮周邊作戦により
傳作義軍大攻撃を敢行、蔣系五百一
軍、百十三、百十四兩師に捕撃遺棄
屍二、三百、捕虜百三十四の大戦果
を収め、冀東においては共産第十二
團、第十三團基幹を攻撃、遺棄屍體
一千三百四十、捕虜一萬二千八百の
戦果を挙げ又山西方面においては則
界村周邊において蔣系第四十軍主力
覆滅作戦を展開し多大の戦果をあげ
た、この積極作戦の進展に伴ひ華北
の治安圏の擴大固定工作は着々と進
捗し、これに協力する農民の犠牲的
努力奉仕により治安地區と未治安地
區とを境する遮斷工作は總延長既に
一萬一千八百六十軒に及び、又敵匪
の蠢動を封殺するトーチカ陣地の數
も七千七百を突破大されつつある、
の治安圏は逐次擴大されつつある、
今期間に於ける交戦回数三千八百八
十回に及び前年同期に比し千八百四
十三回の減少を示し、交戦敵兵力は
四十二萬九千九百十九名となり前年同
期に比し四十萬二千二百名を減少し
約半数に低下してゐる、また敵遺棄
死體十一萬三千八百六十一名捕虜一

萬六千五百五十八名となつてゐるが、
交戦敵兵力が半減してゐる點が劃期
的な戦果である、今次作戦に於いて
特に注目すべきは歸順兵が極めて多
く七千九百六十六名に達し、昨年同
期に比し約二倍となつてゐる、又六
獲兵器は迫撃砲一二七門、重機六八
兵器四五五、小銃一萬六千六百十七と
交戦回数に比し戦果は著しく大きい
以上の如く今期作戦の實施により敵
の戦力は更に一段と低下し、一方我
が方の治安圏は擴大固定し民衆の協
力最高潮に達し我が清作戦は順調
に進行してゐる、軍は治安確立の根
本的問題として食糧問題並に物價問
題を重視してゐる、本年度の小麥產
額は平年作を保持し得た、しかし華
北食糧の自給は未だ望めないが、南
方よりの輸入米、日滿兩國よりの供
出により何等不安はない、物價對策
は徐々に機構の整備其他施策によつ
て順調に遂行されてゐる、第五次治
安強化運動は共産軍が軍、政、經を
一元化して抗戦運動を企圖してゐる
から、我が方も軍、政、經各部門を
總動員して敵の攻勢を粉碎すべく強
力な運動を展開してゐる

北支軍八月中綜合戦果

北京【九三】北支軍では八月中にお
ける綜合戦果につき二十三日午後三
時の如く發表した
わが軍の不斷活潑なる肅正作戦に
より窮地に陥れる敵は、極力わが方
に包藏する各種の矛盾と大東亞戰爭に
よる國際地位の不利を隱蔽彌縫せん
がため、政治攻勢を豪語し荒唐無稽
なる宣傳を以て民心收攬にこれ努め
新政權側に対する笑止なる謀略的蠢
動を現はし來れるも、北支軍は積極
果敢なる討伐により、却つて巧みに
これを捕捉し敵に何等見るべき成果
を與へずして左の如き綜合戦果を收
めた(括弧内は前年同期の分)
△交戦回数一、三五六一、八一四
△交戦敵兵力一六〇、六一二、二五
八、七〇八 △遺棄死體七、八三五
(七、五八八) △捕虜六、〇四八(二、
二七三) △主なる鹵獲品 迫撃砲一
九(六)、重機八(なし)、輕機一五
(七〇)、小銃、四、七五〇(二、八
一四)、自動小銃七二(三八)、拳銃
一、〇三五(五八四)
即ち交戦敵兵力は前年同期に比し六
十一パーセントに激減せるに對し、
遺棄死體は百三三パーセント、特に俘
虜に於ては二百七十七パーセントに激
増し、鹵獲品においてもそれぞれ二
倍に増加し、本年に入り特に顯著と
なる現象にして、敵の戦力と抗戦
意識とが衰退の一途を辿りつつある
ことを如實に物語るものなり
北京【九三】北支軍の積極果敢な肅
清作戦により北支蒙疆方面の國共軍
勢の企圖も完全に粉碎され、二十三
日北支軍發表の如く、八月中の綜合
戦果は昨年同期に比し交戦兵力は約
六分の一に低下し、捕虜はこれに反
比例して約三倍の六千四十八名に増
加してゐる、更に鹵獲品は夫々二倍
強となつてゐるの注目される、こ
れは國共相剋による敵側の軍規不統
一と民衆の治安地區への協力による
戦力の低下が主要な原因で、特に山
東、山西南部地區並に蒙疆京北地區
においてこの傾向が顯著である

冀東に新劃共作戦

冀東前線【九三】我が精銳各部
隊は豐潤、樂亭、遷安盧龍四縣境の
山嶽地區に餘喘を保つ晋察冀邊區第
十二、十三團の共産敗殘軍に對し九
月中旬これを徹底的に殲滅すべく武
力、建設兩面の新作戦の火蓋を切つ
た、即ち我が〇〇部隊は古冶東北方
一十軒の白雲山に蟄居する共匪に對し
またこれに反應する各部隊も一齊に
行動を開始各部隊とも着々戦果を擴
大中である、一方この作戦と併行す
る建設作戦も農村大衆の協力のもと
に農繁期にも拘らず豐潤榛子鎮、沙
河鎮間の自動車道路、排水路などの
完成に活躍してゐる
冀東前線【九三】今次作戦の注
目すべき點は大東亞戰爭の歴史的勝
利と相俟つて民衆が皇軍の眞意を理
解し共匪の魔手より離脱すべく積極
的に我が軍に協力してをり、冀東地
區を糧道となつてゐた共匪團に大
打撃を與へてゐることである
▲別働工作進む 冀東前線にて【九
三】我が乾、江田、眞方討伐隊は漸
次各村落の徹底的別働工作を實施し
てゐるが、目下宇高討伐隊は韓新庄
王家店、蓮花池を清掃乾討伐隊は新
店を中心として太平庄一帯に別働陣
を布き更に江田討伐隊も蓮花池、乾
家坨前小寨庄を、眞方討伐隊も主力

燕京道八月中綜合戦果

北京【九三】わが軍の燕京道各地に
於ける殘匪肅清討伐の八月中の綜合
戦果左の如し
△交戦回数四八 △交戦敵兵力四、〇
一五 △遺棄死體一九五 △捕虜七八
〇 △六三、拳銃小銃八四、同彈藥三、
其他武器彈藥多數

をもつて楊新庄方面を、一部をもつ
て太平庄肅清作戦を續行中である
中共の對日政治攻勢低調
北京【九三】去る七月七日、所謂七
・七宣言なるものを發した中國共產
黨軍は最近高梁繁茂期を狙つて専ら
對日政治攻勢の全面的展開を企圖し
ながら僅かに北支蒙疆の一部におい
て低調な蠢動を試みるに過ぎぬ、彼
らの襲撃、物資窃取、電線切断、道
路破壞、鐵道妨害等大小取交せて七
月中三二二件(昨年五五六件)、八月
中五八二件(昨年七六二件)で前年
に比し著しい低調振りを示してゐる
中共北方局では全黨軍の士氣を鼓舞
するため去る九月五日(河北死守一
を諱下各部隊、各機關全部に對し下
大東亞兵站基地としての河北特に
冀中軍區の奪還を政治攻勢によつて
強行すべく戦力低下を極度に回避し
つつ最後の努力を遊撃戰と宣傳攻勢
に置き離反せんとする黨員や民衆の
引止めに躍起となつてゐる

冀東に新劃共作戦

冀東前線【九三】我が精銳各部
隊は豐潤、樂亭、遷安盧龍四縣境の
山嶽地區に餘喘を保つ晋察冀邊區第
十二、十三團の共産敗殘軍に對し九
月中旬これを徹底的に殲滅すべく武
力、建設兩面の新作戦の火蓋を切つ
た、即ち我が〇〇部隊は古冶東北方
一十軒の白雲山に蟄居する共匪に對し
またこれに反應する各部隊も一齊に
行動を開始各部隊とも着々戦果を擴
大中である、一方この作戦と併行す
る建設作戦も農村大衆の協力のもと
に農繁期にも拘らず豐潤榛子鎮、沙
河鎮間の自動車道路、排水路などの
完成に活躍してゐる
冀東前線【九三】今次作戦の注
目すべき點は大東亞戰爭の歴史的勝
利と相俟つて民衆が皇軍の眞意を理
解し共匪の魔手より離脱すべく積極
的に我が軍に協力してをり、冀東地
區を糧道となつてゐた共匪團に大
打撃を與へてゐることである
▲別働工作進む 冀東前線にて【九
三】我が乾、江田、眞方討伐隊は漸
次各村落の徹底的別働工作を實施し
てゐるが、目下宇高討伐隊は韓新庄
王家店、蓮花池を清掃乾討伐隊は新
店を中心として太平庄一帯に別働陣
を布き更に江田討伐隊も蓮花池、乾
家坨前小寨庄を、眞方討伐隊も主力

京北地區八月中綜合戦果

張家口【九三】我が軍の八月中にお
ける京北地區の共産軍覆滅作戦綜合
戦果は左の如し
△交戦回数二六一 △抗戦敵兵力七、
三〇〇 △敵遺棄死體三五〇 △捕虜一
五〇 △鹵獲品、小銃一、一四、同彈藥
一、五〇〇、拳銃一六、手榴彈一、
〇五〇

魯西に劃共新作戦

なほ共産軍政治工作員及び幹部の歸
順、投降者は續出し、八月中に於て
百十五名に上つてゐる
山東省西部〇〇前線【九三】わが軍

は山東省西部舊黄河河畔一帯に蟠居し猛攻中
 齋動を續ける魯西地區共產軍第百十五師教導第三旅長柳勇麾下その他五千の共產軍を殲滅するため秋冷の九月廿七日拂曉一齊に行動を開始した即ち大島、引地、田中、平島、小松の諸部隊は鐵牛部隊と呼び東南方より國井、坪井、津田、田添、岩佐梅澤の諸部隊は北方よりまた山田、大泉、櫻井の諸部隊及び〇〇鐵牛部隊は西方よりいづれも廿七日拂曉一齊に行動を起した

▲包圍圈内に壓迫 山東前線〇〇
 喘を保つ共產第十八集團軍一五師教導第三旅長柳勇其他約五千の徹底殲滅を期して、昨年二十七日拂曉一齊に行動を開始した我が精銳諸部隊は水も洩らさぬ包圍圈を形成、分散を企圖する敵を隨所に捕捉、これを中心部に壓迫中である、二十七日夕刻までの戦況次の通り

一、北方より進撃した國井、坪井、津田、田添、岩佐の諸部隊は梅澤快速部隊と共に二十七日拂曉車臺頭(范縣東方約六キロ)に於て敵二百と遭遇、これを猛攻包圍圈内に潰走せしめた

一、引地、土屋、田中、手島、小松森田の鐵牛各精銳部隊は東南方より攻撃を開始したが、田中部隊は陽二莊濮縣東方八キロ、手島部隊は那子舖(濮縣東方十キロ)附近に於てそれぞれ敵と遭遇これを包圍し前に李家橋(濮縣東方約十キロ)附近に捕捉、猛攻を加へ、遺棄死體三十を

残して潰走する敵を猛追中
 一、山口、大泉、櫻井、村瀬の鐵牛各部隊は同日午後舊黄河左岸堤防に沿ひ逸脱せんとする約二百の敵に對

し猛攻中
 ▲敵本據單堂を占領 山東〇〇前線
 【九三】 秋色漸く深まり行く魯西の大平原に二十七日拂曉を期して展開された今次西部山東舊黄河河畔別居作戦は隨所に敵を捕捉撃攘しつつ敵本據單堂(河北省境范縣東南方七キロ)に肉薄、同地周邊に蝟集しつつあつた敵教導第三旅の一部約八百を撃摧して本據單堂を占領、息づく間も附近を掃蕩中である、二十八日迄に判明せる戦果左の通り

敵屍一、三四六、捕虜一、七八〇、鹵獲品、小銃五九〇、同彈藥四、八五三、手榴彈九六八その他多數
 ▲冀東蔣司令且佩東投降 青島
 【九三】 山東中部山岳地帯に蟠居露動中の蔣系新編第四師及び且佩東、王積平の有力匪團に對し、我が〇〇部隊は去る廿二日より掃蕩を開始したが、廿四日且佩東は遂に抗戦の非を悟り、部下八百、輕機四、小銃八百を携行して我が方に投降し、且は國に邁進することを宣誓した、是は露光縣出身、本年四五歳、冀東抗日軍第二軍參謀長を経て趙子正の參謀長となつたが、昨年趙の死去により同司令の職に昇任、現在に至つたものである

四、〇一七、拳銃七〇、自動小銃一〇、各種彈藥三四二三、手榴彈七一八、其他兵器糧秣など多數
 ▲九月初旬綜合戦果 太原【九三】
 わが精銳諸部隊は連日共匪討伐を敢行、敵の企圖する政治攻勢を擊碎しつつあるが、九月一日より十日までに收めた綜合戦果は次の如くである

△敵遺棄死體二二二△俘虜三四四△鹵獲品 小銃五八、彈藥一一五〇、迫撃砲彈三〇、手榴彈二〇四、拳銃三五、其他他被服糧秣、火藥多數

△交戦回数二五二 △敵交戦兵力二五、五八七△敵遺棄死體一、〇二九 △捕虜七六二△鹵獲品 重機一六山砲彈六〇、小銃四一一、同彈藥一

行山脈の隨所に戦果擴大中である
 河南省北部肅清戦果
 開封【九三】 わが棚田、菱田兩部隊を始め諸部隊は最近治安地區に侵入して物資入手を企圖し河南省北部濟源、孟縣、溫縣の各地に齋動する敵暫編第十五旅並びに遊撃第十八支隊及び第二六縱隊約二千三百の敵を撃滅するため去る十日より一齊に行動を開始し、僅かに五日間に於てこれを完全に黄河南岸敵地區へ撃退し左の戦果を上げた

敵屍體二三〇、捕虜二四、小銃一一〇其他多數

△中支軍當局談(二十一日午後五時)
 今次浙贛作戦に於て東方より進撃したる浙江省方面作戦軍の綜合戦果左の如し(五月十五日より八月十八日迄)

△作戦期間約三ヶ月(進攻期間約一月半)
 △交戦兵力約三十ヶ師△敵損害 潰滅したる兵團、五ヶ師、大打撃を與へたる兵團、七ヶ師、小打撃を與へたる兵團、十八ヶ師△交戦地域 浙贛平地約二十萬平方キロ△戰場踏破 距離最長部隊約十キロ△破壊したる主なる飛行場(含施設)、玉山、衢州、

廣信、廣豐、麗水、温州△破壊したる軍橋大小約五〇〇△浙贛鐵道(軌條施設)の大部分徹收△爆破したる鐵トーチカ約一、五〇〇△潰滅したる敵軍需倉庫約三〇〇△敵軍損害 戦死二三〇、七九、俘虜八、二九二△鹵獲品 各種野山砲九二、各種砲彈五四、七六八と九六九箱、重機一五九輕機四〇〇、機關銃三一四、六六八と二〇〇箱、小銃九、三六八、同彈(含拳銃彈)四八一、一五六と三四箱、拳銃一八二、爆彈二〇七、〇地雷二、六八三、手榴彈二〇七、〇一四と一九箱、その他兵器、通信機材、運輸施設、燃料礦石等軍需物資は極めて多數△我損害 戦死及び戦病死一、〇六一

なほ八月十九日戦線整理開始以來九月廿日までに判明したる戦果左の如し△敵側戦死四六九△俘虜七一△鹵獲品 速射砲一、重機二、輕機一二、小銃一八四、同彈八、九二八、拳銃一五、我損害戦死九

▲浙江省方面軍幕僚談話 浙江〇〇基地【九三】 中支軍當局では廿一日浙贛作戦における浙江省方面作戦軍の綜合戦果を發表したが、右に關し浙江省方面作戦軍幕僚は大要左の如き談話を發表した

今次浙贛作戦中、浙江省方面作戦軍で行つた主要作戦は東陽江河盆殲滅戰、金蘭會戰、衢州會戰上徳攻略戰、靈溫作戦、浙贛打通作戦、松陽遂昌作戦と、最後に伸張した大戦線の整理作戦と前後五ヶ月に亘る大作戦の連続に終始したのである、しかも今次作戦は大洪水といふ大自然の障害に、また續いて襲つた猛暑と共に將兵の勞苦は言語に絶したのである、洪水と猛暑が今作戦の一つの特徴で

△太行山脈に剿共新作戦開始
 太原【九三】 わが齋藤、印南、倉重の諸部隊は北部太行山脈に蟠居する晋察冀邊區萍聚集團軍を殲滅すべく去る二十七日夜半行動を開始し、冷氣清を刺す太行山の峻嶽を登攀、東方より猛進撃を續けた齋藤部隊は二十八日夜早くも敵の牙城阜平(河北省西部)に突入り、倉重部隊又二十九日拂曉阜平に入城齋藤部隊と協力阜平周邊の敵軍を捕捉殲滅した、又遠く迂廻した印南部隊も二十九日拂曉には第二軍分區郭天明軍の據點阜平北方廿八軒の關鎖を急襲した、齋藤、倉重、印南の諸部隊は目下太行山脈の隨所に戦果擴大中である

△山西共匪討伐八月中綜合戦果
 太原【九三】 わが軍は山西省内に蟠居する共匪の剔抉に寧日なき敢闘を續けてゐるが八月中綜合戦果左の如し

△交戦回数二五二 △敵交戦兵力二五、五八七△敵遺棄死體一、〇二九 △捕虜七六二△鹵獲品 重機一六山砲彈六〇、小銃四一一、同彈藥一

中支戦況

浙江省方面作戦軍綜合戦果

あるとともに、この大戦中作戦全軍が全期間を通じてあらゆる物資に亘り百パーセントに近い自給自足のもとにおいて敵第三戦区を根柢より覆滅し、再起不能に陥らしめたことは銘記さるべきである、いまや我が軍は所期の目的を完全に達し新占領地域を占有奪取すると共に、随時随所に敵の企圖を撃退する戦略態勢を完成した

金華前線の敵を撃滅

金華【九・三】金蘭、武義地区を確保せるわが精銳部隊は金華前面に進出し來つた敵を撃滅すべく、廿四日拂曉突如行動を開始し、白龍橋(金華西方約二軒)附近において敵を側面より奇襲、多大の損害を與へこれを南方に撃退せしめた、戦果左の如し
△敵遺棄死體三二〇△俘虜六〇△鹵獲品、重機彈藥多數

歐米戦争

綜合 台戦況

獨軍公表戦況

ベルリン【九・三】獨軍司令部廿一日發表

△東部戦線
一、獨軍はスターリングラード市内の隨所において増援兵力を得て死物狂ひの抵抗を試みる赤軍と熾烈な市街戦を展開中である、赤軍は救援のため同市北部の獨軍陣地に對し反復攻撃を加へ來つたが、獨軍は大損害

を與へてこれを撃退した
一、テリョク戦線の獨軍は、強固な地雷原を突破、激戦の後テリョク及びヴラヂミロフスキイの二要衝を占領した
一、獨空軍は大舉サラトフ地区を襲撃、ヴォルガ河畔の燃料庫に大火災を生ぜしめた
一、獨爆撃機隊は廿一日悪氣流を冒してアルハンゲリスク灣で作戦、英米大護送船團の残存商船隊に對し反復爆撃を加へた
△北阿戦線
一、獨空軍はエル・アラメイン地区及び南部沙漠地帯の英軍集團に猛爆を加へ、空中戦で英戦闘機四を撃墜した
一、九月九日より廿日までに、英側は飛行機百八十九機を喪失、獨側は廿二機を失つた

日二廿
ベルリン【九・三】獨軍司令部廿二日發表
△東部戦線
一、廿日夜赤軍はノヴォロシスク北西部に快速艇及び驅逐艇より一部隊を上陸せしめんとしたが獨艦艇はこれを撃退して敵の企圖を挫折せしめた、一方獨空軍部隊はツアプセ港内の敵船舶を急襲し多大の損害を與へた
一、クバンからカスピ海に至る作戦地域における戦闘では獨軍は地雷原を突破して赤軍陣地を粉碎、遂にダイスコエ市を占領した
一、スターリングラード市街戦では頑強に抵抗する敵兵との間に凄壯なる白兵戦を演じ要塞化された建物に奪取し捕虜多數を得た、市の北部地区に於て赤軍は獨軍陣地に攻撃を試みたが獨軍の反撃に遭つて後退し甚

大なる損害を蒙つた、右戦闘で赤軍は戦車廿一臺を失した
一、ドン河の獨軍電撃部隊は波河を横行敵陣地廿五を一舉に破砕した
△地中海
東部地中海の作戦中の獨潜水艦は五百噸級商船一隻を撃沈した
△西部作戦
西部占領地区の沿岸に來襲し來つた英機六機及びデンマーク近海に現れた英機はいづれも撃墜された
一、獨爆撃機隊はイングラッド南岸地帯の敵軍事施設を強襲これに巨弾の雨を降らした
一、グラフ空軍大尉は又復敵機三機を屠り九月廿一日をもつて大戦勃發以來百八十五機撃墜の記録を樹立した

日五廿
ベルリン【九・三】獨軍司令部廿五日發表
△東部戦線
一、スターリングラード猛攻中の獨軍は熾烈な市街戦に於て更に堅固に防禦された數地點を奪取し、赤軍は市の北方に構築された獨軍陣地に對し牽制的攻撃を行つて來たが、樞軸同盟軍は激戦のちこれに撃退、敵戦車三十六臺を撃破し又獨空軍は市東方の敵飛行場數ヶ所に晝夜の別なく猛爆を加へた
一、コーカサスでも堅固な敵陣地を攻撃中の獨軍並に同盟軍は數回にわたる敵の反撃を撃退したのち新據點を奪取した一方獨空軍はコーカサス南岸沖でソ聯船を爆撃、貨物船二隻を大損害を與へた
一、獨空軍はスターリングラード東北方三百キロのサラトフに夜襲を敢行、再度敵石油貯藏所を炎上せしめ

た、又ヴォルガ河口でソ聯油槽船二隻を撃沈した他カ河川用船舶二隻に損傷を與へ更に軍用列車一輛を炎上せしめた
一、中部並に北部戦線に於ける獨軍並に同盟軍は成功裡に攻撃を續行した
△その他の戦線
一、東部地中海で獨潜水艦は敵輸送船一隻を撃沈した
一、廿四日獨爆撃機には其南岸各地の軍事施設及び西南岸の鐵道連絡地點に低空爆撃を加へ戦果をあげた

日六廿

ベルリン【九・三】獨軍司令部廿六日發表
一、コーカサス北西及びテリョク河戦線に於て獨軍並に樞軸同盟軍は空軍の有效なる支援の下に強力に要塞化されたソ聯軍陣地數ヶ所を突破した
一、黒海のコーカサス海岸沖合に於て獨快速艇隊は二千噸のソ聯油槽船一隻並に千五百噸のソ聯貨物船一隻を撃沈した
一、スターリングラード戦に於て獨軍は激戦の後ヴォルガ河岸附近に在る共產黨所屬の建築物を粉碎した
一、赤軍は獨軍及び樞軸同盟軍により構築されたス市北部堡砦に對し反撃し來つたが獨軍はこれを撃退した
一、前記戦闘に於て赤軍は戦車廿一臺を失つた
一、獨爆撃機隊はアストラハンの鐵道施設並に石油貯藏庫に對し夜間爆撃を敢行、數ヶ所に大火災を生ぜしめた
一、ヴォロネジ地区の戦闘は依然繼續されてゐる
一、東部戦線の中部地区に於て獨軍は枝隊並に防衛隊は赤軍の頑強なる抵抗を克服して數ヶ所の村落を占領した
一、イルメン湖南方に於て赤軍は局部的攻撃を行ひ來つたが獨軍はこれを撃退した
一、英機四機はノルウエーのオスロ市に白晝攻撃を行つたが獨戦闘機隊はその内三機を撃墜した
一、獨空軍は廿五日夜イングラッド西南部の要港を空襲、高性能爆弾並に燒夷彈を投下した

日七廿
ベルリン【九・三】獨軍司令部二十七日發表
一、コーカサス北西部及びテリョク戦線の獨軍は頑強な赤軍の抵抗を撃破して強固なる陣地より撤退せしめ、特にテリョク戦線では赤軍の反撃を撃退して、赤軍二個大隊を殲滅、捕虜數百名を得た
一、獨空軍はまたツアプセ軍港に對し猛爆を加へた
一、スターリングラード市中央部では獨歩兵部隊は赤軍陣地數個所を占領、空軍の掩護下に數地點においてヴォルガ河岸に到達した

日九廿
ベルリン【九・三】獨軍司令部二十九日發表
一、スターリングラードの獨軍は二十八日、激戦のち同市北部地区に突入、同地区における赤軍の反撃は不成功に終つた
一、コーカサスならびにテリョク河南方において、獨軍は峻峻な山嶽地帯の密林に鞏固な防備陣を布いて頑強に抵抗する赤軍を攻撃陣地數ヶ所を奪取した
一、獨空軍はツアプセの港灣施設を爆撃、ソ聯中型貨物船二隻を破壊した
一、ドン河戦線におけるハンガリー

の軍勢は依然強固な陣地を保持し、獨軍は激戦の後ヴォルガ河岸附近に在る共產黨所屬の建築物を粉碎した
一、赤軍は獨軍及び樞軸同盟軍により構築されたス市北部堡砦に對し反撃し來つたが獨軍はこれを撃退した
一、前記戦闘に於て赤軍は戦車廿一臺を失つた
一、獨爆撃機隊はアストラハンの鐵道施設並に石油貯藏庫に對し夜間爆撃を敢行、數ヶ所に大火災を生ぜしめた
一、ヴォロネジ地区の戦闘は依然繼續されてゐる
一、東部戦線の中部地区に於て獨軍は枝隊並に防衛隊は赤軍の頑強なる抵抗を克服して數ヶ所の村落を占領した
一、イルメン湖南方に於て赤軍は局部的攻撃を行ひ來つたが獨軍はこれを撃退した
一、英機四機はノルウエーのオスロ市に白晝攻撃を行つたが獨戦闘機隊はその内三機を撃墜した
一、獨空軍は廿五日夜イングラッド西南部の要港を空襲、高性能爆弾並に燒夷彈を投下した

軍部隊は局部的攻撃に成功した
一、獨空軍並に地上部隊は東部戦線北部において、多數の赤軍トーチカを破壊、赤軍は多數の死傷者を出した
一、獨空軍はアルハンゲルスク港灣施設を爆撃數ヶ所に大火災を生ぜしめた

一、獨空軍は廿八日白晝イングラッド南東部諸地方の重要施設を爆撃しグレートヤーマス東部で英貨物船一隻を大破した

獨ソ戦線

ソ聯情報局發表

日一廿
モスクワ【九・三】ソ聯情報局廿一日夜發表

一、廿一日ソ聯軍はスターリングラード並にモズドク地區に於て激戦を行つた
一、スターリングラードに於ては激戦進行中でソ聯軍獨戰車、歩兵の猛攻を阻止した
一、モズドク地區に於ては敵は戰車自動小銃部隊を集中してゐる

日二廿

モスクワ【九・三】ソ聯情報局二十二日夜發表

一、赤軍は二十二日スターリングラード、及びモズドク地區に於て激戦を行つた
一、スターリングラード地區に於ては激戦進行中で市の南隅に於てはドイツ歩兵〇聯隊が攻撃に轉じて來た赤軍迫撃砲隊はこれに一齊射撃を加へた、他の地點に於ては獨軍は激戦の後二ヶの市街を占領した、市の西北に於ては赤軍は積極的行動に出た

日三廿

モスクワ【九・三】ソ聯情報局二十四日公表戰況次の通り

一、モズドク地區に於ては赤軍は敵戰車機械化歩兵部隊と戦闘を交へた
一、スターリングラード並にモズドクに於ては激戦展開中
一、スターリングラードにおいては激戦進行、獨軍は飛行機をもつて兵員彈藥を補給中、同市西北部においては獨軍は積極的攻撃に出でた

日五廿

モスクワ【九・三】ソ聯情報局廿五日夜來赤軍はスターリングラード、モズドク及びグライマ地區に於て激戦を行つた

一、スターリケグラードに於ては激戦進行中である
一、モズドク、及びビシヤイノ地區に於ては赤軍はスターリングラード地區に於ては獨軍の陣列に向つて間斷な砲彈、迫撃砲彈を打ち込んで來てゐる市西北に於ては赤軍は積極的行動に出た、獨軍は急遽この地點に新手的豫備隊を繰り出し反撃に移りつゝある

日七廿

モスクワ【九・三】ソ聯情報局廿七日夜發表

一、廿七日我軍はスターリングラード、モズドク及びシニヤイノノ地區に於て激戦を行つた
一、スターリングラード地區に於ては激戦が行はれ特に一地區に於ては激戦が進行し獨軍は若干進出する事に成功した、この地區では家屋一戸々々の爭奪戦が行はれてゐる市の西北部に於ては我軍は積極的行動に出た
一、モズドク地區に於ては獨軍の戰車、歩兵の大集團と激戦を行つたので我軍は數的に優勢な敵の壓迫に依つて數ヶ部落を抛棄した

日九廿

モスクワ【九・三】ソ聯情報局廿九日夜發表

一、赤軍は廿九日スターリングラード、モズドク及びシニヤイノノ地區に於て交戦した
一、スターリングラード地區に於ては激戦進行中であり一日中獨軍戰車歩兵の大軍は空軍掩護の下に次から次と市西北部の陣地を攻撃してゐるが赤軍は依然としてその陣地に止つてゐる
一、ヴォルガ艦隊の所屬艦艇は砲門を開いて獨軍を砲撃してゐる、市西北方に於ては赤軍は積極的行動に出つてゐる

日十三

モスクワ【一〇・〇】ソ聯情報局卅日夜發表

一、卅日赤軍はスターリングラード及びモズドク地區において激戦を行つた
一、スターリングラード地區においては激戦進行中、市の西北端においては獨軍は更に一箇師團の戰車が攻撃に繰り出した、一地點においては獨軍は赤軍を壓迫してゐる

獨軍戰況發表

日一廿

ベルリン【九・三】獨軍司令部はスターリングラード市街線の戦況につき廿一日次の如く補足發表した

一、モズドク地區においては獨軍は激戦が進行し獨軍は若干進出する事に成功した、この地區では家屋一戸々々の爭奪戦が行はれてゐる市の西北部に於ては我軍は積極的行動に出た
一、モズドク地區に於ては獨軍の戰車、歩兵の大集團と激戦を行つたので我軍は數的に優勢な敵の壓迫に依つて數ヶ部落を抛棄した
一、スターリングラード市内の獨軍は熾烈なる市街戦を展開しつづ著々戰果を擴大中である、即ち獨工兵隊は赤軍の猛烈な十字砲火を冒して縱深二百メートルの地雷原に敷設せる地雷千五百四個を處分、歩兵部隊及び戰車隊の進攻路を切り拓いた、また獨爆撃機隊は同市中央部の赤軍トーチカ陣地を強襲砲十一門を沈黙せしめ更に北部重要據點に進出中の赤軍部隊を猛爆大損害を與へた他方獨軍獨地上砲火もまた六機を撃墜した、獨側の損失は二機であつた

日四廿

ベルリン【九・三】獨軍司令部二十四日發表

一、獨軍は廿五日五時間に亘る激闘の後テリョク河東岸、プロフラードスイオロゾスキエキゼ鐵道の要衝ヴラヂモルフスキイの突入、頑強なる赤軍の抵抗を排除して遂にこれを制壓した後、更に南進を續行、隨所に赤軍陣地を突破し沼澤地帯を越えてテリョク河東岸の要衝テリョクに猛攻を加へこれを完全に占領した
一、獨軍は更に一箇師團の戰車が攻撃に繰り出した、一地點においては獨軍は赤軍を壓迫してゐる

日三廿

ベルリン【九・三】獨軍司令部二十三日發表

一、スターリングラード市内及びその周邊に於ける戦況は熾烈なる市街戦が展開中である、同市

開はその激烈さを些かも減ずることなく行はれてをり、赤軍の頑強な抵抗にも拘らず獨軍は市内中心部に於て更に新たな地域を占據した
一、コーカサス方面に於ても獨軍は攻撃進行中大規模な敵反撃は悉く之を撃退した、また獨空軍はコーカサスの一港灣に於て浮船渠及び中型貨物船一隻に損傷を與へた
一、ヴォロロネジ北西方面で敵は戰車二十五臺を喪失した
一、東部戦線中部並に北部地區の數ヶ所獨軍は局部的作戦を成功裡に展開しつづある
一、強力なる獨空軍はルゾコフ地區の敵後方連絡點に集結中の軍需物資を晝夜に亘り、爆撃、多大の戰果をあげた
一、獨軍急降下機隊はムルマンスク西方リバキ半島沿岸の敵重要基地を爆撃した
一、獨、芬戰闘機隊は極北部戦線で敵機十九臺を撃墜した

一、獨軍は廿五日五時間に亘る激闘の後テリョク河東岸、プロフラードスイオロゾスキエキゼ鐵道の要衝ヴラヂモルフスキイの突入、頑強なる赤軍の抵抗を排除して遂にこれを制壓した後、更に南進を續行、隨所に赤軍陣地を突破し沼澤地帯を越えてテリョク河東岸の要衝テリョクに猛攻を加へこれを完全に占領した
一、獨軍は更に一箇師團の戰車が攻撃に繰り出した、一地點においては獨軍は赤軍を壓迫してゐる

一、獨軍は更に一箇師團の戰車が攻撃に繰り出した、一地點においては獨軍は赤軍を壓迫してゐる

北方の赤軍は有力なる部隊をもつて反撃に出たが獨軍は赤軍戦車三十四臺を擱座せしめた、地上部隊の活躍に呼應し、獨空軍はヴォルガ河下流の東方並に西方の赤軍補給路及び鐵道を猛爆した

一、中部地區に作戦中の獨軍は着々進撃の歩を進め、屢々反撃に出たルジョフ方面の赤軍をその都度撃退した

一、北部地區の獨軍必死の抵抗を排してラドガ湖南方で進撃を續けてゐる

廿六日

コーカサスの獨軍

ギリ押し

ベルリン【九・三】獨軍司令官はコーカサス並にスターリングラード戦況に關し二十六日左の如く發表した

△コーカサス地區 一、獨空軍は二十九日夜アルハンゲルに進入しこの水上輸送路に對しひつかりなしに猛攻を加へてゐるので、市中防衛の赤軍は既に完全な孤立状態に陥りその戦力は非常に弱まつて來た、これに對し赤軍の有力部隊は依然として市外の北部から救援の反攻を繰りかへしてゐるが獨軍の堅陣を突破する力はなからスターリングラードの戦況は漸く殘敵掃蕩戦になつて來た

地區では目下悽絶なる掃蕩戦が續行されてゐる、敵部隊一部は市街北部の獨軍占領地域奪回を目指して反撃を試み來つたが獨軍に全滅された、右戦箇中獨軍が破壊せる敵戦車数は既に發表された廿一臺を加へて廿七臺に達した、更に獨爆撃隊及び急降下爆撃隊は敵戦車十一臺に直撃彈を浴せて之を撃破した、尙空軍戦果の主なるもの左の如し

(一) 擊墜敵機廿六機 (二) 炎上せし敵貨物列車十六 (三) 停車場其の他鐵道施設の破壊せるもの多數

ベルリン【九・三】獨軍司令官はスターリングラード戦線では獨軍は同市北部の數ヶ所で新地點を占領した

三十日

ソ聯機九百六十を撃墜破

ベルリン【九・三】獨軍當局廿九日正午の發表に依れば九月十五日より廿八日迄の期間において赤軍は飛行機九百六十四機を失つたが右の中八百十六機は空中戦において獨軍機に、更に百廿一機は獨地上砲火によりそれぞれ撃墜され十七機は地上にて撃

摧された尙右發表によれば右期間中東部戦線において獨空軍は飛行機七十七機を喪失した

ベルリン【九・三】九月末日現在の獨軍戦況を概観すれば左の通り

△スターリングラード戦線 一ヶ月に亘る獨軍の猛攻に市街の大半を占領されたスターリングラードに苦悶の表情が強くモスクワ側の通信も愈よその最後の切迫したことを認めてゐる、市街北部の工場地帯に残つた敗残赤軍は數日前までには晝夜間ひそかにヴォルガ河を越えて糧食、彈藥或ひは新鋭部隊等の補給を受けてゐるが、獨軍砲兵部隊がヴォルガ河畔に進出しこの水上輸送路に對しひつかりなしに猛攻を加へてゐるので、市中防衛の赤軍は既に完全な孤立状態に陥りその戦力は非常に弱まつて來た、これに對し赤軍の有力部隊は依然として市外の北部から救援の反攻を繰りかへしてゐるが獨軍の堅陣を突破する力はなからスターリングラードの戦況は漸く殘敵掃蕩戦になつて來た

ルジョフ、イルメン湖、レニングラード等が赤軍の反撃據點になつてゐる、しかしレニングラード戦線ではネヴァ河突破の相當大規模な反撃戦で四百の渡河用舟艇と約二千名の損害を受け、失敗してからは大反撃も見られず、ルジョフでも先週來の反撃の損耗を整備してゐるので比較的に平靜を保ち、今のところ大局として全戦線は小康状態を續けてゐる

獨軍ルジョフ地區

北中 獨軍ルジョフ地區

伊機レ市戦線に初陣

ベルリン【九・三】ロイター通信モスクワ電によれば廿四日レニングラード戦線上空にファイアット・カプロニ戰闘機の伊空軍大編隊が現れこれを邀撃するソ聯空軍との間に熾烈な空中戦を展開した、レニングラード戦線に伊戰闘機隊が参加したのは今回が初めてである

南 テリヨク戦線二要 獨軍占領

ベルリン【九・三】獨軍當局は獨軍がテリヨク河戦線に於てテリヨク及びウラジミロフスキの兩要衝を占領した旨二十一日發表した

テリヨクはカバルヂノ・バルカル自治共和國を東西に縱流するテリヨク河東岸に位し同地よりグローススイ油田地帯は山跡百廿軒の地點にあり同油田地帯は今や北、西南面より獨軍の脅威に曝されるに至つた譯である

ダイスコエ占領

ベルリン【九・三】獨軍司令官廿二日の發表に依れば南部コーカサス戦線の獨軍は更にソ聯軍陣地深く進入して廿二日テリヨク河彎曲部のダイスコエを占領した

獨軍グローススイ油田に迫る

モスクワ【九・三】ソ聯情報局は廿二日正午の戦況公表に於て南部コーカサスの獨軍がモズドク地區に於て一高地を占領、グローススイ油田への前進據點の獲得に成功した旨發表した

ソアプセ目指して進撃

リスボン【九・三】報に依れば、ノヴォロシシクより一路ソアプセ軍港を指して東南下中の獨軍部隊は廿五日海岸線寄りの天險に強固な陣地

を構築せる有力な赤軍部隊と遭遇、目下困難な地形を冒して激戦展開中である、一方獨空軍は廿四日大舉ツアブセ港を強襲、港灣施設及び軍事目標に猛爆を加へ、大損害を與へた

爆撃を敢行、同市の鐵道施設及び石油タンクに大火炎を生ぜしめた

獨軍司令部發表 一、スターリングレード戦に於て、獨軍は熾烈なる赤軍の抵抗を冒して激戦

クワ特派員ハロルド・キングはスターリングレード戦の情況につき廿一日次の如く報じてゐる

獨軍數地點突破 リスボン【九・三】獨軍の壓迫が最も強烈なのは依然同市北西部で、廿一日のプラウダ紙は「市街戦は刻一刻と熾烈化し、獨軍は増援兵力を次々と繰出して損害を物とせず、ぢりぢりに進出を續け、數地點で赤軍陣地を突破するに成功した」と同方面における赤軍の敗退を率直に認めてゐる

獨軍ツアブセ港外に達す ベルリン【九・三】獨軍當局はコーカサス南部に作戦中の獨軍が黒海沿岸の要港ツアブセに對し攻撃を開始した旨廿日次の如く言明した

獨軍は既にツアブセ港の港外に到達し、要塞化した工場都市北方の山嶽陣地を奪取した、ソ聯軍は頑強な抵抗を試み、港内並びに沿岸沖合に停泊中のソ聯海軍艦艇も防戦に参加してゐる

入市掃蕩戰進捗 ベルリン【九・三】獨軍司令部二十八日發表 一、コーカサス北西部における獨、スロヴァキア軍は熾烈な山嶽戦の後高地に構築せる赤軍陣地數箇所を占領した

入市市街戰熾烈 ストゥツホルム【九・三】じり押しに占領地區を擴大しつつあることはソ聯側でも認め二十三日正午の情報局發表も二十二日から二十三日にかけて、終夜熾烈な市街戰を續けた結果獨歩兵部隊は百臺以上の戦車を掩護されて赤軍の抵抗線を突破し更に數ヶの道路を確保するに至つたと發表してゐる、ロイター通信のモスクワ

モスクワ放送 リスボン【九・三】一日のモスクワ放送は同市の戦局が愈よ最後の瞬間に迫りつつあることを示唆し、左の如く述べてゐる

☆ 入市攻略戰

獨軍司令部發表

一、スターリングレード戦に於て、獨軍は熾烈なる赤軍の抵抗を冒して激戦

一、強力なる赤軍部隊はレンゲラード地區のネヴァ河東方で獨軍の重圍を突破せんと圖つたが、獨軍は大損害を與へて、これを撃退した

婦女子に最後の避難命令 リスボン【九・三】情報によれば、スターリングレード市街戦は今や全市に波及せんとする形勢にあり、同市

二千門の砲火集中 リスボン【九・三】スターリスグラー

海上戰況 加驅逐艦擊沈

一、赤軍は同市北部の獨軍陣地に反撃を行ひ來つたが撃退され多數の死者を出し戦車廿一臺を失つた、獨空軍編隊はスターリングレード市内で激戦を展開中の獨地上部隊を支援し低空爆撃を行ひ大砲、戦車等を破壊した

一、スターリングレード攻撃中の獨軍部隊は二十八日激戦の後同市北部の若干地區を占領した

入市廢墟と化す リスボン【九・三】ロイター通信モス

一、獨爆撃機編隊は廿五日夜ヴォルガ河口のアストラハンに猛烈な夜間

一、獨軍司令部發表 一、スターリングレード攻撃中の獨軍部隊は二十八日激戦の後同市北部の若干地區を占領した

され艦長以下行衛不明である旨廿日公表した、撃沈の日時、場所等は發表されてゐない

敵艦船二十三隻撃沈

獨軍司令部二十四日正午特別發表一、獨潜水艦隊はスピッツベルゲン及びアイスランド中間の北水洋上に於いてソ聯海港より英、米海港に歸航中の一大護送船團を攻撃、右船團は輸送船數よりも護送艦艇の方が多く、過去數日間に亘る激戦の後、特に頑強な敵の防禦にも拘らず獨潜水艦隊は敵驅逐艦三隻、補助巡洋艦一隻、輸送船五隻合計五萬噸を撃沈、他の二隻を魚雷で大破した

獨九月中の大戦果

ベルリン【九・二五】獨海軍部隊は過去數日間北水洋において又復大戦果を収めたがD.N.B通信が獨軍當局より得た情報によれば九月二十四日現在までに獨軍が撃沈した聯合國船は右を加算して實に百三十二隻總計八十四萬九千二百噸の多數に上つてゐる、右撃沈噸數の内譯は潜水艦によるもの六十七萬七千噸飛行機によるもの二十四萬二千噸である

十六隻、九十五萬三千噸に達した

英國艦艇撃沈を認む

ストックホルム【九・二五】ロンドン來電によれば英海軍省は聯合國援護送船團がソ聯海港より歸航の途上北水洋で再度獨空軍及び潜水艦隊の襲撃を受け、英驅逐艦ソマリ(一)、八七〇噸)及び掃海艇レダ(八一五噸)が撃沈された旨廿五日發表した、右は本月中旬旬の獨海港へ赴く途次北水洋水域で獨海空軍の攻撃を受け大損害を蒙つた護送船團と同一のものでソマリ號はトリバル級、一九三八年完成、四・七吋砲八門、小口徑砲七門、魚雷發射管四門を裝備してゐる

獨潜水艦の大戦果

ベルリン【九・二六】獨軍司令部廿八日の特別發表によれば大西洋北部水域で作戦中の獨潜水艦隊は軍隊、彈藥その他軍需品を満載し敵軍に警備を施した米護送船團が英本土に向つて航行中なるを發見、數日間に亘る猛攻撃戦により「ヴァイスロイ・オヴ・インデア」型一萬九千噸及商船一隻、「レイナ・デル・パシフィック」型一萬七千噸級商船一隻、「ダービー」型一萬一千噸級商船一隻計三隻、四萬七千噸を撃沈、他二隻に重大損傷を與へ更に驅逐艦一隻を撃沈した、右に關し獨軍筋は同日今回の戦果の特質を次の如く指摘してゐる

英軍マ島首都に迫る

リスボン【九・二五】廿二日のヴァイシールスボンによればマダガスカル島侵略の英軍一部隊は二十二日同島首府タナナリヴオを去る約三十キロの地點に到達した

英軍タナナリヴオ占領

リスボン【九・二五】ロンドン來電によればマダガスカル島侵略の英軍部隊は廿三日午後五時遂に首都タナナリヴオを占領したといはれる、尤も右英軍部隊が西海岸より上陸せる部隊かでないが、英軍がタナナリヴオに突入した時にはアンネ總督は既に同地を退去してゐた

マ島佛軍抵抗繼續

ヴァイシー【九・二五】ヴァイシー政府はマダガスカル島の戦況に關し廿四日次の通り公表した

四〇〇噸)、△ロツスレーア(二、〇〇〇噸)△ニムケー(二、五〇〇噸)、△ハーカーロー(五、〇八一噸)、△ヘレナス(七、三六六噸)、△エムバイア、フロスト(六、八〇〇噸)

マ島 戦線 掠奪

ヴァイシー【九・二五】佛政府はマダガスカル島侵略の英軍が廿四日遂に同島首府タナナリヴオを占領した旨公表した

英軍マ島首都に迫る

リスボン【九・二五】廿二日のヴァイシールスボンによればマダガスカル島侵略の英軍一部隊は二十二日同島首府タナナリヴオを去る約三十キロの地點に到達した

英軍タナナリヴオ占領

リスボン【九・二五】ロンドン來電によればマダガスカル島侵略の英軍部隊は廿三日午後五時遂に首都タナナリヴオを占領したといはれる、尤も右英軍部隊が西海岸より上陸せる部隊かでないが、英軍がタナナリヴオに突入した時にはアンネ總督は既に同地を退去してゐた

マ島佛軍抵抗繼續

ヴァイシー【九・二五】ヴァイシー政府はマダガスカル島の戦況に關し廿四日次の通り公表した

英軍マ島首都占領

ヴァイシー【九・二五】佛政府はマダガスカル島侵略の英軍が廿四日遂に同島首府タナナリヴオを占領した旨公表した

ヴァイシー【九・二五】佛政府はマダガスカル島戦況に關し廿六日左の如く發表した

英軍ツレア港占領

リスボン【九・二五】A.P通信ロンドン電に依れば、チャーチル英首相は廿九日下院においてマダガスカル島の佛軍に残された最後の海港たる同島南部のツレア港の佛守備隊が英軍に降伏した結果英軍は何等抵抗を受けずに同港を占領した旨發表した

交外・治政

五ヶ年にわたる支那事變に次いで曠古の聖戰大東亞戰爭勃發するにおよび「ハワイ」海戰の九軍神をはじめ歴戦殊勳をかさねるもの愈々多きを加へるにいたつたので畏き邊りでは今回樞密院の諮詢を經させられ、金鵄勳章叙賜條例その他改正の件を御裁可あらせられた。しかし右に關する勅令は二十六日公布、大東亞戰爭勃發の昭和十六年十二月八日以後の日附による行賞より適用せしめられることになつた。

畏き邊りではさきに支那事變從軍記章を御制定、直接支那事變に功勞あつた多くの軍人、軍屬に授與せられたが、今回さらに同事變を記念するため支那事變記念章を御制定、二十六日勅令をもつて發令された。御稜威の下、今や史上未曾有の戰果を收め一億國民またこれに應へ益々銃後の護りを固めつゝあるが、今回の有難き聖旨を拜し、前線銃後ともに愈々聖戰の目的完遂に邁進するの覺悟を新たにしたのであつた。

陸軍では今回『陸軍防衛召集規則』を創設、二十五日右に關する當局談を發表するとともに二十六日官報をもつて公布發令、十月一日より實施されることになつた。長期戦下いよいよ重大化したわが國土防衛はこれによつて一段と完璧さを増したことは言ふまでもない。

第三回中央協力會議は國論の喚起に、民情の上通に劃期的な成果を收めて二十九日、四日間わたる議事を終了した。議題となつた會議員提案百七十件はあますところなく一堂に披露され、皇軍に對する感謝、大東亞戰爭遂および日獨伊三國同盟記念の三決議は二百二十名の國民代表の新たなる決意をもつて可決された。しかも閉會に當つて東條首相は會議に開陳された意見は十分に参照し、舊愼に捉はれず機を逸せず、現實の施案を活かしてゆく旨を強調した。(木)

☆拜謁・奏上

内相參内

【九三】湯澤内相は午後四時十五分參内、天皇陛下に拜謁仰付られ廿一日夕より廿二日早朝にかけ四國、近畿地方、東海道方面を襲つた暴風雨の被害状況につき奏上、被害は極めて輕微の旨を奉答の上同四時四十五分退下した

平沼男等拜謁

【九三】答訪使節として國民政府を訪問、日華親善に重き使命を果して歸國した特派大使平沼駢一郎男、同有田八郎、同永井柳太郎三氏は廿一日午前十時參内、鳳凰間に於て、天皇陛下に拜謁仰付られ、御慰勞の有難き御言葉賜り畏き聖慮に恐懼して宮中を退下した

樞密院

行政簡素化審査委員會

【九三】行政簡素化に關する樞府第一回の審査委員會は、廿二日午後一時半より樞府事務所に開催、御諮詢案行政簡素化實施のためにする諸勅令案を議題とし、先づ東條首相より御諮詢案奏請の理由につき約三十分互に説明、直ちに質疑に入り約三十分菅原、潮の各顧問官より一般的質疑をなし、首相並に法制局長官より夫々答辯をなし、同四時半散開した

▲内外、拓務省關係除外【九三】廿二日より審議を開始した樞密院審査委員會には外務、内務、拓務等各省並に對滿事務局、興亞院等の行政簡素化實施勅令案が除外されてをり、これ等は一括して別個に設置を見ることになつた大東亞省設立に關する勅令案(内外地行政一元化に伴ふ諸勅令案等)の審査委員會に併託審議されることになつた

内閣

兵士、學生の農村援助

【九三】政府は出來秋を迎へ農村勞力増強の對策樹立のため、廿三日午前十一時廿分首相官邸に東條首相兼陸相、島田海相、橋田文相、井野農相等參集し種々協議の結果、陸海軍では兵士が自宅の農業に進んで協力する建前から、召集兵士に對し、作戰軍務に支障なき限り一定期間休暇を與へ歸農せしめ、又文部當局では大學高專學校中等學校及び國民學校等の男女學生生徒兒童等に一定期間休暇を與へ刈入等に協力せしめる方針に決定した

西日本の風水害に鎌金

【九三】二十九日の定例次官會議に於て西日本風水害の見舞金として内地の高等官は俸給の二百分の一を鎌金することを申合せた

放 首相五百億突破記

【九三】東條首相は三十日午後六時二十五分より國民貯蓄増額五百億突破を記念して放送を行つた如く強調した、曩に報道せられた如く第一線皇軍將兵の涙ぐましく貯蓄の勵行は前線に於て身命を君國に捧げ乍らも如何に思ひを遠く祖國の隆替に馴せつあるかの一證である、是れ實に國民をして感激措く能はず更に一層の勇猛心を奮起せ

しむるものである、今や國民は徒らに精戦の大戦果に酔うて安易なる生活態度に陥ることなく、前途に必勝の信念を堅持しつつ益々國家總力の充實向上を圖るべく挺身せねばならぬ、茲に一億國民諸君の血と汗との結晶たる戦時國民貯蓄増加額五百億圓突破の成果を祝福すると共に今後愈々盡忠報國の精神を發揮し、飽後迄も征戰目的の完遂に向つて邁進するの決意を新たにす次第である

各省

内務省 經濟部、土木部廢止 縣決定

【九三】内務省では廳府縣行政簡素化の結果十縣の經濟部および三縣の土木部を廢止するので、右廢止した、なほ經濟部廢止の十縣はその事務を内政部に移管するからここに於ては内政、警察の二部制となるわけである

- 一、經濟部を廢止せらるるもの
山梨縣、福井縣、奈良縣、滋賀縣、鳥取縣、高知縣、徳島縣、佐賀縣、宮崎縣、沖繩縣
- 一、土木部を廢止せらるるもの
富山縣、岐阜縣、熊本縣

内務省の節約一千六百萬圓

【九二】廿九日の閣議において決定せる昭和十七年度各省豫算の繰延、繰越及節減額のうち内務省關係は總額一千六百萬圓でこの内譯は行政簡素化による約五百萬圓、一般經費に

おいて約一千百萬圓となつてゐる、而して一般經費の節減は國土局の六百萬圓を筆頭として相當廣範圍にわたつてゐるが、これが節減、繰延及繰越については事業の重要性を十分検討し緊急を要するものには手をつけず實行可能なものを對象として節約を行つたから總體的に見た影響は頗る輕微である

海軍省 海軍教育視察に侍 從御差遣

【九二】長くも 天皇陛下に於せられては戦時下海軍の教育に深く大御心を注がせ給ひ、城、佐藤各侍從武官を九月二日より廿四日まで海軍管下の全學校、練習航空隊、海兵團、病院練習部に御差遣のうへ有難き聖旨を賜り教育狀況を實視せしめられ海軍將兵はこの有難き大御心に恐懼感激益々教育に萬全を期し大東亞戰爭の完遂に邁進すべく誓ひ奉つた

商船學校長會議

【九二】海務院では廿八日午前九時より本省會議室に商船學校長會議を開き、松木長官以下各關係部課長及び薄井東京以下各高等中等商船學校長等出席、松木長官より訓示をなし昭和十八年度生徒募集事項たる(一)昭和三十八年度生徒募集要綱に關する件(二)商船學校教育内容改善に關する件(三)商船教育體系確立に關する件につき詳細指示があつて意見を交換した

鐵道省 内外地鐵道行政一元化建議

【九二】帝國鐵道協會では廿一日丸の内同本部に理事會を開き大東亞省の設置を機として大東亞に於ける鐵道政策の樹立及び運営に對する指導監督は鐵道大臣の統轄下に一元化すべき旨を決議し東條首相、陸海兩相並びに内務、逓信、鐵道、拓務各省並に企畫院、對滿事務局與臣院各總裁あて協會長井上匡四郎氏の名を以て左記二項目よりなる建議書を提出した

第一、朝鮮總督府、臺灣總督府及び樺太廳の鐵道に關する根本的の方策又は基礎的計畫等の樹立に對しては鐵道大臣統轄の下に一元化するの方針によりこれが適宜の對策を講ぜられたきこと
第二、大東亞地域(内地、朝鮮、臺灣及び樺太を除く)における鐵道に關する諸般の根本的の方策又は企畫の樹立等に當りては特にこれが一元化を必要とする交通の特異性に鑑み所管大臣は鐵道大臣と緊密なる連絡協調を圖る方針の下に適宜の施策を講ぜられたきこと

厚生省 軍事保護院一部機構改革

【九二】厚生省では軍人援護事業の充實強化を圖るため今般軍事保護院の分課規定を改正、業務局の業務、輔導兩課を統合して職業課せるほか、傷痍軍人の保護指導に當るため、療養指導に關する事務、並に温泉療養所に關する事務を醫療課の專管とし又整備課を新設して療養所に於ける所要物資の圓滑、敏速なる調達、及び事務の監査を所掌させる事になつた

地方衛生課長會議

【九三】厚生省では二十一、二十二、二十三の三日間本省大會議室に地方衛生技術官事務打合せ會を開催した同會議指事項は次の通りであつた
△二十一日
一、健民對策の徹底に關する件、一、國民體力法による勞務者に對する體力検査に關する件、一、體力検査後の措置に關する件、一、妊娠婦の保健指導その他保護に關する件、一、乳幼児體力向上指導に關する件、一、戦時下國民栄養指導に關する件
△二十二日
一、日本醫療團の業務執行に關する件、一、醫師會及び齒科醫師會令の施行に關する件
△二十三日
一、結核の豫防撲滅に關する件、一、國民優生法の運営に關する件、一、癩癩防の徹底に關する件、一、花柳病豫防に關する件、一、消化器傳染病の豫防に關する件、一、小兒傳染病の豫防に關する件、一、寄生虫病の豫防に關する件、

貴衆兩院 衆議院災害地義捐金釀出

【九三】衆議院では二十二日午後一時半院内に議院協議會を開き九州、中國の災害地に對し全議員一名十圓を釀出義捐金を贈ることに決定散會した

多額議員同友クラブ結成

【九三】貴族院研究會の米原章三氏は廿三日開會された當務委員會席上自分達は今回各派に所屬する多額議員並に前元議員の参加を得て社交團體同友クラブを結成することにしが本クラブは單なる社交クラブで何等政治的の意味を持つものでない、現議員の各會派に於ける地位には變更を來すこととはない旨を發言し諒解を求めた

外地・地方

八戶市長山内亮氏決定

【九三】八戶市長選舉の市會は廿二日午後開會投票の結果、山内亮氏が當選した

秋田市長に加賀谷朝藏氏

【九三】村地市長逝去後空席となつてゐる秋田市長推薦市會は廿三日午後三時市會議事堂に開催、満場一致を以つて前京都市長加賀谷朝藏氏が當選した

大橋理祐氏當選

【九三】貴族院議員大澤徳太郎氏の逝去に伴ふ後任はききに補缺選舉の結果大橋理祐氏が當選したので廿五日内閣より左の通り發表された
從七位勳六等 大橋 理祐 貴族院令第一條第六號に依り 貴族院議員に任ず

當選した
兵庫縣相生町市制施行

【九三】内務省では市制第三條、町村制第三條の規定に基づき十月一日より兵庫縣赤穂郡相生町市制を施行する旨廿五日附官報を以つて告示すなほ相生市の誕生により全國の市は百九十六となる

姉崎、奥兩議員翼政會入り

【九三】貴族院議員姉崎正治(勅選)奥主一郎(多額)二氏は廿日翼政政治會に入會した、これに翼政所屬議員は貴族院三百五十二名、衆議院四百五十九名、各界二百二十二名、計一千三十三名となつた

大政翼賛會

協力會議々案總計百七十件

【九三】二十六日から開かれる第三回中央協力會議の議案はさきに百六十七件と決定發表されたが、二十一日更に三件を追加することになり、議案の總計は百七十件と決定した

戦時貯蓄動員本部強化

【九三】大政翼賛會は本年度貯蓄目標二百三十億達成につき政府と協力して戦時貯蓄動員の一大國民運動を展開するため、さきに本部に戦時貯蓄動員本部を設置し、後藤事務局長以下事務局各部關係者を總動員して貯蓄運動推進の中樞機關を確立して、貯蓄運動は本部のみならず今後相當長期に亘り繼續的に遂行する必要があるため本部機構に再検討を加へた結果従来の本部長(事務局長)副本部長(實踐局長)顧問、評議員の他に新に委員制を設けることとなり、右に關する本部規定改正と共に廿二日左の如く顧問、委員の氏名を發表した新に設けられた委員は廣くその經驗を衆知を兼ねて貯蓄運動の企畫を掌る筈である

△戦時貯蓄動員本部役員

- (一)本部長 事務局長 後藤文夫
- (二)副本部長 實踐局長 相川勝六
- (三)顧問 (五十名) 元藏相實族社長井坂孝、更生金庫理事長兼衆議院議員石渡莊太郎、東京瓦斯株式會社社長井坂孝、帝國在郷軍人會副會長陸軍中將小泉太一(交渉中)、日本銀行副總裁子爵澁澤敬三、貴族院議員下村宏、大藏次官谷口恒二、大日本新聞會長田中郡吉、貴族院議員瀧正雄、日本勸業銀行總裁西野元、産業組合中央金庫理事長荷見安(交渉中) 樞密顧問官三土忠造
- (四)委員 (五十名) 經濟學博士阿部賢一、普通銀行統制會理事長相田岩夫、東京帝國大學教授荒木光太郎、日本銀行理事新木榮吉、大藏省國民貯蓄獎勵局長長氏家武、日本女子大學教授氏家壽子、衆議院議員小笠原三九郎、大日本産業報國理事長小畑忠良、日本勸業銀行理事大矢平次郎、逓信省貯金局長岡崎誠一、大藏省預金部長官木内四郎、三井總元方企畫部長佐々木四郎、本會實踐局長津部長關末代策、衆議院議員中村三之丞、衆議院議員中島彌爾次、林學博士本多靜六、衆議院議員松村光三

中央協力會議運籌委員會

【九三】大政翼賛會は中央協力會議運籌の連絡、企畫に當らしめるためさきに中央協力會議運籌委員會を設置したが同委員會は今回の第三回協力會議總會開催につき前後二回に亘る委員會總會を開き議事進行並びに議案取扱方決定等諸般の準備を完了したが、協力會議終了後委員總會を開いて協力會議議決事項につきこれを翼賛會運動に移行せしめ乃至

△委員長 安藤紀三郎△副委員長 小平權一△委員 (會議員側) 朝比奈策太郎、子爵織田信恒、小畑忠良、久米正雄、郷古潔、下中彌三郎、膳桂之助、田中長茂、秋間茂、廣瀬久忠、船田中、本位田祥男、松井春生、八角三郎(本部側) 石黒英彦、相川勝六、永井柳太郎、鹿島守之助、草間時光

全國局部長會議

【九三】大政翼賛會は中央協力會議の後をうけて同會議に盛り上つた國民士氣昂揚、國防生活擴充方策等を地方側に周知せしめ各地の翼賛運動推進に資するため廿日午前八時本部に全國局部長會議を開催、安藤副總裁及び後藤事務局長の挨拶に次いで本部側の指示事項(一)國民鎮成に關する件(石黒鎮成局長)(二)諸團體統制に關する件(一)部落會、町内會等の指導に關する件(一)翼賛選舉に關する件(一)生産増強並に物資節約及び回收運動に關する件(一)貯蓄増加運動に關する件(一)健民運動に關する件(一)地方文化施設の指導に關する件(一)移動文化施設に關する件(一)大詔奉戴日實施方策と常會徹底事項に關する件(一)軍刀報國運動に關する件(以上相川實踐局長)(一)興亞理念の普及徹底に關する件(岡野與亞局庶務部長)(一)調査局の活動に關する件(鹿島調査局長)につきそれぞれ説明あり正午休憩、午後一時再開(一)本部支部間の連絡に關する

第三回中央協力會議

國民總會開かる

【九三】第三回中央協力會議總會は午前九時より東京丸の内大東亞會館に開催された。國民儀禮の後、東條總裁は諸員起立敬禮裡に宣戰の大詔を奉讀、次いで新念するため一分間の黙禱を捧げ、終つて兵庫縣代表岡虎十郎氏は全議員一同を代表して翼賛運動の誓の言葉を述べ、かくて閉會式を終了同廿一日直ちに總會に入つた、劈頭東條首相は起つて別項の如く大東亞戰下に處する烈々たる所信を簡明卒直に決意を披瀝次いで安藤協力會議議長の協力を要請同五十分挨拶を終了安藤議長 大東亞建設の大業に身を捧げられた英靈並に皇軍將兵に對し第三回中央協力會議の名を以て一億しつ、國內に在つても、軍官民一體、眞に協力戮力の實を發揮しつ各方面に亘つて、飛躍的に國內戰體制の整備を行つて参つたのである斯くして帝國は戰略的にも政治的にも最も有利なる態勢を確立して驚くべき短期間に次の戰爭段階に對する準備を完成した、然し乍ら米英は敗戦を重ね前途暗澹たるものあるに對し、國民代表の士氣いやが上にも横溢したのであつた

政府側發言要旨

東條總裁挨拶

(前略) 惟ふに、大東亞戰爭は、建國三千年、國體の精華燦として輝く帝國が、東亞安定に關し、隱忍を重ねたる積年の努力が悉く水泡に歸せむとするに際し、已むに已まらず黙然起つて米英の一切の障壁を破砕せんとする世界未曾有の大戰爭である。徹底的に米英を撃潰し、飽くまでも米英をして帝國不拔の意志に屈服せしめて、多年に亘る禍根を芟除せざれば已まざる大戰爭である、中途半端に葬り去ることの出来ない大戰爭なのである、而して此の大戰爭は御稜威の下全世界を驚倒せしめたる帝國の一方的大戦争に依つて、發足したるのであるが、此の大戦争に呼應しつ、國內に在つても、軍官民一體、眞に協力戮力の實を發揮しつ各方面に亘つて、飛躍的に國內戰體制の整備を行つて参つたのである。斯くして帝國は戰略的にも政治的にも最も有利なる態勢を確立して驚くべき短期間に次の戰爭段階に對する準備を完成した、然し乍ら米英は敗戦を重ね前途暗澹たるものあるに對し、國民代表の士氣いやが上にも横溢したのであつた

力に恃んで強靱にも喰ひ下り執拗にも反攻せんとする氣構へを示して居る、蓋し米英の此の氣勢たるや決して輕視すべからざるものがある、即ち米英兩國は生死の最後の關頭に立つてその數百年來蓄積せる富と力とを傾けて我に戦ひを挑んでゐる、素より、御稜威の天下佑神助の加護あり盡忠無比の皇軍を擁する帝國として、是は斷じて之を恐るものではない、一日と雖も油断をする事は許されない、緒戦における赫々たる大戦果は最後の勝利我に在りとの確信を愈よ絶対不動のものとしたのであるが、今後眞に國民が渾然一體、力を合せてこそ初めて最後の勝利を確保し得るものと信ずる、由來戦争は意志と意志との戦である、頑張り合ひの闘ひである、持久力の争ひである、總力戦たる近代戦争に於て特に然りである、従つて今後に於ける大東亞戦争の様相は文字通り各國が其の興廢存亡を賭しての戦ひであり最後の五分間迄頑張り通したものに勝利の榮光は輝くのである、戦ひは正に此れからだと申す所以は、實に茲に在るのであつて、一億國民が奮起し、而も飽く迄頑張りをは必要とする、洵に今日より大なるを必要と申すべきである、而して米英の頑張りは絶望の淵に臨むあがきであり、日本の頑張りは光明に満てる建設の喜びである茲に日本と米英との間に本質的な相違がある、今や我々の友人は、我々の兄弟は、勇躍、陸に、海に、空に彈丸雨飛の間、熾烈なる戦闘を戦ひ續けて居る、只今我が諸君の前で御話をして居る此の瞬間に於ても、幾多忠勇義烈の士が身を鴻毛の輕きに置いて雄々しくも君國に殉じて居る、之を思ふの

時、直接彈丸の中を潜らぬ、銃後國民と雖も熱き血潮に高鳴るを覺え、愈よ滅私奉公の誓ひを固くせざるを得ないのである、昨年十二月八日恰も中央協力會議の當日、畏くも宣戰して忘れ得ざる、あの感激の日より十ヶ月間、茲に兩相會して中央協力會議を開催することとなつたのであるが、私は今や一億國民は更に思ひを新たにし、靜かに内に省み今後一層の努力を傾注すべき時期である、即ち今日こそ一億國民の一人一人が眞に祖國の運命を擔つて立つて居るのであるとの自覺を新たにし、各自の實生活に於ても飽く迄戦時的心構を以て、苟くも各人の有する全智全能を刺す所なく戦争目的の完遂に集中すべき時期である、斯くして陸海軍の水も漏らさぬ完璧の陣容、其の虚々實々を盡す至妙なる不斷の作戦に配するに、統帥官民の岩をも徹す鐵石の結束を以てする、是れ正に大東亞戦争目的の完遂上、平凡の如くにして而も最も根本的な絶対要件である、而して此の國內鐵石の結束あつてこそ初めて、戦力は倍加せられ飛躍的な生産擴充も可能となり、如何なる困難の克服も容易なのである、此の結束強化の私秘機會有る毎に色々と所信を披瀝致して參つたのであるが、之を要するに國內結束の根源は御互が苦樂を分つる親子兄弟の氣持になり、生死を共にする戦友の氣持になつて、此の潤ひのある力強い氣持を實生活の中に如實に具現して行くことに在りと思ふ、茲に初めて絶対の信頼が生じ、没我の協力が生れる、流言蜚語も第五列の策謀も施すに術なき鐵壁の圍

結が出来るのである、政府に於いて、も此の振古未有の重大時局に當つて國內結束の見地より、上意下達として居るものであつて、一度其の核心に觸れ其の緊急性を認むるや、直に具體的の對策を講じて來て居る、抑々大政翼賛會設立の趣旨も此處に在るのであつて、曩に大政翼賛會が國民運動の中核體として各種の國民運動團體を其の傘下に収め、盛り上げる國民の力に依て眞に強力なる國民運動の展開を圖りつつあるのも亦此の趣旨に外ならない、今次開催せられたる中央協力會議の主目標とする所も實に此處に存する、今や、大政翼賛會の活動に期待すること、洵に大なるものがある、本會議は會期僅か四日に過ぎないのであるが、各位に於かれては、其の卓越せる識見と豊富なる體驗とを以て戦争必勝、建設必成を期する爲、國內結束の強化に關する具體的措置の檢討に會議の中心を置き、戦争下國民の眞情を傳へ、以て大東亞戦争完遂途上における今次國民總常會の眞價を遺憾なく發揮せられんことを願つて已まない次第である、

外相挨拶要旨

(前略) 戦争の経過が我に有利に進展して居ることは既に御承知の通りであるが之に對比し敵側の状況を見るに惨敗相踵ぐ米英政府は相當焦慮の色を示し開戦當初は専ら長期戦に望を囑し、兩三年後戦備の充實するを俟て總攻撃に轉ずる方針なりと宣傳して居つたのに拘らず、最近はその年が戦争の大勢を決する重大時期である、日本が大東亞殊に南方の建設に成功すれば半遅れとなるとの見解を抱くに至り漸次積極的な戦争指導方針に轉じつつある模様であつて歐洲に於ては蘇聯援助乃至第二戦線歐洲の構成、東亞に於ては濠洲、支那大陸に於ける反攻基地の強化に焦りつつ其間執拗なる對日反撃を試みんとする形勢にある、米英は目下船腹難の状況頓に悪化する爲め、戦争運営上相當の苦境に在り、之が對策に腐心の態であるが、兩國共戦意猶衰へず特に米國に於ては國民の戦争に對する態度も漸次眞剣味を加へつつある模様であることは注意の要ある次第である、他方盟邦獨伊が歐洲、大西洋及北阿に於て赫々たる勝利を擧ぐると共に其の新秩序建設も着々と進行して居るのは心強い限りである、尙帝國は週日建國十周年を迎へたる際、隣邦滿洲國と一徳一心の誼を厚くし、又國民政府とは同甘共苦の交を益々深くし、又泰、佛印との提携關係も愈々緊密に赴きつつあつて北方の聯との關係も何等變りなく依然として靜謐である、即ち帝國を繞る國際情勢は頗る有利に進展して居ると申し得る、明二十七日は日獨伊三國條約締結二周年記念日に當るが、大東亞戦争勃發するや三國は直に共同相携、完遂の爲協定を締結し一致團結相携へ目的の達成に邁進して居り三國が總力を傾注して戦争完遂並に新秩序建設に協力すれば、米英の撃滅乃至世界新秩序建設の達成は火を賭すよりも明かであるが全國民は戦争が如何に長期に亘るとも之を完遂するの決意を固むると共に建設の前途尙克服すべき幾多の障礙困難の存すべき目的たる米英の徹底的打倒を達成するが爲には極めて長期に亘る戦争の

湯淺内相挨拶要旨

以て一億一心火の玉となつて進軍する時帝國の前途洋々たるものあるを信じて疑はぬ次第である、

長くも、天皇陛下におかせられては、統後民草の上に深き、大御心を垂れさせ給ひ、先般戦時下に於ける國內一般の状況、殊に國民總努力の實相を視察せしめらるる思召から、全国各地に侍従を御差遣遊ばされたところ、國民が戦時下遊く時局の重大性を認識し各々其の職域において日夜精勵致し各々ある實状を聽召され八月十日東條内閣總理大臣に對し、長くも國民の精勵を御満足に思召され今後とも更に一層努力する様にとの御旨の優渥なる御言葉を賜りたる由拜承致し深く感激致したのである、

次いで同十五日小官より侍從御差遣に關し國民が非常なる感激を致したる状況並に其の後に於ける職域精勵の模様等を備々に奏上致したる所、重ねて難有き御言葉を賜つた、統後國民の上に注がせ給ふ御慮の程を拜して唯々恐懼感激の外は無い一億國民は感奮興起、相携へ相率ひて愈々奉公の誠を效し、聖旨に應へ奉らんことを期せねばならぬ、大東亞戦争勃發以來擧げられたる赫々たる戦果に依り、帝國の大東亞建設といふ崇高なる理想が着々其の歩を進めつつあることは、國民として寔に心強き限りである、併し乍ら全地球の半ばを蔽ふ太平洋、印度洋を含む大東亞の廣大な地域に涉り、現に活潑なる大作戦が一瞬一刻の緩みもなく續けられてゐるのであつて、戦の究極の目的たる米英の徹底的打倒を達成するが爲には極めて長期に亘る戦争の

繼續を覺悟せねばならぬ、長期戦を勝ち抜く國內の構への根本要素は國民の昂揚された士氣に在る、長期戦に處する國內態勢の根本は國民が惟神の大道を顯揚して背私向公の鐵石心を養め、敬神崇祖の國風を振作して至誠盡忠の傳統に立ち、確乎不拔なる國民精神の基礎の上に國運の隆昌を期するにある、乃ち結集せられたる翼賛政治力、刷新せられたる翼賛運動に依つて強化せられたる國內態勢に脈々たる國民的團結の血を盛り隆々たる皇國民不退の氣魄を漲らしめることである、銃後國民の士氣が大東亞戦争下極めて昂つて居る點は去る四月米機の本上空襲の際に於ける國民の獻身的活動にも明に之を見出し得るのであつて、敵機の來襲が却つて防空に對する國民の熱意と關心とを牽うする所以となつた

陸相(木村次官代讀)演說要旨

南方に於ける狀況であるが海陸軍は緊密に協力し眞に一體となり治安の恢復、重要國防資源の急速取得及作戰軍の現地自活に重點を置き、着々經濟開發の歩を進めてゐる、占領地統治に方つては、極力在來の組織機構を利用して共に民族的慣行を尊重し、以て現地の實情に即する如く行政を實施することに努めて居る、彼等原住民は皇軍を絶対に信頼し喜んで我が建設工作に協力して居る狀況であつて、治安の如きも概ね良好である、經濟開發に關しては本戦争の本質に鑑み大いに努力して居る、重要産業施設は一般に相當の破壊を受けて居たが其の復舊は順調に進捗し、本年豫期してゐた重要物資は概ね取得し得る見込である、物資の對日輸送は軍に於て極力援助し軍は其の徵備船を全幅活用するに努めて居る、先般浙贛支那方面の狀況を申述れば覆滅と浙江、江西兩省の敵航空基地の摧並に此の方面よりする援將ルートを破壊した、重慶政權の戦力は遂次低下の徵を認むるのであるが未だ尙米英の支援を頼んで抗戰意志を捨てない又滿洲其他の北邊地方に在る部隊は各種困難なる環境に處し一意其の任務に邁進し些の疎離なき北邊の守りを全うして居る、更に帝國に在る部隊も晝夜の別なく或は防衛に

海相發言要旨

或は教育に、或は訓練に、或は繁多なる後方の業務に當り克く出征部隊をして後顧の憂なきらしめて居る體で戦争開始以來赫々たる戰果を収め得たが大局的に見ればは米英蔣爾の包圍を突破して帝國自存自衛の基礎を確立したと言ふに過ぎない即ち米英の連絡は未だ十分遮断されず又英國より中、南阿を経て近東印度に向ふ戰略線も着々整備せられつゝある狀況であつて米英の反擊企圖は漸く顯著ならんとして居る、大東亞戦争の本格的發展は正に今後に在る、層層緊密にし愈團結を鞏固にして益々軍の精強を圖り樞軸國軍と相呼應し以て積極的作戰を展開し敵國戦力の徹底的破壊に邁進せんことを期して居る

法相發言要旨

最近の犯罪狀況は幸にして國內情勢は概ね平靜を示し犯罪の總件數に於て減少の傾向を辿りつつある、併し犯罪の種類に依つては未だ遽に樂觀を許さざるものがあり特に此の機會に各位の留意を煩はし度きは經濟事に於ける實狀である、經濟犯罪を内容的に見れば、生活必需品、就中食料品の部分に於ける違反が最も多く、殊に食料品の末端配給機構に於て、品質低下、量目不足、抱合せ、賣惜み情實販賣等所謂灰色取引が全面的に行はれつつあることは、國民的生活上は勿論、思想上からも大いに憂慮すべきである、經濟犯罪の質も、漸次惡質化の傾向にあるは洵に憂心に堪へない、これが對策としては、行政方面の措置として多々考慮すべき點があるが、他面惡質犯罪を斷乎として處罰し、以て一罰百戒の實を擧げるのも一つの最も有效な對策である、併し如何に法制を整備し、其の違反者を嚴罰しても、經濟事犯の絶滅はそれのみを以てしては到底其の目的を達することは出来ない全國民の協力があつて初めて達成される、而して其の協力の根本は憲法精神にあり、殊に經濟統制法令に於て憲法精神の確立昂揚が絶對的に要請されるのである

戰争目的の完遂の爲に、南方の建設と相俟つて、國內の總力を結集するが爲に、國家各般の需要を官民各員の精勵倍加と事務處理の簡易敏速とに依り達成し、且國の意圖する所を國民の一人一人に徹底し眞に納得せしめることは、政府の深く念とする所である、之が爲義に政府は行政簡素化の大方針を決し、着々實行に移さんとして居るのであるが、國民生活と關係深き地方行政の上に於ては廳府縣の行政機構に徹底的刷新を行ひ行政の敏活にして強力なる運営を期する所存である、又地方行政の現状と趨向とに鑑み、本年七月より各府縣に地方事務所を開設し、現行政の敏速適切な處理を期して居り、更に更に進んで國の意圖する所を深く浸透徹底せしめ、國民生活の確保安定を圖る爲、部落會町内會等を通じ

つてをられるが故に、私は各位の御指導が、國民總力の發揮に重大なる關係あるを確信するものであつて、今後一層の努力を切に御願ひするものである

次に最近特に重要な問題は少年保護の問題である、戦時下に於いて多數の青少年が或は工場、作業場等へ

動員せられ、或は其の他の事情に依つて生活環境に激變を來す結果、青少年の犯罪乃至不良行為が近時漸増の趨勢にあるは、憂慮に堪へざる所である、此等の青少年については少年審判所に於いて關係機關を督勵すると共に工場、作業場、學校等と緊密なる連絡をとり、本人の心身の狀況及び境遇の許す限り強力なる鎮成を加へて、これを將來有爲の皇國民たらしむることに努めて居る、又思想保護に關しては一方に非轉向者にして再犯の虞顯著なるものに對し、豫防拘禁を實施すると共に、地方に於て保護觀察所をして保護觀察の充實徹底を期せしめて居る、右の少年及び思想犯を除く一般の釋放者についてはこれに適切なる指導を加へて職權奉公の臣道を實踐せしめ現下に於ける生産力擴充と治安確保との要請に即應せしめることとして居る、これに關しては全國の民間篤志家に司法保護員として協力を願つて居るが、就職其の他の問題に付眞に保護の効果を收むる爲には、國民各層の心からなる協力を希望する、次第である最後に行政簡素化に伴ふ區裁判所の事務停止及び調停の問題につき一言したい、司法省に於ては行政簡素化の實施方法として、来る十月一日より地方裁判所の支部八箇所を廢止し三十七箇所につき其の取扱事務の範圍を縮少し、且全國區裁判所の中百一箇所の裁判事務を停止して近隣の區裁判所をして取扱はしめることとした

以上の如く司法部としては、國策遂行に寄與する爲職員並に機構の縮小を斷行したが、他面時局下幾多の司法事務は愈々其の重要性を加へてあ

るので、職員一同其の最善を竭し、司法事務の適正迅速なる處理に努め以て時局の要請に應へむことを期してゐるが今後其各位の格段なる支援を希つて已まざる次第である

文相發言要旨

文教政策の中心はわれわれの後継者を錬成してこの聖業達成に眞に相應しい皇國國民を造りあげるに存する、而してこの錬成の根本は皇國の歴史的使命に立脚するものでなければならぬ、かくしてこそ東亞諸民族の指導者たるに相應しき後継者を養成し得ると信ずる、さきに政府の諮問に應じて大東亞建設審議會は大東亞建設に處する文教政策として一國體の本義に則り教育に關する勅語を奉戴し大東亞建設の道義的使命を體得せしめ大東亞における指導的國民たるの資質を錬成するを根本義とする一旨の答申をなしたが、文部省としてはこの答申に基き諸種の具體策を樹立し着々と實施して行く方針である、即ちこの聖國の精神を國民生活の全領域に徹底せしめ、さらに進んでこの本義に即する世界觀、即ち日本の世界觀を確立せんとしてゐる、文部省はこの趣旨に基きかねて教育の刷新を實施してゐる、即ち(一)國民學校制度を創立して國民教育の重點をたらしめたこと(二)國民學校の強化と併行して師範學校の刷新を斷行し昭和十八年度より師範學校を専門學校に昇格する方針を決定したこと(三)國民學校教職員の待遇改善につき積極的措置を講じたこと(四)中等學校、高等學校、大學豫科等の年限を短縮したこと等の諸點にわた

り時局の要請に即する教育制度の劃期的刷新を斷行してきた、今後の方針としては愈々教育制度の刷新整備を強化するとともに學術、文化の進歩が大東亞建設の成否に重大な影響をもつ點を充分考慮して學術、技術の高度の發展を期するため大學院を擴充強化して優秀な研究員を多く養成する方針である、さらに學校報國隊の結成、勤勞作業の徹底並に大日本學生體育振興會をして益々學生に體位向上に努力せしめ、保健施設にも遺憾なきを期してゆき、また大東亞諸民族に對する政策の中心を八紘爲宇の大精神に置きその分に應じて建設に参加せしめると共にこれらの民族から米英的思想觀念を拂拭して日本の世界觀を體得せしめんとしてゐる、しかしこの場合において、要するは日本文化を根柢として大東亞圏内の諸國家諸民族と一層文化的提携を強化してゆく方針である

農相發言要旨

大東亞戰爭の進展につれて南方における諸物資は近き將來に確保出来るといふ目安がはつきりして來たため農業問題において適地適作主義、即ち南に出来るものは全部南で作つたらいいやないかといふやうな論が行はれつつある、これがため日本内地の農村においては日本の農村が將來どうなるかといふ心配をされる向があるが、これに對しては政府は主要食糧の問題については海を遠く隔てたところに依存するといふことは絶対に不可である、こと今後米英の作戦はゲリラ戦術をもつて必ず船舶等についての攻撃を加へて來る

のであるから、主要食糧については日滿を通じて自給自足をするとはいふこの原則を堅持し、また今後わが農村、日滿を通じての農村に一定の人口を保有せしめなければならぬといふはつきりした方針を持つてゐる

第二はは本米穀年度における食糧事情並に將來の見通しの問題である現月の状態からみると本米穀年度においては食糧に聊かの不安なきを確信致してゐる、しかし外地は旱害等によつて相當の減收は免れない、また南支、北支も水害等によつて農作物は相當減收があらう、従つて大東亞共榮圏内を賄つて參る上にわが國民としても本年多少作がよいといふことに氣を許すことなく依然として大東亞戰爭下における戦時生活を認識して政府の施策に御協力願ひたいのである、しかし今後協力の如く毎年の作柄如何によつて食糧問題につきあるひは樂觀し、あるひは悲觀するといふ状態では不可である、政府としても十二箇年の食糧自給計畫を樹てて日滿を通じての食糧自給施策といふものを樹てゐる、従つて今後外米その他の穀物は補給用の食糧として考慮を加へ主要食糧は日滿を通じて自給自足して行くといふ方針で行きたいと考へてゐる

第三は生鮮食糧品の問題である配給部面も大切であるが何としても生産を殖やすことが一番大切である、主眼點を生産増強において魚のごときも重油その他陸海軍の御協力を得て四月以來相當の増配を致し近頃において本年の春に比べれば相當殖えつつある實情にある野菜についてはガソリンの増配を願ひこれが適正を期し

遞相演說要旨

大東亞戰爭に勝ち抜き、皇國の戦捷を決定的ならしめる爲に、船腹の増強、輸送力の確保が如何に重要であるかは改めて申す迄もない、船腹の増強に就ては、新船建造に重點を置き、所謂計畫造船を實施して居る、この計畫造船の實行を確實にする爲に、造船統制會や産業設備管理會の機能を活用して、其の順調なる進歩を圖つて居る、尙造船用鋼材の需給狀況に鑑み木造船の建造に力を注いで船腹の増加を圖ると同時に一方、外國船の備上げ、拿捕船の活用、沈没船の引揚利用等に就ても亦能ふ限りの努力を傾け、輸送力の増強に資せしめて居る、船腹の増強と並んで重要なことは現存船腹を、國家の要求するところから従つて最も能率よく動かすことである、この目的を以て、本年四月戦時海運管理令に基き、總噸數百噸以上の汽船と、百五十噸以上の機帆船は御用船其の他特殊のものを除き全部、これを國家が徵用して、船舶運賃會といふ特殊法人に貸下げ、此の船舶運賃會をして、政府の樹立した輸送計畫通り一元的且つ能率的に運航せしむることとした、而して船舶の運航能率を昂めたるため

と共に、主要な港の荷役業者を港毎に一つに纏めて、荷役設備、勞務資材の相互融通により、荷役能率の総合的向上を企圖して居る現在の海上輸送の實績は、戦時下避け難い種々の惡條件はあるが、本年度上半期の實績は大體計畫量を輸送して居るのであつて、石炭だけに就いて見れば、その實績は現時の物動計畫通

りの成績を擧げて居る、次に計畫建造の進捗に對して、大量の優良船員を必要とするといふまでもない、政府は、高等商船學校の新設其他船員の教育養成施設の整備強化を圖ると共に、一方これまで各船會社の手で別々に船員の募集をしたるを船舶運管會にまとめてこれに當らしめ、海事思想の普及と相俟つて海上要員の充實に努めて居る、電氣の關係に就いては生産力擴充の進歩に伴ふ工場の新設擴張等により電力の需要は逐年増加を示して居る、新規電源の擴充は水力發電の開發に重點を置き、且つ資材、勞力の現狀とも照し合せて、例へば湖水の積極的な利用、河水を一層無駄なく利用致す爲の溪流の取入れ、堰堤の嵩上げ等、僅少の資材勞力により而も急速に發電力を増加せしめ得るものに力を注ぐこととして居る、新規電源の能率的開發と共に、既存の電力設備を最高度に働かせるため、さきに發送電の管理及び配電の統合を實施したが、限りある設備を以て膨脹して已まない需要を萬遇なく充たすことは不可能であるから極力不急不要の消費を抑制して、必要な方面に對する供給を確保致さねばならない、殊に電力の相當部分が火力發電に依るものであることを考へれば、電力の消費規正は今後益々合理的且つ徹底的ならしむるの必要を痛感する次第である本年度下半期に於ける電力需給の大體の見透しは本年は七月から八月にかけて、晴天続きであつた爲に、水力發電量に著しい減退を來したが、電力の供給を制限せずに通し得たのは、全く火力發電所を總動員し其の貯藏炭を焚いて水力發電の

不足を補つたからである従つて冬期の渇水期に備へて本年下半期に於ては、電力の消費規正を行つても猶且つ多量の石炭を調達せねばならないのであつて、今日の石炭事情から見れば、それが手當には非常なる苦心努力を必要とする、郵便貯蓄の有力なる實行機關である郵便貯蓄、簡易生命保險、郵便年金の獎勵並に郵便局に於ける國債、彈丸切手の賣捌等は、引續き順調なる成績を収めて居る、今日の國民貯蓄は、個人生活の安定といふ見地ばかりでなく、長期職をたかひ抜くため絶対必要な國民の義務であり一億國民の誰もが實踐せねばならない聖業翼餐の大道である、以上の外に、選信行政としては陸海軍の航空と緊密なる關係に立ちその地盤となる民間航空の振興に關することや、國家、國民の活動に必要缺くべからざる郵便、電信、電話や、或は又國家の耳目として又思想戰の有力なる武器として大切な使命を有する無線電信電話、放送施設等重要なる事項を掌理し、國民生活に接觸する部面も亦極めて廣く且つ深し、此の通信の仕事は謂はば國の神經系統にも譬ふべきものであつて、其の機能の正確、敏速、健全であることが何より強く要求せられる、此の爲には常に通信施設の整備擴充を圖ることが必要であつて、政府としては此の點につき凡ゆる努力を拂ひ國防上其他重要通信に支障なからしめるやう努めて居る、併し國家活動の旺盛と共に通信量は益々増大するので、國民一般が此の際不急不要の通信は差控へることとして、此の仕事が圓滑に完全に使命を果し得るやう一層の協力が願ひ度い

奧村情報局長挨拶

此の戦争が長期戦となり持久戦となることは、國民の均しく覺悟すべき處で、このことは當に日本の決意、日本の事情からそうあるだけでなく敵米英自體の事情や決意から同様の結論に達せざるを得ないのである、私に茲に主として開戦後に於ける米國の動向、特に戦争指導の進展状況につき御紹介したい、支那事變の眞の敵は、東洋制覇の野望を逞しうせんとする米英なることを夙に承知しながらも、事態を平和の裡に解決せしめられんとする大御心に基き、所謂日米交渉が進められ東條内閣が來栖大使を派遣して提案せしめた三ヶ條の交渉原則は、實に帝國が國家としての權威と獨立を完うし得るための最後の條件であつた、即ち衷心アジアの平和を希ふが故にこそ、讓るべからざるを讓つて、帝國は米國に最後の反省の機會を與へたのである、然るに、米國は之がため愈々帝國の實力を過少評價し、帝國の誠意を却つて日本に戦ふ力なく、戦ふ決心なしと誤解し、毫もその態度を改めざるばかりか、却つて益々武力的、經濟脅威を増大して我を屈從せしめんとした

なると公開の席で暴言を吐いて居つた、また泰國に駐在して居つた公使グラントは日本の實力を過少評價しつて次のやうな言明をワシントンで發表した、一若し日本人が眞に戦争を欲して居るならば、今こそ彼等に戦争をしかける時である、余は米國がその有する優勢なる海空軍力を以て僅か數ヶ月にして日本を粉砕し得ることを信ずる、然し余は日本がアジア戦争と言ふ結果を招來せしむるが如き實際的軍事行動を今起すとは信じない我々は日本の息の根を止めて終ふやで之を壓迫せねばならぬ」と言明し居たのである十一月二十六日米國はこれ迄の交渉經過を俄かになくかり捨てて日本が國家の面目と權威にかけて絶対に忍ぶべからざる暴戻なる最後回答をつきつけてきた、茲に於てか東亞安定に關する帝國積年の努力は遂に悉く水泡に歸せんとし、帝國の存立亦正に危殆に瀕したるた、米國は三千年の歴史と傳統を守るべく蹶然起つて一切の障礙を破摧すべく長くも御聖斷が下つたのである、戦局の進展と共に各地に於て敗戦相つぎ一方米國民の戦争のために蒙る犠牲、不便も漸く國民生活の各分野に浸透し深刻化してきた

在ハワイのキンメル太平洋艦隊司令長官に對し開戦命令を發せしめて居つた事實が判明したのである之に依つて流石の米國民も「眞珠灣を銘記せよ」と云ふ標語こそ、實は米海軍の職務怠慢のどこまかに至つたのである、斯くして開戦數ヶ月は相續ぐ敗戦と急激なる戦時體制への切替に依り國民は政府への不平不満を續けて居りか様な状態が米國の政府並に國民の間に續けられるならば、今次の大戦も或は容易であつたかも知れない、然し開戦以來十ヶ月に垂んとする今日に於ては、米國の戦争指導もその面目を一新するに至つた、我々は冷静に敵米國の動向を監視せねばならぬ、即ち今日の米國は開戦當初の混亂から漸く立直り、官民協力して戦争完遂へ努力してゐるのであり特に政府當局の輿論指導、宣傳目標、戦争指導そのものが次第に整備されて來たことを見逃してはならない又米國民の抗戰意志も漸次強固になりつつあることを認めざるを得ない米國政府は今日では、今次大戦の世界史的意義を認識し、今やこれを思想と思想、世界觀と世界觀との血戦であるとし、旺んに自由主義即ち民主主義と國際主義の擁護に血道をあげ、世界五十ヶ國を列ねて自由主義擁護の人類の同盟なりと呼んでゐる、而してその豊富な物質力は全面的に之を動員し、ルーズベルトが最近握つた産業獨裁權のもとに、或は自國の軍需品製造に、或は英國其他聯合國の援助物資の生産に、世界民主主義の兵器廠として縱横の活動を續けて居る、米國が一九四四年、即ち明後年の秋を期して全面的な對日

攻撃を開始すべく、周到なる計畫のもとに、生産を擴充し、軍備を増強し、訓練を強化しつづつあることは、我々の特に注目すべき事實であり、今や米國に於ては何人もこの日米戦争が短時日に終結するなどと考へてはゐないのである、ルーズヴェルトよこの戦ひを「米國の生存に關する第一」と規定し、愈よ本格的にこの「亞戰爭に取組んだのである、最近南のソロモン群島と同時に占領地奪還の反撃を策したのも決して偶然ではない

更に私はこの機會この國民總常會をかり一つて事實を發表する、米國は日本空襲を企圖致してゐることは云ふまでもなく今や米國の陸海空軍は總力を擧げてその準備と訓練を怠らないのである、四月十八日の東京空襲以來特にその觀を深くしてゐるがその一つの現はれとして米國は最近南西部テキサスの大草原の中に東京の模型を作つてこの爆撃を練習してゐるようである、模型と云つても小さなものではなく東京と同じ大きさのものである、以て如何に米國が日本空襲に眞剣であるかが判る、東京にはもはや空襲はないだらうとか日本に防空の必要はあるまいなどと云ふことが如何に輕卒であり間違ひであるかが了解願へると思ふ

我々はこにはつきりと思ふ世界史的意義米國戦争指導の本質的變化、米國民抗戰意思の熾烈化を正しく認識せねばならぬ、眞に喰ふか喰はれるかの、生死を賭しての血戦である、相踵ぐ敗戦に依つて米國民は戰意がなくなつて居るだらうなど考へる人が若し一人でも日本國民の

中にあるならば、恐るべき認識不足である、世界の歴史を轉換し、人類の運命を決定する戦争であればあるだけ、この戦争は一年や二年の戦果でその勝敗を決定するものには出来ぬ規模、構想、従つてその犠牲に於て今次の大戦は人類の會て經驗せざる大戦争であることを覺悟せねばならぬ、最近英國の皇帝代理として印度に參り、印度獨立運動の鎮撫に活動致して居りましたグロスター皇帝は印度民衆に、今次大戦の重大性を告げて斯う云つてゐる「地球上の何人もこの戦を避けんとし又傍觀者であることは許されぬ、今次の戦は如何なる意味においても世界戦争である、男も女も子供も、何等かの意味に於て此の戦の影響を感ぜずには生活し得るものはない未だ生れざる人々でさへその影響を受けるであらう」と、日獨伊と米英と孰れが、世界の指導者となるかと云ふ全く天下分け目の戦争である、米英がその支配と侵略ををほしつて、日獨伊の世界を崩壊せしめて、日獨伊の世界觀に依る眞の世界秩序の建設が成るか否か、生死關頭の戦ひである、我々は今次戦争の長期持久性をよく認識して國民のあらゆる行動、生活の一切は大東亞戦争の完途といふ一點に集中せられなければならない

議事

第一日の發言者及其その内容要點左の如し
三井甲之助氏(山梨縣)「神ながらの實踐方法とその順序」につき皇國の君臣關係は神人關係である故に忠義は神ながらの道である神ながらの道

の實踐はこれらの思想的禍根の拔除から始めなければならない、これが對策としては第一に國民儀禮を強化發達せしめて全國民に「神祭の昔のぶり」を普及せしめ、第二に各學校における勸語奉讀とともに歴代御聖に對する儀禮を制定し、敷島の道を普及すべきである
片岡七太郎氏(靜岡縣)日本精神の昂揚と其具體策について日本精神は總て天皇に歸一し奉り億兆一心大和の心をもつて一體となるべきものである、これを凡ゆる方面に亘り實踐具體化することが急務である、これが對策としては第一に人體を正し保つ保健策を講じまた人物登庸の道を拓くこと、第二に家長中心の家族制度を強化する、第三、氏神を中心に一付一家の體制を確立する、第四、皇道政治を行ひ高度國防國家を建設する、第五、八紘一宇の顯現をなす各民族をして其所を得しむること、第六、宇宙の大法即ち一元一體を基とするこの六項を提案する下中彌三郎氏(各界)大戦の前途なるを顯現し神武必勝の信念と氣魄を強化するため大詔奉戴の十二月八日を國定祭日としてこれを興亞祭(假稱)と呼びその第一回祭典を本年十一月八日を以て盛大に行ひ、全國民祭つて一億進軍の決意を新にしたい
本山久平氏(新潟)「正直な者に馬鹿をみせぬ方途を講ずること」
經濟事犯の取締りを強化し、その違反者に嚴重な社會的制裁を加へることが必要である

後藤直太氏(愛知)「被徵用者の練成に關し」多數徵用者の中には國民皆勞の認識を缺くものあり對策として一、被徵用者に對する勤勞心の喚起、二、新規徵用者に對する各事業主の訓育並に練成、三、特別訓練所の設置等が望ましい
平川松太郎氏(各界)「國民徵用令によつて徵用せられたる青年思想惡化矯正の件」
徵用の手續きに不公平があると被徵用者に不満が生ずる故に對策として一、徵用は公平に行ふこと、二、雇主は被徵用者とそれ以外の者との待遇及び仕事を出来るだけ同様にすること、三、被徵用者の精神修養に留意されたいこと等である
次いで山崎清純(各界)の發言あり皇道精神の昂揚に關する議題の協議を「まづ打切り午前十一時五十分休憩、午後一時再開
富塚清氏(各界)大東亞戦争完途のため「健民」を幹とし、實地に即し行ふことが必要である
田村清三郎氏(佐賀)學制改革の實を擧げるには國內に一箇所の教員養成所を設け徹底的教育を施したに國民學校、中等學校教員を國家の官吏とし、物質的にも文武官同様の取扱をせし、その給與を國庫支辨すべきである
小野俊一氏(各界)國民學校に「郷黨の師學校」と仰がれる人格徳望の士を迎へ國民學校に實踐道場の乃至は一家塾的色彩を附與することがよいと考へる
和田信二氏(鹿児島)獨立青年學校を建設し、專任教員を設置すること、青年學校教員の養成所を専門學校以上に昇格させ教員の資質能力の向上を圖ることが緊要である、十分間休憩、午後三時五十分再開
阿刀田令造氏(各界)學校青年層は郷土青年會提携して農村作業、防空作業に挺身するほか青年の海上練陸獎勵の組織を擴充し、又高校以上の生徒は興亞青年勤勞報國隊派遣に代へて一年以内の期間、皇軍占領地域に命令移動せしめ現地教育を施すやうな教育組織を確立すべきである河村泰輔氏(各界)民防空體制の強化民防空の組織の一元化をはかるため防空院(假稱)を設け、各種防空の外郭團體を傘下におき、防空勤勞者の技能向上をはかるとともに防空協會を法制化して防空教育の訓練および防空資材の配給權を附與し、防空に關する各機關の能率をあげるべきである
中山發郎氏(山口)農村總進軍の最高指揮官ともいふべき部隊長の出現を熱望するこれがため舊き機構により選任された村長の勇退を求め、翼賛村長を推戴せしめる運動を起すべきである
佐藤順一氏(大分)町村長は統後第一線の部隊長であるから奉任待遇とし報酬も國家が基準を示し補助せられたり、町村長を推薦法により第一の資格者をあげ推薦せられたものは徵用せられたつもりで就任すべきである、また町村長の國營鍊成機關を設け一定期間鍊成をすることが必要である
枝松五六氏(廣島)部落會、町内會確保班の常會運営が十分ではない眞の下の情上通の機關として指導理念を十分に生かし指導者の鍊成を徹底的に行ふとともに活動機構を整備しまた申合せ事項は必ず實踐にうつさ

ねばならぬ、さらに各種團體の集合を常會中心に統合し簡素強力なものとしたい

騰桂之助氏(東京)總動員態勢確立の前提條件として府縣制を廢止し

もつと大區畫な道若しくは州制度を布くことが必要と考へる、狭小な行政區畫の撤廢こそ大東亞の經綸迄に即應するものであり國土計畫を樹立に資することが出来、さらに行政簡素の趣旨にも添ふものと信ずる

安藤議長 府縣ブロック制の打破、府縣制の再檢討については地方でかなり問題となつてゐるが、未だ實施されなはれるは政府でも考へがあるものと思はれる、委員會において政府側の肚を十分に聞いて協力會議員として政府の方針に協力されたい

林樹三郎氏(島根)從來の町村區域は極めて現状に即せず、町村民の意向統一國策協力の徹底その他の行政の圓滑な運行を阻害する、故に町村區域の再編成を要する

柏山八郎治氏(岡山)大東亞戦に勝ちぬくには全國の町村がよき町村長を得ることが第一要件である然るのち町村内の産業團體をはじめ各種團體を適當に統合し、この町村長のもとに一元的に統制されねばならぬ

川西實三氏(各界)さきに大日本婦人會が創設されたが、統合の精神はまだ十分でない憾がある、政府は婦人團體統合の方針を堅持せられ日婚のなし得べき事業をなすことを目的とする團體の設立を避け大日本婦人會の組織を強化擴充し、すべての既存類似團體の統合を徹底せしめられたい

かくて協議を打切り、代表委員より皇軍に對する感謝決議を陸海軍當局

に傳達した旨をそれぞれ報告し五時四十分散會した

第二日 經濟戰突破の決意を強化

【六三】協力會議第二日は廿七日午前九時開會、劈頭安藤議長より別項の如く日獨伊三國同盟強化に關する決議の提案あり起草委員を議長より指名の後、直ちに大臣の發言に移り夫々所管事項を説明國民の協力を要望し次いで十時五十分から第一日に引續き會議員の提案説明に入つた

△日獨伊三國同盟締結二周年決議 吾等日本國民、大東亞戰爭を戦ふこと十閱月、大御校威のもと赫々の大戦勝裡に、大政翼賛會第三回中央協力會議を開き、茲に光輝ある日獨伊三國同盟締結の二周年記念日を迎ふ今や三國同盟の目的たる世界新秩序の建設は着々進展し、吾等、東に滿洲國、中華民國、泰國等同志共苦の盟邦相携へ萬邦をして各その處を得しむる大理想を大東亞の新天地に實現し、獨伊兩盟邦亦西に締結諸國相率ひ新歐洲の建設に燎たる成果を収めあり、而も吾等三國共同の敵米英は世界各處に擊破せられ、會て彼等が横行濶歩せし七つの海五つの大陸は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

は、今や變じて、その轉落の舞臺とは、今や變じて、その轉落の舞臺とは

新軍事協定を締結して一致協力の實を擧げ來れり、今日同盟締結二周年の佳日に當り、吾等日本國民は締盟の固きを益々固うし、以て共同目的の達成を期するとともに、誓つて皇國を翼賛し奉らむことを、ここに嚴肅に決議す
昭和十七年九月廿七日
大政翼賛會第三回中央協力會議

協力會議部門別委員長決定

第三回中央協力會議は廿八日より各部門別委員會に入るが安藤議長は廿七日の總會に於て六部門の委員長及び委員を指名した、委員長氏名は左の如くである

△第一(思想戰強化)三十九名)八角三郎△第二(戰時國民動員)四十名)坂岡茂△第三(生産擴充)四十名)郷古潔△第四(戰時食糧増産)三十五名)本位田祥男△第五(戰爭生活)三十名)喜安健次郎△第六(民族力増強)三十一名)廣瀨久忠

今日(の)の如き總力戰態勢における諸計畫中にはまづ物資動員の計畫があるこの物動計畫を遂行して行くために、ここに各級の計畫が行はれて來る、また人の總力を發揮せしめるために國民の動員計畫が確立する、その他ありとあらゆるものが悉く計畫化されて來るそこでその計畫の粗ひ所はどこにあるかといふと、結局これは人の問題である、戰爭の性格、相手の國の狀態からいふものを考へて見

ると、可成り長い時間、亘つてこの戦ひを戦はなければならぬ、茲に人間の問題、即ち創意工夫を生む精神の間の問題、鋭智の問題、更にその間の持つところの勞働力の問題、要するに人間の力の問題、かういふ問題が起つて來る、かくして政府は人口問題、それから國民の保健問題などに力を注いでゐるのである、第二は鋭智の問題として文教の問題に非常な力を致さうとしてゐる、さうして實のよい健康な國民を多々益々持つてゐることが、この大業を完成する上において根本的な問題である

第三には物の問題、これは非常なる消耗を補填する、しかもその補填のみならずその質を敵に勝るものを持つてゐるならば、アメリカの持つてゐる物の量、その生産力そのものに比較すれば、我が國の持つてゐる生産力といふものは比較にならない、是非この比較にならない所の、をもちつて敢て勝利の確信を持つといふのは因が茲にあるのである、問題は良きもの、その良きものを效率的に使ふといふことに歸着すると思ふ、敵が百機の飛行機をもつて戦ひを挑むか

に我は十機をもつてこれを破る、かういふ用途以外に勝つ途はない、詰まらぬの生産といふことは、單に其量の揮の上に非常なる勞力を拂はねばならんと存する、ここに於いて各種の産業に従事する者の能率の問題量が非常に重大である私は思ふ、さうして其能率の問題を解決する上において勞務管理の問題、工場の合理化問題などいろいろの問題が発生して

來ると思ふ、それ等は其局に當る方々の創意工夫に俟たねばならぬ、計畫性を持つて來たところの國家の歩みには國民の生活の實體、之が計畫の部面に活潑に明かになつて來なければならない、過去に於ては自由主義である、物で足りなければ他所から買つて來る買ふ金がなければ他所から借金をする、他人に頼つてもが出來た、今日はさういふことは絶對に出來ない、自分自らの力の上に總てのものを維持しなければならぬ、

はつて自分の力が何かといふことをはつきり認識することが先決條件である、政府はこの實體の把握に有餘の努力を傾注して居るが、實際にその局に當り、食糧の生産なり、或は工場を生産なり、或はその他國家の力を構成して居る要點々に御活躍になつて居る方々は、この政府の計畫を誤りながらしむる爲に、是非その實體を明かに御調べを願ひたい、さうしてこの實體の上に適正なる計畫を立て之を行ふ、それから先程ちよつとふれた國民生活の問題であるが、生活の確立、その覺悟といふことについては絶対に政府に責任を負つてこれを遂行せんとしてゐる、今年度から生活必需品の物動計畫を別に策定することとなつた、大は米穀食糧の問題から、小は小兒の牛乳の問題或は藥品の問題、これ等の問題一切にわたつてこの長期戦を戦ひ抜くの必要な人口政策の遂行、この遂行が期せられ、而も物的生産をなし得る必要ある國民の生活、かういふことも出來得べき方途を講じた、併し乍らこれらの政府のなすものは結局計畫であり、指導であり、これを實行するのは國民である、現在

鈴木企畫院總裁要旨

政府側發言要旨

今日(の)の如き總力戰態勢における諸計畫中にはまづ物資動員の計畫があるこの物動計畫を遂行して行くために、ここに各級の計畫が行はれて來る、また人の總力を發揮せしめるために國民の動員計畫が確立する、その他ありとあらゆるものが悉く計畫化されて來るそこでその計畫の粗ひ所はどこにあるかといふと、結局これは人の問題である、戰爭の性格、相手の國の狀態からいふものを考へて見

ると、可成り長い時間、亘つてこの戦ひを戦はなければならぬ、茲に人間の問題、即ち創意工夫を生む精神の間の問題、鋭智の問題、更にその間の持つところの勞働力の問題、要するに人間の力の問題、かういふ問題が起つて來る、かくして政府は人口問題、それから國民の保健問題などに力を注いでゐるのである、第二は鋭智の問題として文教の問題に非常な力を致さうとしてゐる、さうして實のよい健康な國民を多々益々持つてゐることが、この大業を完成する上において根本的な問題である

第三には物の問題、これは非常なる消耗を補填する、しかもその補填のみならずその質を敵に勝るものを持つてゐるならば、アメリカの持つてゐる物の量、その生産力そのものに比較すれば、我が國の持つてゐる生産力といふものは比較にならない、是非この比較にならない所の、をもちつて敢て勝利の確信を持つといふのは因が茲にあるのである、問題は良きもの、その良きものを效率的に使ふといふことに歸着すると思ふ、敵が百機の飛行機をもつて戦ひを挑むか

に我は十機をもつてこれを破る、かういふ用途以外に勝つ途はない、詰まらぬの生産といふことは、單に其量の揮の上に非常なる勞力を拂はねばならんと存する、ここに於いて各種の産業に従事する者の能率の問題量が非常に重大である私は思ふ、さうして其能率の問題を解決する上において勞務管理の問題、工場の合理化問題などいろいろの問題が発生して

來ると思ふ、それ等は其局に當る方々の創意工夫に俟たねばならぬ、計畫性を持つて來たところの國家の歩みには國民の生活の實體、之が計畫の部面に活潑に明かになつて來なければならない、過去に於ては自由主義である、物で足りなければ他所から買つて來る買ふ金がなければ他所から借金をする、他人に頼つてもが出來た、今日はさういふことは絶對に出來ない、自分自らの力の上に總てのものを維持しなければならぬ、

はつて自分の力が何かといふことをはつきり認識することが先決條件である、政府はこの實體の把握に有餘の努力を傾注して居るが、實際にその局に當り、食糧の生産なり、或は工場を生産なり、或はその他國家の力を構成して居る要點々に御活躍になつて居る方々は、この政府の計畫を誤りながらしむる爲に、是非その實體を明かに御調べを願ひたい、さうしてこの實體の上に適正なる計畫を立て之を行ふ、それから先程ちよつとふれた國民生活の問題であるが、生活の確立、その覺悟といふことについては絶対に政府に責任を負つてこれを遂行せんとしてゐる、今年度から生活必需品の物動計畫を別に策定することとなつた、大は米穀食糧の問題から、小は小兒の牛乳の問題或は藥品の問題、これ等の問題一切にわたつてこの長期戦を戦ひ抜くの必要な人口政策の遂行、この遂行が期せられ、而も物的生産をなし得る必要ある國民の生活、かういふことも出來得べき方途を講じた、併し乍らこれらの政府のなすものは結局計畫であり、指導であり、これを實行するのは國民である、現在

來ると思ふ、それ等は其局に當る方々の創意工夫に俟たねばならぬ、計畫性を持つて來たところの國家の歩みには國民の生活の實體、之が計畫の部面に活潑に明かになつて來なければならない、過去に於ては自由主義である、物で足りなければ他所から買つて來る買ふ金がなければ他所から借金をする、他人に頼つてもが出來た、今日はさういふことは絶對に出來ない、自分自らの力の上に總てのものを維持しなければならぬ、

の國家の歩みを諒解して眞に凡ゆる分野における創意と工夫により我が國力の増進に協力あらんことを御願ひする

藏相發言

近代戦が科學戰であり、これが爲めその戦費が天文的數字に上ることは必然の趨勢である、加ふるに巨額の生産擴充資金を必要とする然かのみならず現在は一而戰爭を繼續しつつ、同時に大東亞共榮圏の建設を成し遂げねばならぬので之に要する資金も極めて莫大となることは當然である生産の増強と共に物資勞力の消費節約も亦戰勝の絶対條件である、

商相發言

大東亞戰爭は今や明瞭に長期戦の様相を示し最終の勝利を獲得する迄には今後尙幾多の困難を克服せねばならないのであつて、産業經濟の施策運営に於ても此の際の工夫と努力を必要とすることを痛感する

藏相發言

とを得て支那事變以來滿五年間本年の六月迄に二百六十億圓と云ふ巨額に達し、よつて三百億圓の國債と二

商相發言

般の統制機構を整備し物資の移動を重點的に調整すると共に、生産の統制、回収措置の強化、輸送、電力、

藏相發言

を以て充足することは出来ない國民の消費生活を最少限度に切り下げて、これにより物資、勞力、生産力の各要素を戦力増強に轉換集中しなければならぬ、戦時には膨大な政府資金が民間に放出せられる、之を放置すれば國民消費生活の爲めには通貨の大膨脹、悪性インフレーションを惹き起し、遂には戦時經濟を根本的に破壊して戦勝獲得を妨げること言を俟たない即ち戦費の調達生産擴充資金の調達は絶対に之等戦時經濟最高の要請と合致するものでなければならぬ、其方法は租税、質

商相發言

の六月迄に二百六十億圓と云ふ巨額に達し、よつて三百億圓の國債と二

藏相發言

の六月迄に二百六十億圓と云ふ巨額に達し、よつて三百億圓の國債と二

の六月迄に二百六十億圓と云ふ巨額に達し、よつて三百億圓の國債と二

八田藏相口演要旨

國內最近の輸送情勢は非常な繁忙を呈し旅客貨物共にその輸送量は支那事變發生以來五箇年間に二倍以上といふ急激なる増加を示して居る、これは實際の輸送の要求に對し可成りの抑制を加へての上のことであつて實際の輸送の要求は遙かにこの數量を超過致して居るのである輸送が圓滑に行はれるか否かは戦時下重要な生産擴充、また國民戦時生活の上

商相發言

に忽ち影響を齎すものであることは申すまでもないが、殊に計畫經濟の下に原料資材の配給が統制され、且つ戦時下隨所に十分な貯藏量の許されぬ現状においては些々たる輸送上の緩急が直ちに生産能率の上に敏感に響くのであり、更に生活必需品たる生鮮食品等についても、また重要産業の事業場に朝夕通勤する工員其の他の人々の輸送に付ても同様

藏相發言

の問題があるものである、從て輸送計畫の樹立は豫め物動計畫交易計畫、生産及配給計畫等の國家諸般の計畫と緊密なる相互關係において樹立されて居ることは申すまでもないが、更に其の實施に當つても、國家諸計畫の實施に吻合する如く調整しつつ輸送の實行に今日遺憾なきを期して居る、これがため本年五月鐵道輸送協議會官制が公布せられ、中央協議會及び地方協議會が設けられ、生産配給部門における各産業統制會其の他に準ずる團體及び關係難の協力の下に所謂輸送擔當者と輸送需要者とが相互に其の現状を知悉し、輸送計畫と生産配給計畫とを常に調整しつつ適確なる實行を講じて居る、

商相發言

の六月迄に二百六十億圓と云ふ巨額に達し、よつて三百億圓の國債と二

藏相發言

の六月迄に二百六十億圓と云ふ巨額に達し、よつて三百億圓の國債と二

商相發言

の六月迄に二百六十億圓と云ふ巨額に達し、よつて三百億圓の國債と二

藏相發言

の六月迄に二百六十億圓と云ふ巨額に達し、よつて三百億圓の國債と二

鐵道省としては一方輸送需要の現實の増大に對處して、必要缺くべからざる車輛の増備と最小限度の線路其の他の施設に改良を行ひ積極的輸送施設の擴充に努力すると同時に他方人員、資材の窮屈なる戰時下においては如何にせよ先づ現有施設をもつて如何にせば輸送能率をこの上より高度に發揮すべきかについて極力工夫し輸送力の増強を圖つて居る、斯る狀態の下に昨年十一月國家總動員法に基く陸運統制令を改正強化し、本年運輸規程をも全面的に改正し、本年四月一日より實施致した

向國有鐵道輸送施設の整備擴充に就いては昭和十三年度に始まる輸送力擴充四箇年計畫に引續き時局の要請に即應し、凡て計畫を重點的にし主要幹線、重要資源開發線の整備及主要貨車操車場、臨港線等輸送系路上の隘路の補強に専ら應急の施設を集中すると共に、車輛の如きも貨車、機關車に重點を置き必要已むを得ざる増備を行つて居る、一方關門隧道は昭和十一年七月開鑿に着手し第一期として單線一本は既に本年六月完成し、七月一日より電氣運轉による貨物運送を開始して居り遠からず旅客列車の輸送も開始する豫定で第二期隧道は目下工事中であつて、十九年度中には完成の見込である、又東京下關開新幹線は廣軌の複線鐵道として長距離貨物及旅客高速列車の集中運轉を爲すことを使命として既に部分的に起工して居る、この廣軌新幹線は資材努力等の關係上十五箇年計畫となつて居るが將來事情の許す限り完成期を繰上げ、又一部竣功次第部分的に開業することも考慮

して居る、次に自動車運轉事業は燃料消費規正並に車輛、部分品等の資材の關係上今日經營の點においても輸送力の向上において種々の困難な事情にあるため輸送力に地域的不均衡を來し又は全面的に輸送力減退の傾向を生じて居る處も少くないこれ等の現象は元來総合的に行はるべき國內陸上輸送計畫の樹立と實施に重大なる支障を及ぼすこととなるので現下自動車輸送力を強化確保し、併せて將來における自動車の發達を期する爲には、小さく分立てる企業を相當規模に統合整備して現存の施設を最も有効に運用する要がある、これが對策としては自動車交通事業法に基く組合を強化活用し、一方事業の統合整備を行ひ、一應刻下の輸送難を打開せんと致して居る、この中旅客自動車運轉事業の統合に就いては過日基本方針を決定し、道府縣において目下事業の讓渡又は會社の合併等進捗中である

又貨物自動車運送事業に就いても業態の整備を圖ることに就て目下研究中で速かに具體化する方針である、鐵道小運送制度に就ては我國陸上交通の動脈たる國有鐵道の輸送を圍滑にするためには小運送即ち鐵道の前後の輸送が圍滑には行はなければならない、この目的は達せられないので、曩に國策會社たる日本通運株式會社に對し六大都市をはじめ全國の主要都市における小運送業を統合し、一元的經營の下に戰時下陸運能力の強化に資することになつた、由來我國の地勢其他諸種の事由により鐵道線路は概して氣象變化の影響を受け易い態勢に在り、これ等災害に起因する被害の軽減乃至徹底的防止に就ては

防備施設の増強と共に改善の方策を講じ鋭意努力中である

厚生省の擔當してゐる國政は、人
厚相發言要旨
 關する行政であり、その内て現下の最重要點と考へらるる點は、一、國民保健、二、國民勤勞力發揚、三、戰時下國民生活確保である、第一に、國民保健の問題は、近年特に蔓延の徵が著し、結核を徹底的に豫防撲滅することが第一に重要な問題である、結核撲滅は、まことに國家喫緊の要務である、そこで去る八月廿一日結核對策要綱を閣議に於て決定した、結核は結核菌以外諸般の發病要因に富むものであつて其の發病要因は職場生活、家庭生活の根柢に深く根差し、謂はば發病要因それ自體が生活條件を形成して居ると申してもよい位である、依て政府は、各職域組織、地域組織、隣保組織等諸般の組織一切を擧げて、全國の健民運動に展開することとし、又之と併行して行政各分野を擧げて、國民生活の全分野に互り多角的なる諸對策を全面的強力に實施することに決定し結核對策の實施に當つては青壯年層を主眼目標とし對策實施の基礎を體力管理の徹底に置くこととした、即ち健康者に對しては諸般の鍛鍊施設の活用によつて日常生活と鍛鍊道場との結合を一體のならしむるやう施設すること、弱者に對しては療養しつつ修練を施すと言ふ所謂健民修練施設を全國に互り整備したいと考へて居る、又病者に對しては日本醫療團の結核病床増設五ヶ年計畫を三ヶ年計畫に改變し、日本醫師會を總動員して醫療普及、或は妊産婦手帳制の實施等を致

議事

前田房之助氏(各界)「勞務對策の整備充實」現下の勞務對策はまだ不十分であるから更に適切な方法として勤勞運動の展開勤勞者の待遇改善陣頭指揮の善用、勤勞勤勞者に對する國家及び社會の褒賞制度確立が必要である

中村豐氏(福島)「炭鐵熱練坑夫の緊急充足に關する件」採炭條件は惡化しつつあるが當業者は總ゆる困難を克服して増産に挺身しつつある、根本問題は内地人熱練者の基本要目石炭部隊を編成する方法がある

宮田武太郎氏(各界)「船員に對する社會的處遇に關する件」戰時下船員の勞苦は第一線將兵に次ぐとも言ふべきだがこれら船員の國家的社會的に酬ひられることろは遺憾である、大政翼賛會なども船員の社會的慰安に積極的方法を講ずべきだ

磯田菊治郎(京都)「小賣業整備と轉廢業の圓滑なる促進策」小賣業整備の實施に當つては官廳の強い指導力を發揮せられたい、然しその實施に當つては轉廢業者に交付する國庫

を以て居る、而して結核患者の療養を確保し併せて患者家族の生活を援護する爲に三ヶ年計畫を以て國民の全部に社會保險制度を擴充することに決定した次第である

次に、勤勞問題は政府に於て今日迄萬般の勞務對策を實施して來たが、大東亞建設にも益々多くの人力を要する際、根本的に再檢討を加へつて

其第一は、國民皆勤の體制を更に一段と徹底することであり、第二には勤勞能率を更に數段増進するの方策を徹底することである、既に政府に於ては、勤勞顯功章を制定し、又技能者養成令の改正を進めつつあるが勤勞體制的根本的確立に付ては目下鋭意研究中である

次に戰時下國民生活の確保に付て言へば、戰時下國民生活は、戰時に相應しく簡素實質たらねばならぬ、然るに近時國民生活の或る分野に於ては、戰前に比し却つて膨脹せるものがあるを見るが、この場合國民生活の實相を明確に把握することが根柢である、此の意味に於て私は厚生省の各種機關を總動員するは固より、民間各方面の知能をも總動員して、綜合的、科學的なる國民生活の本態の闡明に努力してゐる、今後は此等の確實なる成果に基き、政府として着々と必要喫緊なる施策を爲し得るやうにしたいと考へてゐる、國民榮養の狀況に付ては我が民族悠久の發展の爲には乳幼児保育に萬全を期することには極めて緊要と考へ、關係省とも緊密なる連繫を圖つて、特に乳幼児及妊産婦の必需榮養の確保に萬全を期してゐる、尙又或は乳兒檢診の實施、或は妊産婦手帳制の實施等を致

負擔共助金の増額、國民更生金庫の利用等により轉廢業者への待遇を講ぜられたい

加藤完治氏(各界)「轉廢業者の轉業を合理的ならしむる一方策に就て」我國勞務の配置状況を見ると均衡を失してゐる、例へば北海道に於て勞働力は他の地方よりも遙かに不足のやうである、轉廢業者の勞務を動員する場合には勞務の配置を平均し有無相通ずるやうにした

淺岡信三郎氏(岐阜)「生産擴充のため餘剩勞力の活用」中小商工業の整備に當り轉業者に伴ふ家庭勞働力の活用について考慮されたい、老人子持ち婦人等の餘剩勞働力を組織して國家の指導による授産場設備を強化されたい

松田喜一氏(熊本)「中流以上の農家に於ける健康なる後繼者養成の特殊學校を設置されたい」

落合寛茂氏(茨城)「生産擴充に伴ふ農村民道昇揚」(一)農村文化工作に併行して農村電力化、都府農村遊休勞働力の組織化及び活用(二)全國農家を自作農たらしめる(三)次男たると三男たるとを問はず家に留つて農業に携はるるを必ず相續者とす

坂口壯介氏(鹿兒島)「女子の農業部門指導者を養成する機關を設立するの件」

高橋英夫氏(島根)「農業増産計畫責任遂行の件」農業増産計畫に即して資材の適切な配給につき考慮されたい、また農村に對し食鹽の増配を考慮されたい

小西繁吉氏(長野)「長期戦完勝のためには、水産物生産の擴充を期すべし」漁業取締規則並に指導調査機關

が府縣別にまちまちであることは不可である、海區的に統一して欲し

(一)漁業用資材は重點配給すべし

(二)農林省決定の國は地方事情に應じて是正し得るものとし、これが是正に當つてはなるべく専門業者の意向を徴されたい

佐々木孝一郎氏(秋田)「食糧農産物の増産及び農村生活明朗化に關する件」

山田庄助氏(大阪)「戦時下市民消費生活の安定確保について」大阪府において本年二月以來食料品の全面的切符制を實施したが入荷割合は東京その他の都市に比して少量のため現在食料窮乏である、かかる食料品の地域的偏在及び不公平を是正するため、必需食品の割當は都市人口比率に準據すべきである、また季節的需給の不均衡を調節するため、農産期に食料品を國家が貯藏する方途を講じられたい、又地域的、季節的需給の調整の障礙となる公定價格を是正されたい

山高しげり(各界)「行列買の廢止を要望す」生鮮食料品の行列買を廢止するため消費者組織の確立に至急實現されたい、また眞實會は町内隣組においても本部において行列買廢止對策會議を計畫されたい

安藤議長 行列買が國民の心理状態に如何に影響するか思想問題に及ぼす影響等については政府に於て憂慮してゐる、これが具體的對策についてはさらに部會において皆さんの智慧を借りたい、翼賛會におきま

せめて東京だけでも行列買の廢止を實現させたい意氣込みで對策を考究

してゐる

岡部藤造氏(大阪)「經濟的國土計畫の樹立は國家の急務である」經濟計畫の東京集中化は種々の弊害を生じてゐる經濟的國土計畫の樹立し物資及び經濟活動の地方分散を圖ると同時に府縣ブロックの打破を斷行せよ

多田滿長氏(各界)「閣行爲必滅策の提唱」(一)國家權力による嚴罰主義の徹底、(二)地域的自衛組合をつくり、組合に特殊機能と與へ警察官と協力してこれを絶滅せしめる(三)

國民に對する啓蒙宣傳を強化し國民に時局認識を徹底せしめる(四)國策の根柢は獨り民のみにあらず、官民指導者階級が率先之に挺身すること

高橋孝太郎氏(奈良)「閣取引防止對策について」閣取引の源泉たる物資の偏在を是正するため現在の複雑な物資配給機構を改め、生活必需物資に關する限り生産工業組合より中間商人の手を経ることなく、間接に小賣商業組合へ流し、自治町村を單位とする綜合配給所を設けて町村長の監督下に適正圓滑なる配給を圖るべきである、さらに配給物資については需給關係と生活程度を考慮すべきである、また生産者卸賣者の小賣業務を禁止せよ

渡部旭氏(各界)「國民民主食を玄米食に復歸せしむる件」

杉本好一氏(各界)「同趣旨」

南郷三郎氏(各界)「同趣旨」

宮澤小五郎氏(各界)「戦時中住宅の規格を一定する件」

桑原重治氏(各界)「速に庶民住宅の大規模建設をなし且つ家賃を低廉ならしむる要あり」

村岡花子氏(各界)「戦時生活基準確立の中に教養への施設を」長期戦下

衣食住の問題とともに一般家庭婦人に教養と文化を與へる工夫を考へてほしい、これが對策の一として隣組婦人部の間に良書の回覧を進め簡易貸出本部のやうなものに翼賛會でお世話願ひたい、また隣組内の國民學校生徒のため簡易子供圖書館の成立などを提唱する

若生憲雄氏(宮城)「戦時國民貯蓄増強に關する件」

盛田達三氏(青森)「同趣旨」

三浦シゲ氏(香川)「民族優生、人口増強に關する對策要望の件」優生結婚、公設託兒所の設置、優良なる日本女性を滿洲開拓民の花嫁とする、結婚費の簡易化

花岡和夫氏(千葉)「人口増加、健康増進の根本策について」

藤岡アサヨ氏(東京)「母性及び乳幼児保護に關する希望」

三橋喜久雄氏(東京)「民族力増強の方針を説明の後、皇道精神報徳精神昂揚に關し中牟田辰六(福岡) 西村茂生(各界) 秋岡保治(各界) 高杉新一郎(各界) 片平七太郎(静岡) 三井甲之助(山梨) 各氏の發言あり

後、下中彌三郎(各界) 十二月八日を國定祭日と定め興亞祭とせよ、また正統の慰靈祭は佛式を改めて神式とし府縣以上の神職も慰靈祭に司祭し得るやうにせよとの提唱に對し山田孝雄氏(各界) 飯沼神祇院副

藤原英平氏(各界)「大東亞共榮團建設に特に風土性を重視すべき件」大東亞共榮團各地の曆を改正しこれに即する如く會計年度等を改正すること必要だ

猪飼博氏(京都市)「大東亞建設の一環としての藝術、技術の保存の必要について」國家において藝術士、技

藝士等の稱號を設定して特別の保護待遇を與へると共に技術保存協會等を速に設立し相當の權威を保存せしめよ

乗杉嘉壽氏(各界)「團樂創成の國策遂行に關する件」國民音楽研究機關を創設し研究を獎勵するなど音楽教育制度の改正擴充が必要と思ふ

大谷竹次郎氏(各界)「大東亞共榮團の建設におけるアジア民族協力運動の方法」大東亞建設に際しアジア各民族に對しても宜しく映畫音楽による現地對策を確立せよ

第三日 第一委員會

委員會

第一委員會(思想戰強化に關する事項)は午前八時五分開會、八角委員長より委員會運営方針を説明の後、皇道精神報徳精神昂揚に關し中牟田辰六(福岡) 西村茂生(各界) 秋岡保治(各界) 高杉新一郎(各界) 片平七太郎(静岡) 三井甲之助(山梨) 各氏の發言あり後、下中彌三郎(各界) 十二月八日を國定祭日と定め興亞祭とせよ、また正統の慰靈祭は佛式を改めて神式とし府縣以上の神職も慰靈祭に司祭し得るやうにせよとの提唱に對し山田孝雄氏(各界) 飯沼神祇院副總裁及び佐藤情報局第一部長の發言あり、國民思想の善導健全化に關する事項に入り兒玉九十氏(各界)は國民再教育について今堀辰三郎(名古屋) 本山久平(新潟)の兩氏は勤勞青少年の保護育成並に鍊成について發言あり平川松太郎氏(各界)は徵用せられた青少年の思想惡化對策

述へ藤野教務局長官より私立青年
學校に關し佐藤情報局長第一部長は勤
勞青少年の保護に關して發言し教育
制度革新の事項に入り小柳牧衛氏
(各界) 國家自ら強大な育英制度を
樹て不遇な青年子女に教育を施せし
主張し菅沼周次郎氏(長崎) は育英
備重の現學校教育を難じ午後零時二
十分休憩午後一時十五分再會教育制
度改新問題に入り梶山精一氏(大阪
府) 田村清三郎氏(佐賀縣) 大村一
藏氏(各界) が發言あり、ついで
兒玉九十氏(各界) 教育年限が短く
なつても學力が低下するのではない
ことを徹底的に理解せしむる必要が
ある

ついで西村茂生氏(各界) より育英
制度の確立を要望
藤野教務局長官 育英制度の確立は
現在こそまさに必要の時機であると
考へる、文部省でも目下その具體的
検討を行つてをり、その具體化に向
つて努力してゐる、今回の學年短縮
は教育刷新と不離不即の關係にあり
これがため學生生徒に劣等感を抱か
しめるが如きことはいと考へる、
學生の修練機關としての學校報國隊
は愈々活用してゆきたい、國民學校
教員對策としては明年度よりの師範
學校昇格と共に養成人員を相當數増
加する方針である、道州制の設置と
睨み合せて教職員的人事行政を道州
等の地區的に一元統制下に過ぐとい
ふ意見は充分參考としたい、普通の
地方機構改革に伴ひ内政部の新設と
共に學務部が廢止されたがもとより
教育の輕視ではなく一層文教の刷新
に努力する

次で青年學校教育の充實強化に關す
る事に入り天利義昌氏(東京) 長
村甚一氏(京都) 花木チサヲ(東京
市) 和田信二氏(鹿児島) の要望に
對し、續編文部省普通學務局長から
青年學校強化につき具體案研究中な
る旨言明
平川松太郎氏(各界) の學校増設等
要望に對し
續編局長 學校の増設等は資材の關
係等で困難な點もあるが必要に應じ
て増設する、私立學校の増設を認め
ぬ、と云ふ文部省の方針はない
と答へ、練成に關する事項に入り久
野庄太郎氏(愛知) 青塚恒治氏(山
形) 阿刀田令造氏(各界) 後藤直太氏
(愛知) 中西タキノ氏(徳島) 三輪新
七氏(各界) より意見の開陳あり
堀池教務局長 外地在住者の
教育に關しては文部當局も目下慎重
考慮中であるが内地で教育するのは
中等學校時代、或は專門學校以上に
するは慎重研究を要する、しかし
其指導者に日本精神を體得したもの
を以て充てることは全く同感である
吉武職業局總務課長 國民徵用制度
が實施されて日向淺いのであるから
不備な點は逐次改正して完全なもの
にしてゆきたい、被徵用者中に不良
ものが多いといふ聲をきくが、これ
はごく一部でありしかも、職場に於
て練成を施した結果、改心を誓ひ立
派な産業戰士となつた例がある
かくて同五時二十分散會

第二委員會
第二委員會(戰時國民動員に關する
事項) 午前八時開會、山口九郎氏(兵
庫) は名譽職的町村長の廢止菊地權
太郎氏(青森) は村内既存團體の統
合高草木芳太郎氏(各界) は部落會
町内會の法制化の實施、眞榮城守行

氏(沖繩) は農事實行組合長と部落
區長との一元化、青壯年の練成道場
通年制の保育所設置上田與一郎(富
山) は町内會長の専決事項、桐淵と
よ(大阪府) は隣組主婦指導者練成
主婦會組織、保田昌弘氏(北海道)
は下部組織の整備に關して發言し、
これに對し
古井地方局長 町村長を中心に各種
團體を一元化することは從來の實績
から見て必要を痛感する、部落會、
町内會幹部の練成問題についてはな
一層適當な方法を講ずる標努力す
る、町内會の法制化も數年來凡ゆる
角度から研究してゐる問題である、
部落組織を法の上に於て認める必要
がある、が一面法制化したために隣
保共助の精神を傷け自然の發達を阻
害するといふ弊も考へられるので、
この點慎重な考慮を要する
と答へ(鈴木重康氏(各界) 渡邊恒次
郎氏(靜岡) 今井浩三郎氏(香川)
那須孫次郎氏(和歌山) より夫々翼
贊會の下部組織に關する發言あり
高橋雄豹氏(各界) 下情は翼贊會上
層部にはうまく上通してゐない憾み
がありはしないか
秋葉組織部長 翼贊會職員と雖も總
て下部組織の構成員である、下部組
織の配給ルートに窮屈その他よく承
知してゐる、翼贊會としても基盤組
織の確立には重點を指向して居り今
後その組織強化並に運轉刷新に努力
する

閉會委員長 基盤組織に關する意見
は結局翼贊活動の基盤の中樞たる町
村長の任免即ち眞に翼贊整備理念に
徹せる立派な人を町村長に得る様に
せよと述べたことを、部務會、町内會が中心
は開行爲について發言し之れに對し
上田内務省防空局長 國民防空はあ
くまで自治的にやるべきで權力をも
つてやるべきではない
古井地方局長 開行爲による罰金を
課せられた者を指導者に立たせるな
といふ趣旨には賛成である
相山翼贊會實踐局長 閣の撲滅に對
しては翼贊會でも政府に協力して徹
底的運動を行ふべく考究中である
多田滿長氏(各界) この問題は對策
が全部出揃つてから實施するといふ
やうな緩慢なことでは駄目で、どん
な對策でもいゝから一つ、實行し
嚴罰主義で臨みたい、そして指導
者は率先垂範して貰ひたい
午前中の朝比奈氏の發言に答へて
生悦住文部省社會教育局長 各種青
少年團聯合に關しては大いに研究中
でありまた年齢等の不統一な點は將
來是正したいと考へてゐる
次いで湯澤内相も出席して行政機構
の刷新運用に關する議題に入り
宮崎一氏(埼玉) は政府助成金につ
いて膳桂之助氏(各界) は府縣制廢
止と道制新設に關し意見を開陳した
山崎内務次官より詳細なる説明あり
更にこれに關聯して
重政農林省總務局長 米穀管理實施
當初は府縣經濟プロックの弊が叫ば
れたが、今日では米の管理配給はプ
ロックあるがために供給配給が迅速
に遂行出来る状態である
小泉一氏(各界) 町村會議員の性
格を改めこれに經濟統制委員の如き
性格を與へられたい
脇山眞一氏(熊本) 今井浩三氏(香
川) 諸井貫一氏(各界) より大行政
區畫制に關し發言あり
重政總務局長 配給及び生産統制に

ついで各府縣間に差等をつけることは政府としても考へてゐない、さうした實情があれば速やかに是正する大和田悌二氏(各界) 戦争遂行關係を統一した官廳の設置を望む

林樹三郎氏(島根) 町村の區域に大小があるがこれを合理的な廣さに統合してはどうか

古井内務省地方局長 一般論として今日の區域は狭すぎる、町村の財政力を必要な程度持たせる上からも國家行政の重要な單位としてまた部落活用の點からも検討を要するので目下研究中である、將來は町村合併手續を簡易化する様考究中である

那須孫次郎氏(和歌山) 脇山眞一氏(熊本) は農業團體統合問題につき宮本吉太郎氏(神戸市) は海事に關する部門設置、徳田吉松氏(福岡) 小畑忠良氏(各界) より工場礦山勞務者への生活必需品供給と精神生活の向上に關し政府の考慮を求め

重政農林省總務局長、農業諸團體の統合問題に就ては農林當局としても早急實現の要を痛感してゐるが問題が重要である上から各方面に與へる影響も頗る大であるから立案に當つては慎重を期し内務省はじめ關係各方面と協議を進めてゐる

之に關聯して林、菊池兩委員より農業團體統合の急務を力説し松本海務院長官 現在海事諸團體の統合を終り海洋道場の建設も目下進行中であるこのとき翼賛會に海事に關する部門を新設することは指導系統の混亂を來す惧れなしとしな

狭間委員長 農業團體統合を實現することは時局下緊切な問題である、地方の農業經濟に支障を來さざる形で速やかに統合實現される様、總會

に報告したい、かくて午後五時四十分散會

第三委員會

第三委員會(生産擴充に關する事項) 午前八時十二分開會、中山太一氏(各界) 村上徳一郎(岩手縣) 石川等氏(横濱市) 前田房之助氏(各界) 中山太一氏(各界) より貸金問題能率問題努力配分問題等に關して要望

菱谷鐵道省管理課長より陸運統制に關し發言 神田商工省總務局長(一) 農畜産業に關する資料配給を圓滑化すべく考究中である(二) 限られた船舶を最高度

に活用して極力輸送、配給に努めてゐる事情を諒承されたい、高山久藏氏(東京市) は一勤勞對策委員會設置、井出繼男氏(東京市) は積極性ある適正勤勞管理の實行を説き山崎靖純氏(各界) より共榮圏内における勞力配置に關し發言、轉廢業對策に移

り船田中氏(各界) は中小企業者の南方進出を希望杉田邦次氏(栃木) の轉廢業問題に關する發言後、大和田悌二氏(各界) 前田房之助氏(各界) の電力問題に關する要望ありついで委員會としての上通意見を取纏めるため委員長より製品工業の増産を圖る基本要件として原料産業、基本産業の増強策を提示、討議に入り石原

廣一郎氏(各界) より行き過ぎた加工工場 of 整理を要望し三村起一氏(各界) 前田房之助氏(各界) の勞働對策に對する意見あり、陣陵義等(各界) 中山太一(各界) 諸井貫一(各界) の諸氏より戰時能率向上につき發言

持永厚生省勞働局長 緊急部門の勞

力充足には政府として種々具體策を考究、實施してゐるが鐵山、工場に於ても勞務者の保有確保に創意を發揮し勞務者の移動防止を圖らねばならないと官民の協力を強調し、ついで經濟行政機構改正問題に移り、岡野清豪(宮崎縣) の要望に對し 川上内務省國土局計畫課長 工業人口の大都市集中に對する抑壓は既に院制度の擴充、強化案を併せて提唱

ついで陸運關係の討議に移り、五島慶太氏(各界) 井出繼男、前田房之助氏(各界) 岡野清豪氏(各界) の發言に對し 菱谷鐵道省管理課長、トラック業者の再編成については目下立案を進め近く具體案を得る見込である、即ちトラック業者を一定規模に再編成するとともに現在の全國貨物自動車聯合會を強化し末端に至るまで監督し

得る機構とした意向で、必要とあれば貨物自動車事業法の改正をも行ふ用意がある、また日通と貨物自動車業者の小運送、地場運送をめぐる問題も同時に調整したいと思ふ

かくて午後〇時五分休憩午後一時再開、轉廢業問題に關し番井孝吉氏(横濱市) 之に關聯してほか數氏の發言あり

豊田商工省企業局長 配給機構整備と勞務供出の二點を睨み合せて職業轉換を圖る、轉廢業問題に就ては現在地方再編成協議會が主體となつて著々斷行してをり、其為政府では轉廢業資金として十七億の豫算を計上してゐる、轉廢の際に補助する一人當りの三百圓の金額は今の所増額しない方針を採つてゐるが組合共助金は國民更生金庫の無利子融通金等により出來得る限り増額せしめたい、轉廢業と關聯して輕工業の分散の要望

に對しては政府は輕工業といふよりも軍需工場の地方分散を圖つてゐる旨述べ、次いで經濟主地に關する事項に移り、米原章三氏(鳥取縣) 武谷甚太郎氏(石川縣) 有馬美利氏、(宮崎縣) の要望に對し 川上内務省國土局計畫課長 工業人口の大都市集中に對する抑壓は既に閣議決定により確定してをり關係各省協議の上實施してゐる

旨を述べ地方に對する國土計畫も地方の實情に即した地方計畫を樹立して研究中であり人口再配置は量のみならずの方面質をも考慮して計畫し實施してゐると答復し、ついで森電氣課第二部長より電力問題に關して發送計畫は完備し現在水力主火力從の方針の下に水力開發に専心努力してゐると述べた

轉廢業者の南方進出に關し陸軍省佐藤軍務局長が答復を行つた配給消費に關する問題に移り、小汀利得氏(各界) 川田順氏(大阪府) に對し湯河農林省食糧管理局長官、供給量が限られてゐるので種々困難があるが改むべき點は改めてゐる、米麥、パンの綜合的抱き合せ配給を行つてゐるがこれも強制的には行つてゐない

三 堀農林省食品局水産食品課長、魚介野菜等生鮮食料は供給に計畫性がないうので綜合切符制は建て難い、ねばならぬ 朝倉照郎氏(東京) は五人組を對象として流す機構を造りたいと述べ、里見純吉氏(各界) は綜合配給の要を説いた、岸井壽郎(各界) 川田順(大阪府) 氏等より甘藷、馬鈴薯配給實情を説明、府縣プロツクの打破

と配給業者の責務強調 之に對し農林當局より再び補充的説明あり 豊田商工省企業局長、配給機構整備に當つては個人企業體を存置する限り當初から綜合配給所制度を本格的に行ふことは困難だが、各種配給所をして小賣市場、商店街形態をとらしめ、また類似品については一定の配給區域を設け、計畫的責任配給乃至は共同配達、共同御用開を實行せしめ、町内會の消費經濟部設置と相俟つて綜合配給の實が上るやうにしたい

太田永福氏(各界) 生鮮食糧品の劃一的統制販賣を改めこれを重點主義とし、その他の物については統制を解除して自由販賣を認めよ 早川茂一氏(神奈川) 食糧品公定價格の構成方針を改め、同一種類の食糧品についても趣味嗜好によらず生活に充たす程度を標準として價格を公定し生活に必要な食品生産を比較の有利とすべきである 中辻貴十郎氏(大阪) 公定價格の決定に當つては原價計算主義も固より必要であるが他品種との戦前價格等とも比較對照して適正を期すべし

前田房之助氏(各界) 生活必需品については適正價格主義を徹底されたといひ 野來の供給を増加され度き旨の發言あり 石黒農林次官

一、要は生鮮食料品の生産増強でそれについて努力してゐる

一、生鮮食料品の價格については生産者價格と消費者價格を睨み合せて

考へねばならぬ、前者は重要な食品の価格を優待し生産を刺激する點に重點があり、後者は國民全般の必要とする食品については國民生活安定の見地から一定の制約を有する、また魚類等については價格調整と漁獲との間に關聯のあるものとなつてあり従つて一概に論ずることは出来ぬが、今後實情に即して研究して行きたい。

第四委員會

第四委員會(戰時食糧に關する事項)は八時開會、松田喜一氏(熊本)、中澤浪治氏(高知)、中島榮治氏(石川)、落合寛茂氏(茨城)、那須皓氏(各野)の意見に對し井野農相から發言があり

加藤完治氏(各野)農民道は些々たる經濟問題や政治問題に依て常に動搖する性質のものではない、日本精神の顯現したものが農民道であり農村に於ける老農の態度の内に農民道は輝いてゐる。

委員長 今冬の木炭需給に何等不安ないか
石黒農林次官 木炭の生産、出荷については九月初以來關係各省、地方廳、木炭業者が協力して萬全を期してゐる、農相はこの分で行けば、あまり心配をかける必要はない、わかれわかれとしては今後も氣を弛めず努力するつもりである

以上をもつて一應議事を終り小汀利得氏(各野) 戰爭關係は已むを得ないが、それ以外のものについては國家財政支出をこれ以上膨脹せしめるやうな政策を政府に要望することは嚴に慎まねばならぬと提議、滿場一致賛成、

三村起一氏(各野)一、協力會議は從來とかく言ひ放し、開き放しの憾みがあつたが今度は國民總常會の意を、同時に出席の役所の方々は機會をとらへて下情上通の迅速化を圖ら

と要望、五時卅五分散會

加藤完治氏(各野)農民道は些々たる經濟問題や政治問題に依て常に動搖する性質のものではない、日本精神の顯現したものが農民道であり農村に於ける老農の態度の内に農民道は輝いてゐる。

次いで農業努力問題に關し落合寛茂氏(小西繁吉氏、長崎)高橋英夫氏(島根)農村における女子の社會的地位向上に關し坂口壯介氏(鹿兒島)の發言ありついで

東浦庄治氏(各野)今日農村の實態には兼業農家の増加專業農家の減退傾向が現はれてゐるがこれに對し可及的速かに實體的措置を講ずる要がある、農民に對する叙位叙勳の途を開くことも農民道昇揚に對する一助とならう

續いて農地に關する問題に移り岡虎十郎氏(兵庫)多下政治氏(新潟)成清信愛(大分)、高島一郎(福井)の諸氏より食糧増産上の農地制度に關する發言あり

佐々木孝一(秋田)土地改良、耕地整理の如き大事業は國營乃至縣營を以て行ふべきである

加藤完治氏 消費生活者にして可能なるものは極力これを生産生活へ移せ、都市轉廢業者は積極的にこれを農業努力に動員すべきだ

明しかつて正午一旦休憩、午後一時再會、農業經營改善問題を中心として熊野英氏(滋賀)大内竹之助氏(茨城)今井悟樓(長野)成清信愛(大分)田下政治(新潟)片野重脩(秋田)田中長藏氏(各野)の諸氏より發言あり之れに對し石黒農林次官より政府當局の意見開陳があつた、次に農業團體統合問題に移り東浦由治氏(各野)片野重脩氏(秋田)岡虎十郎氏(兵庫)の發言の後國策會社の整理統合に關し今井悟樓氏(長野)佐々木孝一(秋田)よりこれが促進要望の發言あり小西繁吉氏(長崎)佐々木孝一(秋田)岡虎十郎氏(兵庫)生産資材、生活必需品の特配を要求

江頭六助氏(佐賀)食糧の増産確保の爲には、どうしても米價の引上げを生産獎勵金増額の斷行を切望と思ふ、引上げが一般國民生活に及ぼす影響も大したことでない

次いで篠塚正樹氏(千葉縣)高島一郎氏(福井縣)よりも之れに關聯して發言し石黒農林次官の答辯ありついで水産問題にうつり、青山憲三氏(各野)辻越氏(北海道)田中長茂氏(各野)加藤完治氏(各野)より意見の開陳あつて最後に久野庄太郎氏(愛知縣)より半島農村青年の十二ヶ年間に於ける農業指導の經驗を素朴なる熱辯に吐露、半島農村の徹底的開發を提案、本位田祥男(委員長)の挨拶の後同六時廿五分散會

張し鳥谷章氏(愛媛縣)は國民の體位維持のための定量を確保配給されたいと望み山高しげり氏(各野)、尾崎芳次郎氏(埼玉)、若生憲雄氏(宮城縣)各氏からそれぞれ發言あり久米正雄氏(各野)杉本好一氏(各野)西村茂生氏(各野)より玄米食問題につき發言あり

灘尾厚生省生活局長 國民全部に玄米食を行はせることは未だ考へてゐないが、今日の意見を充分考慮に入れたい、今後研究する

石井農林省農政局長も同様の意見を述べた

西村茂生氏「速かに玄米食を斷行せよ」と再度提言

村松翼贊會生活動員本部長 玄米食は強制するより獎勵する方針の方がよい、近く翼贊會として委員會を召集する

椎野詮氏(山形)鳥谷章氏(愛媛)山高しげり氏(各野)と灘尾厚生省生活局長との間に婦人標準服に關し問答あり、次いで住宅問題につき鳥谷氏、木原重藏氏(岐阜)村岡花子氏(各野)より希望を述べ

灘尾厚生省生活局長 軍需工場その他生産第一線に働く者の住宅について第一に住宅資材及び資金の斡旋を圖つてゐる、今年度は更に建築資材の配給を増す方針である、假設建築物の轉用も趣旨としては賛成であるから總動員法に基いてこれが行へるやうな研究である、家賃昂騰の抑制についても充産婦子持ち家庭の問題についてと庶産配給に關する

村松翼贊會生活動員本部長 翼贊會は家賃の均衡化のため調査委員會が政府に意見を上通した、なほ、百軒の古い貸家の中に新しく一軒の貸家

張し鳥谷章氏(愛媛縣)は國民の體位維持のための定量を確保配給されたいと望み山高しげり氏(各野)、尾崎芳次郎氏(埼玉)、若生憲雄氏(宮城縣)各氏からそれぞれ發言あり久米正雄氏(各野)杉本好一氏(各野)西村茂生氏(各野)より玄米食問題につき發言あり

灘尾厚生省生活局長 國民全部に玄米食を行はせることは未だ考へてゐないが、今日の意見を充分考慮に入れたい、今後研究する

石井農林省農政局長も同様の意見を述べた

西村茂生氏「速かに玄米食を斷行せよ」と再度提言

村松翼贊會生活動員本部長 玄米食は強制するより獎勵する方針の方がよい、近く翼贊會として委員會を召集する

椎野詮氏(山形)鳥谷章氏(愛媛)山高しげり氏(各野)と灘尾厚生省生活局長との間に婦人標準服に關し問答あり、次いで住宅問題につき鳥谷氏、木原重藏氏(岐阜)村岡花子氏(各野)より希望を述べ

灘尾厚生省生活局長 軍需工場その他生産第一線に働く者の住宅について第一に住宅資材及び資金の斡旋を圖つてゐる、今年度は更に建築資材の配給を増す方針である、假設建築物の轉用も趣旨としては賛成であるから總動員法に基いてこれが行へるやうな研究である、家賃昂騰の抑制についても充産婦子持ち家庭の問題についてと庶産配給に關する

村松翼贊會生活動員本部長 翼贊會は家賃の均衡化のため調査委員會が政府に意見を上通した、なほ、百軒の古い貸家の中に新しく一軒の貸家

張し鳥谷章氏(愛媛縣)は國民の體位維持のための定量を確保配給されたいと望み山高しげり氏(各野)、尾崎芳次郎氏(埼玉)、若生憲雄氏(宮城縣)各氏からそれぞれ發言あり久米正雄氏(各野)杉本好一氏(各野)西村茂生氏(各野)より玄米食問題につき發言あり

灘尾厚生省生活局長 國民全部に玄米食を行はせることは未だ考へてゐないが、今日の意見を充分考慮に入れたい、今後研究する

之れに關聯して山田庄助氏(大阪市) 練の強化)につき發言し山高しげり 村松生活活動員本部長 改組後の調査 委員會でも生活基準の問題が眞先に 条件によつてたへず變化は種々の 會としては具體的に眞劍に考へて行 く積りである

相川實踐局長 生活は結核戰爭を勝 ちぬくため、建設を進めるための生 活であるその基準はたへず變化する 要は國民の考へ方を一勝ち抜くため に唯一の目標に調整することであ る

かくて午後三時二十分一旦休憩、同 三時半續開、貯蓄問題の協議に入る 渡邊保一郎氏(栃木) 若生憲雄氏(宮 城) 盛田達三氏(青森)の希望に對 し

大藏省貯蓄獎勵局中澤獎勵課長 貯 蓄を一元化することの趣旨は結構と 思ふが尙考究する、組合貯金に年限 を決めることは當局もその意向であ る、五千圓以上の綜合所得者に強制 的に貯蓄させることは、一方に拂出 しの制限をせねばならぬといふこと もあり相當困難と思ふ

若生氏強制貯蓄の法制化を再度力説 貯蓄問題はこれを以て打切り國民新 禮法に關し 久米正雄氏(各界)軍隊における舉 手の禮の如く國民一般も食指をもつ て天を指すごとく舉手する禮法を翼 贊會で制定して普及されたし 日比野文化部副部長 御説は早速翼 贊會で取り上げて研究する積りであ る

次いで交通問題につき後藤章氏(各 界)希望を述べ、これに續き喜安委 員長から「交通道德の昂揚と交通訓 娛樂赤木元藏氏(岡山)は農山漁

村の保健指導羽仁説子氏(東京)は 健康兒童の表彰に關し發言あり藤卷 一二氏(長野)三橋喜久雄氏(東京 堀江英二郎(各界)菊池米太郎氏(各 界)湯淺三郎氏(群馬)小野寺廣亮 嘉雄氏(各界)よりも結核対策、健 民運動保健衛生等につき要望あり 右につき厚生省勝俣豫防局長、加藤 衛生局長及び平井社會保險局長から 當局の施策概要を説明、これに對し 等、菊池寛(各界)は多數の文化諸 團體は創設當初の如き意氣込と創意

演劇問題に移り藤澤秀雄氏(各界) の文化省乃至藝能局の設置案を久米 正雄氏(各界)は全面的に支持し尾 崎芳次郎氏(埼玉)は「農山漁村に も文化の及ぶやうにされたし」と述 べ宮田武太郎氏(各界)は「船員に 對する社會的待遇」について前日の 總會における發言を繰返し大政翼贊 會の積極的な盡力を要望し尾崎芳次 郎氏(埼玉)産業戰士の勤勞報國精 神を述べて科學尊重の精神徹底と技 術者特に工員の優遇方法、八木秀次 氏(各界)は科學振興調査會又は科 學技術新體制確立要綱等により既に 決定した事項は悉く急速に實行すべ きであると述べこれに關し文部當局 より左の如く發言

科學振興調査會の答申は昭和十三年 に最初の答申が行はれ、この答申に 基き科學技術者三倍化に向目下鋭 意努力中であり現在大體二倍半位に 止つてゐる、又高等學校定員數の増 大等も調査會の答申に基いて着々實 行に移しつた、その他三回にわ たりに行はれた答申は逐次實行に移さ れつつあり、今後益々實現に努力 する豫定である

富塚清氏(各界)は國民學校、中等 學校の科學教育の中心目標を實踐に 限局すること、猪飼博氏(京都市) は大東亞共榮圈内諸民族を指導すべ き藝術、技術の保存、振興を強調、 乘杉嘉壽氏(各界)は音樂行政の中 央監督機關の設置による一元的なる 純日本の音樂の創設、大谷竹次郎氏 は演劇映畫の育成神尾茂氏 日をお祭りとすることは國民に戰爭 が既に終つたかの感をも與へ惡影響を 與へる虞れがあると考へる

道州制は尙檢討を要す 一内務當局言明 廿八日午後第二委員會においては 湯澤内相、山崎内務次官、重政農林 省總務局長等が出席し、第一日の總 會に於て膳桂之助氏から提出された 地方行政機構改革問題に關し、提案 者膳氏の追補説明並に山崎内務次官 の政府側見解の披瀝があり、眞劍且 つ重要な賛否兩論が行はれた、府縣 制廢止、道州制の設置を主張する膳 氏の見解と道州制の設置に關し幾多 具體的障礙を指摘する内務當局の見 解とは興味ある對照を示し、本問題 の多岐性を感じせしめた、山崎次官答 辯の要旨左の如し

地方行政機構の改革に關しては内務 省でもこれまでにも充分研究調査し て來たが、世上行はれてゐる改革意 見は大體三つに分けられる、即ち、 (一)數府縣を一括する行政機關、 自治體たる道乃至州を設置する案で 置き、中央と府縣相互間の連絡に 當らしめるもので、現行の府縣を依 然地方行政の主體とする(三)現在

政府側言明

興亞祭國定は時期尙早

一佐藤情報局第一部長言明 十二月八日の大詔奉戴日を興亞祭と して國定すべしとの提案は廿六日の 協力會議總會に上程され、下中彌三 郎氏(各界)からその趣旨を説明、 見は大體三つに分けられる、即ち、 (一)數府縣を一括する行政機關、 自治體たる道乃至州を設置する案で 置き、中央と府縣相互間の連絡に 當らしめるもので、現行の府縣を依 然地方行政の主體とする(三)現在

を生かしたい考である 佐藤情報局第一部長 十二月八日を 興亞日としてこの日を中心と前後一 週間位、内地は勿論、外地も盛大に 記念したい、しかしこれでは興亞祭と するは私一個の考へでは適當で はないと考へる、戰爭遂行中にこの 日をお祭りとするは國民に戰爭 が既に終つたかの感をも與へ惡影響を 與へる虞れがあると考へる

轉廢業者の南方進出は 第二義

佐藤軍務局長言明

これも依然府縣を地方行政の主體とする第一の案は最も徹底してゐるもので膳氏の提案はこれに屬するが、もしこの案を實施する時、今日的主要に鑑み地方行政機構の統制力が微弱化はしないかといふ惧なしとしない、また地理的見地からする道州制の適否にはなほ多くの疑義があるまた經濟的見地から現狀の方が適當ではないかと考へられ、更に道州の地域決定にも困難を免れず、災害等の對策にしても現行府縣制の方が迅速且つ機宜を得ることが出来るのではないかと、第二の案によると道州の性格が曖昧になる惧が多分あり道州が強力化した場合これは明かに府縣と重複する、二重機構の弊を誘發する第三案は廢合の決定、區域の量定などに多大の困難を豫期しなければならぬ

要するに現在の府縣區域の再檢討の必要は之を認めるが道州制の可否に就いては目下なほ慎重研究中であるなほこの機會に府縣プロツクに就いて世上往々多少の誤解が行はれてゐるやうなので説明するが、現行の府縣プロツクは決して地方民乃至地方長官の身勝手な要求でなされたものではなくこれは總て中央の統制と計畫に基いて結成され、且つ活用されてゐるもので、今後とも政府としては府縣プロツクの適正な活用を期するものである

なほこの問題に關しては委員會でもそれぞれ熱心な答否兩論が擧げられたが結局委員長の統裁により「政府に於いて更に慎重且つ具體的研究されることを要望する」ことに決した

佐藤陸軍軍務局長は廿八日午後の中 央協力會議第三委員會において轉廢業者の南方進出に對する軍當局の方針を率直に表明した要旨左の如し

△軍需工業要員の充足 轉廢業問題 は戰爭遂行上における國內問題として最重要の課題である轉廢業者が重たの家業をすてて、不馴れな仕事につかれることは一家一個人の問題としては極めて深刻であることは十分諒承されるところで軍としても關係當局と協議を重ね萬全を期してゐる轉廢業者のなかにはこの際心機一轉、南方の新天地に渡り第一線の建設に挺身したいといふ希望が澎湃として起きているが、軍當局としてはこの問題について二、三轉廢業者の御注意をお願ひしたい、まづ轉廢業者は戰爭遂行のため絶対必要な軍需工業、重工業への勞務の有力な補給源である點を充分認識されたい、軍需工業要員の充足は實に戦線における兵員の充足と變はらぬ重要な比重を有する、從て轉廢業者の個人的、家庭的立場からは南方進出を希望されるであらうが、この際この實情を直視されて、まづ軍需工業、重工業の要員に轉換せられ尙ほ餘剩勞力を存するに至つて南方に進出するといふ方針をとるべきだ

△送出方針 更に南方の第一線で産業戦士として活躍し得る人は、實は軍需工業要員としても適格者であるといふ矛盾が存することも考慮せねばならぬ、從て將來の送出方針としても年はとつても氣力が強く、永い

經驗と技術を有する人を選んで送出現地勞力と原料をもつて建設に寄與する途を開きたい方針で、今後現地實情その他に即應しつつ漸次實行したいと思ふ

△南方建設について 南方建設は現在作戦遂行と併行して進められてゐるが、建設の重點は一に戰爭遂行にをかれ、戰爭遂行のための建設、開發として理解されねばならぬ現段階において共榮圏の「美しき」建設、えがくことは全く實狀に即しない、戰爭に勝つためには如何なる努力、不便、不利も忍ばねばならぬ、從てこの際轉廢業者の個人的利害のみを考慮することは適當でない

△華僑對策 南方華僑に對してはこれを指導利用する處理對策を適當に行つてゐる將來内地貿易業者を南方における物資配給集荷組織に活用することも一案であらう

勞務管理の陣頭指揮

田熊少佐、軍の對策言明

陸軍省兵務局課員田熊少佐は、二十八日の中央協力會議第六委員會に出席したる如く述べた

「近年軍需工場に新規に入りつつある勞務者が激増し、人口問題上から軍需工場と勞務者の關係は急速に緊密化した、しかもこの問題は長期戦下軍需品需要が増大するのに伴ひ益々緊密化しなければならぬ、かかる傾向は當然に當事者の協力を要請してやまないものであり今竣工指導するとも知れない多少の利潤に缺くるところがあつても食糧増産を遂行してもらひたいのである、しかし政府としてもこれに對しては財政の許す限りにおいて考慮する積りである

青年學校卒業生に幹部候補補驗資格を附與

文部省實現を期す

文部省顧問普通學務局長は協力會議第一委員會において天利義昌、長村甚一、花木チサヲ、和田信二各氏の發言に答へ左の如く言明注目を惹いた

「時局下青年學校教育充實強化の必要は云ふ迄もなく昨年五月の青年學校生徒に對する御視閲を契機として一層その機運が促進された、青年學校卒業生に幹部候補生の受驗資格を附與することについては文部省としては極力その實現を期し目下軍當局と相當具體的な折衝を續けてゐる、獨立校舎、専任教員等の設置も同感で努力したい、義務制の即時斷行は尙研究の餘地もあるが近い將來にその實現を期してゐる」

利潤觀念を無視して 食糧増産を要望

農相言明

廿八日協力會議第四委員會午前中の協議事項は主として戰時食糧増産の見地から農民道の昂揚について論議されたが、これに關し井野農相からの如く發言、政府の方針を明かにした

「自由經濟時代においては農産物と雖も利潤を對象として生産されて來た、しかし戰時下の今日國家はこれに對し或程度の利潤觀念無視を要請するところも知れない多少の利潤に缺くところがあつても食糧増産を遂行してもらひたいのである、しかし政府としてもこれに對しては財政の許す限りにおいて考慮する積りである

自作農維持創設に積極方策

井野農相言明

井野農相は協力會議第四委員會において、目下農林省が今後の政策に具現化せんとしてゐる皇國農村確立を目標とした自作農の積極的創設措置に關し次の如く言明した

「自作農維持創設は政府としても重大視し、過去廿年間に亘つてこれが對策を講じて來たが、未だ徹底しない憾みがある、過去の政策は米價が極めて不安定な状態に置かれてゐた時代において採られたもので、その實效が比較的薄かつたといふ原因もそこにあつたと思ふ、しかし最近においては米價は安定してゐるのに對しては具備されて來た目下農林省としては皇國農村確立の見地から土地價格の問題、自作農創設資金の手續き、およびこれに對する法制上の問題に關して具體案を練りつつあり、これが達成に邁進する所存である」

農業保險法改正今議會提出

石黒次官言明

現行農業保險法の改正については最近屢次の議會においても問題となりまた廿八日の中央協力會議第四委員會においても各委員から熾烈な要望

があつたが、これに對し同委員會の席上石黒農林次官は今議會に提案する旨次の如く言明した

米價改訂行はず

一、現行農業保險制度は次期議會で何とか解決を圖りたいと目下具體案を考究中である、その内容については今申上げられないが、大體皆様の考へてゐるやうなものであると思つていたゞけは間違ひない

其他當面の農村問題に關しても次の如く農林當局の方針を明かにした一、工礦業方面に對する農村努力の選出は戰爭完遂の爲には已むを得ない然しこれは出来る限り議會を中心として調整を圖りたい

賃銀統制令改正用意

中央協力會議第三委員會において各委員から賃銀統制の改正が要望されたが、右に對し持永厚生省勞働局長は左の如く答辯した

一、現行賃銀統制令は低物價政策の見地から不當の高賃銀を抑制してゐるが、總額制限主義をとり、5%の餘裕は原則として認めてゐる等、能率を基準として適當に運営し得べき餘地を残してゐる

一、農業者團體統制の問題は關係する處甚だ多岐にわたり、技術的困難も多々あるがこれが統制の急務は政府に於てもよく認めて居り目下關係方面と協議を進めてゐる、昨今やもすれば本問題を繞り内務事務當局と農林省との對立が噂されてゐるやうであるがさうした事實は全くない、目下の處は内務農林兩事務當局の案を持寄りこれに各方面の意見を容れて

勞務者住宅の充足に總動法の發動考慮

厚生省衛生局長は協同會議第五部會に於て總動員法を發動して既設建築物を住宅に轉用する方法を目下研究中である旨言明した

結核豫防對策の概要

協力會議第六委員會において會議員より結核豫防及び撲滅對策等につき發言あつたに對し厚生省豫防局長、加藤衛生局長及び平井社會保險局長は左の如く發言した

△勝保厚生省豫防局長 厚生省の結核對策は廿七日の小泉厚相の言明ある通りであるが、農村結核に對しては工場結核を別個のものと考へず、歸郷者の検査は現在保健所又は町村に依頼配置した醫療關係者により診療してゐる、昨年度より國民學校を卒業後直ちに工業方面に就職した者約五十萬人については嚴重な検査を行ふと共に治療並びに指導を行つてをり、今後共繼續して實施する

保健所及び工場醫療機關は未だ不徹底の憾みがあるが、今後積極的に解決する、又寄生蟲は結核を促進するのでありこの點明年度からは國民學校兒童の寄生蟲豫防を實施し、漸次工場その他全國民に及ぼす豫定である、又工場結核豫防も厚生省職業局の手を通じ指導強化してゐる、次に在郷陸海軍衛生將校下士官を保健指導者たらしめることはすでに陸海軍とも見解一致し、今後具體化の豫定である、傷痍軍人療養所入所中の恢復患者を一ヶ年乃至二ヶ年特殊教

育を施し特別資格を附與することは急速に實現すべく努力する

長から大東亞戰爭完遂決議を發議し濠澤敬三子外十四名を決議文起草委員に指名、次いで委員長報告に移り第一委員會(思想戰強化に關する事項)八角三郎(各界)、第二委員會(戰時國民動員に關する事項)、挾間茂(各界)、第三委員會(生産擴充に關する事項)、郷古澤(各界)、各委員長から經過並に結果を報告、政府及び翼贊會當局より委員長報告毎にそれぞれ關係事項につき發言あつて正午休養後は一時再開、委員長報告を續行、第四委員會(戰時食糧増産に關する事項)、本位田祥男(各界)第五委員會(戰時生活に關する事項)喜安健次郎(各界)第六委員會(民族力増強に關する事項)廣瀬久忠(各界)の各委員長から、それぞれ委員會の經過並に結果を報告、午前と同様政府側及び翼贊會當局より關係事項について發言、これにて委員長報告を終了、次で濠澤委員長から大東亞戰爭完遂決議案文を議長に諮つて總員起立裡に可決安藤議長からこれを政府當局へ傳達すべき代表者を指名したのち、最後の締めくくりとして議長統制に入り安藤議長より三日間にわたつて總會及び委員會に行はれた各部會委員の發言、政府及び翼贊會本部會説明及び提言等協力會議全體を通じて發揚された會議意思を集約統制して全議事を終了した、次いで午後四時より閉會式に移り會議員翼贊會本部支部役員一同は宮城前に行進恭しく宮城を奉拜してのち再び會場に戻つて安藤議長及び東條總裁挨拶あり國歌歌唱、祈念、萬歳奉唱を行ひここに統帥國防生活を確立し長期持久の征戰完遂體制を整備すべく各地各界の衆智を聚め第一備

△平井厚生省社會保險局長 すでに社會保險の體系は整備したのであるが、去る昭和十三年以來實施された國民健康保險は加入者六百萬人を算し、新たに本年度一千三百七十五萬人増の計畫を樹立した、なほ三ヶ年計畫により國民皆保險制を早急に實現すべく努力してゐるが醫療と健康指導はこれにより極めて適確化するものと思はれる、もちろん重點は治療よりも國民の健康の保持増進に置き、給付内容も今後治療と並び指導をも行ふべく積極的な努力を、最後に國民健康保險の擴充が行はれて以來、すでに無醫村に入つた醫師は四十六名、齒科醫師四名、助産婦は四十四名である

第四日 緊張裡に閉幕 最終日の協力會議は廿九日午前九時開會、劈頭安藤議長

實踐家の貴重な體驗に基く發言を盡した第三回中央協力會議は劃期的成果を収めて閉幕した

協力の成果斷じて粗略にせず

—安藤議長統裁

【六三】第三回協力會議々事の終了に當り安藤議長の議案統裁左の如し「今期協力會議の成果については議長長の最も欣幸とするところである、總會、委員會における各議員の發言は何れも現下喫緊の重要事であつて議長としては、政府に上達すべきものは直ちに上達し、翼賛會においては實踐すべき事は直ちに實踐にうつし更に調査研究すべきものは直ちに調査會にゆだねるやう措置し、この官民協力して得た見事な成果を尊重し斷じて粗略に取扱ふやうなことはいない、現下戰爭完遂の途上においては、國家の要請するところを眼目として、進んで行くのはいふまでもなく、かかる觀點に立つて適切な措置を講ぜんとするものである」

建設的意見は現實施策に織込む

—東條首相挨拶

東條首相兼翼賛會總裁は第三回中央協力會議の閉會に當り左の如く挨拶した

△挨拶

今次中央協力會議は會期僅かに四日に過ぎなかつたのであるが、政府としても端的に所信を申し、又關係の皆様におかれても終始熱心に眞剣に會議を進め、特に御意見の開陳に當つては他人行儀な氣持を抜きにして眞に協力的な又建設的な態度に終始

大東亞戰爭完遂決議

され兎角陥り勝ちである抽象的な、觀念的な、而も徒らに批判的な空氣の如きものを全く認められなかつたことは戦時下の總常會に相應はしく洵に力強き限りであつて、邦途の爲眞に御同慶に堪へない、云ふ迄もなく、今日施策の實施の現況は必ずしも所望の域には達して居らないのであるが、由來何事に付けても舊弊を脱して、改善の實を擧ぐることは、容易な業ではない、然し乍ら興廢存亡を賭する此の大戰爭下に於いては之を困難なる業として放置することは出来ぬ、茲に政府に於いても、又國民に於いても、絶大な勇斷の力と、眞剣なる努力とを要する所以がある、従つて政府としては、今回皆様の御示しになつた色々の御意見は充分之を参照し、徒に舊慣に捉はれることなく、機を失せず今後の現實の施策の中に織り込んで参り度いと思つて居る而して大政翼賛會としても愈々政府と表裏一體の實を擧げず積りである、どうか國民諸君に於かれても、此の政府の熱と意氣とのある所を諒とせられ政府と一心同體眞に大政翼賛、臣道實踐の實を擧げて戴き度い、而して此の實を擧ぐることが出来ぬ、各々根本要件は何をさして措いても、各方面に於ける指導者上に立つ者の誠意と熱意とである、皆様を始め國內第一線に立つ指導者の方々は、此の上共誠心誠意而も積極的に陣頭に立つて國民各層の指導に立たれ實踐躬行、手近かの處から改善を要すべきものは逐次改善して參ることが肝要と思ふ

第三回中央協力會議は廿九日午後の總會で各委員長の報告終了後大東亞戰爭完遂決議に關する議事に入り、濫澤委員長決議案文を朗讀し議員起立、嚴肅裡に可決した安藤議長の指名により左記八氏が協力會議を代表してそれぞれ政府當局に傳達を了した

- △内閣樞井剛(各界) 菅沼周次郎(長崎) △内閣情報局小泉信三(各界)
- 中澤浪治(高知) △陸軍省川田順(大阪) 根本四郎(岩手) △海軍省山田孝雄(各界) 米原章三(鳥取)
- △大東亞戰爭完遂決議
- 宣戰の大詔を拜してより茲に十ヶ月皇軍數次の大勝は世界の耳目を驚倒し、皇威は實に八紘に充ち、吾等國民は大東亞共榮國樹立の確信を得たり、然れども重慶政權はいまだ餘喘を保ち、英國はなほ東亞に於ける勢力を頑守せんとして妄動し、米國も其甚大なる資材を恃んで反撃の機を窺ひつつあり大東亞戰爭の前途尙遠なりと言ふべし、今次の戰爭は肇國以來の一大事にして皇國隆替の岐るるところなり

安藤議長閉會挨拶

廿九日の協力會議總會終了に際し安藤議長は左の如き挨拶を行ひ四日間互に各議員の熱誠なる進言、政府側各大臣以下關係官の努力に謝意を表すと共に、この會議を通じて盛り上つた國民の信念こそあくまで對米英戰爭を戦ひ抜き最後の勝利を確保する確固たる地勢であることを明かにした

△挨拶

茲に第三回中央協力會議總會を終了するに當り、議長として一言御挨拶申し上げる

本年五月十五日の閣議決定に基き大政翼賛會の改組と共に、各種の國民組織並に其の運動等を翼賛會の傘下に歸屬せしめると同時にこの中央協力會議に就いても、一層その本來の機能を發揮せしめ以て、大政翼賛運動の飛躍的進展擴充に、大いに寄與せしめんがため若干新たる構想

を加味せられた次第である、今回の第三回中央協力會議總會は、右の如き環境と期待の下に、新陣容を以て、去る廿六日より開催された次第である議長統裁の點に於て尙ほ甚だ未熟なところも多かりしに拘はらず、會議員各位の自制と御協力に依り、前後三日に亘る總會はまことに肅然たる中に、會議員各位の貴き體驗に基く熱誠溢るるばかりの御意見と、盡忠報國の一念より發する下情上通の雄叫びとは、共に戰爭完遂に邁進しつある國民の氣魄と信念とを表徴するものとして、全議場に溢れ開く者をして自から肅然を正ししむるものが多かつた、東條總裁閣下には廿七日の會議に公務極めて御繁忙の中を越々長時間に亘り御臨席に相成りましたことは恐らくは會議員各位の吐露せらるる眞情熱意にほだされ、その建設的なる具體的意見に多大の關心を寄せられた結果であらうと信ずるのである、又廿八日の委員會に於ては總裁閣下はじめ各大臣並に諸官廳關係各位には重ねて御列席下され、會議員と共に眞に際を交へての懇談協議に對せられ、御熱心に國民の聲に耳を傾けられたのであるが、議場全體の雰圍氣と、會議員各位の熱誠が既に下情上通の上

に頗る有意義であつたと確信し此點深く感謝する次第である

惟ふにこの大東亞戰爭は、米英の金力と權力に依る誤れる世界觀を徹底的に膺懲悔悟せしめた後でなければ斷じて支は優すべきものでないといふ鞏固なる國民的信念を堅持し、客年十二月漢發せられたる宣戰の詔書を奉戴して、獨り敵國米英のみならず國內に於てもあらゆる禍根を支除

を加味せられた次第である、今回の第三回中央協力會議總會は、右の如き環境と期待の下に、新陣容を以て、去る廿六日より開催された次第である議長統裁の點に於て尙ほ甚だ未熟なところも多かりしに拘はらず、會議員各位の自制と御協力に依り、前後三日に亘る總會はまことに肅然たる中に、會議員各位の貴き體驗に基く熱誠溢るるばかりの御意見と、盡忠報國の一念より發する下情上通の雄叫びとは、共に戰爭完遂に邁進しつある國民の氣魄と信念とを表徴するものとして、全議場に溢れ開く者をして自から肅然を正ししむるものが多かつた、東條總裁閣下には廿七日の會議に公務極めて御繁忙の中を越々長時間に亘り御臨席に相成りましたことは恐らくは會議員各位の吐露せらるる眞情熱意にほだされ、その建設的なる具體的意見に多大の關心を寄せられた結果であらうと信ずるのである、又廿八日の委員會に於ては總裁閣下はじめ各大臣並に諸官廳關係各位には重ねて御列席下され、會議員と共に眞に際を交へての懇談協議に對せられ、御熱心に國民の聲に耳を傾けられたのであるが、議場全體の雰圍氣と、會議員各位の熱誠が既に下情上通の上

して、ひたむきに此戦を戦ひ抜き勝
ち抜く上に、萬遺算なきを期さねば
ならぬと信ずる

しかも米英兩國はその金力に於て、
工業力に於て、或は又其の資材に於
て、決して蔑視し得ざる大敵である
従つて緒戦の赫赫たる過去の戦果を
以て、漫然將來を推判して、彼れ組
み易しとなし、聊かなりとも國民
の戰意昂揚を缺き、或は生産能率の
沈滞を來たし、若くは國民の道義、
延びては戰時生活の上に弛緩懈怠を
生ずる虞あり、官民一致協力して飽
までその禍根を是正排除することに
萬善の策を講ずることが緊急の要務
であり、特に大政翼賛會の荷ふ重要
なる使命の一たることを、確信する
次第である

委員長報告

最終日の協力會議總會は二十九日午
前九時開會、劈頭安藤議長より「協
力會議閉會に際し大東亞戰爭の完遂
を期する一億國民鐵石の決意を中外
に開明するため、協力會議の名を以
て大東亞戰爭完遂決議をいたした
い」旨を提議しこれに對し菅沼周次
郎（長崎）梶井剛（各界）の兩議員
より賛成意見を開陳あり、満場一致
可決し安藤議長から同決議文案の起
草委員として委員長瀧澤次三子（各
界）以下十五名を指名、次いで委員
長報告に入り八角第一委員長より委
員會（思想戦強化）の經過並に結果
を報告、これに對し奧村情報局長次
長より別項の如く國內に於ける米英思
想的撲滅こそ、思想戦に勝ち抜き要
諦なる旨を強調せる發言あり、次い
て

配給、交通、人口都市集中の現象、
國土計畫等から行政區畫再檢討の必
要は無視出來ない、委員會の總意に
おいて善處を要する
山崎内務次官 府縣制度再檢討は産
業、交通、國家施策の上から極めて
慎重考究を要する問題を内包してあ
るので、内務當局としては鋭意研究
檢討を重ねて遺憾なきを期したい、
また町内會、部落會の整備強化は、
國民總動員態勢確立の上から、重要
なる施策の一として從來とも意を用
ひてゐたが、御意見を尊重して努力
したい

石黒農林次官 農業團體統合に關し
政府としては何等決定してゐないが
その必要性には異論がないので、現
在に關係各方面と協議を續けて居り今
日まで極めて順調に進んでゐる
武井厚生次官 青少年徵用令は、施
行以來三年になる、女子については
英國では現在工場における女子の就
業率は六十パーセントに達してゐる
が我國では家庭及び社會生活におけ
る女性の重要性に鑑みまだ一度も適
用してゐない、また青少年團體の指
導方策は産報、少年團等多岐に亘つ
てゐるが、その準則は總て同じであ
る、青少年の産業戦士は産業應召の
氣持を持ち、また使用者側でも産業
應召者を選する氣持で當つて貰ひた
い、政府もこれら青少年の保健に關
し重大なる關心を拂ひ、過般決定し
た結核対策は十五才より廿五才まで
の青少年層に重點を置いてゐる
相川翼賛會實務局長 町内會部落實
の整備強化はこれに當る指導者に人
を得なければならぬ、殊に翼賛會の
下部組織として設置される世話役は
町内會長を以て充てる方針であるか
ら、翼賛會としては町内會長隣組長
の入選に多大の關心を持つるとも
町内會、部落會長に野心のない良
人が選任されるやう希望する、閣取
引撲滅は翼賛會が國民運動として取
るべき喫緊の問題で、極力努力す
る、海國日本運動も本部として急急
考究實行する方針である

次いで第三委員會（生産擴充）委員
長郷古潔氏（各界）より（一）軍需
生産擴充の基本的要件たる地下資源
開發、基礎産業の増強（二）軍需開
係行政機構の改革一元化（三）労働
力確保と労働能率増進、特に企業内
部に於ける精神作興の必要（一）陸
部の一元化（二）轉廢業對策
（三）物價問題（四）國土計畫
の八項目に亘り、委員會の經過並に
に結果を報告、國民總意を盛つた經
濟施策の急速なる實現を要望、これ
に對し柏原企画院第二部長より別項
の如く日本的性格の技術に依り日本
の國力に相應する自主的國防態勢を
確立するため産業人の一段の努力工
夫を要する熱烈な發言を行ひ拍手
起る
持永厚生省労働局長 現下の勞務對
策の重點は勞務者の適正配置と勞務
者の最高能力發揮の二點である、こ
のためには勞務者が政府の方針に自
發的に協力するといふ氣持でついて
來るのでなければ解決は困難である
現下の勞務事情は昨年八月閣議決定
の勞務緊急對策によつて最後の仕上
りの段階に達してゐる、今後は國民
皆勞體制の強化と、勞務管理の刷新
に重點をさし向ける、徵用令に對し
各種の不平、不満が起るのには、國民
に勸勞精神が缺けてゐる證據と見ら
れる、勸勞精神の昂揚國民の理解増
進等については各位の理解と御支援
を願ふ、賃銀の問題については改正
すべき點は躊躇なく改正したいとい
神田商工省總務局長 生産擴充の基
礎資材たる地下資源開發の成否は、
國民の認識如何にかかつてゐる、現
下の事情人力の逼迫にも拘らず石炭
の増産計畫が非常な成績を上げてゐ
る事實は精神方面の啓發が如何に重
要であるかといふ證左である、今後
は精神運動の一段と力を見せたい、
豊田商工省企業局長 中小商工業者
の轉業は目下着々進行してゐる、轉
業者の生活不安については年若の人
などが健康にしていかぬ生活能力に富
んだ人を轉出させるの方針である、從
來獨力で企業營業を行つて來た商人
が本當に働氣持であれば熟練工に
なる見込が十分にある、従つてその
収入についても、將來増加の見込が
ある、また政府に於ても生活共助金
を出してゐるし、更生金庫より無利
子に近い金を二億圓出得ることに
なつてゐるが、これは將來増額の豫
定である、しかし乍らこの問題は物
質の方面では解決出來ない、精神的
方面でも優遇の手段が考へられねば
ならぬ、一般國民も轉業者も應召職
士として特に遇して貰ひたい
石黒農林次官 生活必需品の末端配
給機構の問題は國民生活に日々關係
するところでお互に十分考へて當らな
ければならぬ、また食糧品の綜合配
給をやつてはどうかと言ふよく且つ左
程多くのストックはないので、これ
が綜合配給の實現は困難である

（國民動員）の經過並に結果を報告委員
員會の中心議題となつた府縣制度廢止
に關しては、これが影響の複雑深刻
なるもののある反面、戦時下の物資

長崎鐵道次官 國有鐵道、私鐵、小運送などの國運機關を凡て統合して總力を發揮せねば時局の要請する輸送力を發揮することは出来ない、今日の實情に於て陸運輸送力の圓滑を期するにはトラックの輸送力を無視することは出来ない、トラック業者は小經營者が多いからこれも大きな組織しなければならぬ、また小トラック業者の貰ふ燃料もガソリンから木炭に代つて採算がとれぬやうになつてゐるが、これは國家の要請する重要な輸送機關であるから、場合によつては足りないところは省營自動車で運んでゐる

相川翼贊會實踐局長 最近の生産狀況その他を見て、我々としてもこれといふのがかといふ緊迫した氣持を持つてゐる、資材努力の制約を打破し生産擴充を進めるためには官民を問はず、從來の行きがかりを捨て、あらゆる努力を傾注し生産の大飛躍を實現せねばならぬ、翼贊會としても事務局の努力をこの點に集中する方針であるから官民共に翼贊會を活用して頂きたい

かくて午後一時十五分休憩、午後二時再開、本位田委員長より約五十分間にわたり、今回委員會(食糧増産)の經過並に結果を詳細に報告、右に關して

石黒農林次官 農村は今日食糧生産の重要生命を有すると共に、皇國民培養の基地としての重大性を擔つてをり、農村の再建はこの觀點からなされねばならぬ、農林當局では皇國農村の確立のために、農業經營の改善と同時に、農村再建の総合的施策を講じつゝある、農業團體の統合、農業保險制度改正等の設備も順調に進捗してゐる、國策會社の整理統合は多少の誤解もあつたやうだが、最少限度に留める事には同感である、生産資材の配給は農、林、水産業の特殊性に鑑み適時に配給すべく折角努力中である、米、麥等の主要農産物價格は現状に止め、生産獎勵金も据置きといふことが結論である旨御承知願ひたい、水産業については沿岸漁業を統制するといふ如き事は避け、實質的な方法により斯業の振興に努める、また水産報國運動推進のため、水産報國團を結成せよとの發言があつたが、農業報國聯盟が水産業をも包括して運動を展開する組織である事を御承知願ひたい

阿部專賣局鹽課長 鹽の基本配給量は都市農村を迥じて一定であるが農村は漬物、味噌、醬油の自家製造を行ひ、また家畜を飼育する特殊性を十分考へ、相當多量を加算配給してゐる、たゞ鹽割當制度に對する當局並に市町村末端機關の不馴れ或は輸送關係等により、適時適量の鹽が廻らなかつた例があつたと思ふが、この點は至急改善する、なほ秋の漬物期間を控へ農家に對する漬物用鹽の加算配給豫定、數量を明示するやう市町村に對し既に通牒を發し、この期間に適時適量の配給を實現し得るやう努力する

相川翼贊會實踐局長 食料品の需給に關しては生産、配給、消費の三者が渾然一體となり、團體的組織的の解決すべきだ、府縣制度の改正は早急に實現し得ないが翼贊會としては生鮮食料品のプロツクの現象は一つ一つ解決して行く方針であるまた水産報國運動については農業報國聯盟との關係を考慮し御希望に副ふ

次いで喜安委員長より第五委員會、戰爭生活につき詳細報告

相川實踐局長 玄米食問題は戦時下國民榮譽、船舶問題等諸種の觀點から極めて重要であるから至急權威ある調査を進め對策を講じたい

また行列買ひは長期戦下斷じて看過出来ぬ問題であり萬難を排し政府とも連絡のうへ是非とも迅速に解決策を講ぜねばならぬ

次いで廣瀬委員長より第六委員會、(民族力増強)の經過並に結果につき詳細報告

武井厚生次官、人口問題は極めて多岐に亘るが、その根本は、自由主義的觀念を徹底的に揚棄して、全國民特に都市を中心とする知識階級などに道徳的また思想的問題として認識せしめ強力な人口増強を圖るにある既に決定した我國内地人口昭和廿五年一億達成の方針はあくまで強調する必要がある、次に醫務關係施設は國民醫療法の改正等により、醫師の本務を規定、國家的任務に邁進する事にとめてゐる

また保健婦、保健所の擴充、傷痍軍人を病院や療養所の保健指導員たらしめることも文部當局と協議近く實施の豫定である、體位向上には常に新なる日本の性格を附與すべくさきに發足した大日本體育會、武德會もこの點に關する挺身的指導を更に一層強化する方針である

なほ同化官より玄米食問題、婦人標準服制定、宴會廢止、生活インフレ問題等につき説明

和田技術院次長 近代戦は精神力のいくさであり、科學のいくさでもある、科學技術の發達に俟つところ願る大なるものがあつて、政府としては科

學技術振興方策大綱に基き着々斯界の向上發達を期してゐる、技術院の設置、科學技術會議の創設もこの線に沿ひ、科學技術に關する各種機關を綜合して眞に自主的の日本科學技術を確立することを旨としてゐる

このために最も必要なのは多數の科學技術者の養成で、政府としても重員して科學技術新體制を確立せんとしてゐる、これが爲研究機關の整備擴充はもとより必要であるが科學に對する國家的認識は同時に國民的認識でなければならぬ、國民的認識のためには協力會議の如き組織の運動に俟つところが甚だ大である

永井専門學務局長 從來の教育は智德體のうち、智のみに重點を置いて來たが、今やこれを逆考へることが必要であり、體育こそ教育の基本的要件たらしめたい、また國民學校には衛生上その他の任務を擔當する養護訓導を置く豫定で、これに關聯してさきに不學學校を整理し、特に今後の女學校では育兒、衛生に重點を置くこととした近年醫師缺乏の現状に鑑み、現在の臨時醫專を更に擴充すべく考慮してゐる、次に文化問題は極力日本の性格を與へるべく努め日本精神文化が普く國民全部に行きわたるやう、翼贊會の十分な指導を望みたい、日本の國民音樂の創設について大東亞全民族指導の立場から目下計畫中である、科學技術振興については文部省内に十月一日から科學局を設置することを定め、こゝで科學の一般振興策及び教育部の充實を圖るべく考へてゐる

これをもつて政府側翼贊會側の發言を全部終了し、次いで大東亞戰爭完

遂決議文案につき起草委員長澁澤敬三子より報告あり、決議文案を閉讀、滿場一致拍手裡に、これを可決し、安藤議長より會議員代表として梶井剛氏以下八名を指名、内閣、情報局及び陸海軍に傳達を依頼した、次いで安藤議長より

別項の如く統裁、かくて議事を悉く終了、引續き安藤議長より挨拶を述べ五時四十分散會閉會式に先立ち會議員全員宮城前に行進を行ふこととなり出席者一同整然たる隊列をもつて行進、二重橋前廣場に於て恭々しく宮城を奉拜、次いで一同再び會場へ歸り閉會式に入つて敬禮、國歌齊唱、祈念のうちに東條首相兼總裁より別項の如く挨拶、一同萬歳を奉唱して六時五十分畫期的成果を收めた第三回中央協力會議の幕を閉ぢた

政府側發言

米英思想撲滅が戰勝の要諦

——奧村情報局長發言

奧村情報局長は廿九日午前の協力會議總會席上、思想戰強化對策につき左の如く發言した、要旨左の如し

「今次協力會議に於て各職域、地域を代表する會議員が思想戰強化に關し種々發言があり、政府としても非常に參考になつた、思想戰強化こそは大東亞戰爭を勝たつたために絶対必要である、その根本は、あくまで、皇道精神の發揚、國體明徴觀念の徹底にある國體觀念を不明瞭ならしめる米英の思想謀略を打破し、米英的觀念をこの皇國より一掃しなくてはな

らぬ、そもそも大東亞戦争は八紘爲宇の聲國の大精神を世界に宣布するを本義とし、まつろはぬ者を叩きつける戦である、皇道を理解せぬものは断乎として撲滅しなくてはならぬ

共助金貸出の利子補給限度擴張

中小商工業者の轉廢業の進捗につれ國民更生金庫の組合に對する共助金貸出殘高は去る八月末を以て約一千六百萬圓に達してゐるが最近の情勢に鑑み商工省は更生金庫の轉廢業共助資金貸出に對する利子補給限度の擴張を考慮し、廿九日の協力會議總會において豊田企業局長より左の如く言明した

「轉廢業者に對する組合共助資金に對しては更生金庫の貸出を仰ぎ、これに對し國家が利子補給を行ひ、實質上無利子の資金を使用し得ることとなつてゐる、この限度を本年度は大體二億とおさへてゐるが、最近の轉廢業情勢に鑑み右限度を擴充することを認め、豫算關係等について考究を進めてゐる」

日本の創意的國防體制を確立

柏原企畫院第二部長は、廿九日の中央協力會議總會において、第三委員

會(生産擴充)の委員長報告に對し大要左の如く發言した

一、敵國アメリカが五百萬噸の造船を行ひ、十三萬臺の飛行機を生産するに對し、我國の軍需生産力は貧弱である、これはいいかつとて大聲をよく聞くが、日本の國力を以つてアメリカと生産競争を行ふなどは考へてゐない、わが國としては日本の性格の技術をとり入れて、日本の國力に相應する自主的國防體制を確立すべきである、アメリカの所謂超大な軍事生産力は、ブラフである、たとひこれが眞實であつても、わが國としては日本の有する國力を最大限に活用すべきだ、日本の國力が最大限に活用されてゐる、どうかこの際唯一の問題である

一、十七年度物資動員計畫は「戰時物動」である、從て戦力培養に關係ある方面に出来るだけ原材料をつぎこみ國家緊要設備を最大限度に活用せる點に重點をおき設備の新擴充は時局下喫緊の最少限度に止めて徒らに新設備を擴充しても努力が伴はないといふ努力不足の聲を盛に聞くがこれだけの大戦争を行ひ數百萬の動員を行つて努力、資材が平常通り豊富に充足されるわけは絶対にない、盟邦獨逸の如きは努力、資材の不足を經營者、幹部の創意と努力を以て克服し、平常通りの生産を行ひ、むしろ二、三割の増産を實現してゐる工場嶺山が枚舉に暇ない事實をわが産業人は充分銘記して一段の努力を希望したい

一、また根本的機構整備や法的制度の問題がよくとりあげられてゐるが根本的機構整備も是非やらねばならぬ問題だが、同時に現在の姿のまま

で種々起きて來る問題を打開する應急措置もそれ以上に必要だ、現在の制度、機構を最高度に活用して能率をあげることが重點である、機構を改正して新機構が固まり豫期通りの機能發揮するまでには相當の時間と努力を要する、この過渡期の能率低下の時期をどうするか小さな問題が非常に増産を妨げてをり、しかもこの小さな問題を解決し排除すると云ふ努力が業界人に欠けてゐる、生産力増強の爲に官民協力一致するならば未だ未だ打つ手は幾らでもある、統制會の活用によつても生産の飛躍的増強が期待される、生産面の結果を論議せず如何にして生産資材を適正に圓滑繼續的に配給するかに努力しなくてはならぬ、此點は統制會の活動に俟つところが多い、私をして敢て云はしむれば足らざるを憂へず等しからざるを憂へる關取引による資材配置の不均衡を憂へる、次に私の最も強調したいのは、戰時生産意識の昂揚である、業界の幹部以下全産業人にこの精神を叩きこまなければ増産は不可能である

一、大東亞戦争に關する陸軍戰時給與規則の特例中改正の件
一、轉免役賜金令中改正の件
二十六日

法令

勅令公布

- 一、大東亞戦争に關する陸軍戰時給與規則の特例中改正の件
一、轉免役賜金令中改正の件
二十六日
一、金鷄勳章敘賜條例中改正の件
一、明治二十三年勅令第十一號金鷄勳章の等級製式佩用式中改正の件
一、昭和十六年勅令第七百二十六號金鷄勳章佩佩に關する件中改正の件
一、支那事變記念章令

柏原企畫院第二部長は、廿九日の中央協力會議總會において、第三委員

軍 事

陸軍防衛召集規則發令

【九五】今回國土防衛に關する期間的な方策として陸軍防衛召集規則が制定され廿五日當局より左のごとく發表された

今次制定の防衛召集規則は國土防衛に對し國民の總力を最高度に活用し目的を達成せしむるにあり、銃後各職場にある在郷戰士の各人が一度敵の空襲或は海上よりする奇襲攻撃等を受けた場合、直ちに立上り武器を執つてこれを護らんとするものであり従來すべての召集が本籍地本位とされてゐたものを、防衛召集においては其の所在地を護らんとする點其他の特異な諸點を織込みここに防衛召集規則が制定され二十六日を以て發令し來る十月一日より施行されるが、これが實施に當つては政府各省はもとより、現地にある官公吏各種團體に至るまで協力するもので在郷軍人は齊しく國土防衛の第一線に立つこととなつた

第一章 總 則

第一條 本規則は防衛召集に關し必要なる事項を定む、防衛召集に關しては本規則に定むるものを除くの外陸軍召集規則を準用す

第二條 防衛召集とは戰時又は事變に際し防衛上必要ある場合に於て在郷軍人(待命、豫備役の將校及准士官、豫備役の下士官兵、歸休兵、補充兵を謂ふ以下同じ)及國民兵役の下士官兵(徵兵終決處分を経ざる者

を除く以下同じ)を召集するを謂ふ
第三條 防衛召集は之を防空召集及警備召集に分つ
防空又は警備召集は防衛又は警備召集待命令狀に記載せる期間(概ね一箇年を標準とす)中に於て防空又は警備の必要に應じ召集し又は召集を解除するものとす

第四條 防空又は警備召集待命令狀を受領せる者は其の令狀に記載せる期間中之を防衛召集待命者、其の期間を防衛召集待命期間と稱す

第五條 防衛召集は充員召集及臨時召集の實施を妨げず
防衛召集待命者は其の待命期間中陸軍大臣の特に定むる場合の外演習召集、教育召集、歸休兵召集及簡閱點呼を免す

第六條 防衛召集の應召者中兵種を有せざる者には新に兵種を定むることとなし
第七條 軍司令官又は師團長は必要に應じ其の將校を指定し防衛召集の事務を擔任せしむることを得之を

軍司令官又は師團長は前項の外必要に應じ官公吏、公共團體の長、工場事業場の長等を指定し防衛召集の事務を擔任せしむることを得之を防衛召集取扱者と稱す但し官公吏以外の

任官に届出づべし
防衛召集取扱者は其の事實を調査し其の届に之が事實を證明する奥書を附すべし

第十四條 防衛召集擔任官前諸條の届を受領せるときは應召に關し必要なる事項を書類を以て指示すべし
第二章 召集準備

第十五條 軍司令官又は師團長は防衛召集擔任官に防衛召集待命者として

人名簿を調整保管すべし
前項の範圍内に在る在郷軍人及國民兵役の下士官兵は防衛召集取扱者の定むる所に依り兵役に關する届出を爲すべし

第十條 防衛召集待命者は防空又は警備召集待命令狀を受領後遅滞なく防空又は警備召集待命者居住届を防衛召集取扱者を経て防衛召集擔任官に差出すべし爾後移動ある場合亦同じ
第十一條 防衛召集待命者旅行せんとするときは防衛召集擔任官の定むる所に依り防空又は警備召集待命者旅行届を防衛召集取扱者を経て防衛召集擔任官に差出すべし
第十二條 防衛召集待命者疾病其他家事の事情等に依り一定の期間應召し難きことを豫察し得るときは防衛召集待命者疾病(家事事故)故)届に疾病に在りては醫師の診斷書、家事事故に在りては防衛召集取扱者の證明を添付し防衛召集取扱者を経て防衛召集擔任官に差出すべし
第十三條 防衛召集待命者離職、轉職、解雇、轉居、徵用又は徵用解除、充員(臨時)召集等に依り第九條に規定する者に該當せざるに至りたるときは防空又は警備召集待命者事故届に防空又は警備召集待命令狀を添付し防衛召集取扱者を経て防衛召集擔任官に届出づべし

第十六條 防衛召集擔任官前條の違を受けたるときは第九條に規定する在郷軍人名簿に依り所要の人員を選定し防衛召集待命豫備者連名簿を順序を経て軍司令官又は師團長に進達すべし
第十七條 軍司令官又は師團長は前條の連名簿に基き所要の人員を選定し之を其の本籍地所管の師團長に通報(二通)すべし
第十八條 本籍地所管師團長前條の通報を受けたときは聯隊區司令官に之を達し其の召集準備を命ずべし
第十九條 聯隊區司令官前條の達を受けたときは防空又は警備召集待命令狀及防空又は警備召集令狀を作

り防空又は警備召集待命者の現住地記載の部隊に速に到着し防衛召集擔任官又は其の指定せる者に届出づべし
第二十條 軍司令官又は師團長前條の規定に依り防空又は警備召集待命令狀及防空又は警備召集令狀の送付を受けたるときは順序を経て之を防衛召集擔任官に送付し防衛召集擔任官は防空又は警備召集令狀に在りては自ら之を保管し防空又は警備召集待命令狀に在りては之を防衛召集取扱者に送付すべし

第二十一條 防衛召集取扱者前條の防空又は警備召集待命令狀を受領せるときは之を本人に交付すべし但し防衛召集取扱者官公吏以外の者なるときは防衛召集擔任官防空又は警備召集待命令狀を本人に交付すべし

第二十二條 令狀の交付を受けたる者は該令狀に添附したる受領證に受領年月日時を記入し捺印(應召員又

は召集待命者に代り受領したる者は記名捺印)の上直に之を返付すべし
第三章 召集實施

第二十三條 防衛召集の實施は防空又は警備召集令狀を以て本人に通知す、但し船舶に乗船しある場合に在りては所要に應じ防衛召集擔任官口頭又は電話命令等を以て之に代ふることを得
防衛召集待命者は召集令狀記載の日時に所定の場所に到着し防衛召集擔任官又は其の指定せる者に届出づべし

第二十四條 前條の規定に依るの外防空に關する警戒警報又は空襲警報の發令ありたるときは防空召集令狀を交付せられたるものと見做す
防空召集待命者は防空召集待命令狀に記載の部隊に速に到着し防衛召集擔任官又は其の指定せる者に届出づべし

第二十五條 召集部隊の長は應召員の到着と共に之を當該部隊に編入す
第四章 召集解除

第二十六條 防衛召集の解除は陸軍大臣の定むる所に依る但し部隊の編制に對し過剰と爲る者は召集部隊長に於て直に召集を解除することを得
第二十七條 防衛召集待命者の防衛召集待命令狀の解除は第十四條の規定に依る解除の指示を受けたるとき、又は防衛召集待命期間満了したるとき又は防衛召集待命期間満了せざるも防衛召集待命令狀の返還を命ぜられたるときとす

防衛召集擔任官は軍司令官若し師團長の命に依り又は防衛召集待命期間満了したるときは命を待つことなく防衛召集取扱者を経て防衛召集

待命令狀を返納せしむべし但し防衛召集取扱者官公吏以外の者なるときは直接防衛召集待命者より返納せしむべし

第五章 罰則

第二十八條 正當の事由なくして第九條第二項、第十條、第十一條、第十二條及第十三條第一項の規定に違反したる者は五十圓以下の罰金又は拘留若しくは科料に處す

附則

本令は昭和十七年十月一日より之を施行す

支那事變記念章制定

【九三】 長き邊りでは新しい歴史を建設する大東亞戰爭に發展した支那事業の重大性に鑑みさせられ、事變記念の表章として「支那事變記念章」を御制定、廿六日勅令を以て同記念章令を公布せられた、同記念章は、青銅圓形徑三厘、表面に菊花御紋章燦然として輝き、櫻花の圖を表して裏面に「支那事變記念章」の文字を

はすもので、櫻花は日本精神を表す一念に一九となつて敢闘した一億民の赤誠を表象されたやに拜承する環は青銅圓形、綬は支那事變從軍記章と同じで同記章と關聯して創設せられたもので一は主として軍務一は統後に對し授與せられる思召によるものと拜承するが、紅色は戰鬪赤色は忠誠、香色は戰場たる大江太河、納戸は大空、濃枯梗は海の大各を表したものである、記念章は皇室の御慶事國家の慶典を記念せられて再々御制定あらせられたが戦時を記念せられる記念章は、この度が初めて

家總力戰下一億總努力聖戰完遂に邁進する民草の赤誠を嘉せられ殊の外に御滿悅あらせ給ふと拜承する時同記念章の御制定を承はるは誠に畏き極みである、この意義深き記念章授與の恩典に浴する者は支那事變從軍記章拜受者を除く昭和十二年七月七日以後支那事變の目的遂行に特別の貢獻を爲したる者で官界を問はず、相當廣汎の見込で官界を始め市町村吏員各省管下の民間各團體、防空監視、警防團、軍事援護事業、軍需産業其の他國策會社各種專賣事業各種營團、教育訓練關係、貯蓄獎勵公債消化其の他各般に亘り決戰體制下挺身職域に奉公、特別の貢獻をなしたる者、各省各地方廳より上申、賞勳局にて嚴選の上御沙汰を賜はることになる模様で記章は記念章令公布と同時に大阪造幣局にて製造に着手し賞勳局では、各省と連絡して早速事務を開始する豫定である

金鷄勳章裁賜條例改正

【九四】 長くも天皇陛下には御統威のもと、陸に海に空に赫々たる武功を樹てつ善謀勇戰する皇軍將兵の忠烈勇武をいたく御滿悅あらせ給ひ其の武功を嘉せられ論功行賞の御沙汰あらせられ、殊に武功拔群の將兵に對しては軍人最高の名譽に輝やく金鷄勳章を賜はり親しく御褒賞あらせられたが、五ヶ年に亘る支那事變に次いで曠古の聖戰大東亞戰爭勃發するに及びハワイ海戰の九軍神を始め歴戦殊勳を累ねる將兵愈々その多きを加へるに際し長き思召を以て、この度金鷄勳章裁賜條例その他改正の件を樞密院に御諮詢御裁可あらせられ將校、下士官、兵の金鷄勳章極

限功級を夫々一級づつ上せられると同時に各將兵とも從來の極限功級までの果進の制を改め、極限功級の級は、殊勳中更に卓越の武功或は重

要の職にある者に限ることとし、特正にし給ふた、又將官に限らず拔群の武功に對しては特旨を以て一躍極限功級をも裁賜し給ふの途を開き、更に武功を果ねる毎に既に受有する功級の金鷄勳章を重ねて加授せられ歴戦果功の榮譽を顯彰あらせられ等忠勇義烈の將兵に恩賞の途を御治定廿六日勅令を以て公布、昭和十六年十二月八日以後の日附に依る行賞より新たに適用せしめられることになり聖戰下皇軍の榮譽を彌が上にも擴大せしめられた、尙同時に海軍見習尉官を海軍少尉候補生と同待遇に、又同級金鷄勳章は之を併佩すべきこと及び功二級金鷄勳章の副章は十六年十二月八日以後日附より廢止せられることに夫々御治定、勅令を以て公布せられた、さきに支那事變物發するや昭和十三年、下士官、准士官の初級並に極限功級を改正され次いで年令制の改正及びこの恩典が重ねて公布されこの度同時公布の前例なき支那事變記念章の御制定と共に、前線統帥皇民一億は光榮に輝く恐懼し感奮興起聖戰完遂に新たな赤誠と決意を誓ひ奉る次第である

帝國政府對英抗議

【九五】 二十一日の定例次官會議に於て奧村情報局長は抑留邦人に對する米國の非人道的取扱ひに關し米國政府の反省を促し米國民の公正な判斷を要求する爲、對米放送で適切な措置をなすと共に十八ヶ國語を以て全世界に對し米國の非行を暴露しつて長期持久的段階に入つたので戰爭完遂に一層舉國邁進するやう各方面の徹底的啓發に努力することを申合せた

外 交 米國の非道なる抑留邦人 措置是正要求

【九六】 盟邦伊太利皇帝陛下には我が無敵海軍の相次ぐ戰果と偉功を稱へ去る三月十二日付を以て永野軍令部長並びに嶋田海相に同國サンモリスス一等勳章を贈與されたが、廿一日午前十時半インデルリ駐日伊太利大使は海軍武官バルサモ中將、空軍武官フェデリック少佐及び輔佐官を帶同して海軍省を訪問總長室並びに大臣室において我が傳達式を行つた、因に同勳章は我が勳一等旭日大綬章に相當するもので同國最高のアンノン・シャード頸飾章に次ぐ高級な勳章である

外相在京大使接見

【九七】 谷新外相は廿五日午後二時から各國駐日大使との接見を行つたアンリ佛大使、オットー獨大使、フエリト・テック土大使、インデルリ伊大使、李滿洲國大使、チャイナム泰大使、マリク蘇大使と順次接見を行ひ同四時過ぎ終了した

伯國政府の猛省を促す

【九八】 伯國政府は今日の伯國産業建設に比類のない貢獻をなしたわが在伯二十餘萬の同胞に對し苛酷極まる取扱を行ひ目を蔽はせるものがあるので、堀情報局第三部長は廿六日伯國政府の邦人の取扱に對して左の如き談話を行ひ伯國當局の猛省をうながした

「伯國政府は終に去る一月二十八日多年に亘り日伯兩の友好關係を弊履の如く捨てて我が國に對し斷交を宣言するの愚擧に出その後我在伯二十數萬の同胞に對する取扱を苛酷にし終に左の如き非人道振を發揮するに至つた、第一に由來伯國の奥地に於

て自己防衛上、何人も武器を所有することの必要不可欠なるは伯國一般の通念なるに拘らず「サンパウロ市」當局は在留邦人を以て第五部隊なりとのいはれなき口實を設け、邦人より自衛用の武器を没收し爲に警察力不備なる奥地では無類不逞の徒輩は奇貨措くべしとなし、武器を擬して邦人を脅迫して強盜、傷害等の暴舉に出で而も伯國警察署は有效なる保護を加へ得なかつた第二、伯國官憲は多數の邦人を正當なる理由なしに拘留したのみならず、その收容所は何れも狹隘不潔極めて非衛生的にして、爲に健康を害するもの尠くない、第三に同國警察官等は濫りに邦人の家宅を搜索し、何等の理由なきに檢束拘引を恣にしたのであるがその後彼等は、恰も邦人を刑事犯人であるかの如く濫りに暴力を用ひ之が爲傷害を受けたる者多數に上る情況にて更に又伯國警察吏として邦人商店に入り無斷にて商品を持ち去り無銭飲食するものあり、甚しきは警察署長が邦人に命員を要求して之に應じなため投獄した事例すらあり人類の文明に對する胃潰たるのみならず、長く南米の大國の一として自他共に許して來た伯國の歴史を汚すものでなくては得であらう。茲に吾人は伯國政府が徒に米英の壓迫煽動に躍ることなく、速に其獨自の政策に基き敏上不法なる邦人壓迫の態度を改むる日の一日も早からむことを期待する。

世界新秩序建設を聲明

—樞軸八ヶ國全世界に叫ぶ

【九三】二十七日日獨伊三國條約締結二周年記念の意義深き日を迎へ日

本、ドイツ、イタリイをはじめ、その後同條約に参加したクロアチア、スロバキヤ、ハンガリー、ブルガリヤ、ルーマニヤ各國の外務大臣はそれぞれ全世界に對して一齊にメッセीडヂを發し、三國條約に基く共同戰爭の完遂と世界新秩序建設に對する不動の決意を力強く披瀝し契盟の愈々固きを明示した

祝電交換

△首相祝電【九三】東條首相は日獨伊三國條約第二周年記念日の二十七日朝、ヒットラー獨總統並にムツンリーニ伊首相に宛左の祝電を發した日獨伊三國條約第二周年記念日に當り余は貴總統(首相)閣下並獨逸(伊太利)國民に對し滿腔の祝意を表するを光榮とするものなり獨逸(伊太利)國民が貴總統(首相)の一糸亂れざる統率の下に凡ゆる艱難を克服して赫々たる大戦果を擧げ、着々として歐洲新秩序の建設に邁進しつつあるは余の感激に堪へざる所にして茲に深厚なる敬意を表す本日

大日本帝國

陸軍 大將 東條 英機
△外相祝電【九三】谷外相は日獨伊三國同盟が締結されて二周年三國の共同戰爭開始後初の締結記念日に當る二十七日獨外相リッペントロツプ

伊外相チアノ兩氏に對し、祝電を發し、三國提携して崇高なる世界新秩序建設の共同目的達成のため總力を發揮して健闘しつづつある事實を確認し、更に將來その盟約の具現化に協力すべき決意を表明した
△ヒ總統、ム首相【九三】ヒ總統及びム首相は廿八日祝電を發し、樞軸國家の紐帶いよ／＼固きを祝した
△東條首相宛ヒットラー總統視電
三國條約調印第二周年記念日に當り余及獨逸國民は盟邦日本國民及其將兵に思ひを寄す、余は共同の窮極の勝利を固く信じつつ閣下と共に日獨並に伊太利に對し強制せられたる戰爭は我々國民將又全歐洲及大東亞の多幸なる將來を齎すものなることを確信す、此の意味に於て余は閣下に對し衷心より敬意を表す
アドルフ・ヒットラー

平沼特使等歸國

【九三】國民政府汪主席並に外交部長褚氏誼氏の訪日に對する答訪のため去る十七日東京を出發南京に赴いた平沼、有田、永井三特派大使を首班とする使節團は廿七日程南京を出發、空路歸國の途に就き、福岡を経て同日午後四時廿分無事羽田東京飛行場に安着、晴れの歸京をした

ウイスキー重ねて空言

【九三】二十九日重慶に到着した米國特使ウイスキーの使命に關し、堀情報局第三部長は三十日内外記者團との會見に於いて左の如く談じた
△堀部長談話要旨
米大統領の特使ウイスキーは近東ソイヴエトロフに於ける不成功なる旅行を了つて、二十九日重慶に到着した、トルコでは、大統領との謁見も無く貸與法の御利益に關する彼の熱心なる説教も期待に反して極めて冷淡に取扱はれ、追の彼も事の意外なるに驚かされた、第二戰線問題は實に國家の死活に係る重大問題であつて、英本土に數百萬の訓練された英國の男子が本土防衛の名の下に一滴の血も流さず漫然駐屯してあるばかりでなく夫れ以外に數萬の米兵

任務完了

【九三】昨年七月から約一年にわたリ佛印、泰國境確定事業に従事した矢野委員長、井上事務總長、竹内陸軍中佐、梅本補助委員以下帝國代表部はこのほど相次いで歸朝し、廿六日谷外相に任務完了を復命したかその際陸海外各省關係官列席のもとに詳細經過を説明、同委員會の任務は完全に終了した

泰、佛印國境確定委員會

【九三】昨年七月から約一年にわたリ佛印、泰國境確定事業に従事した矢野委員長、井上事務總長、竹内陸軍中佐、梅本補助委員以下帝國代表部はこのほど相次いで歸朝し、廿六日谷外相に任務完了を復命したかその際陸海外各省關係官列席のもとに詳細經過を説明、同委員會の任務は完全に終了した

が英本土に於て英國の婦女子に戯れ事毎にいらざる口出しをして英人の驕蹇を招く外爲す所無きを見ては、ソウエト側の不滿が愈々熾烈化するの誠然と言はなければならぬ、然しながら此の問題はイギリスにとつては自ら異つた見地から考へられなければならない、英國の欲する所は、要するに自國の兵を損せずして如何にして蘇聯の抗戦を繼續せしむるかにある、彼は更にモスコフでは第二戰線に關して彼方此方から一日に實に五十餘回もの質問責めに遇つて再び驚きを重ねると共に答辯に窮したとのことである
抑々第二戰線問題に關しては英ソの間根本的に立場上の相違がある、第二戰線主張の新聞が指摘して居る如く過去一年有餘に亘つて獨逸の全壓力を一手に引受け、婦女子、子供に至る迄武器を執つて文字通りの死闘を續けて居るソ聯にとつては之が爲にこそ英蘇協定を結び、又之が爲にこそ首相チャーチルが遙々モスコフに飛來してロシヤ官民の激勵に是れ努めたのである、英國兵を第二のダンケルクの如き危険に曝して迄第二戰線を構成するが如きは功利的現實主義の英國人には到底耐へられない所である、不運なるカナダ兵三千餘名の犠牲に於て所謂貴重なる經驗を得たと言ふドイツ上陸の慘敗以來英國官憲が口を緘して此の第二戰線問題を語らず、護送船團の蘇聯港到着又は英米空軍の獨逸爆撃の話を誇らして居るもの之が爲である米紙イヴニング・スターは蘇聯戰局に關する論評を試み、第二戰線に關する約束は今年中に是が非でも第二

戦線を開くと云ふ意味でないことは、當時明瞭に言明してある筈である、倫敦も華府も第二のダンケルク敗戦を繰返し得ざるは言を俟たない、明確に論断して居るが之こそ英米の眞意を遺憾なく明示したもので所謂語に落ちたと云ふべきである、聯合義及び自由の確立の爲に奮闘するで側民心鼓舞を使命とする特使ウイルキ

キーは新聞の如く自由に見解を述べることには出来ない、従てロシア人の熱心且デリケートなる質問に對して彼が言ひ得た最大限は「出来得る限り速に第二戦線を開設することによつて尤も有効に蘇聯を援助し得ることを今や確信した、來年の夏では遅過ぎるかも知れぬ」と云ふ言葉だけであつた、元より五十餘人の蘇聯人は斯くの如き漠然たる希望的意见を開くために質問に來たのではない、従つて其の失望も亦想像に餘りある處である、元來ウィルキーは各中立國又は聯合國首脳部を訪問してアメリカの戦争決意とアメリカの軍需生産模様を宣傳しアメリカの聯合國援助の利益を再説して以て彼の辯説の爲し得る範圍内に於て各國を激勵することが其の主たる任務であつて、彼にはアメリカ政府將來の行動を義務付けるが如き何等の言質を列國に與ふる權限は全然賦與されて居ないのである、従つて重慶に於けるウィルキーの使命も亦推測に難くはない、重慶政權の得意とする傳統的な此の重要任務を終へて退出した彼は早速重慶新聞記者團と會見に及んで彼の辯舌を揮つて次の如く述べてであらう「友人諸君、余は人類の平等と四海同胞の名に於て支那國民諸君に御挨拶申し上げる、我が米國民は重慶政府及其の民衆の勇敢なる抗戦

に對して歎賞措く能はざるものがあると言ふのは諸君が全人類の爲に如何に善戦力關して居るかは世界周知のことであるからである、重慶の國民諸君と米國民及び聯合國國民は今後益々結束して全世界に亘る平和、正義及び自由の確立の爲に奮闘するであらう」
斯うして記者團を嬉しがらせ更に平和克服の曉に於ては重慶は自由平等の世界に於て指導的地位を占むべきことは間違のない所である、將來に對する魅惑のない幻影を描いて重慶官民を持ち上げて置いて、さて我米國に於ては全國民は學國一致して戦意熾んであり、又飛行機、艦船其他の軍需品の生産は逐次斯く斯くの通り脅威すべき進歩を示して居るばかりでなく米國は既に太平洋其他各方面で攻勢を執つて居るのであると云ふ、我米國は重慶の良い御託を並べた上、物質的精神的援助を爲す決意である、どうか我々の共同目的達成の爲今後尙勇敢に戦つて頂き度い」と滔々と述べ立てて抗戦繼續を勧誘するであらう

エルト大統領及軍事専門家に申進した上でなければ即答致し兼ねる、兎に角余は必要な軍需物資を可及的迅速に送付することが最善の援蔭の道であると云ふ確信を持つに至つた」と云ふ様な曖昧模糊たる返答をせざるを得ないであらう

執れにせよ特使ウイルキーが重慶に於て何事を話さうとやらうと彼今次の鳴り物入の旅行も其終つた後に残るものは各國の米國に對する増大した不平不満と失望とを以て彼が勿體不振つて持参に及んだ内容空虚なルーヴエルトの角筒筒位のものに過ぎないことは今更詮議する迄もあるまい

人事

内閣辭令

△二十三日 東京高等師範學校教授

檢事 板倉 贊治
小林 傳松
大塚 一矩

農林技師 依願免本官(各通)
大正四位 伯爵 渡邊 昭

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

△二十八日 檢事正 花輪 長治
兼任保護觀察所輔導官(三) 鐵道技師 安藤 三郎
同 島田 實
選信技師 高橋 功
農林技師 中原 重樹

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

依願免本官(各通)
依願免本官(各通)
依願免本官(各通)

專賣局經理部主計課長を命ず
△二十五日

燃料局書記官燃料局酒精部
業務課長兼東京酒精部長
清水 頼母

任專賣局參事(三)
補札幌地方專賣局長
△二十六日

補東京橋稅務署長
司稅官 鎌田 清治
補下谷稅務署長
司稅官 小林 儀作

陸軍司政官
△二十一日
地方技師 村島 鐵男
厚生技師 加茂 智榮
地方技師 勝屋 英夫
松井 蔚

任陸軍司政官(三)各通
貿易局書記官兼大藏書記官
△三十日
厚生書記官 吉田 政雄
保險院書記官 鈴木 武男

任陸軍司政官(三)各通
陸軍教授 内海 秀夫
任陸軍司政官(二)
△三十日
岡山醫大學生主事 世良 琢磨
長崎高商教授 伏見 義夫
彦根高商教授 岩間 巖

任陸軍司政官(三)各通
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫

任陸軍司政官(三)各通
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫

任陸軍司政官(三)各通
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫

任陸軍司政官(三)各通
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫

任陸軍司政官(三)各通
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫

任陸軍司政官(三)各通
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫

任陸軍司政官(三)各通
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫
陸軍教授 内海 秀夫

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

任陸軍技師(三)各通
△二十六日
司法辭令
德島地方檢事正 兒玉 庄藏
靜岡地方檢事正 安倍 輔
浦和地方檢事正 浦和 正
秋田地方檢事正 宮崎 正
大審院檢事 吉弘 基彦
大審院判事 兒玉 庄藏
宮崎 三郎

兼任東京女高師教授(三)
厚生辭令

【九三】軍事保護院一部機構改革に
伴ふ人事は次のごとく發令された

職業局厚生事務官 新井 茂司
任軍事保護院書記官
授護局保護課長を命ず
社會保險局保險院事
務官兼厚生事務官 師岡健四郎

任軍事保護院事務官兼軍事保護院書
記官
業務局整備課長を命ず
業務局兼總裁官房總
務課軍事保護院事務
官兼厚生事務官 伊關庄三郎
免本官專任厚生事務官人口局勤務を
命ず

授護局指導課長 榎垣 一美
軍事保護院書記官 長治
總裁官房總務を命ず
同授護課長 杉山 俊郎

授護局扶助課長を命ず
同扶助課長 加藤祐三郎

授護局指導課長を命ず
業務局業務課長兼補導課長 高橋 敬一

業務局職業課長を命ず
△三十日
厚生書記官 阿賀 正美
人口局管理課長を命ず
厚生省職業局長 持永 義夫

職業局轉職課長事務取扱を命ず
保險院社會保險務長 平井 章
社會保險局醫務課長事務取扱を命ず
△三十日
任無線電信講習所教官(三) 藤川 洋

任無線電信講習所教官(三)
無線電信講習所長を命ず

任無線電信講習所教官(三)
無線電信講習所長を命ず

任無線電信講習所教官(三)
無線電信講習所長を命ず

任無線電信講習所教官(三)
無線電信講習所長を命ず

任無線電信講習所教官(三)
無線電信講習所長を命ず

任無線電信講習所教官(三)
無線電信講習所長を命ず

配給

麥酒配給統制機構確立

【四五頁より續く】
加、總額二億六十萬圓となつたが、
増資分のうち九百九十五萬圓は合併
によるもの、残る五萬圓は株主募集
によるものである

【九三】麥酒の適正配給については
各關係官廳の指示に基き業者におい
て従來自主的に種々の對策が講じら
れてきたが、今回中央地方を通過す
る配給統制機構の確立を斷行すること
となり既にこれが中樞配給機關とし
て資本金五百萬圓(全額拂込)の一
中央麥酒販賣株式會社が去る九日創
立總會を開きその下部配給統制機關
たる全國七ブロック別一地方麥酒販
賣株式會社の一創立總會も廿二日東
京で一齊に開かれ何れも近く農林、
大藏兩當局的承認を受ける
中央麥酒販賣會社は舊麥酒共販會社
(大日本キリン兩社共同出資、資本
金二百萬圓、五十萬圓拂込)を中心
としこれを櫻ビール販賣および東京
ビール兩社を糾合して設立されたも
ので、ここに自由經濟時代のアウト
サイダーをも網羅した一元的中央配
給統制機關が確立するに至り新會社
の會長には高橋龍太郎(大日本)社
長に磯野長藏(キリン)常務取締役
に山本爲三郎、柴田清、諏訪藤之助
の諸氏の就任を見てゐる、ブロック
別地方麥酒販賣會社はそれぞれ管内
問屋(特約店)の企業合同によつて

新設されたもので、これらに對し中
央麥酒販賣會社がそれぞれ資本金の
一部を出資してゐる、地方各社の地
區および資本金は次の如くである
(單位萬圓)
北海道(六五) 東北(六〇) 關東(四
五〇) 中部(九〇) 關西(高知、徳
島、香川を含む)(三〇〇) 中國(愛
媛を含む)(二〇〇) 九州(九五)
計(一、二六〇)

さらに末端配給機構たる小賣業者に
對しても道府縣單位の麥酒小賣商業
組合をもつて荷受機關を設立せしめ
るが、法は世話人組織などの方法を
設置せしめる方針の下に着々その整
備を圖ることになつてゐる、かくて
過般従來の合議制組織から統制會
機能も帯びた機構に改組を見た「日
本麥酒協會」の確立と相俟つてここ
に麥酒配給體制は上下一貫した有機
的組織を形成するに至つた

【九四】アルコール販賣株式會社で
は酒精配給の合理化を圖るため商工
省の指示に基き十月一日より従來の
大阪支社のほかに、東京、名古屋、
廣島、門司、熊本、札幌の六市に夫
々支社を増設し各出張所の業務を統
括する

【九五】東商調査に九月小
比三厘騰貴

【九五】東商調査に九月小
比三厘騰貴

【九五】東商調査に九月小
比三厘騰貴

【九五】東商調査に九月小
比三厘騰貴

【九五】東商調査に九月小
比三厘騰貴

【九五】東商調査に九月小
比三厘騰貴

【九五】東商調査に九月小
比三厘騰貴

政経

特別會計豫算節約額は五億一千四百餘萬圓と決定された。

商工省では廿二日、新たに轉廢小賣業者(三十種)の資産評價基準を決定發表した。從來、小賣業の資産評價は轉廢中小商工業者の資産評價の一般原則たる「國民更生金庫引受資産等評價方法基準」によつて行はれてゐたが、この一般原則は各種設備の評價に重點が置かれ、工業者に有利で設備の多い一般小賣業者に不利だといふ憾みがあつた。この缺點を修正したのが、今回の新評價基準で、この結果、いままでも優遇されてゐなかつた小賣業者も比較的有利に所要の資金を入手して轉業し得ることになつた。

三十日、日銀は本年度第三・四半期の公債消化状況を發表したが、消化率は發行總額三十億圓に對し消化高二十七億六千七百萬圓で九二・二%、前年同期の九一・九%に比し僅か乍ら好轉してゐる。尙一月以來の累計は、發行總額九十五億二千百萬圓、消化高九十二億四千八百萬圓で消化率は九七%に達し、前年同期の九五%に比しかなり良好である。

金融統制團體令に基く損保統制會は、廿一日設立命令が發せられ、また同日、第二次指定の皮革統制會に對しては設立認可が下り、廿五日には麻統制會の創立總會が開催され、更に廿八日には電機統制會員の追加指定が行はれた。(宮)

政府は昭和十二年度以來、毎年豫算の實行に當つて經費の節約を圖つてきたが、昭和十七年度豫算の實行についても去る八月の閣議において、物資、資金、勞務等の諸動員計畫に支障を來さざる限度において、また十月より實施される行政簡易化の結果として各省とも一層の工夫を加へて經費の節約に協力すべき旨の決定を行ひ、爾來大藏省と各省間に折衝中であつたが、廿九日の閣議において、外地特別會計を除く本年度一般及び

一般

轉廢の小賣業評價新基準決定

【九三】轉廢業小賣業者の資産評價については從來一般原則たる「國民更生金庫引受資産等の評價方法基準」を適用することになつてゐたが、同原則は設備に重點を置いて立案されてゐるため有形固定資産に乏しい小賣業者には不利な點があり、また業態の複雑な小賣業者の資産評價には繁雜な手数を要するので、商工省では去る十五日の轉廢業者資産評價中央委員會一般部會において小賣業者の資産評價に關する新基準を決定し、二十二日各地方長官あて通牒した。新基準による手持商品、土地建物電話その他の營業用什器はすべて時價で評價するとともに、飾窓、來客業用造作什器についても各業種別に賣上實績に應じて明確な評價額が定められてゐるが、從來の如く過去三ヶ年間の純益の一ヶ年平均をとりこれを一割還元(十倍)する評價方法に比して極めて簡易でありまた轉廢業者にとつても有利な評價が行はれるわけで、これによつて小賣業者の整備は急速に促進されるものと見られる。新評價基準の概要を左の如し

(一) 原材料および手持商品は九公九協乃至九停等の小賣賣價格で評價する、但し取物古物等については各府縣の物價査定委員會で評價額を決定する
(二) 土地、建物等は「國民更生金庫引受資産等の評價方法基準」並に「土地および建物の評價基準」により時價で評價する
(三) 電話、金錢登錄機、金庫、自動車、オートリヤカー、貨物自動車その他の輛、計量器、冷蔵庫、マネケン人形、營業用ミシン、自動車修繕用具、眼鏡加工器具、檢眼器およびラジオ試験用器具等の營業用什器はすべて單獨に時價をもつて評價する
(四) 飾窓その他の一般營業用造作什器(所謂造作代のみ)も營業權的要素を含めて各業種別に小賣業者の賣上高によつて評價する、賣上高は過去三ヶ年間の平均賣上實績として稅務署の決定および組合の申請等を參照して決定されるが、企業許可令の施行を見越して昭和十六年一月一日以降に新規開業した小賣業者については賣上高を一割減額して決定する、なほ卸、小賣の兼業その他の兼業者については各部門毎に獨立計算で賣上高を決定し、また靴商、眼鏡商等における修繕料は賣上高の中に加算する
(五) 小賣業者營業用資産の國民更生金庫引受總額は前各項の總計となつて、總額が三百圓に満たない場合はこれを三百圓に切上げて評價する

的賣上高に對する基準評價額を定む、これを標準として賣上高がこれ以下の經營については按分比例を以て基準評價額を決定し、賣上高が右の標準賣上高以上に達するものの基準評價額は正確な按分比よりも幾分増加率を低減せしめてゐる、業者の標準賣上高は正確な按分比よりも幾分(三ヶ年平均)は呉服商の二萬圓、洋服商の七千圓等業種によつて區々であるがこれを表示すれば左表の通りである、なほ賣上高が基準評價額に對して端數(A)を有する場合は

業種	賣上高	基準評價額
△呉服商	10,000	2,600
△洋裝商	7,000	1,100
△洋子服商	10,000	2,100
△婦人子供服商	10,000	2,100
△既製服商	10,000	2,100
△夜具蒲團商	10,000	2,100
△洋品雜貨商	10,000	2,100
△家庭金物商	10,000	2,100
△計金時商	10,000	2,100
△寫眞機商	10,000	2,100
△ラジオ電氣機具商	10,000	2,100
△轉車商	10,000	2,100
△陶磁器商	10,000	2,100
△靴商	10,000	2,100
△鞣商	10,000	2,100

△小間物化粧品商	10,000	二七〇	需用第一
△藥化粧品商	1,000	二七〇	需用第一
△紙文房具商	1,000	二七〇	需用第一
△書籍雜誌商	1,000	二七〇	需用第一
△玩具具商	1,000	二七〇	需用第一
△家具具商	10,000	二七〇	需用第一
△腹物商	10,000	二七〇	需用第一
△荒物雜貨商	1,000	二七〇	需用第一
△菓子商	1,000	二七〇	需用第一
△乾物商	10,000	二七〇	需用第一
△魚類商	10,000	二七〇	需用第一
△肉類商	10,000	二七〇	需用第一
△食肉商	10,000	二七〇	需用第一
△蔬菜果實商	10,000	二七〇	需用第一
△萬屋	10,000	二七〇	需用第一

電力消費規正實施要領

【九三】十七年度電力消費規正實施方針要綱に基き逕信省では電力調整令を發動し一般電力並に電燈用電力の消費規正を實施することになり廿三日これが告示を公布、一般電力は十月一日より電燈は十一月一日より夫々施行する、而して一般電力の消費制限率は昨年同様五段階に分け需給状況に應じて緩急の度合を付け、制限の強化は出来るだけ避ける方針で電燈用電力については十一月中は訓練期間として特別料金を徴収せず本年度消費規正實施の要點左の通り

①電力に關しては消費制限の最大限度は需用指定區分に従つて第一種需用は基準量迄、第二種需用甲類は基準量の二割迄第二種需用乙類及第三種需用は三割迄であり、此の範圍内に於て左記段階に従ひ電力需給状況に即應して妥當な制限率を決定する(本年度も北海道之地方はを除く)
△電力消費制限比率段階表

豫定である
②電燈用電力に關して特に異つた點は従量制により供給せられる電燈は契約燈數十燈以下のものに對しての最高消費限度を定めたこと及電燈、電力を併せてキロワット契約により供給せられるものを計燈として計算量一キロワットを計燈需用家に對しては昨年度と同様送電停止其の他必要と認むる措置例へば取付燈数の制限等の如き制を逕信局長が行ひ得る外消費限度を超過して消費した場合には其の超過電力に對し一キロワット時に付五十錢の特別料金を課して警告を與へると共に消費規正を徹底せしむる事とした

全購販聯總代會

【九三】全國購販賣組合聯合會第二回通常總代會は廿五日産組中金ビに開催まづ道府縣聯合會長懇談會を開き、新情勢に即應する本年度事業方針の説明あつてのち

一、昭和十六年度決算並に剩餘金七十五萬八千圓處分案
一、取扱品目追加の件
一、理事一名、監事二名缺員につき補缺選任の件
その他を附議して、理事には元鳥取縣知事中山谷秀、監事には新潟縣販購利聯合會長岸雄太郎、熊本縣信販利聯合會長中井亮作の兩氏を選任、取扱品目については左の十三品目を新たに追加することとなつた
一、購買品目 電氣機具類、陶磁器、土管、蠶具、鷄舍用網類
一、購買加工又は生産品目 土管、

賤政・金融

本年度豫算節約額

總額五億一千四百萬圓

【九三】政府は去る八月十一日の閣議決定に基き官廳行政簡素化の實施に伴ふ官廳人員の減員並に事務費の節約につき本年度一般會計並に各特別會計豫算につき大藏省を通じて各省と折衝の結果成案を得たので廿九日の定例閣議に昭和十七年度豫算節約に關する大藏當局の具體案を附議賀屋藏相の説明あつて正式に決定、正午次の如く發表した、本年度の豫算節約は獨り行政簡素化の實施に伴ふ人件費、事務費の節約額のみならず物動計畫の遂行上實施不能となつた經營をも含むものであり、一般會計の節約額は繰越又は繰延額を合せ二億八千三百萬圓
又特別會計は五億三千四百萬圓、合計八億二千七百萬圓で、この内他會計と重複する分を除いた純節約は總額五億一千四百萬圓である
△昭和十七年度豫算の節約に關する件
行政簡素化等に關する本年八月十一日閣議決定に基き昭和十七年度一般會計及び特別會計(左記の會計を除く)豫算の節約金額並に其の「節減」及び「繰越又は繰延」の區分はこれを別表の通りとす、尙各省は今後其時局の推移に即應し一層經費節約の實を擧ぐるものとす
左記
關東局、朝鮮總督府、朝鮮鐵道用品資金、朝鮮簡易生命保險、臺灣總督

改組海運協會事務局規定

【九三】改組海運協會は愈よ來月一日より新陣容のもとに發足するが新定款に基き協會事務局規定は左の如く決定した

一、本協會事務局に總務、業務、海務、資材の四部十課を置く、支部は神戸、北海道、九州、宇品、朝鮮の五ヶ所に設置す
一、協會事務局に部長、課長を置き、支部長は部長を北海道、九州、宇品、朝鮮支部長は參事又は主事を以て充て、支部長は部長を北海道、九州、宇品、朝鮮支部長は參事又は主事を以て充て、

督府、臺灣米穀移出管理、臺灣官設鐵道用品資金、樺太廳、南洋廳各特別會計

昭和十七年一般會計及各特別會計(外地特別會計を除く)歳出節約額調(前年度繰越の分を含む)

線越又は線延額

Table with columns for '千圓' and '千圓' showing budgetary figures for various categories like '一般會計', '特別會計', '通信事業', etc.

八月末國庫現計

【九・元】大藏省發表 本年八月末現在に於ける十七年度國庫現計によれば、歳入總計は十三億九千三百萬圓に達し前年度同期に比し一億二千七百萬圓の増加である、歳入の内譯は經常部に於て十一億七百萬圓で前年度同期に比し三億九千四百萬圓の増加、臨時部に於ては公債金收入の著減により二億六千六百萬圓の減少を示してゐる、科目別内譯は次の通り(單位千圓、△印減)

Table showing budgetary details for '八月末現在' and '前年度' with columns for '歳入' and '歳出'.

相續稅 八、四三三

建築稅 五、六

釐稅 四、九三

酒稅 三、四〇三

清涼飲料稅 五、四三

砂糖消費稅 一、五二

礦物消費稅 一、七、三三

揮發油稅 二、四二

物品稅 三、三三

遊興飲食稅 四、八、六八

取引所稅 九、七、九

有價證券移轉稅 一、六、一

通行稅 一、八、五

入場稅 一〇、七、〇

關稅 一、八、五

噸稅 三、五、八

兌換銀行券稅 三、四

發行稅 二、七、六

電氣瓦斯稅 三、〇、三

廣告稅 三、〇、三

馬券稅 一、九、〇

地稅 三、七、一

營業收益稅 二、二

資本利子稅 三、三、七〇

法入資本稅 三、三、三

利益配當稅 一、九、〇

印紙收入 三、三、三

官業及官有財產收入 一、六、八三

雜收入 三、七、六八

經常部合計 一、七、九、六六

臨時部合計 三、〇、三六

△補償收入 七、三、一、三二

△雜收入 三、〇、八、八

△公債金 八、〇、四、八、六三

臨時部合計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

歳入總計 一、五、九、三、三六

第三四半期起債計畫決定

發行總額六億一千八百圓 大藏省では二十五日起債計畫(十一月十二日)起債計畫につき審議した結果、發行豫定總額を六億一千八百萬圓と決定した、これを前年同期に比すれば三千五百萬圓の増加であり、また前期に比すれば一億三百八十萬圓の減少に當るがこの起債額査定に當つては相當額に達した會社、銘柄別

Table with columns for '銘柄別', '發行額', 'シ團額', '公募', '官廳筋', 'その他' showing bond issuance details.

第三・四半期の公債消化狀況

【九・元】日銀では廿日日本第三・四半期(七月―九月)公債消化狀況を發表したが、これによると同期中の發行總額は三十億圓、これに對し消化總額は二十七億六千七百萬圓に上り九二・二%の消化率を示した、これを前期(四月―六月)の消化率九六%に比すれば若干の鈍化は免れな

管團等の發行豫定額を高度の重點主義により資金統制計畫と脱み合せ且つ金融情勢並に起債市場に對する影響等をも勘案して壓縮を加へた、而して消化機關別消化率において官廳筋が四三・二%と前期の三五・八%に比し、著しく比率を増大したのは特殊債の發行が激増したことに基くもので、これに對しシ團額引額は第二四半期の三四%から二六、五%に急低下したこれは最近社債の賣行きが良好であること及び引受銀行團に對しては相當高率の國債消化を期待してゐる事情によるものと見られる第三四半期起債計畫の内譯は次の通り(單位千圓)

Table showing '預金部資金運用額' with columns for '本年度決定額', '前年', '同期'.

【九・元】第八十三回預金部資金運用委員會は二十九日左の通り時局緊要な生産力擴充資金等二億三千八百七萬圓の運用方を決定した、尙今回の決定に依り昭和十七年度資金の運用決定累計額は三十八億四千七百九十九萬圓の多額となる

△勞務者住宅建設資金追加融通の件 昭和十四年以來融通して居る勞務者住宅建設資金の融通力が少くなつたこと、三千萬圓の追加融通を爲すこととした、これに依り當初以來の融通決定額は一億六千萬圓となる △造船資金追加融通の件 本資金は既定計畫の造船に要する資金の昭和十七年度分として今回百十七萬圓以内を融通することとした △昭和十七年度に於て政府保證債券又は特殊法人の發行する債券に資金追加運用の件 本資金については本年三月及六月の運用委員會に於て差

當り二億四千七百圓以内の運用方法決定を経たのであるが、最近の起債市場の状況に顧み更に一億七千萬圓を増額して四億七千七百圓とした△昭和十七年度に於ける滿洲國政府保證債券買入資金追加の件 本資金に付ては本年三月及六月の運用委員會に於て滿洲國政府保證滿洲軍工業開發會社債及滿洲國政府保證滿洲興業債券の買入資金として差當り二千五百萬圓の運用方法決定を経てこれが買入を實行したのであるが、最近の起債市場の状況に顧み今回更に千二百五十萬圓を増額して三千七百五十萬圓とした

保險計理人の資格を規定

【九三〇】大藏省では今回保險業法第八十九條に基き保險計理人たるべき者の資格等を規定するため同法施行規則改正の省令を一日付を以て公布即日施行する、保險計理人は保險會社の主務官廳に對する事業報告書類の作成に當るものであるがその資格は次の如くである

- (一) 大學令に依る大學に於て數學を専攻し學士と稱することを得る者に於て五年以上生命保險數理の實務に従事したる者
- (二) 專門學校令に依る專門學校に於て數學を専攻し之を卒業したる者に於て八年以上生命保險數理の實務に従事したる者
- (三) 前二號に掲ぐる者を除くの外生命保險數理に關し學識經驗を有する者にして大藏大臣が保險計理人たる資格ありと認定したる者

保險倉庫、工場の手續簡捷化

【九三〇】大藏省では保險倉庫法施行規則及保險工場法施行規則の一部を改正、一日附をもつて公布する、今回の改正は保險倉庫及び保險工場における稅關手續の簡捷化を圖り關係業者の利便に資するもので、從來保險倉庫又は保險工場に貨物を移入おす場合に要した庫入又は移入申告および同倉庫、工場で貨物の手入作業をする場合の作業申告手續等を省略し得ることとした

第二豫備金支出

今旬決定の第二豫備金支出額は次の通り(單位千圓) 九月廿二日

- △一般會計 農林省所管、神戸生糸検査所受電設備改造費一五
- △特別會計 拓務省所管、朝鮮總督府早場米出荷獎勵補助二四〇、專賣局開城出張所紅蔞乾燥場火災復舊及新營費六六、家畜衛生研究所血清採取室その他火災復舊及新營費一九
- 九月廿五日
- 一、對中華民國國民政府答訪使節派遣諸費(外務省所管) 二八〇
- 一、興亞文化事業費補助(大藏省所管) 六五九
- 一、重要物資回收利用諸費(商工省所管) 七七
- 一、木炭生産及出荷促進施設費(農林省所管) 一、三三四
- 一、師範學校寄宿舍其他火災復舊費(拓務省所管) 特別會計 一四五
- 一、臨時防空施設費(同) 三一八
- 一、貯蓄獎勵強化擴充費(同) 一八

京都、奈良に鹽販賣出張所設置

【九三〇】大藏省では鹽配給の圓滑適正を期するため從來鹽販賣官署のなかつた奈良縣で新たに奈良市に、また京都府には京都市に各出張所を設けることになり、右に關する省令を改正三十日公布、十月一日から施行するが、これで各道府縣全部に一鹽販賣官署の設立をみたことになる

生産

損保統制會に設立命令

【九三二】大藏省では今回損保統制會の業態別統制會を設立せしむることに決定、二十二日附を以て右業態別統制會の會員たる資格を有する者(保險業法に依り損害保險事業に付營業の免許を受けたる損害保險會社但し保險業法施行地外に本店を有する損害保險會社を除く)を指定、之が設立命令を發すると同時に設立委員を次の如く任命することになった

- △設立委員 新庄清一(大阪海上社長) 廣瀬鏡太郎(共同火災社長) 岡崎忠雄(神戸海上社長) 古田俊之助(住友海上會長) 飯沼剛一(大正海上會長) 中野金次郎(大北火災社長)

皮革統制會創立總會

【九三三】重要産業團體令に基き皮革統制會の創立總會は廿一日帝國ホテルに開催、鈴木設立委員長より設立經過の報告あつて後議事に入り定款の賦課徵收方法等を原案通り決定、商工大臣より同統制會々長に日本原皮社長鈴木熊太郎氏の任命があり正午散會した

麻統制會創立認可

【九三四】重要産業團體令に基き麻統制會の創立總會は二十五日午後帝國ホテルに開催、定款、創立費およびその償却方法、初年度の收支豫算、初年度における賦課金の賦課徵收方法、手数料および統制手数料の徵收可された、なほ創立費は三千圓で麻業協議會が全額負擔し初年度收支豫算は九十九萬六千八百六十八圓である、役員左の如し

- △會長 鹿野澄(日本原麻社長) △理事 比志島彦三(東洋麻糸紡績取締役) △理事 伊藤正雄(東京電波常務) 納富喜雄(帝國纖維常務) 森周一(東亞麻工業取締役) 黒田常清(日本マニラ麻網取締役支配人) △監事 小泉啓三(小泉製麻常務) 西川吉太郎(日本麻糸元卸商組理事)

電氣機械統制會追加指定

【九三五】商工省では電氣機械統制會の會員として電氣機器關係二十五社計五十三社を追加指定することとなり廿九日告示、なほこれと同統制會の會員は三百七社一統制組合となる

自動車修理用部分品統制強化

【九三六】商工省では自動車修理用部分品統制強化のため從來の臨時措置法に基き自動車修理用部分品配給統制規則を廢止し、新に物資統制令に基き自動車修理用部分品統制規則を制定することとなり、廿日省令を以て公布、十月一日より施行する、之により自動車修理用部分品の製造業者は種類別生産割當に就て自動車統制會の指示を受け、製品は日本自動車配給株式會社が一手に買取る事となるが、部分品の範圍も從來の九十五品目から百十九品目に擴大される

帝石、日石鑛業外一社會併可決

【九三七】帝國石油では廿日九ノ内鐵道協會に臨時總會を開き大日本石油鑛業(資本金七百五十萬圓)内拂込五百五十萬圓)ほか一社の合併に關する件を附議可決した、これによつて同社の資本金は一千萬圓増

社會・文化

史蹟、名勝、天然記念物決定

【九三】本年度第二回史蹟名勝天然記念物調査會は廿三日午後一時から文部省會議室に於て開會新たに左の史蹟十件名勝三件、天然記念物は九〇六件名勝は一九五件天然記念物は七二四件となつた

【史蹟】明治天皇市川御小休所(宮城) 芝徳川氏靈廟(東京) 上野徳川氏靈廟(東京) 山麓紫行墓(東京) 高島秋帆墓(東京) 尖石石器時代遺蹟(長野) 上之段石器時代遺蹟(長野) 津和野城址(島根) サルガ鼻洞窟住居址(島根) 權現山洞窟住居址(島根)

【名勝】白石島(岡山) 磐司(宮城) 惠林寺庭園(山梨)

【天然記念物】小原のこつぶがや(宮城) 稱名寺のしひのき(宮城) 羽吉の大桑(新潟) 白山神社のはな(宮城) のき及びひとつばたご(岐阜) 白山神社のひとつばたご(岐阜) 白山神社のひとつばたご(岐阜) 東山洪積世植物遺體包含層(京都)

【山陰地方にアイヌの史蹟】島根縣からは從來考古學上参考となるべき貴重な資料が幾多発見されてきたが前記文部省から史蹟

名勝天然記念物として保有を指定されたものうち八東郡森山村サルガ鼻洞窟内の發掘された縄紋式土器(アイヌ)の使用してゐたもの(八)が七月島取縣西伯郡外江村國民學校佐々木訓導が発見京大海原教授の鑑定を求めたところ東北、北海道で多數発見されてゐるアイヌ族の使用してゐた土器と同様のものであることが判明した、その後本年八月海原教授が來町實地調査に當つたところ同洞窟とほど遠からぬ權現山麓から無數に発見された、これにより出雲地方には今まで朝鮮系古代人のみ先住してゐたとの推論は完全に覆へされてアイヌ族が朝鮮系先住人の前に山陰地方にも部落を形成してゐたことが判明するに至つた

文部省推薦圖書(九月分)

- 【教育圖書】◇「山本常朝」川上清吉(霞ヶ關書房) ◇「農業統制と協同化」安田誠三(白楊社) ◇「工場寄宿舎管理」佐々木正制(東洋書館) ◇「鯨その科學と捕鯨の實際」大村秀雄他二氏共著(水産社) ◇「物理實驗者の心得」中村清二(河出書房)
- 【一般圖書】◇「國の子の家庭教育」飛田多喜雄(新潮社) ◇「隨筆續船」和辻春樹(明治書房) ◇「父親と青年」齋藤文雄(羽田書店) ◇「兵隊先生」森川賢司(青年圖書)

【新小説社】◇「農村紙芝居の演り方」遠藤正二(晴南社) ◇「黒船來航」足立勇(大日本出版社峰文社) ◇「ナチス獨逸の建設者」ロレンツ著鹽谷太郎譯(墨水書房) ◇「物理實驗者の心得」中村清二(河出書房)

評論家報國會生る

【九三】大日本評論家報國會設立發起委員會は二十八日正午から芝三線亭で開かれた

南方映畫工作進捗

【九三】去る九月十日政府から發表された「南方映畫工作要綱」に伴ふ各本社内機構現地支社設置場所及びび人事等が廿日決定、情報局から發表された、之に依れば映配の方は本社内に南方局を設け現映務局長金指英一常務理事が局長を兼任、南方局の下に總務部(部長中谷義一) 業務部(部長田村幸彦)の二部を置く、現地方面では昭南市に南方總支社(支社長現映配大阪支社長内海信二氏)を置くほか左記の通りであり、日映の方は本社内に海外局を設け、局長には現文化映畫製作局長理事星野辰男氏が就任、海外局の下に事務部(部長田口修治氏)及び製作委員會(委員は部長級)を設け、現地方面では昭南市に南方總支社(社長山崎眞一郎氏)を設ける、尙松竹、東寶、大映の各劇映畫製作社は南方専門の映畫製作に着手してゐる。

東京新聞生る

【九三】有史未曾有の決戦下、各數十年の社歴を抛つ英斷の下に都新聞國民新聞の二大東京紙がこのほど合併して居る、併、十一月一日宛て東京市自治記念日を期して新たに發足する「東京新聞」の創刊式を廿日午前九時より日比谷公會堂で嚴肅に執行した

教育

東大卒業式

【九三】修業年限短縮後第二回目の東大卒業式が二十五日同大講堂で行はれ東條首相は橋田文相と共に臨席して祝詞を述べた

首相祝辭要旨(前略)諸君の學友の多くは現に或は

第一線の戦に挺身し、或は戦後の守りに従事して居られる、其の中には既に護國の英靈となつて靖國の御社に祀られて居られる方々もある、諸君は畏くも「軍國多事ノ際ト雖モ教育ノ事ハ忽ニヌヘカラス」との大教心に基き、國家の格別なる庇護の下に未曾有の大戦争の眞只中において今日までひたすら心身を鍛錬し國家須要の學術を修め其の蘊奥を攻究せられて來た、今や諸君の一切を捧げて君恩に報ひ國に殉ずるの秋は來た諸君は遠からずして筆を捨てて銃剣を執り、醜の御借となつて勇躍軍務に就かんとし、或は夫々専門の立場に於て銃後總力戦の各分野を擔當して、君國の爲に挺身せられんとして居る、惟ふに大東亞戰爭は各國の興廢存亡を賭する戦ひであり、しかも米英は其の國力就中其の物質的戰力を恃んで最後の勝利を自負し我れに反噬せんことを企圖して眞剣に努力して居る

正に今後に在る、従つて大東亞戰爭を勝ち抜き大東亞共榮圈を確立することは實に曠古の大事業であり、諸君にとつても其の全生涯の大事業となるのである、諸君は此の大事業完遂の中樞たる指導者たらんとして居る、古今東西を通じて諸君の如く切實に聖業の完遂に翼賛し奉ることが出来るると云ふ感徳と誇りを以て世人の檜檣臺に出て行くことの出来ぬ人は、未だ曾て歴史に其の例を見ない、私は諸君が古歌に歌はれたる「みたみわいけるしるしあり天地の榮えるときにあへらく思へば」の感激と熱とを日に日に新たにし、饒而後已」の氣魄を以て、進んであらゆる困難を突破せられんことを切望し且強く之を朝俤して已まないこの機會に於いて更に私の平素懐いて居る二三の所感を申述べて諸君に對する饒けの言葉と致し度ひ、第一に眞の日本精神の涵養に付て、第一抑々日本精神の根本は尊き惟神の國體觀念に徹し身を以て君國に殉ずる所にある、更に日本精神の特性として和らぎのある大らかな氣持をもつことである、而して指導者として諸君に最も必要なることは實に此の盡忠報國の精神に加ふるに此の和らぎのある豊かな氣持を以て常に心の「エトトリ」を存して春風自ら湧き出づるの境地に身を置くことである第二は學問を修めるに當つての心構に付てである、抑々學問は一生のことで諸君は最高學府の課程を終了せられたのであるが、これをもつて學を卒へた者即ち己に一人前になつたものとはいふことは出来ない

旺盛なる好學心を持續し全生涯を通じて不斷の精進を續けて戴き度い、

第三に體力の増強に就てである、體力はすべての根源である健全なる身體にこそ健全なる精神は育くまれることは最も平凡なる然も千古に渝らざる真理である、諸君が凡ゆる困難を突破し重大なる責任を果す爲には優秀なる頭腦と不撓不屈の努力とに加ふるに鐵の如き身體がまづ何よりも必要である、私は四十年の軍隊生活の経験によつて、この確信を常に新たにして參つて居る、諸君は本日をもつて所謂元服の式を終つた、この未曾有の時局に當つて國家が若き諸君の眞剣なる活動に期待する所は洵に甚大なのである、諸君は本日の感慨を肝に銘じ、如何なる障礙も克くこれを突破して自己の境遇を開拓し、もつて各々の職場において諸君の若さと希望とを生かすつて君國の爲の努力を致されんことを切に祈つて私の祝辭を終る

勞務・厚生

【九三】東京鐵山監督局では初の「鐵山記念日」の二十一日午後二時から開闢五十周年記念表彰式を九段の軍人會館に舉行、暗黒の坑内で働く増産の戦士達を眞心こめて賞揚した、今回表彰されたものは、同監督局管下の鐵山で、同一鐵山三十年以上の勤続者二五三名、坑内生活二十年以上の勤続者四六一名、父祖三代に亘る同一鐵山勤務者一七五名、一家五人以上現に鐵山生活者たる家四二家、監督局勤続十五年以上のもの十九名である

鶴嘴戦士を表彰

【九三】今日同勞務供給業者、作業諸負業者並に日備勞務者をつつて一決とする勞務報國會を設立するに決し三十日全國地方官宛厚生、内務兩次官連名の通牒を發した、勞務報國會の具體的目標とする所は、勤勞能の充實發揚及び勞務配置の適正化にあり、先づ道府縣勞務報國會を設け、主要府縣にその結成をみたし、中央組織たる大日本勞務報國會を結成する豫定である、而して道府縣勞務報國會には地方長官を、副會長は主管部長及び民間より一名を會長から委嘱する、道府縣勞務報國會は更に必要に應じ職業指導所の管轄區域により支部を設け得る事となつてゐる、なほ從來民間團體として全國二十三府縣に存在した勞務報國會及び勞務供給聯合はこの新組織の中

國史、算數、音樂の新教科書

【九二】國民學校初等科五、六年用教科書のうち初等國史下、初等算數五、六、七、八並に初等音樂三、四の各原案が二十六日文部省から發表された、これで國民學校五、六年用の教科書は全部揃ふわけである、三十冊の新教科書が來春の新學朝から一齊に使用される

國民學校體操科教授要項

【九二】國民學校制度實施後文部省では暫定的に使用してゐた從來の學校體操教授要目及び小學校武道指導要目を逸早く改正して、國家の要請する健兵健民育成に相應しい國民學

旨説明した

勞務報國會を設立

【九三】今日同勞務供給業者、作業諸負業者並に日備勞務者をつつて一決とする勞務報國會を設立するに決し三十日全國地方官宛厚生、内務兩次官連名の通牒を發した、勞務報國會の具體的目標とする所は、勤勞能の充實發揚及び勞務配置の適正化にあり、先づ道府縣勞務報國會を設け、主要府縣にその結成をみたし、中央組織たる大日本勞務報國會を結成する豫定である、而して道府縣勞務報國會には地方長官を、副會長は主管部長及び民間より一名を會長から委嘱する、道府縣勞務報國會は更に必要に應じ職業指導所の管轄區域により支部を設け得る事となつてゐる、なほ從來民間團體として全國二十三府縣に存在した勞務報國會及び勞務供給聯合はこの新組織の中

結核病床十萬床を三箇年に建設

【九三】日本醫療團は第一期五ヶ年事業として結核病床十萬床建設整備計畫を決定したが、今回戦時下結核撲滅の喫緊性に鑑み第一期五ヶ年計畫を三ヶ年計畫に改め、早急に建設を完遂することになり、二十七日の中央協力會議席上小泉厚相よりこの

と緊密なる聯絡を保ち提携以て産業報國會の實を擧げしむるものとす第一、勞務報國會の種類 勞務報國會は大日本勞務報國會、道府縣勞務報國會とする事第二、大日本勞務報國會 (一) 構成 道府縣勞務報國會 (二) 目的 本會は大日本産業報國會と緊密なる聯絡の下に業者(勞務供給業者並に日備勞務者)を使用する作業諸負業者を指稱す(以下同じ)並に其の所屬及使用勞務者の産業報國會を全國的に實施統轄し日備勞務者の適正なる配置を圖り勤勞動員の完遂を期するを以て目的とする事 (三) 事業 産業報國會精神の昂揚に關する事項 道府縣勞務報國會の指導統轄に關する事項 勞務報國會の教育訓練其の他他能率發揮に關する事項 福利厚生及生活指導に關する事項 其の他必要なる事項 (四) 道府縣勞務報國會支部 道府縣勞務報國會の下に必要に應じ支

一般會社

都下金融業者に組合制

【九三】警視廳では今回金融業取締規則の一部を改正する、この改正の要點は戦時下金融營業の合理化と統制を圖ることにある、都下一千餘名の金融業者に對し新たに組合を作り警視廳の指導監督の下に合理的な金融營業を行はせることとなつた

新祭神一萬五千廿一柱

【九三】大東亞戰爭下にひとしほ意義深く迎へる靖國神社秋の臨時大祭は來る十月十四日の招魂式に引續き同十五日から廿日迄の六日間、臨時大祭委員長山田乙三大將以下奉仕のものと、九段の神域で嚴かに執り行はれるが今回護國の神として新に合

祀される英靈についてはかねて陸海軍兩當局から上奏手續中のところこのほど御裁可あらせられたので廿二日當局からその氏名が發表された、新に祭神の列に加はる殉忠の英魂は滿洲事變および支那事變に戦死、ならびに戦病死を遂げた陸海軍軍人および軍屬で陸軍側一萬四千七百十九柱、海軍側三百二柱合計一萬五千廿一柱にのぼつてゐる

三國同盟記念大會

【九三】三國同盟條約締結二周年を記念する東京府市、大政翼賛會、日獨伊親善協會共催の三國同盟條約締結記念大會は、廿七日午後二時から日比谷公會堂で開催された

交換船龍田丸横濱着

【九三】日英交換船龍田丸は上村駐英代理大使、鈴木駐エジプト公使以下英本國をはじめエジプト、南阿、印度等の外交官並に一般引揚邦人三百二十七名を乗せて廿七日午前九時横濱岸壁に着いた

瀛、米、加の抑留邦人

【九三】在ジュネーブ國際赤十字委員會から瀛洲、米國、加奈陀の三國に於ける抑留邦人情況に關し左の如く入電があり、廿三日外務省から發表されたが、今回發表の分は瀛洲に於ける死亡者三名、米國に於ける抑留者追加七十一名同死亡者三名、加奈陀に於ける抑留者追加百八十二名である

死亡者氏名、抑留及び被釋放者追加氏名發表

【九三】瀛洲及び印度に於ける抑留邦人中不幸死亡せる者瀛洲一〇名印度一七名の氏名及び米國

に於ける抑留邦人(二八名)及び釋放された邦人(二七三名)の追加氏名が廿八日外務省から發表された

軍神加藤少將の陸軍葬

【九三】一億國民の捧げる盡きぬ感謝と哀悼の裡に不世出の神鷲と仰がれる「空の軍神」加藤建夫少將の英魂を送る陸軍葬は二十一日午後二時から築地本願寺で佛式により嚴肅莊重に執り行はれた、この日午後零時二十分中野區鷹ノ宮の自宅出棺午後一時半式場に到着、式場には軍神の遺族親族、東條首相以下各閣僚はじめ永野軍令部總長、連沼侍從武官長その他李滿洲國大使はじめ樞軸各國武官および荒鷲母の會、大日本婦人會、在郷軍人會などの各種團體代表者およそ五百名が着席二時十五分、一堂起立の裡に賀宮家御差遣の御代香あり續いて杉山參謀總長、山田教育總監、東條陸相、土肥原航空總監、士官學校同期生代表田中中佐の弔詞、儀仗兵の「吹きなす笛」の喇叭吹奏三發の弔銃齊射があり、續いて會葬者一同の焼香に移り三時十分導師以下退堂、こゝに式を終了し、一般市民の告別式に移り同四時三十分告別式を終り、神鷲の英魂を送る陸軍葬の盛儀はここに滞りなく終了した

訪日滿洲機立川着

【九三】訪日滿洲國軍飛行隊〇機は廿三日午後零時三十五分立川飛行場に到着した

洲國空軍代表ら東條首相を訪問

【九三】翼と使節として來朝中の郭若葉少將野口雄二郎少將以下滿洲國空軍の代表は二十五日午後二時半、

陸軍省に東條首相、杉山參謀總長、土肥原航空總監を訪れ、來朝の挨拶を述べた

陸軍省に東條首相、杉山參謀總長、土肥原航空總監を訪れ、來朝の挨拶を述べた

訪日滿洲國機歸途へ

【九三】滿洲國空軍飛行隊は昨廿五日滿洲の日程を無事終了、二班に別れ廿六日朝羽田飛行場發、名古屋及び大阪へそれぞれ機首を向け鷲翼をつらねて飛び立つた

少國民進軍歌人選作

【九三】軍事保護院と少國民文化協會が情報局、陸、海軍、文部各省を始め軍人援護會、翼賛會、放送協會等の後援で一般から募集中だつた「少國民進軍歌」は去る十五日締切つたが應募數一萬七千四百二十八の多數に上り、審査の結果次の通り入選者を決定、二十五日發表した

少國民進軍歌人選作

△入選者 東京府西多摩郡大久野國民學校訓導、長坂徳治

△少國民進軍歌

(一)とどろく とどろく 足音は 國のために傷ついた 勇士を護り 僕たちが 共榮團の友とゆく 揃ふ歩調だ 足音だ (以下略)

南方との郵便物取扱開始

【九三】大東亞戰勃發以來南方への郵便物は泰、佛印向を除き全面的に停止されてをり、ただ本年三月以來南方占領地に在留する邦人に對する郵便物のみ往復取扱つてゐたが、現地郵政機關の復興に伴ひ十月一日より在留邦人に限らず占領地と我國との郵便物取扱を開始することになつた、地域はさしあたり比島、マレー、スマトラ島、北部ボルネオ、ジ

ヤワ島及びビルマに限り、取扱ふ郵便物の種類は當分の間第一種の書状、第二種葉書及び第三種定期刊行物で料金完納の普通扱ひのものに限られ料金は内國郵便と同額である

中であつたが廿日午後個別的に左の如く判決言渡しがあつた、右事件は昭和十二年暮に一齊檢舉され治安維持法違反で起訴、爾來六年越し審理續行中のものである

海洋筏の曳航に凱歌

【九三】陸軍省經理局が創案した「海洋筏」は前三回の試験に成功、今回行つた最後の第四回試験曳航にも好成績を収めて廿八日夕刻北海道から木材六千石を曳いて東京港外に無事到着したので廿九日午後からこの筏を迎へて芝浦岸壁に盛大な歡迎會が催された

配給ルート攪亂に嚴罰

【九三】最近隣組員や主婦達が野菜不足から緣故をたどつて直接近縣へ出かけ農家から野菜物の買漁りやつたり或は八百屋が市場からの配給の外に農家と直接取引したりして配給ルートを亂してゐる實情が眼にあまる程露骨となつて來たので東京検事局では市内各警察署を管轄摘發につとめ廿八日西田經濟檢事は先づ農五名を國家總動員法違反で起訴略式で罰金を求刑した

人民戦線事件第一審判決

【九三】前代議士加藤勤十、黒田壽男氏等十七名にかかると人民戦線事件はさきき判決言渡しを受けた休職東大教授大内兵衛氏等の教授グループ山川均氏等の勞農グループと分離し、東京刑事地方裁判所中島裁判長、玉澤檢事係りで傍聽禁止の上、審理

一齊取締網に不良二萬五千餘名

【九三】八月廿一日から行はれた帝都の不良少年一齊取締はその後も續行されてゐるが九月十五日までの約半ヶ月間に警視廳の手によつて説諭、檢束、拘留及び検事局又は少年審判所に送致された者は總數約二萬五千

中であつたが廿日午後個別的に左の如く判決言渡しがあつた、右事件は昭和十二年暮に一齊檢舉され治安維持法違反で起訴、爾來六年越し審理續行中のものである

【九三】八月廿一日から行はれた帝都の不良少年一齊取締はその後も續行されてゐるが九月十五日までの約半ヶ月間に警視廳の手によつて説諭、檢束、拘留及び検事局又は少年審判所に送致された者は總數約二萬五千

餘名の多數に達し、これを職業別にみるとまづ工場勞務者が一番多く全體の四割三分(九千八百名)これについて學生々徒は四千三百名(約二割)その他店員、事務員となつてをり、年齢別にみると廿歳が四千五百名で一番多く十九歳三千九百名、十八歳三千二百名、廿一歳二千八百名、十七歳二千二百名となり十七歳から廿一歳までの合計数は全體の七割四分弱に當つてゐる、この中兇器所持者約二千名未成年者の飲酒喫煙する者六千三百名、有職者で仕事をさぼつて遊興する者一千三百名、窃盜一千二百名、喧嘩口論八百名、泥酔暴行六百名、猥褻三百名、恐喝二百名、その他で不良仲間投ずる動機としては懶惰によるもの七千名、誘惑によるもの五千六百名、好奇心によるもの二千二百名、出來心によるもの一千三百名、性癖、虛榮心、遊蕩等によるもの各九百名、家庭不良によるもの七百名となつてゐる

災 害

愛媛縣下の被害
【九三】今次暴風雨による愛媛縣下被害状況につき廿二日前縣警防課調査によれば船舶遭難漁船六十隻、帆船沈没一隻、家屋全潰八半潰九〇、浸水床上四四八同床下三、三八一、浸水水田四四七町歩、畑一八一町歩、塊防決潰一二、橋梁流失一三、道路損傷二二、死者一九、負傷者五、なほ八幡濱方面では漁業者三十九名行方不明となつた

九龍號確認さる
【九二】廿四日静岡縣周智郡水窪町

水無山中に旅客機の殘骸と覺しきものが望見されたが、右は三月廿四日伊勢灣上空で消息を絶つた中華航空機九龍號らしく搜索に向つた關係者は廿七日午後一時頃現地に到着、森本少將(當時大佐)以下印度志士、泰國人等十一名搭乗の九龍號と確認した旨廿八日午前一時静岡縣警防課に報告があつた

訃

体 育

東京大學野球前哨戦
▲東大對中大【九三】神宮球場 東大5—4中大
▲早大對日大【九二】早大球場 早大2A—1日大
▲立大對中大【九二】神宮球場 立大6—0中大
▲慶應對中大【九三】神宮球場 慶大3A—0中大
▲早大對中大【九二】戸塚球場 早大2A—0中大

明大藤本投手巨人軍入社
【九三】明大野球部の藤本英雄投手は今秋卒業と共に日本野球巨人軍に入社と決定した

明大對法大ラグビー

【九三】關東大學ラグビー明大對法政戦は廿七日八幡山明大競技場で舉行、明大が大勝した
明大 100 (42) 0 法政
58 0

ハツグ五千に世界記録

ストックホルム【九三】スエーデン中距離界の至寶グンダー・ハツグは去る二十日當地で行はれた陸上競技會の五千米で13分58秒2の大記録を樹立しマキ(フィンランド)の保持する14分8秒8の世界記録を10秒6短縮した

慶應水球に優勝

【九三】關東學生水球戦最終日は二十八日午後二時から神宮水泳場で舉行、慶應は前年の覇者日大に雪辱して優勝した
慶應 4 (2) 2 1 3 日大
△三位決定戦
早大 8 (6) 2 0 1 1 東大

立大豫龍球に六連覇

【九三】東京大學豫龍球リーグ決勝戦立大豫龍對早高戦は廿一日午後三時から國民體育館で舉行立大豫は六連覇の偉業を達成した
立大豫 34 (17) 17 32 早高
17 15

全國青年校相撲

【九三】第五回全日本青年學校相撲大會第一日は二三四兩日神宮相撲場で舉行、團體では熊本、個人では池上(大阪)が制覇した、成績左の如し
熊本 2 1 1 福岡
愛知 3 0 北海道
△三等決勝
北海道 2 1 1 福岡
△決勝戦
熊本 2 1 1 愛知
△松本(寄倒し)高敏
○森(吊出)入江
山本(寄切り)前田
△個人戦準決勝
神田(静岡)掬投齋藤(岸手)
池上(大阪)とつたり中尾(北海道)
△三等決勝
齋藤(岸手)寄倒し中尾(北海道)
△決勝戦
池上(大阪)寄切り神田(静岡)

日大拳闘勝つ

【九三】日大對法政對抗拳闘戦は二十六日午後六時から青山會館で舉行5對2で日大快勝した

堀口弟勝つ

【九三】堀口兄弟西下拳闘試合は二十四日午後一時から西宮球場特設リングで舉行、主なる成績左の通り
堀口弟(堀口)技倒 山崎(協和)
(五回終了)

ゴステロ判定に敗る

【九三】金剛勇對ベビー・ゴステロ十回戦を主試合とする拳闘戦は廿六日午後六時から日比谷公會堂で舉行成績左の通り
「十回戦」

イラン博士抱負を語る

マニラ【九三】比島に戦火治つてから既に五ヶ月餘、比島體育界も我が軍政部指導の下に從來のキャンキスポーツから脱して新しい東洋的な自覺の下に再建比島スポーツの逞ましい發足がなされてゐる、比島體協主事イラン博士は再建比島スポーツへの抱負を語る
日本軍の好意でこの程リサール競技場も開放されました、何分未だ大學中等學校全部の再開も見ず、今少し時期を待つよりほかありませんが、追々この競技場を使用して軍政監督の指導の下に活潑な活動に入る日も近いと思はれます、幸ひかつての選手は殆んど皆健在であり、今後は戦前と異り壓迫を考慮することなく先進國日本の指導の下に激烈として東洋的自覺をもつた健全スポーツの嚴守に努力したい考へで、貴國各方面から激勵の書翰に接して感激してゐるところです、日本の方々に馴染みのある水泳、平泳のイルデフフォンゾ陸上短距離のグズマン、拳闘のカストロの三君が共にバタン戦線で戦死したといはれてはありますが、陸上のトリビオ君をはじめ水泳のジキラム君、庭球のアンボン、サンチニス、カルモナ君、ソリサ嬢など健在で再建比島スポーツに盡力してくれまうので心強い次第です、將來への抱負としては健全な比島人育成のため一般大衆の鍛錬への強化を計りたいといふことで更に女子體育にも力を入れたと思ひます

東 亞

日華國交史を飾る我が答訪使節平沼、有田、永井三特派大使の國書捧呈、謁見式は、二十三日菊花黨の國民政府大禮堂において嚴肅に舉行された。平沼大使は國書捧呈の口上書に、東亞の安全確保と世界平和に寄與すべき帝國不易の國是を説き、更に國民政府の大東亞戰爭に對する協力を滿腔の謝意を表すれば、これに對し汪主席は日華兩國が數千年來道義を貴び、これを以つて國是とする崇高なる精神をたたへ、現下の世界難局に處して日華兩國が安危存亡を共にすべきであると烈々の誠意を披瀝したかくて三日間の儀禮的行事を終へた三特派は翌二十五日、汪主席の公式來訪をうけ、重光大使を交へて約一時間に亘る懇談を遂げた。この會談により日本の對支援助方針不變の再確認を基礎として大東亞戰爭完遂のため日華兩國は劃期的な段階に入つたものと觀測されこの政治的意義は極めて大なるものがある。

滿洲國は政府建國十週年を機とし第二次建設體制を確立するため國務院各部大臣を全面的に更迭することに決し、二十八日當局から政府首腦異動が發表された。この異動からは、張國務總理を除く各部大臣の全面的更迭の事實によつて察せられる如く、この重大時期に際し適材を適所に人材を簡拔して官心の振作と庶政の更新を期し、聖戰目的を完遂せんとする政府當局の不退轉の決意が窺はれた。

重慶側の情報としては、米特使ウィルキの重慶到着が傳はり、また西北地區工作の進捗が報せられてゐる。

一方南方の建設譜からニュースを拾へば、佛印から最近の經濟事情が入りビルマからは煙毒對策、マレー共產黨員嚴刑、マレー、スマトラ間通貨新交換制の實施、日英交換第二船鎌倉丸の昭南入港等があり、さらに比島及び東印度からは、比島財政の根本的改革、男女共學制の禁止、ジャワにおける中央行政機構の強化等が報せられた。(山)

國民政府

特派使

南京到着 南京【九三】九月十七日帝都を出發、廿日空路上海に到着同地に滞留の二夜を明かした平沼三特派大使及び吉澤以下隨員その他一行廿五名は上海まで出迎へた國民政府外交部長樞民誼氏、大使館日高公使並に東京より同行した駐日大使徐良氏等の案内にて午前八時廿分上海驛發、午後二時廿分南京驛に到着した

國書を捧呈

南京【九三】日華國交史上に不滅の頁を飾る我が答訪使節の汪主席謁見式は廿三日午前九時菊花黨の國民政府大禮堂に於て曠古の盛儀に相違なく嚴肅莊重に舉行された。この日午前八時四十五分、平沼、有田、永井三特派大使及び隨員十八名は打揃つて國民政府差し廻しの自動車にて迎賓館を出發、同五十五分晴れの式場たる大禮堂に到着、式場に參入、午前九時重光大使は先づ平沼、有田、永井三特派大使を順次汪主席に紹介した後、平沼特派大使は答訪使節として使せる口上書を朗讀、次いで吉澤首席隨員の捧持せる國書を捧呈すき嚴かに汪主席の前面數歩の位置に進み都重に三鞠の禮を行つた後、恭々しく國書を汪主席に捧呈、汪主席は恐懼これを受納した、次いで汪主席は國書を格外外交部長に手渡すや、平沼特派大使の口上書に答へる頌詞

を朗讀、周外交部次長これを日本語に通譯、終つて汪主席は順次三大使と固き握手を交し次で平沼特派大使は隨員十八名を順次紹介後、わが使節團一同汪主席に敬禮、こゝに意義深き謁見の盛儀を滞りなく終了した

▲平沼特使口上書並に汪主席の頌詞全文 南京【九三】謁見式上平沼特派大使の朗讀せる口上書並びにこれに對する汪主席の頌詞左の如し

閣下 帝國政府曩に國民政府を承認し日華兩國の國交修復せらるるや閣下親しく帝國を來訪せられ帝國政府の支援に對し謝意を表せらるると共に兩國の間に於て協力すべき問題に就き帝國政府と隔意なき協議を遂げらるる所あり、更に先般國民政府委員外交部長樞民誼閣下を專使とする特派使節を帝國に派遣せられ、大東亞戰爭開始以來の皇軍戰捷に對し慶祝の意を表せらるるとともに、國民政府が帝國と同甘共苦大東亞共榮國確立の大業を協成せんとするの決意と熱誠を披瀝せられ兩國友好親睦の關係増進に寄與せられたり本使等が今回天皇陛下の命により中華民國政府の厚意に應へ併せて兩國の提携を一層緊密ならしめんがため特派大使として貴國に差遣せられたる本日に閣下より謁を賜り謹てみ

天皇陛下より中華民國國民政府主席閣下におくらせ給ふ國書を捧呈するは本使等の最も光榮とするところなり、抑も東亞の安定を確保し、世界の平和と繁榮とに寄與するは帝國不易の國是にして、列國と交誼を厚くし、萬邦をして所を得せしむるは帝國が常に國交の要義となすところ

茲に於て帝國は貴國政府の伸展を支援し、貴國又よく帝國の眞意を諒解し、特に客年十二月八日帝國が其の存自衛と東亞永遠の平和確立の爲め米英に對し東亞を宜するや貴國政府は直ちに同甘共苦、確乎不拔の精神を以て難局に處せんとするの決意を表明せられ現に物心兩面に亘り協力の實を示されつつあるは帝國朝野の深く感銘する所なり、帝國政府はその使命の重大なるに顧み、天皇陛下の大御心を體し奉り内益々上下の結束を固くし外愈々信義を盟邦に厚くし以て征戰の完遂を期す、本使等は今や日華兩國の提携愈々固きを加へ兩國國民相携へて大東亞共榮の確立に邁進しつつあるを衷心慶賀すると共に敦厚なる兩國の友誼の永久に搖ぎなきことを確信する者なり

茲に畏みて閣下の御健康を祝し併せて貴國國運の隆昌ならんことを祈る

汪主席頌詞

特使閣下、中日基本條約の後兩國國交は正規に復し且益々親密を加へ昨年本主席は貴國を訪問し貴國の與援助に對し感謝の意を表示せるものなり、且各般の實行すべき協力問題に關し誠意を披瀝して協議せり、本年また國民政府委員外交部長樞民誼を特派使節として貴國を訪問せしめ大東亞戰爭發生後本國政府が貴國と同甘共苦東亞解放の完成を期すべき強固なる決意を傳達せしめたる所、貴國皇室の厚き禮遇を賜り且朝野の歡迎を受けたるは衷心より感激措く能はざる所なり、今回の特派の來華は兩國盟約をして益々鞏固ならしめ我國交を更に緊密ならしめるもの

にして、本主席の深く欣快とする所なり、貴我兩國は數千年來共に道義を貴び一昨年締結せる條約もその根本精神は即ちここに存す、今後は益々道義に基き互助互愛以て東亞共榮の實現を計るべし、貴國は今まさに力を英米侵略勢力の驅除に致し、其の任や重く其の責や大なり、本國政府は貴國と此の艱難を共にし全力を挙げ誠意を以て協力せんとする決意を、蓋し本國政府が貴我兩國が安危を共にし存亡を同じうするものにして深厚なる國交は必ず永久たるべきものなることを深く信ずればなり

茲に貴國 天皇陛下の御政躬の安泰と貴國國運の隆昌を祝し併せて貴特使の平安を祈る

聲明・歡迎

▲歡迎午餐會 南京【九・三】謁見式を終り一旦迎賓室に歸還した平沼、有田、永井三特派大使以下隨員は廿三日午前十時三十分汪主席代理唐參軍長の答訪を受けた後十一時五十分打揃つて大禮堂に於ける汪主席主催の歡迎午餐會に臨んだ

▲三特派大使聲明發表 南京【九・三】平沼、有田、永井三特派使は廿三日午後三時迎賓館に於て日華外新聞記者團と會見來華後はじめの聲明を發表した、要旨左の通り

中華民國國民政府よりは曩に主席兼行政院長汪精衛閣下の來訪あり、先般また外交部長褚民誼閣下を帝國に派遣せられたが、今回本使等は右國民政府の厚情に答ふると共に、日華兩國の提携を一層強化する目的をもつて、本日國民政府大禮堂において汪主席閣下に謁見、國書を捧呈する

を得たることは本使等のもつとも光榮とし、且つ感激に堪えないところである

大東亞の安定を確立し世界の平和に貢獻せんとするは我が華國の理想にしてまさに帝國不動の國是であり、これがために地理的にも歴史的にも接する關係にある、日華兩國の密接なる關係に於て、日華兩國の相協力して共存共榮の實を擧げることが先決要件である、最近に於ける世界の情勢を見るに歐洲に於ても獨伊また同様の精神を以て歐洲共榮國建設に懸命の努力をなしておるのである、かかる共榮國を緊密なる關係の下に集めてはじめて世界全般の平和を建設し得るものと考へるの

は直ちに兩國交調整のため條約締結の交渉を開始し同年十一月三十日、日華基本條約の締結を見るも同時に日滿華三國共同宣言が發せられた帝國政府は日華基本條約の規定に従ひ國民政府との提携を一層強化せんとするの固き決意を有するものであつて、國民政府が帝國と共に東亞新秩序建設の責任を分擔せんがため充分の権限を發揮するに至らんことは帝國の衷心より希望するところである、客年十二月八日帝國が自存自衛と東亞永遠の平和確立のため米英に對し宣戰を布告するや、國民政府は直ちに帝國と同甘共苦確乎不拔の精神を以て難局に當る旨を聲明、生産擴充思想及び民衆運動指導、國軍の増強に協力せしめ居ることは帝國政府の感激に堪えざるところであつて、本使ら茲に深甚なる謝意を表するも、

西太平洋、印度洋より完全に敵勢力を驅逐し、今や東太平洋、濠洲北岸南阿沿岸に迄攻撃作戦を展開し、大陸においては北方の守りいよいよ固く、また浙江、江西敵攻撃據點を完滅する等、大東亞圏の全軍事據點を確保し不敗の態勢を完成した、一方南方占領地の建設も地方住民の協力を得て着々進行中であり、洵に意を強くするものがある、帝國はいよいよ必勝の信念を固くし如何なる困難にも堪へ忍び、以て帝國の光榮を全うし大東亞共榮國を完成せんことを固く期してゐる次第である、重慶政權が今なほ無益な抗戦を續け、敢て東亞の大勢に逆行してゐることは中國四億の民衆のため眞に痛恨に堪へぬところであつて、かくの如き東亞解放戦の反抗者に對しては帝國は飽くまでこれを潰滅せざるは已まぬ鐵石の決意を有するものである

中山陵參拜並に視察

南京【九・三】特派使節一行は入京三日の廿四日から視察懇談の日程に入り、まづ早朝中山陵の參拜を行つた、次いで中央軍官學校に到着、午後三時國民政府文物管理委員會の管理下にある博物館に赴き、同四時四十分平沼特派使のみは隨員數名と共に孔子廟に詣つた、ついで一行は北極閣で開催された汪行政院長主催の茶會に臨んだ、午後七時三十分大禮堂で開かれた褚民誼外交部長の招宴に出席、同九時宿舎に歸還した

現地陸海軍共同主催晚餐會

南京【九・三】三特派大使以下使節團一行は廿五日午後七時半より國際クラブに開かれた現地陸海軍共同主催の歡迎晚餐會に出席した、尙同日前八時半平沼、有田、兩特派使は褚民誼外交部長を公館に訪問、朝餐を共にしながら歡談を重ねた、又古賀支那方面艦隊司令長官は午後三時迎賓館に平沼、有田、永井三特派使を訪問、歡迎の挨拶をなし歡談、同三十分辭去した、よつて平沼、有田兩特派使は答禮のため同四時五十分支那方面艦隊旗艦出雲に古賀司令長官を訪問して歸館した、又永井特派使は午後五時半國民大會堂で開かれた首都民衆歡迎大會に出席、約一時間半に亘り得意の熱辯をふるひ、中國民衆に多大の感銘を與へた

孔子廟參詣の感想談

南京【九・三】孔子廟參詣の感想談、孔子廟に參詣した平沼特派使は終つて廟内隨行の記者團に對し「中日提携の基調と儒教の復興」と題する感想を發表し「日滿華三國を聯繫するものに最適切なものは三國共通の儒教である、余は中國朝野の識者が協力一致、一大英斷を以て儒教を復興し、その中より中國復興の新生命を汲み、その靈能活力に依つて新秩序の確立に邁進せられんことを切望して止まぬ」と述べた

汪主席三特派使と公式懇談

南京【九・三】汪主席は廿五日午前十時行政院長の資格を以て迎賓館に平沼、有田、永井三特派使を訪問公式懇談を行つた、右會談には汪主席はじめ三特派使のほか重光大使、褚外交部長も列席時餘に亘つて隔意なき意見の交換をなした、會談終了後大使館情報部及び國民政府宣傳部は次の如き共同發表を行つた

道義を基底に新秩序を築け

南京【九・三】答訪の使命を果した平沼特派大使は離京に先立ち、廿六日午後十時十分より約三十分間「中華民國國民衆に告ぐ」と題し左の發送を行つた、(前略)顧みれば汪精衛閣下が抗戰

建國は中國を救ふ道に非ざとせられ日本と提携してアジアの復興を圖るのほかその道なしといふ信念に基き決然重慶を脱出せられ、日華國交調整に關する日本政府の根本方針に呼應して、和平建國の歴史的招電を發

大使館情報部、國民政府宣傳部共同發表を行つた

せられてより早くも四年に垂んとするるのである、爾來汪閣下並に同志諸君は凡ゆる身邊の危険を冒し、同志の壯烈なる殉節に遭遇しては一層その決意を鞏固にせられ中華民國再建のために更に大東亞共榮圈確立のために、その身命を捧げてこられた、私は昭和十四年(中華民國二十八年)六月東京において始めて汪閣下並に同志一行と會見したが、その烈々たる憂國愛民の氣魄にうたれ、いまこそ中華民國に更生躍進の日が来たことを喜んだのである、當時内閣總理大臣の職を奉じてゐた私は政府としての責任においても汪閣下の御企圖に對して滿腔の賛意を表し、その御活動に能ふ限りの協力を惜しまぬことを決したのであるが、汪閣下が御歸國後殆んど寧日なき御奔走の有様と事に當つて勇往邁進せらるる御姿とを望見し中華民國のために、大東亞新秩序のために、心からその御成功を祈つたのである、惟ふに國民政府が南京に遷都しその歴史的使命達成に第一歩を進めた中華民國二十九年は日本の昭和十五年で紀元二千六百年といふ極めて意義深い歳であつた、即ち神武天皇が都を葦原に奠めて宮殿を経營し、八紘爲宇の詔勅を發せられ、三種の神器を奉じて登極の禮を行はせられてより實に二千六百年に當る最も慶祝すべき歳であつたがこの八紘爲宇の大理想はあらためて申すまでもなく日本帝國の根本精神より出づるものである、八紘爲宇の大理想を要約すれば、昭和十五年九月二十七日、日獨伊三國條約の成立の際に拜した詔書に昭示せられた如く萬邦をして各々そのところを得しめ、兆民をして悉くその所に安

んぜしめんとする叡慮の具現に存するのである、東亞の新秩序が道義の精神を根本基調とせねばならぬといふことは、日華國交調整基本條約及び日滿華三國共同宣言にも極めて明白に表明せられてゐる、即ち互にその本然の特質を尊重し、東亞において道義に基き新秩序を建設するの共同理念の下に善隣として緊密に相提携し、もつて東亞における恒久的の平和を確立し、これを核心として世界全般の平和に貢獻せんことを希望する旨を昭示してゐるのである、當面實際問題としては政治、經濟、軍事、文化等の各部において緊密なる協調を採る、相寄り相扶けて共同目的に邁進すべきであるが、その基本基調をなすものは必ずや東洋道徳の眞髓たる道義の精神であつて、日華滿三國の結合を遂げ東亞全體の新秩序を確立する最大要件は徹頭徹尾この精神の發揮にあると確信する

今や東亞において多年に亘り獨り自ら不當の榮華に陶酔してゐた英米二國も、昨年の十二月八日を一轉期として徹底的に覺醒せねばならぬこととなつたのであるが、しかもなほその殘夢をむさばらんとして日華兩國の離間に全力を傾け、我が國が天地の大道に則り率先提唱せる東亞共榮圈の確立にあらゆる妨害を加へんとして必死の抵抗をつづけてゐる、しかしながら、對米英宣戰の布告以來未だ十ヶ月に滿たずして、大東亞の地より米英などの勢力は清掃せられたのである、即ち英國の東亞における二大據點香港及びシンガポールは既に覆滅し比島、蘭印また一瞬に我が手に歸し、ビルマまた我が軍の協力によつて更生し、大東亞は

各地舉つて新生に躍動してゐるのである、日本帝國はいま米英の東亞における地盤を覆滅し、軍事的にも政治的にもまた經濟的にも磐石の地位を確保するに至つたのである、東亞人の大東亞はいま動すべからざる事實となつたのである

大東亞戰爭は東洋道徳を基調として國際正義の確立を理想とする日華滿三國の協同進軍である、而して中華民國政府を承認した友邦は日、滿、獨、伊、泰の諸國をはじめ既に十二ヶ國を算するに至つてをり何れも國際正義に立脚して世界新秩序建設の理想を一にする國家であり、これら樞軸諸國が歩武堂々一大進軍を開始してゐることは世界中未だ嘗つて見たる一大壯觀である、私は最後の勝利は必ず我々正義の陣營にあることを確信して疑はない、しかしながら中國の諺に「百里をゆくものは九十里を以て半とする」とあり我が日本の諺に「勝つて兎の緒を締めよ」とあるが如く、戰爭は寧ろ今後にあることを覺悟してゐなければならぬ、特に今の大東亞戰爭即ち建設であるが、しかも侵略國が久しきに亘る侵略によつて獲得せる豊富なる資源を擁し類勢挽回に躍起となり武力の建設に死力を盡してゐるのであるから我々においては戰爭も建設も長期に亘ることを豫期しなければならぬ、大東亞諸民族、諸地域の興亡は正にこれにかかつてゐる、しからば則ち大東亞全民族がここににおいて一丸となし、この共同の大事業完成のために一切の苦難を克服して邁進直往するにや

南京【九六】平沼、有田、永井三特派大使は廿六日午後零時半主席公館に行政院長資格たる汪精衛氏を訪問、楮外交部長、重光大使の外日高公使も特に列席して午餐を共にしつつ前日に引續き重要意見の交換を行つた、今回の會談に於ては、日華兩國の協力態勢確立の諸方策を中心として、大東亞戰爭完遂のため國民政府側が分擔すべき責務、及びこれが具體的措置、重慶政權壓殺の方途等に関し胸襟を開いて懇談したものの如く、この非公式會談に依つて日華兩國の確固たる協力態勢が更に促進されるものとしてその内容は頗る重視せられてゐる

南京【九六】三特派大使は一週間、互る歴史の盛儀を完了し、來華の重大使命を善く果したので二十七日午前八時隨員一行を從へ、空路南京を出發した

南京【九六】第二次會談を終つた答訪使節一行は打寛いだ午後を送つた午後二時四十分には有田、永井兩特派使は中日文化協會を視察、午後五時から平沼、永井兩特派使は玄武湖で催された周南京特別市長主催の舟遊に臨んだ、かくて南京に於ける行事を大體終了した特派使節は午後七時半から汪主席を主賓に國府首腦部關係者約百七十名を招待して國際クラブに盛大な晩餐會を催し來華以來各方面の歡待に謝意を表し歡談した

南京【九六】國民政府が中國青少年の組織訓練を第一目的として着手した新國民運動は新國民運動促進委員會を中心として準備が進められ、過般全國優秀大學生の夏期訓練を始めわが大日本青少年團副團長朝日奈策太郎氏の招聘指導等によつて着々具體化されて來たが最近漸くその第一期青年組織訓練計畫の大綱が決定、同委員會秘書長林柏生氏の日本訪問を期として全國的に實施の運びとなつた、右計畫の大綱は汪主席が本年初頭公布した新國民運動綱要に基き新中國の建設と東亞聯盟の實現を主要目的として青少年を全國的に組織し再訓練するを方針としこれが實施に當つては幹部及び普通兩種に分ち、前者には中國青年模範團を、後者には中國童子團及び中國青年團を夫々設立して組織訓練に當り、また短期的教育訓練をも實施することとなつてゐる

第二次會談で意見交換

青年組織訓練計畫大綱決る

南京【九六】第二次會談を終つた答訪使節一行は打寛いだ午後を送つた午後二時四十分には有田、永井兩特派使は中日文化協會を視察、午後五時から平沼、永井兩特派使は玄武湖で

南京【九六】第二次會談を終つた答訪使節一行は打寛いだ午後を送つた午後二時四十分には有田、永井兩特派使は中日文化協會を視察、午後五時から平沼、永井兩特派使は玄武湖で

南京【九六】第二次會談を終つた答訪使節一行は打寛いだ午後を送つた午後二時四十分には有田、永井兩特派使は中日文化協會を視察、午後五時から平沼、永井兩特派使は玄武湖で

南京【九六】第二次會談を終つた答訪使節一行は打寛いだ午後を送つた午後二時四十分には有田、永井兩特派使は中日文化協會を視察、午後五時から平沼、永井兩特派使は玄武湖で

南京【九六】第二次會談を終つた答訪使節一行は打寛いだ午後を送つた午後二時四十分には有田、永井兩特派使は中日文化協會を視察、午後五時から平沼、永井兩特派使は玄武湖で

南京【九六】第二次會談を終つた答訪使節一行は打寛いだ午後を送つた午後二時四十分には有田、永井兩特派使は中日文化協會を視察、午後五時から平沼、永井兩特派使は玄武湖で

南京【九六】第二次會談を終つた答訪使節一行は打寛いだ午後を送つた午後二時四十分には有田、永井兩特派使は中日文化協會を視察、午後五時から平沼、永井兩特派使は玄武湖で

南京【九六】第二次會談を終つた答訪使節一行は打寛いだ午後を送つた午後二時四十分には有田、永井兩特派使は中日文化協會を視察、午後五時から平沼、永井兩特派使は玄武湖で

南京【九六】第二次會談を終つた答訪使節一行は打寛いだ午後を送つた午後二時四十分には有田、永井兩特派使は中日文化協會を視察、午後五時から平沼、永井兩特派使は玄武湖で

南京【九六】第二次會談を終つた答訪使節一行は打寛いだ午後を送つた午後二時四十分には有田、永井兩特派使は中日文化協會を視察、午後五時から平沼、永井兩特派使は玄武湖で

行事終る

孔子祭執行

南京【九二六】至聖孔子之生誕二千四百九十三年紀念日に當る廿八日國民政府は午前九時から朝天宮、孔子廟に於て祭典を執行汪主席臨席の下に各院部長、民間代表、我が方よりは松井最高顧問、日高公使、盟邦獨伊羅公使館員等が參列聖賢孔子の傳徳を偲び正午終了した

林宣傳部長渡日

南京【九二五】國民政府宣傳部長林柏生氏は日本青少年運動の視察、興亞大會參列等の諸要務を兼ねて日本朝野と交驛のため隨員五名を帶同、廿日午前八時七分南京飛行場發上海經由空路訪日の途についた

戰爭の歸趨は明白

緒外交部長談話 上海【九二五】日獨伊同盟締結二周年記念日を迎へて國府外交部長格氏氏は大要左の如き談話を發表した あらゆる事柄は因果關係によつて循環するものであり、この法則に反することは天理に背くことであつて今日の米英はあたかも斯くの如きものである

中日兩國をして五年の長きに亘り兄弟艦に圍めがしめたのは英米であり今日の東亞戰爭を激發せしめたのも亦英米である、獨伊が聯合して戰端を開き、また日本が樞軸に參加して英米に宣戰し、更に中國が日本と同甘共苦、大東亞戰爭に協力してゐるもの結局英米が誘發した結果に他ならない、英米は巧妙なる策略をもつて獨伊を屈し、中日兩國を屈せしめんとしたが却つてその結盟を確固たらしめた

國際情勢は約二年前から歴然とし、一は日獨伊の正義の樞軸、一は英米の偽購と罪惡の結合であつて、しかも戰爭の歸趨は餘りにも明白となつたのである

國府、讓渡武器引渡式

南京【九二五】日華三億圓借款に基く武器讓渡は中國側軍隊の編成整備に伴ふ要請に應じて逐次わが方より交付されてゐるが、廿八日には午前九時半から南京において日本側國府軍事顧問岡本中佐、中國側吳陸軍部軍務局長立合の下に小銃、曲射砲、輕機、重機、銃劍及び附屬品の引渡式が行はれた

人事消息

▲海軍部長等決定 南京【九二五】國府海軍部長は今日まで任接道氏が代理してゐるが、廿四日の中政會議において正式海軍部長に、決定發令されたまた同會議において新設の陸軍部次長には軍政部常務次長鄭大章氏、海軍部次長には招桂章氏がそれぞれ決定、海軍部政務次長兼中央海軍學校校長姜西園氏は中央海軍學校長專任となつた

▲重光大使汪主席と要談

南京【九二五】重光駐華大使は二十九日午後五時清水書記官を帶同、公館に汪主席を訪問、過般來華せる我が答訪使節團に對し國民政府側より受けた熱誠なる歡迎に政府を代表して謝意を述べた後、當面の諸問題に關し約一時間に亘つて要談を遂げ六時すぎ辭去した

北支情勢

曲阜の孔子生誕祭

曲阜【九二六】大東亞戰爭下の孔子生誕二四九三年祭典は廿八日生地曲阜至聖廟において午前零時より嚴肅壯嚴に舉行した、孔家七十三代孔令燧氏が祭主となつて執行、次いで國民政府による國祭は午前十時より國民政府李聖五教育部長主宰官となり、大成殿前の式場で滿洲國代表若松駐在滿洲國副領事、軍國代表若松、大橋特務機關長その他一萬餘參列の下に執行され古式に則り設けられたる式場は悠久二千年の昔をその儘に一幅の繪巻物を繰り展げ最後に祝盤一盤、絹一反を庭燎に焚いて約一時間に亘る儀式を終了した

華北産研の活動狀況

北京【九二五】華北經濟建設の前提條件たる食糧増産問題並に棉花對策部面における農政の技術的指導を擔する華北産業科學研究所は進し躍進を續けてゐるが、一昨年北京の西直門外に三百萬圓の巨費を投じて建坪本館のみにて二千三百七十八坪の新廳舎の築造に着手し、その完成も近きにあり科學的設備、所員收容力は名實共に世界一を誇るに足り、増産華北の核心としての活動は注目される、また同研究所内には耕種科、農林化學科、農業水利科、林業科、畜産科、華中貿易科、農業技術訓練部が設けられてをり、農林、畜産に關する試験、研究を行ふと共に優良品種の増産を圖るため原種圃を北京本所、石門、濟南、青島各支所の四ヶ所に、原種圃を南苑、保定、石門邯鄲、彰德、辛集、德郡、泰安、張家口、臨清、城陽、臨汾、濟寧、新鄉などに置き、これを一元的統制下に運営し重點主義に基いて研究指導に當つてゐる、なほ同研究所の職員は日系四百人、華系三百五十人を擁するに至り委産技術の推進母體として逐次規模を擴大しつつあり、その經營面積は合計一十萬町歩にして昭和十三年より同十六年までに投じた資金は二千萬圓の多きに達し、本年度はさらに一千萬圓を計上事業の飛躍的發展を圖りつつある

華北編譯館で日本著書翻譯

北京【九二五】日華兩國文化の交流を期して華北政務委員會では一昨年四月教育總署内に華北編譯館を設置、瞿益錯氏が館長に就任し、日本代表學者の著書翻譯に着手、小島精一氏の「世界經濟常識」大川周明氏の「日本二千六百年史」等は最近殆ど翻譯を完成、目下印刷中であるが、特に昨年から國立北京大學文學院の日本文學教授張我軍氏によつて完譯が進められてゐる島崎藤村の「夜明け前」一巻のほだ上巻を殆ど譯した十月から翻譯館で發行する機關雜誌に漢譯「黎明之前」として連載する一方近く單行本として同館から出版される豫定である

山西和平地區の人口増加

太原【九二五】他省に避難してゐる山西住民の復歸數も最近激増の一途を辿り又抗戰の迷夢より覺めて綏晉軍や中國共產黨軍より逸脱し和平地區に逃げ歸る者も日と共にいよいよ増加してゐる、昭和十七年八月末現在調査による省内和平地區人口の戰前人口の八〇%に及び目覺しい回復ぶりでも榆次、清源、晉泉、壽陽文水、方山の六縣は戰前人口より何れも増加を示し治安山西の面目を誇つてゐる、即ち左の如し

華北中央物價協力會議創立

▲發起人會 北京【九二五】華北物價政策に對する民間側の強力な推進體となる華北中央物價協力會議は廿五日後三時より興亞會館に發起人會を開催した

▲創立總會

北京【九二五】華北中央物價協力會議は廿六日午後三時北京興亞會館に於て創立總會を開催、北京、興亞院、大使館代表並に津島阪谷聯銀顧問以下發起人參集、經過報告、規約案審議ののち會議長津島開發總裁副會議長中野商會議頭以下役員を選任、顧問參與を委嘱して創立手續を終つた、席上現地生産力擴充、配給機構、蒐荷機構、物價構成等の専門部會の設置を決定した

▲役員

津島開發總裁

Table with columns for county names (榆次縣, 清源縣, 晉泉縣, 壽陽縣, 文水縣, 方山縣) and population figures for August 1928. Includes a sub-table for '戰前' (Pre-war) population.

副會議長 中野北京商議會議頭
評議員 宇佐美華北交通總裁以下
略

監事 戸田華北運輸社長、關東
棉取締役
常務理事(事務局長) 石井北京商議
理事、金子開發企劃課長

顧問參與 名譽顧問安達北支軍部隊
長、鹽澤與亞院華北連絡部長官、
土田大使館參事官

顧問 (北支軍) 中西、西村、
前川、平井各部隊長(與亞院) 專
田、高瀬、管波、小林各局長内田
部長(大使館) 北澤書記官

參 與 (北支軍) 中村、栗林各
部隊長(與亞院) 江崎調査官、城
戸、安孫子囑託(大使館) 木村書
記官

▲會議宣言 北京【九六】創立總會
の席上採擇された宣言並に決議の要
旨左の如し

▲宣言 物價の安定確保は華北經濟
上緊急當面の中心課題である、よつ
て物價緊急對策に具現されたる當局
の施設に絕對信倚し自主的體制のも
と産業開發、生産、貿易、配給面を
打つて一九とする協力體系を伸張展
開し、もつて物價對策の萬全を期す

▲決議 一、物價對策完遂に絶體協
力し現地生産力擴充、配給機構整備
に一段の努力を傾倒せんことを期す
一、産業開發、生産、貿易、配給の
各業域は提携して物價對策の圓滑な
る運営に努力せんことを期す

北京【九三】華北物價對策に即應す
べき配給機構の整備に進行中であるが
區とも極めて着實に進行中であるが
中でも北京地區は活潑に行はれ去る

北京配給機構整備進む

七日北京商議に開催された北京地區
配給機構整備協議會の決定に基き組
合統制會社その他各關係團體では既
に七十四回の會合を行ひ機構整備に
邁進してゐるが、その進行状況は次
の如くである

- △既設のもの
- (一)統制會社形態によるもの疊、襪
製造(資本金十萬圓) 漬物統制
(右に同じ) 海産物(右に同じ)
- (二)出資組合形態によるもの合板、
行李(出資金十萬圓) 蔬菜(右に
同じ)
- (三)日華合辦出資組合形態によるもの
清涼飲料水、時計眼鏡、呉服
- 一、出資組合形態によるもの蒲團、
被服商食料雜貨商、化粧品卸、文
房具、體育具、醫理化器機、藥業
機械工業、自轉車、度量衡、計量
器

一、日華合辦の出資組合形態による
もの野菜、魚類、生菜、木材

第二回日華經濟懇談會

北京【九六】東亞經濟懇談會では本
年度を初年度とする華北經濟開發五
ヶ年計畫を中心とした華北蒙疆の經
濟開發と日滿華三國の連帶的役割完
遂について軍官民相互に腹藏なき意
見を交換し、日華蒙の提携強化と大
東亞建設審議會答申事項の實現を遺
憾なからしめるため、昨秋に引續き
二十八日より三日間にわたり北京中
南海公園懷仁堂に第二回日華蒙北京
經濟懇談會を開催した

▲第一日 北京【九六】第一日午前
は開會式に次で直に各地經濟狀況の
説明に入り、先づ東亞經濟懇談會華
北本部長鄭景濂氏を座長に推戴蒙疆
民間代表張家口商會會長翟竹軒、大
同商會會長安建章及び厚和商會副
會長王秀榮の三氏より夫々蒙疆側の
狀況を説明華北蒙疆間の物資交流圓
滑のため華北側に一段の協力を要望
し、安建章氏は特に低物價政策に隨
ふべく日用必需物資仕入先の確定と
適正取引の實現を華北經濟代表者に
希望した、終つて華北日本側代表の
説明に移り青島商工會議所會頭安藤
榮次郎氏より青島經濟狀況の説明も
あつて午後一時休憩、午餐ののち午
後二時懇談會、中野正永、岡本
久雄、高岡謙吉三氏の説明と華北貿
易組合總聯合會理事大原虎夫氏代理
佐伯運輸課長より戰時華北の貿易機
構再編成進行状況の説明に次いで華
北中國側の各代表の説明に入り威海衛
封龍口の各代表に次いで日本内地側
代表貿易統制會理事佐藤龍之助氏の
説明あつて午後五時日程を終了した

▲第二日 北京【九六】第二日は廿
九日午前十時から北京中南海懷仁堂
に開催、前日の各地狀況報告に引續
きいよいよ具體的懇談に入り、まづ
懇談題目第一議案の「華北並に蒙疆
物價對策に對する民間協力體制確
立」に對して青島市商會常務董事喬
知金、蒙疆銀行理事沈文炳及び濟南
市商會々長苗蘭亭の三氏よりそれぞ
れ意見の開陳があり、次いで第二懇
談議案の「物資配給とその圓滑化方
策」に移り唐山市商會々長吳杞芳氏
ほか五氏より發言があり、官民眞摯
な懇談を續け、第三議案の「日滿華
蒙物資交流調整とその機構」につい
て懇談の後午後一時一旦休憩、午後

二時より懇談を續行した
▲懇談會終了 北京【九三】三日は
第五議案「華北蒙疆の對中南支並び
に對南洋貿易問題」につき藤原三葵
張家口支店長より發言が行はれ、次
いで第七議案「華北における交通運
輸問題」について揚太原市商會會長、
邢徐州市商會會長より發言があつた、
これに對し與亞院華北連絡部管波經
濟第三局長よりそれれ各答辯があり
次いで第八議案「蒙疆努力補給問題」
の懇談をなし三日間を通ずる懇談議
題全部を終了、東亞經濟懇談會蒙疆
本部長宗像久敬氏の閉會の辭あつて
懇談會の幕を閉ぢた

華北と泰佛印交易開始

天津【九三】大東亞戰下における華
北貿易は對中支貿易に主力を注ぐと
共に南方共榮圈の泰、佛印との物動
物資以外の物資交易にも意を注ぎ最
近頗る活潑化して八月には第一回引
合約〇〇萬圓が成立本月に入つて更
に第二回の引合も成立した模様であ
る、交易物資は華北よりは支那酒、
漢藥、冬菜等、泰佛印よりは塗料、
燐寸、油等である

新民會勞務動員體制を確立

北京【九三】新秩序建設の兵站基地
たる華北は全機關を總動員して増産
に邁進しつつあるが、新民會中央總
會では新時局の要請に基き自給自足
の經濟體制の確立と重要産業開發の
ため華北勞工協會との連繫下に同會
の確立活動を基礎として勞務動員體
制の確立を圖るべくこの勞務動員體
制の確立を決定各級總會に實施
方指令を發した、即ち勞務問題處理
のため農村分會内に勞務班を、工場

礦山分會内に愛勞班を設置し分會内
の勞工業務と勞務關係業務の適正化
を圖り縣總會は各分會より提議され
る勞工諸問題の處理に當り、同省、
特別市總會は又其管内における勞工
體制の實態を明確にし、華北勞工協
會との一體活動の下に勞工供出地の
勞務管理の適正化を圖るものである

内地に於ける所要資金並に資材の
調達に就ては來年度から物動計畫資

中支情勢

中支振興會社の方針
一 兒玉中支振興總總裁談
上海【九三】兒玉中支振興會社總
裁は廿一日來滬、同日午後記者團と
會見、新情勢下に於ける中支振興
會社の方針に關し左の如く語つた
中支振興會社としては既定方針通
り、重點主義に基き重要資源の開發
増産に努力してゐるが、大東亞戰後
は租界公共事業の依託經營といふ重
要役割が加はつた、理想としては虹
口側の公共事業と租界側の公共事業
を一元的に經營した方が合理的と思
ふが現在のところ當局の處理方針も
未だ決定してゐないので、依託事業
は別個の會計として當局の指示に隨
ひ運営の圓滑を期してゐる次第であ
る

現地資金利用の必要性は大いに感じ
てゐるが、現在のところ所要資金は
内地で調達してゐるし、また現地資
金は相當利率が高いので備銀行か
ら一時的に融資をうける程度に止つ
てゐる、然し將來は現地で社債を發
行する等の方法に依りて現地資金の
吸收をはかるようにならねばならぬ
と思ふ

内地に於ける所要資金並に資材の
調達に就ては來年度から物動計畫資

内地に於ける所要資金並に資材の
調達に就ては來年度から物動計畫資

金計畫を脱合せて樹立することになつたから圓滑に行くと思ふ。

上海商議機構改革

上海【九三】上海における計畫經濟の推進に伴ひ商工業者の利益擁護團體としての上海日本商工會議所は殆どその役割を喪失するに至り、その根本的轉向が必要とされるに至つたので、監督官廳たる總領事館當局では新情勢に即應して商工會議所に計畫經濟推進上の新たな役割を賦與すべく二十六日付を以て現行の上海日本商工會議所規則を改正公布し、即日實施した、改正の要點は左の三點である。

- (一) 商工會議所をして商工業者の利益擁護といふ消極的な役割から脱却せしめ當局の經濟政策の確立並にその圓滑なる運籌に寄與せしむるといふ積極的役割を賦與したこと(第一條)
- (二) 專務理事を職員から役員に昇格して會議所の最高政策の審議に參加せしめ、必要ある場合は會頭、副會頭に代つて會議所の業務を擔當せしめ、以て會議所の業務遂行の迅速と圓滑を圖つたこと(第十六號)
- (三) 事務局の制度を法文化し、事務局長には專務理事を以て充つる旨規定し、事務局の確立を圖つたこと(第十九號)

保險監督局を設置

上海【九三】國民政府實業部では上海における最近の保險會社新設激増に鑑み濫設或は組織の不完全なるもの發生を防止する見地から保險業法及び同施行法を修正公布するとともに施行法第十六條の規程に基き保險事業の管理、監督を行ふため上海に保險監督局を置くこととなり廿三日實業部駐滬辦事處に設立準備方を命令した

保險業同業公會創立

上海【九三】上海の華人側保險業者を一九とする上海特別市保險業同業公會は諸般の準備整ひ廿日午後二時特別市商會大禮堂において創立總會を開催、章程の承認及び役員を選任を行つた、同公會の會員は損害保險會社を合せて七十二社に上つてゐる、同公會の事業目的及び役員は左の如くである。

- (一) 保險業の調査、研究、改良、整頓及び建設に關する事項
- (二) 會員相互間及び會員間の爭議の調停
- (三) 同業同志間の爭議の調停
- (四) 同業の保險料及び營業規定に關する協定
- (五) 政府機關或は市商會の委任事項の處理

南支情勢

廣東、香港貿易繼續

廣東【九三】本年七月再開された廣東香港貿易は來る九月三十日をもつて當初の協定期間が満了するが、二十日廣東側陸軍特務機關、海軍武官府、總領事館、興亞院各代表並に香港側視察府和田書記官等會同、協議の結果在來の協定を原則的に踏襲する建案の下にさらに三ヶ月間の期限延長を申合せた、特に本協議における一切の煩雜な手續が撤廢されることが注目される

香港に隣保班を組織

香港【九三】香港占領地總督部では占領以來著々華民政權の完備を計つてきたが、更に民衆行政の圓滑なる運用を期するため隣保班を組織せしめ班内の公衆衛生及び戶籍事務等につき、地區行政に協力せしめることとなつた、これにより舊英政廳時代の無統制な地區行政は面目を新たにし華人側も歓迎してゐる、香港側では既に班長七百七十七名の選出を終り、九龍側も近く實施される筈である

人口九十七萬九千餘人

戶口調査の結果發表 香港【九三】香港占領地總督部では九月四日より十八日まで管區内の戶口調査を實施したが、廿八日その結果を發表した、右によれば香港、九龍、新界三地區人口總計は九十七萬九千九百六十五人で、香港攻略前の推定人口約八十萬に比し八十二萬減、最近の米配給券に基いた推計百十一萬四千七百人に比し十三萬三千餘人の減であり、香港占領地人口が占領後の新條件に即應した所謂適正人口に近づきつつあることを示してゐる、地區別並に國籍別人口は左の如くである

△地區別	香港	戶數	二一、三三戶
	九龍	戶數	四七、六九八
	新界	戶數	九、七三三
△國籍別	(内水上生活者元、二元人を含む)	戶數	四九、〇八八
	新界	戶數	三、五八六
	人口	戶數	二一、三三戶
	人口	戶數	四九、〇八八
	人口	戶數	三、五八六
	人口	戶數	二一、三三戶

滿洲國

皇帝陛下博覽會御臨

新京【九三】皇帝陛下には廿三日午前九時卅分帝宮御發國都大同公園における建國十周年記念大東亞建設博覽會に御臨遊ばされ第一會場第二會場共具さに御覽あらせられた

政府首腦大異動

新京【九三】滿洲國政府は建國十周年を機とし第二次大建の推進體制を確立するため各況大臣を中心とする新任級人事の廣汎圖異動を斷行、人心の一新を期すべく張總理の手許において人選を進めた結果廿八日午前八時左の如く發表した

第一軍管區司令官	陸軍上將	邢士廉	特任吉林省長	興安北省長(簡任)	額爾欽巴圖
陸軍上將	邢士廉	廉	特任興安北省長	參議	榮厚
陸軍上將	邢士廉	廉	特任農務大臣	同	孫其昌
陸軍上將	邢士廉	廉	特任民生部大臣	同	丁鑑修
陸軍上將	邢士廉	廉	特命全權大使	同	于琛澂
陸軍上將	邢士廉	廉	特任治安部大臣	同	于琛澂
陸軍上將	邢士廉	廉	特任治安部大臣	同	于琛澂
陸軍上將	邢士廉	廉	特任治安部大臣	同	于琛澂
陸軍上將	邢士廉	廉	特任治安部大臣	同	于琛澂

特任參議

▲張國務總理談 建國十周年の佳年に際し、大東亞戰の必勝、大東亞建設の完成、北邊防衛の完璧等我等我國の負荷遂行すべく使命と義務とは一步一步重大を加へ來つた、今や建國精神の本體を愈々宣揚し物心兩面に互り國家の飛躍的發展伸張を圖り第二期建設に向つて邁進すべき重大時期に際會してゐるのである、よつてこの際新進の人材を簡拔し適材を適所に配置しそれぞれ責任の衝に當らしめもつて官心を振作し庶政の更	日本國駐劄	李紹庚
▲省、市長等も異動各部大臣の異動に伴ふ人事は左の如く發表された	吉林省長	閻傳毅
▲郵政總局長	龍江省長	黃富俊
▲特任奉天省長	交通部長	阮振鐸
▲特任吉林省長	交通部長	阮振鐸
▲興安北省長(簡任)	民生部大臣	谷次亨
▲參議	司法部大臣	張煥相
▲同	經濟部大臣	蔡運升
▲同	外交部大臣	章煥超
▲同	安東省長	丁超

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

蔣政權

政治・一般

蔣廷敵諸施策の困難を嘆く

廣東【〇一】重慶來電によれば行政院政務處長蔣廷敵は卅日外人記者團の會見でルーズヴェルト特派使節ウィルキーの來訪を謳歌しつつ、更に内政全般に關し大要左の如く述べた

重慶政權は戰爭遂行上の諸問題に關しウィルキーの理解を深めるため同氏に無制限な便宜を供與する、ウィルキーの重慶滞在日程は約二週間であるが、この間兩國の共同作戰並びに援將具體策につき十分検討が加へられるであらう、同氏が重慶戰線訪問を希望するならば喜んで戰線を案内するつもりだ、更に今年度糧食徵收は既に開始されてゐるが、今年度は昨年より二割五分の徵收増加を見込んでゐるため割當額達成までには相當困難が豫想される、また物價問題は現下重慶の由々しき社會問題に抗戰前途に至大な影響を持つため、來年度の豫算編成に當つてこの點を充分に脱み合せて慎重を期し、これが解決方途をして輸送機關の改良、物資流通の圓滑化、農産物の増收を圖つてゐる、戰時公債の消化狀況は成績香しくなく、各省に強制的に割當つて一定期間内に豫算額に達するやう或程度の強制方針を採つてゐる

余漢謀李漢魂反目深刻
廣東【九三】確實なる情報によれば五月末我軍が北上を開始するや余漢謀は好機來るとばかり第三十五集團軍に大移動命令を下した、同集團軍長鄧龍光は李漢魂の腹心であり、その地盤たる西江方面に駐軍して今まで日本軍と抗戰の経験がなかつたのであるが余漢謀はその戦力消耗を企圖遠く雷州半島方面より我が銳鋒の正面に移動せしめたのであるが、許中にも移動せしめたので一地點の駐屯を許中が司令の權限において或は到底成算なき逆襲を命じ或は遠隔の地に移駐せしめるなど出来る限り酷使した

然るに今次作戰間敵側地區に大洪水起りために第一期米の收穫は約五割の減收で、剩へ軍隊の頻々たる移動等によつて民衆は塗炭の苦しみにあへず殊に税金の現物徵收によりその負擔は極度に加重されてゐるが豫て余漢謀の奸策に根を抱く李漢魂は八月分よりの納税に特例を設けて西江方面は水害特に甚大との口實の下に同地方に限つて現金納付を許可し余漢謀の勢力地盤たる東江、北江方面にはこれを許さず嚴重に現物徵收實行せしめた、かくて兩者は各自の地位を利用して互に相手の勢力減殺を計りつつある

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

奉天省長 金榮桂
陸軍上將 于琛激
勳一 榮厚
同 孫其昌
同 丁鑑倫

人の動き

ウイルキー重慶着

リスボン【九・三】モスクワ
來電によれば、米大統領特
使ウエンデル・ウイルキーは廿七日
朝モスクワを出發、空路重慶に向つ
た

重慶在住インド代表歸國

廣東【九・三】重慶來電によれば重慶
駐在インド代表ザフルラ・カリンは
近く解職され歸國することとなつ
た、カリンはインド政廳代表として
着任以來四ヶ月、政廳と蔣政權との
連絡に當つてきたものである

メーツ近く重慶へ

リスボン【九・三】前上海海關總稅務
司英國人フレデリック・メーツは戰
争勃發と共に逸早く上海を抜け出し
南阿聯邦のダーベンに逃れてゐたこ
とが二十二日判明した、メーツは近
く重慶に赴き海關事務に就き報告を
行ふ豫定と云はれる

合作協會のアレー辭任

廣東【九・三】重慶來電によれば中國
工業合作協會の實質的支配者たるレ
ヴィ・アレーは今回辭任した旨報じ
てゐる、新西蘭人アレーは日支事變
前においては中國における優秀な工
業技術指導者であつたが、民國廿七
年八月漢口に中國工業合作會が設立
されるや重慶行政院顧問に任命され
翌廿八年同協會の遷移以來重慶にあ
り、協會をして今日あらしめた人物

で、殊に米國並びに比島より合作運
動資金として多額の據金を捻出せし
めた

回教軍將領を懐柔

西北
工作
廣東【九・三】蔣介石は今次
の西北視察において共産軍
及び回教軍閥將領とも會見し、西北
建設工作をめぐり共産軍側の肚を探
ると共に回教軍閥に對しては蔣自ら
これが懐柔工作を行つたことが判明
した、即ち蔣介石は本月三日突如宋
美齡、何應欽等數名を帶同空路西安
に飛び同地で第一、第二、第八戰區
司令會議を召集したが、更に別個に
共産軍側各將領の參集を求めて重慶
の西北建設に關する方針を説明、協
議を遂げたのち同六日には蘭州に飛
び西北各種建設並に軍事防禦情況を
視察したうへ、回教軍首腦部と會見
西北建設の重要性を説いてその懐柔
工作をすすめる、十一日重慶へ歸還し
た

國民の關心を西北へ

▲地方官憲を威嚇 上海【九・三】重
慶來電によれば月餘に亘り西北を視
察中であつた蔣介石は二十二日重慶
歸還と共に嚴重なる警告を發し左の
如く述べた
「西南地方は軍事抗戰の基地であり
西北地區は國家再建の基地である、
支那の國民は六百萬の軍隊を養はな
ければならないのだ、かかる尨大な
軍隊を養ふためには全國民が全力を
傾注してこれに當らなければならぬ
い、余の西北視察中同方面における
糧食事情に關しては特にこれといふ
點は見當らなかつたが、一部の者が
既得權を楯に中央の方針と反するよ
うなものはないではなかつた、地方
官憲にして徒黨を組んで糧食の供出
を拒み、又は虚偽の報告を提出する
者に對しては極刑をもつて臨むつも
りである、政府の糧食政策がうまく
行くか否かは軍事抗戰に多大の關係
があるのだ」

西北の交通計畫

廣東【九・三】交通部長徐恩且は廿六
日重慶發廿七日陝西省洛陽に到着、
直ちに同地の各銀行及び經濟機關代
表四十餘名を召集して經濟會議を開
いたが、同席上徐恩且は西北開發の
根幹とも云ふべき交通計畫の全貌を
左の如く明かにし、中印の二大幹線を
重慶政府は中印の二大幹線を
開拓するに決し特に現在の西北交通
路の完成に重點を置いてゐる、西北
の交通と運輸は抗戰基礎確立のため
最も重要な問題である、而して西北
の交通建設は航空、驛運、電信の各
部門にわたり計畫を樹て強行實現せ
しめる、これがため蘭州は西北交通
網の中心となるであらうが、目下新
疆省の交通委員會には正副主任各一
名、委員十二名を置きその内半数は
中央の指名又は派遣したものである
なほ中印驛運の方も馬步青が青海省
ツアイダム盆地で軍隊を使つて盛ん
に道路を構築してをり逐次西藏に向
つてルート打開に當つてゐる

來年度建設豫算二十億元

廣東【九・三】重慶來電、廿四日の大
公報によると重慶財政部では來年度
建設豫算として二十億元を計上す
ることに内定、うち十億元以上は鐵道
鑛工業開發の部門に割當てられてゐ
ると報じてゐる、右建設豫算は主と
して目下重慶當局が主力を注いでゐ
る西北經濟開發乃至は西北ルートの
確保に向けられるものと見られてゐ
る

福建省にも燐寸專賣制實施

廣東【九・三】重慶來電によれば財政
部では來る十月一日より戰時火柴

は成都經由陝西、甘肅、青海、寧夏
各省の工業狀態を三箇月に亘つて視
察する豫定である

西北開發に米人技術團派遣

廣東【九・三】廿五日重慶外交部スポ
ークスマンは「米政府は廿名の技術
團を重慶に派遣、西北の農林、水利
工鑛業、交通等諸部門の建設に積極
的に協力することになつた」と宣傳
した

大公報抗戰財政の危機指摘

廣東【九・三】廿一日の重慶大公報は
大要左の如き社説を掲げ重慶政權の
猛省を促してゐる
重慶今年度の豫算は前例なき尨大な
ものであつたが、來年度豫算は更に
膨脹するであらう、日用必需物資の
絶えざる騰貴により各團體の政府に
補助費の交付を哀訴する者續出し
これがため政府の實際支出は豫定額
を遙かに超過するものと見做される
抗戰の長期化に伴ひ國家の收入と支
の出不均衡を來してゐることは否定
できない事實であるが、今にして政
府がその支出の節約を強行せざるに
於ては紙幣の濫發となり惡性インフ
レを招致し、ひいては交戰力に多大
の影響を及ぼすこと必である、同
時に大公報は左の如き提案をしてゐ
る(一)新報の設置並に新企業に着
手してはならない(二)現存政府機
關の廢止統合(三)現在の政府諸企
畫の再檢討

☆ 財政・經濟

上海【九・三】重慶來電によれば經濟
部西北工業視察團は廿一日團長林繼
庸引率の下に重慶を出發した、一行

重慶來電によれば經濟部では來る十月一日より戰時火柴

(辨寸)專賣暫行條例を福建省にも施行する旨廿六日付の國府命令をもつて布告したといはれる、これで重慶側辦寸の專賣制の實施地域は本年五月一日より實施された四川、西康、貴州の三省と去る十五日日本條令の實施を布告した雲南省と併せて五省に達した譯である

團體生命保險獎勵

廣東【九六】重慶來電によれば重慶政務當局は戰時通貨政策の一助として大規模な團體生命保險の獎勵を企圖しつゝあつたが今回大體成案を得たので不日實施されるであらうといはれる、右は財政當局が民衆保護の名目で過剩資本を吸收し悪性インフの防止策とする一方西北開發を始め奥地の建設に振向けんとする意圖と看取することが出来る

大洋での納税は倍額徴収

廣東【九六】當地に達した情報によれば偽廣東省政府財政廳では去る九月一日付を以て管下各稅收機關に對し「大洋」を以て納入する税金は十月一日より倍額を徴収するやう命令したといはれる、右は「大洋」の暴落と物價の暴騰に惱んだ偽廣東省政府の苦肉策である

運輸統制を積極化

廣東【九六】重慶來電によれば重慶軍事委員會では今回これが積極的統制に乗出すこととなり運輸統制局に命じて「車輛船舶搭載物検査票」及びその施行規則を公布せしめ十二月一日より實施することとなつた、即ち今後車輛船舶に對しては出發地點において検査票に基いて積荷検査

農産物豐作を宣傳

廣東【九六】重慶來電によれば農林部では廿日本年度米穀豫想收穫高を發表、米、小麥の收穫豫想高は平均八割或ひは地方では九割から十割に達し、最悪のところで五割であり、全般的に見れば大豐作である、右は政府の農産物増收運動の結果であるが今年度の増產運動は重慶及び北部四川の三特別地方を始め十九省を含み本年上半期では三百萬擔の農産物收穫を豫想される耕地三千二百萬歩(六歩が一エーカー)の増加を見下半期には更に耕地の増大増産が見越されると述べ、しかしまた鹽は日本軍に沿海地方の主要産鹽地を占領されたにも拘らず年産二千六百萬擔のうち八割は政府の專賣に附され、この政府の需給調整と安定相場によつて不安は見られない、なほ昨年度の鹽消費量は二千萬擔、うち五百萬擔は軍需工業用であつたが、今年度の消費豫想高は千八百萬擔、軍需工業鹽七百萬擔と見られると附加し、主要食糧たる米穀、鹽において何等不安なしとしてゐる

糧食徵收調查競進辦法

廣東【九六】重慶側放送によれば工務競進委員會では廿六日會議を開き、蔣介石が發令した糧食徵收調查競進辦法を決定し全國各種政局に施行方を命じた旨報じてゐる、右は富商、豪農の思惑を完封する意圖より出たものを稱してゐるが第一期米の軍糧、公糧徵收買上の芳しからぬ經過に鑑み狼狽した重慶の對策と見るべきである

田賦實物徵收を繞り農民反抗

南京【九六】重慶政權は昨年糧食部を開設、同部をして爾來各省に糧食專員を分派し、省政府に協力してそれが實施に當らせてゐるが、成績頗る芳しからざるため、本年度は收穫期を控へて、湖南、廣西、廣東、江西、福建等の諸省に亘り、就中主要米産地たる四川では過殷成部、瀘縣重慶、資州の四ヶ所で分區糧食會議

實物徵收、徵發購買を嚴命

南京【九六】重慶情報によれば蔣介石は本月二十五日國防最高委員會主席の名を以て各戰區司令長官、各省政府主席にあつて左の如く通令した

田賦の實徵と軍糧の二大政策は抗戰繼續のため最も重要な條件であり、これが成否は眞に存亡勝敗の岐れるところである
若し口實を設けて本政策を破壊し及びこれが實施を阻害する者あらば何人とも厳罰に處すべし、各戰區司令長官及省政府主席に即日所屬機關に通告、中央糧食部派遣の專員に協力し、所定額の實物徵收、徵發購買を實行すべく違反滯納行為の所有物はこれに封印し、沒收し、更に水災旱魃に藉口して虚偽の報告をなすことを嚴禁せしむべし

糧食徵收調查競進辦法

廣東【九六】重慶側放送によれば工務競進委員會では廿六日會議を開き、蔣介石が發令した糧食徵收調查競進辦法を決定し全國各種政局に施行方を命じた旨報じてゐる、右は富商、豪農の思惑を完封する意圖より出たものを稱してゐるが第一期米の軍糧、公糧徵收買上の芳しからぬ經過に鑑み狼狽した重慶の對策と見るべきである

田賦實物徵收を繞り農民反抗

南京【九六】重慶政權は昨年糧食部を開設、同部をして爾來各省に糧食專員を分派し、省政府に協力してそれが實施に當らせてゐるが、成績頗る芳しからざるため、本年度は收穫期を控へて、湖南、廣西、廣東、江西、福建等の諸省に亘り、就中主要米産地たる四川では過殷成部、瀘縣重慶、資州の四ヶ所で分區糧食會議

中共の對重慶根本方針

南京【九六】重慶の國共調停に對する態度に就ては東亞に於ける聯合國

を開催糧食部長徐堪省主席張群自ら乗出して田賦の實徵と米穀の徵發購入に大童となつてゐる、しかしながら政府側の強壓政策は峨嵋、灌縣、瀘州、南溪、富順、廣安、蓬溪、梓潼、等の諸縣においてたえず農民の反抗を招いてゐるが、更に政府側の糖業管理問題にからんで、内江富順一帶の糖業公會と管理者側と大衝突となり、事態を益々紛糾せしめてゐる

蔣軍幹部強硬論

南京【九六】情報によれば偽河北省政府主席龐炳勳が本月中旬以降麾下の第四十軍と各縣保守隊及び遊撃部隊へ潜入して赤化工作に従事しつゝある共產黨員三百六十名を檢舉し、首謀者十三名を即時銃殺處分に附したことはなきにきだに國共兩黨の相剋に拍車をかけてゐる、龐軍の肅清工作は今尚進行中であるが、部隊の内部に集喚ふ赤化分子の檢舉は更に河北より山西方面へ波及し延安側の激怒を招いてゐるが、本月廿二日附で閻錫山、傅作義、楊愛源の晉綏軍將領及び龐炳勳以下の冀察戰區幹部が連名で國防最高委員會に宛て中央の軍民に對する赤化工作と地方政權略奪陰謀を通報し、斷乎鐵槌を下さんことを公然要求するに及び事件は重慶延安間において政治問題化する一方、現地で第十八集團軍對華北軍の全面的對立抗争に發展せんとしつつある形勢を示してゐる

中共の對重慶根本方針

南京【九六】重慶の國共調停に對する態度に就ては東亞に於ける聯合國

の團結合作を根本方針として、七月以來ガウス米大使、パニューンキンソ聯大使、兩國駐在武官、孔祥熙、吳鐵城、賀耀組等が中心となり話合ひを進め、これが解決に躍起となつてゐる、即ち最近當地に達した情報によれば、彼等は
一、米ソ合作による西北軍事建設案
一、印度問題に對する米ソ重慶の調停案
に關し協議した結果前者の前提條件として國共關係調整を促進する必要があるとして米ソ兩大使はそれぞれ代表を延安に派遣、中共中央と折衝せしめることとなつたといはれる、又同時に重慶は徐永昌を陝西、山西方面に派遣し同方面に於ける重慶蔣領に對し國共調整に關する中央の指示を傳達せしめこれに對し中共中央は七月三十日延安に於て首腦部會議を開催、中共の態度を左の如く決定したといはれる

中共の對重慶根本方針

南京【九六】重慶の國共調停に對する態度に就ては東亞に於ける聯合國

(一)重慶にして若し不法なる軍事行動に出る場合中共は斷乎としてこれに反抗する
(二)あらゆる手段を講じて中日戰爭を擴大せしめ八路军の勢力を強化して内部より重慶軍の瓦解を圖る
(三)新疆青海方面の發展を期す
(四)優秀分子を重慶中央機關に潜入せしめ内部機構の攪亂を圖る
右決定は共產主義發展のためには如何なる犠牲も辭せざるであり、重慶の根本方針をなすものであり、重慶としてはこの際國共相剋の内紛は欲しないが、西北ルート確保上速かに右共產黨の策動を排除する必要ありとして強硬態度を持し中共三風肅清運動が中國文化の破壊を企圖してゐるものであり、又今夏以來展開した文學

中共の對重慶根本方針

南京【九六】重慶の國共調停に對する態度に就ては東亞に於ける聯合國

南京【九六】重慶の國共調停に對する態度に就ては東亞に於ける聯合國

運動は教育者に對する獲得工作なりとして嚴重警戒を要する旨の指令を發したが、最近の國共關係は英米ソの仲介にも拘らず益々惡化の傾向にあり兩黨今後の動きは注目される

重慶軍、共產黨彈壓

太原【九・元】最近我が軍に歸順してきた孫桐管麾下十二軍特務連に屬した一班長の言によると孫桐管は麾下部隊に對し胡宗南軍と呼應して共產軍の不法行為を斷乎擊攘すべしとの指令を發し、直ちに剿共工作を開始隨所にその具體的事實が現れてゐる先づ八月二十八日西安城内に潜入せる中共黨員五十餘名が檢舉され、首魁張玉春、李漢三の二名は西安高等法院で審理の結果懲役十八年を申渡され、また重慶軍事豫備七師が清水縣(陝西省)一帯で檢舉した中共黨員は七月中に十七名に及び何れも西安監獄で苦役してをり、陝西省南部及び河南省西北部の重慶軍蟠居地でも熾烈な剿共工作が展開されてゐる、かかる壓迫に對し中共陝甘寧邊區政府當局は八月中旬管下各部隊に摩擦の激化を極力避けるよう指令し飽くまで消極的態度を堅持してをり重慶軍の全面的な對共武力攻勢に戦々兢兢たる状況下にあるといはれる

南方諸國

佛 印

佛印滿關支とバーター貿易

西貢【九・三】佛印經濟局では滿關支

向け貿易に對し豫ねてよりバーター制の採用を考慮してゐたが、愈この原則を佛印經濟局の内規として決定正式の發表を行ふことなく個々の滿關支向け輸出申請に對しこれを適用輸入先行制を採ることになつた、その目的は滿關支より綿糸布、綿製品

化學藥品、金屬製品等の輸入を確保して佛印内の需要を極力充足せんとするものであつて、これら商品が滿關支より現實に西貢又は海防に到着したる實證を有し且つこれを提示するにあらざれば佛印經濟局は日、佛印を問はず輸出商に對し佛印土產品の滿關支向け輸出申請に許可を與へないこととした

右バーター制に規程された商品左の通り
輸入品 綿糸、綿布、織維製品、鐵、銅、アルミニウム、潤滑油、藥品、化學藥品
輸出品 石炭、工業鹽、ゴム、コーヒー、胡椒、茶、樹脂、カボック、ステイツクラツク、マツト、バスケット材料
しかし實際問題として佛印内における輸出商は必ずしも輸入商を兼ねてをらず、従つて輸出商が滿關支向け佛印產品を輸出せんとする場合は滿關支より前記商品を購入したる輸入商を搜してその實績を輸出申請書に添付するを要することとなつた、また一方佛印の必要とするこれ等商品の滿關支よりの輸入は諸種の事情より潤澤を期し得ない實情にあるから今後の佛印對滿關支貿易は單に佛印のバーター制によつては解決困難なものあり、更に一段と廣く大東亞共榮圏内の物資交流の見地から調整する必要があるものとみられてゐる

日佛印協定は明年改訂

— 襄田總領事談

サイゴン【九・三】大使府サイゴン支那襄田總領事は廿五日記者團と會見日佛印經濟協定に關し次の如く述べた
本年度の實行協定は旬年の日佛印經濟協定の第十五條附屬書に對する改訂、即ち米を中心とする佛印輸出產物及び日本の佛印向け輸出品の數量の改訂に止まつたが、明年度は經濟協定全般に亘つて改訂を行はうといふ意圖がある、それは日佛印經濟協定が大東亞戰爭の開戦以前のものである、また大東亞省も設置されることに決つたからこの意味で改訂されなければならぬであらう

最近の經濟事情

サイゴン【九・三】襄田總領事は右の會見において更に佛印最近の經濟事情につき左の如く述べた
△大東亞戰後の佛印經濟 大東亞戰前においては佛印は日本商品を入れたる度くなかつた、日本としては出出したところが大東亞戰後佛印は反對に日本商品を入れたがよつてゐる、この現象は大東亞戰による佛印經濟の一番大きな變化といへるだらう、また大東亞戰後佛印は各種產物の増産を行ひ通貨の發行高が増加しないやうに努力してゐる
△通貨政策 通貨發行高は最近約三億七、八千億ピアートルに達して、このほかの特殊な事情を考慮すると大東亞戰後通貨が非常に増發されたといへない、これは佛印の市場が狹隘だといふことにもよるが通

貨政策が順調であることを示すもの

△物價對策 物價對策も成功といへるだらう、佛印も公定價格制を實施してゐる、佛印では原住民が政府の命令に唯々服従するといふことが總ての成功の大きな原因である、政治的には安南人官吏などの俸給を増額してゐるが、その代り増税その他の方法によつて購買力を吸収してゐるからこれが物價に影響することは少ない、然しフランス人の本國送金の途が杜絶してゐるからフランス人の潜在的な購買力は増加してゐるよう△佛印の華僑 九月上旬佛印當局はジョロンの華僑精米工場全部を徵用し、これを佛印當局の統制下に置きその中の有力精米工場はいくつかはその所有數を佛印側へ移した、この表面の理由は佛印米の對日輸出を増加するためと謂はれてゐるが、日、佛印華僑間における最近の重要な出来事である

議員任期延長案通過

バンコック【九・元】タイ國政府は廿八日臨時本會議に議員任期に關する憲法修正案を提出、票決の結果百五十七對一を以て通過した、右の案は現行任期四年を更に二年間延長し得る權限を政府に附與するもので、現今に依れば、英國支配當時の方式に幾多の改革が加へられ、就中使用語はビルマ語たるべきことが示されて居り、ビルマ側では過去に比較してこの點を最も重視し日本に感謝の意を表してゐる

印度獨立のビルマ委員會

ラングーン【九・三】十七日よりビルマに於ける印度獨立運動の實施方針を協議中であつた印度獨立聯盟ビルマ支部地方委員代表會議は廿二日午後四時半ラングーン市公會堂に於て開會式を舉行した、同會議において

一、ビルマ支部委員長の銜
一、各地代表委員の決定
一、ビルマ内に於ける獨立の具體的實施方針の決定
など協議された
ラングーン市廳開廳式
ラングーン【九・三】ラングーン市側の施行に伴ふ市廳開廳式は廿六日午前飯田最高指揮官以下軍首腦部及び行政長官バ・モ博士を始め日緬官民代表多數出席の下に嚴肅且盛大に舉行された
今回公布された市政施行に關する法令に依れば、英國支配當時の方式に幾多の改革が加へられ、就中使用語はビルマ語たるべきことが示されて居り、ビルマ側では過去に比較してこの點を最も重視し日本に感謝の意を表してゐる

泰國文化研究所開

バンコック【九・三】泰國文化研究所

煙害対策に感謝

ラングリン【九三】わがビルマ軍政當局が阿片の使用者に對する消費税の徴収を計畫中だとの敵側デマ宣傳に對し、現情報局第三部長が外人記者團との會見席上これを否定し、ビルマに於ける日本の政策は阿片の使用を中止して阿片吸飲の習慣を一掃するにあることを強調したとの報道は當地で中央行政機關及び識者の間に大いに歡迎されてゐる、從來ビルマにおける阿片吸飲者はベン・ザールと呼ばれ、戰爭直前の使用者の數を人口割合より見れば華僑が最も多即ち四十萬人以上が吸飲に耽り次がビルマ人で總人口の一割以下であるが、これでも數に於ては百萬に達しインド人の吸飲者も五分即ち十萬人に及びこの惡習が民衆の思想及び健康上に及ぼした影響は少からず、社會問題を構成してゐたものである、英國は一八〇九年以來阿片消費税を徴収することによつて、この惡習を法的に認め、ビルマ民衆の精神的肉體的質の低下を助長したのみならず年々三百萬乃至四百萬ルピーの消費税を搾取するといふ老獪な政策を採つてゐた、最近中央行政機關ではこの阿片問題に就き消費税を徴收すべきか否かを検討中であつたが、今回日本の政策が英國のそれとは反對であることが明かとなり、たとへば中央行政機關の財源の一部が失はれるとするも民衆の眞の利益は極めて大きなものがあるとしてゐる

昭南に公共施設總局設置

昭南【九三】マレー軍政監部では占領後の土木關係事業を一元的に處理するため占領直後應急措置として戦前の「パブリック・ワークス・デパートメント」の一部を復活してこれを公共施設局とし、戦火に破壊された水道、電氣、道路等の修理復舊に努めて來たが、再建工作の進展に従つて益々繁忙を呈し來つたので、同局の組織を擴充して今回軍政監部の外局として昭南に公共施設總局を設置することになつた、同總局はマレー、スマトラの主要地に地方局を設け土木事業を一元的に統轄運営する

中國共產黨員を嚴刑

ベナン【九三】去る二月以來ベナン憲兵隊では政廳各機關の協力のもとに極秘裡にベナンを中心に蠢動を續けてゐた中國共產黨北マレー班、共產黨遊撃隊一味の逮捕に當つてゐたが、このほど七月までに檢舉せる首領某をはじめ〇〇名の取調を終了し、書類並に身柄をベナン地方法院に送致し來つた、同院では廿二日午前十時より特別公判を開催、判事法院長山本好太郎氏、陪席判事林坤徳、檢事邱純志氏保りで審理に移り、同十一時〇〇名に對しては極刑を、〇〇名に對しては十五年の懲役を宣告して閉廷した、同遊撃隊は

一、日本高級將校、官吏の暗殺
一、日本政廳と現地民衆との離間を目標にして、道路、鐵橋の破壊、ビラの撤布を行つてゐたものである

マレー、スマトラ間に通貨新交換制度實施

昭南【九三】マレー軍政監部ではマレー、スマトラ兩地域間の物資交流及び交通の圓滑化を圖ると共に占領後新たに生じたギルダール兌換の不平等な交換相場を防止するため近く左の要領による通貨交換制度を制定約一ヶ月間の準備期間を設けて十一月一日より實施することになつた
今回實施される通貨交換制度の要領は左の如し
(一) 通貨交換所を昭南及び必要の地に設置す
(二) 通貨交換所は軍政監部の直營とす
(三) 交換はマレー、スマトラ間の正當なる取引または旅行もしくは家族送金等により必要なる資金を行ふ場合のみ適用するものとす
(四) 交換は差當りドルとギルダールに限定す
(五) 交換に際してはドル、ギルダール等價として取扱ふ
(六) 交換に際してドル軍票、海峽ドル紙幣、ギルダール軍票、ギルダール銀行券及び補助貨相互間に取扱上差別を附せざるものとす
(七) 交換に應ずる金額は一口百ドル(又はギルダール)以下は無條件に一口百ドル(ギルダール)以上は別に定める交換申請書を提出せしめ一口一千ドル(ギルダール)以上の場合には通貨交換所本部と豫め連絡の上應諾を決定す、但し軍の交易に關する證明書を所持するものに對しては所要の金額の交換に應ずるものとす
(八) ドル、ギルダール間の相場の差異又は變動を利用し利得せんとするものに對しては交換に應せざること

鎌倉丸昭南着

昭南【九三】二十五日午後二時無事昭南に到着した

三百五十名昭南下船

昭南【九三】廿五日夜昭南市内の旅館に泊つた河相公使は午前十一時陸軍最高指揮官を訪ね挨拶を行ひ、午後海軍部隊を訪問同様挨拶を述べた、引揚官公吏及び一般人は午前十時上陸、それぞれ軍政監部及び〇〇部隊の案内で市内見学、戰跡視察を行つた、これ等のほか當地に於て下船する約三百五十名も亦午前中に上陸、一旦所定の宿舎に落着いた後各自の希望により、ジャバ、スマトラ、ボルネオ等復歸の準備をなした

鎌倉丸昭南出帆

昭南【九三】日英交換船鎌倉丸は廿七日午前九時、〇〇部隊長以下在昭南軍民多數の盛大な見送りを受けて昭南港を出帆、第二の寄港地たる香港に向つた

比島

比島の治安は全し

マニラ【九三】比島治安の現況、共産黨の現状その他につき太田部隊長は次の如く語つた
△治安と左翼対策—全般的にみて比島の治安は非常にうまくいつてゐる

スペインが比島を占領後全島の治安を回復するまでには數十年を費してゐるし、アメリカの場合でも數年間かかつてゐる、これを現在の治安の状況に較べれば全く雲泥の差である私は比島の治安は絶対心配ないと思つてゐる、しかし今まで親米の思想が相當根強く植付けられ現在の表面的には轉向してゐるが中にはまた對米依存の觀念を捨て切れない者はないでもない、彼等はアメリカによつて精神的に毒されてゐるといふことに氣付いてない、これを日本の精神教育によつて叩き直してやらなければいけない、しかしこれも日本式のせつちかではいかぬ、氣長に根氣よくやらねば駄目だ、△比島の共産黨について—比島における共産黨は一九〇四年の民衆労働組合の創立から始まつてゐて、幾多の變遷を辿つてゐるが、一九三〇には新生比島共産黨が出来、クリサントエバン・ヘリスタンが黨首となつた、彼は前後二回に亘つてソ聯に渡つて居り二年間共産黨の理論並に實踐運動を體驗し、比島のレーニンと呼ばれてゐた男である、一九三三年にはベテロ・アバト・サントスを黨首とする社會黨が生れ、黨員十五萬を擁して活潑な活動を始めた、この兩者は一九三八年合流して社會共産黨を組織し、アバト・サントスを黨首にクリサントを副黨首に戴き人民戦線運動を展開、フアツシヨの勃興に對抗した、大東亞戰爭が始まるや、彼等は民衆の武装化を唱へ米高官及びケソン大統領にしばしばこれを進言したが容れられず、遂に直接行動に出て北部ルソン及びパンパンガ州を中心に黨員の武装化を行ひ、資

マレー

本地地主を目標に掠奪放火殺人を行つてゐるが、一月下旬正副兩黨首以下幹部数十名を檢舉、その後の共產匪歸順工作には轉向した幹部自ら第一線に立つて協力、非常な効果を収め、爾來同黨による被害は全然なくなつた

華僑對策に就て—比島の華僑は大體十二萬といはれ、うち六萬がマニラに居住してゐる、その他フィリッピン國籍を持つもの及び二世を併せると約二十萬に達するだらう、戦前に於ける華僑の抗日團體は三百八十七團體に上り、蔣政權に對する獻金抗日公債の購入、軍需品其の他の供出日貨排斥七・七記念日などには猛烈な排日運動を行つてをり、その間數百名の者は歸國從軍してゐる、これら抗日の指導には重慶からしばしば要人が派遣され、また總領事自ら陣頭に立つて排日運動を煽つてゐた、皇軍入城と同時に前後二回に亘つてこれら首魁の檢舉を行ひ、軍律會議の結果それぞれ處刑した爾餘の華僑に關する限り不穩行動をみず、皇軍に協力の態度を示してゐる、過般結成された比島の華僑協會にも、殆んど大部分の華僑が参加し二千萬ペソの獻金運動を起し、既に第一回分の獻金を行つてゐる、華僑に對しては彼等がよく時局を認識し積極的協力を惜しまぬならば將來共榮圏の一員として他の比島人と同様の取扱を行ふことが軍の方針である、彼等にして萬一再び抗日の言動をなすものあれば斷乎處分する

△反日分子について—カルロス・マロントといふ未だ廿歳前後の學生が首謀になつて五月はじめ頃から反日放送を企てラジオ技士、アナウン

サー、警戒係原稿係等十數名の同志を集めて反日放送團を組織し、六月一日から一月半に亘り反日放送を行ひ、またマニラ市内に反日ビラ等を撒布してゐるが七月十日郊外の島の中の一軒家に潜伏中を一網打盡に檢舉した

△民衆の動向について—日を逐ふて皇軍に協力の度を加へて來てゐる行政機關の官吏達でも何んとかして行政派な仕事をやりたいといふ氣持が動いてゐる軍の意圖するところが民衆の一人一人にまで徹底し、又一般民衆の希望してゐることを充分に知つて行けばすべてうまく行けるのではあつかう、今度軍民連絡所といふのが出來て民情調査並に市民の啓蒙に當ることとなつた

軍政財政根本的改革

マニラ【九・五】比島における從來の軍政會計は臨時軍事費特別會計による軍政監督部の豫算と比島中央行政機關の豫算との二つに分離されてゐたが、來る十月一日に始まる新會場からこれを一括して比島の軍政豫算を確立することになつた

軍政會計は臨時軍事費特別會計による軍政監督部の豫算と比島中央行政機關の豫算との二つに分離されてゐたが、來る十月一日に始まる新會場からこれを一括して比島の軍政豫算を確立することになつた

最高指揮官に置かれるといふ根本原則に基き、軍政監督部の軍政施行上必要な一般支出は從來の如く全的に臨時軍事費特別會計に依存する方針を棄てて兎も角表面上は軍政監督部の軍政豫算そのものも自己独自の經營的歳入をもつこととなつたもので、この軍政監督部自體の歳出を賄ふ新規財源としては十月以降比島より日本内地または南方共榮圏其他地區に向けて輸出される比島物資に對し軍政當局が輸出税を賦課することによつて獨

自の經營歳入を捻出す方針である從來の比島中央軍政機關の豫算は軍政豫算の中に新たに設けられた特別會計の一として含まれることとなり、また比島派遣軍政局及び今回新たに設立される比島派遣軍鐵道監理局の二つの特別局の豫算もこの軍政豫算の中に二つの特別會計として處理されることになつてゐる、これら三つの特別會計は各自それ／＼單獨で收支のバランスを立てて行く／＼運籌帷幄は從來の行政豫算の枠の中で毎月三百萬ペソ足らずの小さなものであつたが、その何倍かに膨脹する譯である、而してその財源は今後公式に軍政監督部が掌握、最高指揮官の指揮命令の下にこれを行使し、必要に應じて税額その他の事務實行には比島行政機關の稅務局が軍政當局の監督の下に當る筈である

インフレ的傾向の抑制に極めて慎重な態度で臨んでゐるが、今日までにとられた過剩購買力抑制の諸方策を擧げると次の如くである

(一) 比島内各官廳その他の俸給は戦後において戦前の五割と大削減が斷行されたが、比島民衆は大體おいて貯蓄觀念に乏しく、これが貯蓄獎勵はかたなり困難なもので軍政當局では銀行の再開直後より一般民衆に強制的貯蓄を行はせて來たが銀行商社の程その編成を完了、運籌を開始するに至つた、同局は差當つて一般鐵道業務の管理運籌のみを行ふが、將來は鐵道以外の陸上交通をも管理する筈になつてゐる現在軍政監督部の外局としては比島内の電信、電話業務の管理運籌を行つてゐる、電政局があるの外局は二つになつたわけである

實銀補償實施

マニラ【九・三】ヴァルガス行政長官は軍政監督部の指示に基きこの程行政命令を以て比島中央行政機關に雇傭せられるものゝ實銀は最低一ヶ月三十ペソを補償する旨公表、九月一日に遡及して實施することとなつた、この三十ペソには被雇傭者に對する衣服その他の物資貸與を行ふ場合合する給與物資相當金額をも含むことになつてゐるが、現在一ヶ月三十ペソ以下の収入の被雇傭者にして家族のあるものに對しては政府側で家族手当として収入合計額三十ペソに當るやうに工夫されてゐる

インフレ抑制策

マニラ【九・三】軍政當局では比島のインフレ抑制策

(一) 比島内各官廳その他の俸給は戦後において戦前の五割と大削減が斷行されたが、比島民衆は大體おいて貯蓄觀念に乏しく、これが貯蓄獎勵はかたなり困難なもので軍政當局では銀行の再開直後より一般民衆に強制的貯蓄を行はせて來たが銀行商社の程その編成を完了、運籌を開始するに至つた、同局は差當つて一般鐵道業務の管理運籌のみを行ふが、將來は鐵道以外の陸上交通をも管理する筈になつてゐる現在軍政監督部の外局としては比島内の電信、電話業務の管理運籌を行つてゐる、電政局があるの外局は二つになつたわけである

(二) 銀行における個人預金の引出は特別の例外なき限り一ヶ月五百ペソ以上引出し得ぬといふ制限規定を今日も繼續せしめてゐること

(三) 小切手は出来るだけ現金化せしめないこと、小切手で引出されたものは出来る限り小切手の形式で流通せしめるが如き方法を講じてゐること

(四) マニラ市内各商店における一般個人の買物の金額を一回一定金額に止めるやう市民に勧告する一方各商業團體には個人一人に對し一度に巨額の物資を販賣せぬ方針を勵行するよう徹底せしめる

(五) 配給機構を整理することにより、米、液體燃料に切符制を適用し、その他の物資にも漸次割當制を適用することとなつてゐる、これらの配給統制機構の有機的活動を通じて消費規正を行ひ買溜め防止に努めつゝある

を繼續して大マニラ市地區の購買力の吸収に努めてゐると共に特定物品には取引税を賦課して購買力の削減の効果を擧げんとしてゐる

陸運管理局設置

マニラ【九・五】比島軍政監督部では比島内に於ける軍及び一般の鐵道輸送業務を取扱はしむるため今回軍政監督部外局として陸運管理局を設置、この程その編成を完了、運籌を開始するに至つた、同局は差當つて一般鐵道業務の管理運籌のみを行ふが、將來は鐵道以外の陸上交通をも管理する筈になつてゐる現在軍政監督部の外局としては比島内の電信、電話業務の管理運籌を行つてゐる、電政局があるの外局は二つになつたわけである

比律實木材統制組合を創設

【九・三】比律實木材輸出株式會社(本社神戶市)では占領下南方木材界の再建に諸計畫を建て要員多數を派遣して努力してゐるが今回現地軍指導の下に比律實木材統制組合を創設、初代理事長に比律實木材輸出株式會社專務取締役西野正男氏が就任した

一、比律實木材統制組合は軍政部指導監督の下に比律實に於る一般木材の需給統制並に之れに付帶する業務を行ふ他、木材製板事業の育成金に助成を圖る事を目的とし

一、本組合は比律實内重要地域に本組合支部を設置し緊密なる連絡の下に統制の一元化を圖る

一、本組合の事務所は大マニラ市に置く

日本人會に戸籍兵役事務

委託

マニラ【九三】比島軍政監部では帝國臣民に關する戸籍及び兵役に關する事務を日本人會に委託することになり、軍政命令第二十六條で公布した、なほ在留邦人は一月以内に日本人會に對し身分登録を行ふことになつてゐる。

男女共學制禁止

マニラ【九三】比島軍政監部では今後比島中等學校の男女共學制を禁止することとなり、行政部長官宛この旨指示を發した、而して而して右は今後の比島に於ける男子及び女子に對する教育刷新の方向に關し、重大な指針を與へたもので、現に開校してゐるものに對しては取敢へず男女教室の分離を行はしめることとなつた。

東印度諸島

軍政第二期に入る

陸軍顧問兒玉伯談

【九三】陸軍顧問兒玉秀雄伯は赴任後半年振り、廿二日午後空路入京牛込の自邸に於て現地の狀況に關し左の如く語つた

自分は政務の關係から主としてパタバヤに駐在したがジャワをはじめスマトラ、バリー、ボルネオ、セレベス等一通り視察して來た今や軍政も段々と整備され最近では現地における中央並に地方の各機構が漸次完成され、これ等機關に拂はるる文官も既に赴任し軍政は全く第二期に入つて

部長の軍政から文官知事の統治へと移行される實狀にあるが、これこそ軍政の一大飛躍發展と言ふべきでこれに伴ひ銀行家をはじめ各種の實業家等も夫々の仕事を始める様になつた。自分は去る三月出發の際壞滅した蘭印軍の政治を如何にして恢復すべきかを考慮してゐるが、現地に於てみると、文官の連中も時には軍人と同様彈丸を運ぶなどの重任を果しながら、晝夜を分たず活躍し、自分が働く餘地など全くない位になつてゐる。政治の運用のうまい行

き届いて居たのを見て夢の様なきた、赴任後現地の人から聞いたことであるが、日本軍の上陸後インドネシア人にして蘭人を助けた者は唯の一人もなく五千萬の民衆は悉く日本軍に協力したと言つて居る程でこれ等五千萬のインドネシア人は理窟なしに親日的傾向を示し、何れも日本を指導者とし大東亞の誇りある一員として其榮耀の建設に協力の實を示して居るのだ、現地にあつては今迄の様なヨーロッパ的色彩は微塵も見られない

ワヤジ

中央行政機構強化

パタバヤ【九三】軍政監部では今般中央行政機構の編成を完了、廿三日付軍政當局議をもつてこれを發表した、今回の發表によれば中央本部は軍政開始當初から存続してきた總務、財務、産業、交通の四部のほかに過般新設された司法の五部からなりこのほか外局として陸輸、通信兩總局の現業機關及び宗務部、會計監督部を擁してゐるが、更に近く警務、情報の二部及び外局として放送管理局を設置する豫定である

バタバヤ【九三】軍政當局では今般中央行政機構の編成を完了、廿三日付軍政當局議をもつてこれを發表した、今回の發表によれば中央本部は軍政開始當初から存続してきた總務、財務、産業、交通の四部のほかに過般新設された司法の五部からなりこのほか外局として陸輸、通信兩總局の現業機關及び宗務部、會計監督部を擁してゐるが、更に近く警務、情報の二部及び外局として放送管理局を設置する豫定である

衛生行政を統一整備

バタバヤ【九三】軍政當局では今般全ジャワの衛生行政につき廿三日次の如き當局議を發表した。日本軍は進駐と共にジャワ衛生の整備に鋭意努力してきたが、今回軍政監部直轄のもとに全ジャワの衛生行政を統一管理すると共に、各地の醫療機關即ち一般病院、精神病院、癩病院その他各種試驗所を一齊に整備するに決し、近くその一部を開設する豫定である

司法機構擴充

バタバヤ【九三】ジャワ軍政監部では司法機構の充實に伴ひ去る四月廿九日再開した軍政法院並に軍政檢察局を更に擴充、軍政法院は從來の機關の他に最高法院及び高等法院を、軍政檢察局は從來の地方檢察局のほかに最高並に高等檢察局を新に再開することに正し、前回の軍政法院裁判條例を改正し、廿七日附布告をもつてこれを發表した、軍政當局は舊代に軍政法院再開に當つては舊政權時代の司法機構の基調となつてゐた原住民に對するオランダ人の優越を根本的に是正原住民並にオランダ人に對する取扱は同一態度を以て臨む原則を樹立して、地方法院、縣法院、回教高等法院、僧侶法院を再開、原住民司法官の手によりこれらを運営

バタバヤ【九三】ジャワ軍政監部では司法機構の充實に伴ひ去る四月廿九日再開した軍政法院並に軍政檢察局を更に擴充、軍政法院は從來の機關の他に最高法院及び高等法院を、軍政檢察局は從來の地方檢察局のほかに最高並に高等檢察局を新に再開することに正し、前回の軍政法院裁判條例を改正し、廿七日附布告をもつてこれを發表した、軍政當局は舊代に軍政法院再開に當つては舊政權時代の司法機構の基調となつてゐた原住民に對するオランダ人の優越を根本的に是正原住民並にオランダ人に對する取扱は同一態度を以て臨む原則を樹立して、地方法院、縣法院、回教高等法院、僧侶法院を再開、原住民司法官の手によりこれらを運営

せしめて來たが、最近日本人司法官多數の到來を見たのでここに日本人による指導方針を確立し司法組織の簡素化を目標とし高等法院並びに最高法院を新たに再開するに至つた。最高法院(警察局長に準ずる)はバタバヤに一、高等法院はバタバヤ、スマラン、スラバヤに各一を置き、今回の機構擴充により審理すべき事件中特に重要なものは、或は審理に慎重を要するものは、すべて高等法院に於てこれを處理し、ここに日本人司法官多數を配置し指導の完備を期する譯である、從來最高法院の裁判は五人または七人によつてなされたが、今回からは三人となり又高等法院の從來三人又は五人であつたのを原則として單獨制とし茲に組織は簡易化され作戦地に相應して迅速な裁判が行はれることとなつた

ニエーゼーランド

炭坑問題で内紛

リスボン【九三】ロイター通信ウエリントン電によれば今回某炭坑罷業者に對する政府の措置に關し、廿日國民黨は同黨領袖にして戦時内閣蔵相兼議長ボーランドを始め同黨に屬する戦時内閣各僚及び行政官六名を連袂辭職せしむる事に決定した、即ち、曩に同國裁判所は右の炭坑罷業者に對し一ヶ月の刑を宣告したが政府は戦時下危急の際これが労働者に及ぼす影響を恐れて刑の停止を決定したが國民黨は政府のかかる態度を軟弱なりとして今回の態度にてものである、ボーランドは廿日右決定とともに左の如く語つた

「余は自らの法律を實行し得ないやうな政府の中に閣僚として留まることは出來ない、今回の政府措置並に將來この種措置に默従することは國民に對する義務の懈怠を意味するものであらう」

豫 洲

金屬増産に大童

ブエノスアイレス【九三】カンペラ來電によれば濠洲政府は各種金屬原

料の全般的不足にんがみ、鐵、銅鉛及び鉛生産に關係してゐる凡ゆる會社に對し、採算を無視して最大限の増産を行ふべしと命令した、これに對し會社側は代償として租税に關する特別待遇を要求、政府に對し収益の二〇パーセントは免稅さるべしと迫つてゐる、なほこの要求に對し政府は大體受諾意向を示してゐるが、會社側では若し右要求が容れられぬならば増産は到底望み得ぬと語つてゐる

印度

印度國防費の出所

を誇稱

リスボン【九三】ニューデリー來電によれば廿一日英印當局は英本國の旨を受けて左の發表をなし宣傳に努めてゐる

インド國防費の大半は英國政府の負擔となる筈で、英國は既にインドに對し大量の飛行機、戦車その他各種裝備を供給してきた又在印米軍の費用は米國政府によつて賄はれ同時に米國政府は在印重慶軍に對して武器貸與法に基づき各種物資を供給してゐるなほ在英印政廳は二萬七千三百五十六名の技術者を訓練中で、既に一萬三千人以上の技術者を各戦線部隊並に軍需工場に送つてゐる

共産黨國民政府樹立要請

リスボン【九三】ボンベイ來電によれば廿一日インド共産黨はインド政廳に對し、インド國民政府樹立のため政廳側は即時會議派その他政黨各派との交渉を開始すべき旨の要請を行つた

インド大司教の要請を拒否

リスボン【九三】ニューデリー來電によればインド大司教兼カルカッタ大僧正フオス・ウェストコットはこの翁英印政廳に對し監察中のガンヂー翁との會見許可方を申入れたが、政廳側は之を一蹴した

會議派領袖を國外追放

リスボン【九三】バンコックから當

地に達した情報によれば悪化の一途を辿るインドの反英國國民運動の擴大に狼狽した英印當局は八月九日の一齊檢舉以來逮捕收容中の國民會議派の主だつた領袖達をこの程秘かに國外に追放したことが明かとなつた、即ち廿一日のインド議會において政廳側代表は議員の追求に隠し切れず國外追放は事實である旨言明するに至り全印に大衝動を與へた、追放された領袖の中には反英抗争の中心人物ネルを始めて國民會議派議長アザガンデーの消息については今の所不明である政廳側は追放者の氏名の發表を頑強に拒絶し又追放先についても一切言明を拒否してゐるがインド人の間では西アフリカか南阿聯邦に移されたものと信ぜられてゐる

ビルマ奪還の囑語

ストックホルム【九三】ニューデリー來電によれば駐印英軍總司令官ウエーベルは廿七日東亞戰局に關し就中ビルマ奪還の必要を強調した左の聲明を發した、ビルマ失陥以來余は常に同地の奪還の必要を感じて回復作戦を練つて來た、ビルマは對日戰遂行の上につて戰略的に最も重要な地域の一つであり、支那と連絡する上からも又攻撃基地としてもその回復は是非必要である、ビルマ回復作戦が大いに困難な問題であることは確である、特に補給の點で在印英軍の地位は非常な困難な状態におかれ、エジプト、コイカサ方面に於ける戦局の展開によつてその背後すら脅やかされる有様であつた

然しながらこの情勢は最近改善され

我々には其必要とする補給を得つた戦は船舶輸送に對する戦ひである日本は現在直ちに濠洲乃至インド進出の如き大作戦を敢てするとは考へられぬ、日本がその所期するアジアの大國たらん爲には遅かれ早かれ他に先決を要する問題あり、又支那事變も處理する必要がある、印度に於ける騷擾事件は確かに或る程度戦局にも影響を與へたが、然し事態は改善されつつあるものと信ずる

シーク派も即時獨立要求

ストックホルム【九三】ロイター通信ラホール(ハンジャラ州)來電によれば、シーク派の國民運動指導者タランシング氏指令の下に廿八日ワヒラに開催された、同派全インド會議においてインドの即時獨立並に臨時國民政府樹立宣言案が採擇された、右決議はインド政府に對し英・印關係の行詰り打開を要望すると共に回教徒聯盟の主張たるパキスタン運動はインドを分裂せしむるものであるとしてこれに反對の意向を表明してゐる

ボース氏長兄除名

リスボン【九三】ニューデリー來電によればベンゴール州議會は目下ドイツに滞在中のインド獨立運動の志士チャンドラー・ボース氏の兄サラト・ボース氏を除名處分に附した、右はインド政廳のさし加ねによるもので同氏は現在監禁されてより議會には事實上出席してゐない、ベンゴール州首相アズル・ハクの言明によれば現在ベンガル州に於て逮捕檻

禁中のものは三百七十四名に及んでゐる

英當局苦しい辯明

會議ドイン

リスボン【九三】ニューデリー來電によれば英印軍副司令官ラン・ハートレー及び内務次官リチャード・トツテナムはそれぞれ廿一日のインド上、下兩院において「反英騷擾彈壓に際し英軍は爆撃並に機銃掃射の如き残忍な行爲に出たことはない」と事實を隠蔽し、極力辯解に努めたが、不用意にもハートレーは上院において「爆弾を投下したことはないが焼夷彈を使用したことはある」と口を迂らし折角の辯解も效を奏せず議員連の憤懣を買つた、辯明要旨左の通り

機銃掃射を認む

ベルリン【九三】當地に達したインド情報によれば英印軍副司令官ラン・ハートレーは二十五日インド上院に於て反英騷擾參加の民衆に英軍が機上より機銃掃射を加へた事實を認め左の如く言明した

「最近の反英騷擾に於て英空軍は五回に亘り民衆に機銃掃射を加へた、又最も騷擾の劇しい東部國境地方では英空軍をして鐵道の哨戒に當らしめてゐる、然しかる非常手段を以てしても効果はあがらず依然群集は鐵道や貨物自動車に損傷を加へ、又低空飛行中の飛行機には石を投げるといふ有様で民衆の反英騷擾は實に執拗である」

國民政府樹立問題で激論

リスボン【九三】ニューデリー來電によれば、二十四日のインド上院において、現下のインド情勢打開策を繞つて、アンネブ・ハラシユラム・バトロ議員(マドラス州出身)マノクジ・ナジルシヤアウ・ダラル議員(ボンベイ州出身)との間に激論が行はれ、兩者互に譲らず討議は遂に二十五日に持越されるに至つた、まづバトロ議員はインド各派の提携は二週間前のことであり、教會、寺、地方の數地區では暴徒彈壓のため焼夷彈を使用したことあるが、これはいまからでも遅くはない、昨年の最近カルカッタで反英騷擾に参加した印度民衆に對し機銃掃射を加へたとの報道は誤りである、又同地では飛行機から焼夷彈、催涙彈、その他如何なる種類の爆弾をも投下した事實はない

に延ばす用意あることを提案してあ
るのだから、インド各派はこの際そ
の提案を受諾して、現下の行詰れる
情勢を打開すべきである」
これに對し、ダラル議員は、次の如
く述べた

「政治問題によつて紛争を重ねてゐ
るうちにインドの國防は益々弱體化
してゐる、従つてインドの國防を危
殆に瀕せしめないためにも、各派の
主張する國民政府即時樹立の要求を
認むべきである、クリツプス案の如
きは既に時代おくれである、からこ
の際民衆の疑念と不信を解消せしめ
るやうな基礎にたつて英國と交渉を
續けることが何よりも肝心である」

爆彈事件相次ぐ

事件擾亂

△ボンベイ、リスボン 【九
三】ボンベイ來電によれば廿二日
同市棉花取引所正面で爆彈
が炸裂、多數の負傷者を出した
△ニューデリー、リスボン 【九・三】
ニューデリー來電によれば廿四日ニ
ューデリー驛内に爆彈一個が装置さ
れてゐるのが發見され、これを撤去
せんとした際爆發して死者二名負傷
者二名を出したといはれる

ベンガル州で民衆蜂起

リスボン 【九・三】ボンベイ來電によ
れば、ボンベイ州及びベンガル州を
中心とする反英抗爭は最近に至り再
び熾烈化し二十四日ベンガル州のダ
ツカ(カルカッタ東北二百五十キロ)
附近のナワブカンジで約一千名の民
衆が手に手に槍、手製爆彈などを
つて蜂起し、これを鎮壓せんとした
警官隊と衝突、死者一名、負傷者若
干名を出した、ボンベイでも大規模

な國民會議派の示威運動が行はれ、
三十名のインド人が逮捕され警官側
にも數名の負傷者を出したほか列車
内では爆發事件が勃發するなど全州
に亘つて不穩の氣がみなぎつてゐる
ので、ボンベイ州政府は全州の學校
長に對し當分休校するやう命令した

英將兵を虐殺

リスボン 【九・三】ニューデリー來電
によればインド政廳司法部の首腦部
會議においてインド政廳代表は最近
におけるインド民衆の反英抗爭によ
る英人虐殺乃至暴行事件につき二十
四日次の如く報告し、在印英人の心
膽を寒からしめてゐる

最近インド民衆による英人虐殺乃至
暴行事件は相次いで勃發し、インド
人暴動に對して機銃掃射を浴びせた
軍用機が一村落に不時着せる際激昂
するインド人農民は英人搭乗者に對
し暴行を加へ、更にこれを救出せん
として軍用自動車で現場に急行した
英將校一名並に英兵四名はこれら農
民によつて虐殺された、また他の地
方では新飛行場建設準備中の英將校
二名が殺害され、聯合州もここ數日
間に數人の英人將校が殺害されてゐ
る

警官隊を襲撃

リスボン 【九・三】當地へ達した情報
によれば廿三日夕刻ボンベイ市ダ
ムル區で多數のインド人學生が反英
示威を行ひ、之を阻止せんとした警
官隊と衝突、警官隊は二度にわたリ
發砲、漸く學生團を四散せしめた
ところ今度は激昂した一般民衆が警
隊を襲撃更にバス、電車その他の交
通機關を停止せしめ又街路ではネク

タイ、ワイシャツ、洋服等を蒐めて
衆人環視の中で焼き捨てるといふ騒
ぎを演じた、更に廿五日アームダバ
ットでは一團の民衆が學校の屋上に
會議派の旗である三色旗を掲げんと
して警官隊と衝突、民衆が投石すれ
ば警官隊は威嚇發砲を以てこれに應
じ多數の檢束者を出したなほ他の情
報によればインドとアフガニスタン
の國境のワリジスタンでは英軍の一
堡壘が山嶽住民の襲撃を受け英人守
備兵三十名のうち一部は殺され他は
拉致され同時に機銃四挺小銃その他
の武器多數も奪はれたといはれる

ベルリン 【九・三】DNB通信社の報
道によれば廿五日ボンベイ市の英警
官は英國製のネクタイ帽子等を街路
上に積み上げて大焚火をなし反英氣
勢をあげてゐたインド學生に對し二
回にわたリ發砲し四十名の學生がイ
ンドの民族歌を唱つたため閉鎖を命
ぜられ警官隊は自動車で絶えず市中
を巡視してゐる、アームダバットの
學校では會議派の旗を掲げんとした
者が警官に襲撃され、又民衆デモの
一隊が警察署を襲撃したのに對し警
官は拳銃を發射したバリアプール
では再度爆彈事件が勃發しカルカッタ
では電話線が市内數ヶ所切断され
たコヒルバツチ及びマドラス地方で
は有力な會議派人物が逮捕されたた
め激昂した民衆が警察署を襲撃して
警官隊との間に大衝突を惹起し警官
隊はこれに發砲、多數の死傷者を出
した、アリアガリの停車場では獨立示
威運動の一群が仕掛けた爆彈の爆發
で死者二名、負傷者二名を出した

英歩哨に發砲命令
リスボン 【九・三】ニューデリー來電
によればインドの擾亂はなほ熄まず
ボンベイ州では引續き學生による示
威が行はれてをり又廿八日英官憲は
會議派議員三名を含む、アツサム州
會議派議員十五名を逮捕したと傳へられ
る、一方マドラス州の政廳資産の所
在地廿五個所に配置されてゐる英軍
歩哨は晝夜の別なく誰何に應じない
ものに對しては發砲するやう命令さ
れてゐる、マドラス州政廳はこれが
發令に當り右はインド政廳の特別權
限法令に基くもので、歩哨の誰何は
直ちに軍事的警告を意味し、これを
無視すれば歩哨に發砲する權力を與
へることになつた旨一般に警告を發
してゐる

インド騷擾熄まず

リスボン 【九・三】ニューデリー來
電に依れば廿八日のインド各地騷擾
狀況は次の如くである
△ラクノウ 映畫館の前で爆彈が炸
裂し死者一名、負傷者數名を出した
△マドラス 英官憲は國民會議派委
員會の書記長を逮捕した
△カルカッタ 英官憲は多數の家庭
を搜索し八名の反英運動指導者を逮
捕した、市街は警官と軍隊に依り警
邏されてゐる
△ベンゴール州 示威運動者の一隊
は一停車場を襲撃せんとしてその内
十四人が逮捕された
△ビハール州 英官憲は一警察署に
押しかけ示威運動を行はんとした二
百名より成る群衆に發砲、死者二名
を生ぜしめると共に十五名を逮捕し

米 歐

二十八日をもつて日獨伊三國同盟條約は二周年を迎へた。この日三國に於ては夫々記念祝賀會が催され、樞軸の固い結末を中外に誇示したが、リッペンントロップ獨外相、チアノ伊外相は共に演説を行ひ、同盟の光輝ある二年間を回顧しつつ、そのゆるがざる團結の力をもつて、新秩序建設の目的貫徹の爲、あく迄も戦ひ抜かんとする決意を強調した。

激烈を極めたスターリンググラー下攻防戦も漸く大詰に近付かんとする時、ヒットラー總統は三十日、冬期救済事業開始式に臨み、本年度に於ける獨軍の赫々たる戦果を讃へ、最後の勝利は樞軸側に在ることを強調すると共に、銃後國民に一層の努力を要請した重要演説を行つた。訪ソ中のウイスキーを待つてゐたものは、「五十人」もの口からする第二戦線の行方に対する質問と、國民の英米に對する強い憤懣のみで、例によつて誇大な武器生産數字で云ひ譯と慰藉をしようとした彼の企圖はまんまと失敗に終つて、ソ聯を去らざるを得なかつた。

アメリカのインフレーションは論議をよそに着實な足どりで進行してゐるが、ルーズヴェルト大統領提出のインフレ抑制案は、二十三日の下院で、農村議員團に依る大修正を附されて通過した。原案を殆んど骨抜きにする修正案に驚いた大統領の必死の工作によつて、三十日の上院では漸く妥協が成り、修正案の修正が行はれたが、この分では、インフレーションの抑壓も前途尙遠いことであらう。

アメリカの南米諸國に對する、反樞軸陣營引込工作は執拗に續けられさきに參戰をみたブラジルは今や完全にアメリカの兵器廠化せんとしてゐるが、毅然たる中立態度を堅持してゐたアルデニエンチンに於ても、二十九日の下院は遂に對樞軸斷交案を可決するに至つた。但し斷交案は上院には回附されず政府は之を擧り潰すらしいと傳へられるから、之をもつて直に同國の中立放棄を意味するとは云へない。(中)

ドイツ

羅國副首相、ヒ總統と會見

ベルリン【九二四】ルーマニア副首相ミハイ・アントネスコ氏は廿二日東部戦線にリッペンントロップ外相の本營を訪問懇談のち廿三日ヒットラー總統の本營を訪ひリッペンントロップ外相列席の下にヒ總統と懇談した。會談の内容に關しては、「兩國に關係する凡ゆる問題につき友好的雰囲気のうち會談した」との簡単な公式發表がなされたほかドイツ當局では全然言明を避けてゐるが消息通は豫て懸案のハンガリーとの領土問題が重要議題の一つであることは疑ひないといひ、ハンガリーに對しては過般リッペンントロップ外相がブダペスト訪問の際ホルテイ攝政その他と懇談してゐるので今度ルーマニア側の要人を招いて同様協議を行ひ領土問題を繞る兩國間の微妙な關係を協調的に解決し根本的解決を戦後に譲るやう再度勸告したのではないかとみられてゐる。

天皇陛下に親電

ベルリン【九二六】三國條約締結二周年記念日に當りヒットラー總統は二十七日天皇陛下に對し奉り慶祝の親電を發した。

外相メツセーデ

ベルリン【九二六】リッペンントロップ外相は三國同盟條約締結二周年を記念して廿六日夜要旨次の如きメツセーデを放送した。

二年前の一九四〇年九月廿七日ベルリンの總統官邸に於て日獨伊の三國同盟條約が締結された、右條約締結の二周年記念日の前夜に當り余はドイツ國民とドイツ政府の名に於て該條約に依り我等と結合してゐる國民及びその政府に對し敬意を表するものである、三國同盟條約が署名された當時の我々の目的は歐洲戰爭が世界戰爭に發展することを防止すると共に平和の回復を促進し且つ正義に基く新世界秩序の建設のために道を切り拓くことであつた、然るに三國同盟條約締結國家の敵は我々とは全然異つた野望を抱いてゐたのである、利己主義と貪慾にひきづられてゐる彼等は我々青年國家の當然の權利たる生活圈建設の權利、世界資源參加の權利を拒否すると共に我々の生存權を無視したのである、過去二年間陸海空軍武官を初め、獨側からカイテラ幕僚長ディートリッヒ新聞長官ヴァイスエック外務次官を始め要人多数出席、和氣霽々裡に懇談を重ねたが、席上リッペンントロップ外相は二周年を記念する重要演説を行つた。

▲外相演説 ベルリン【九二七】リッペンントロップ獨外相の演説詳報左の通り

外相重要演説

ベルリン【九二七】三國條約締結二周年記念日に當りリッペンントロップ獨外相は廿七日午後六時からホテル・カイザーホフに記念のレセプションを催し外交團から大島大使、アルフ・イェリイタリヤ大使以下ハンガリー、ルーマニア、クロアチヤ、スロバキヤ、ブルガリア等調印各國公使及び陸海空軍武官を初め、獨側からカイテラ幕僚長ディートリッヒ新聞長官ヴァイスエック外務次官を始め要人多数出席、和氣霽々裡に懇談を重ねたが、席上リッペンントロップ外相は二周年を記念する重要演説を行つた。

▲外相演説 ベルリン【九二七】リッペンントロップ獨外相の演説詳報左の通り

△三國條約 二年前日獨伊三國がベールリンにおいて三國條約に調印した折その目的は米國に對して警告を發するにあつた、ルーズヴェルト大統領と彼を繞るユダヤ人の戰爭屋が米國人の意志に反して民衆を戰爭に追込めんとするならばその結果が如何に深刻なものであるかを知らしめる事にあつた、三國條約の趣意は純然防衛的なものであつた、本條約の目的は歐洲戰爭の擴大を企圖する戰爭屋の策謀を防止し且つ米國の參戰を

防止せんとするにあつた、しかるに
 ルーヴルエルトは右警告を無視し進
 んで公然と戦争に近い各種の手段を
 弄して、一年以上條約締結三國は隠
 忍自重し米國の非友好的な又時と來
 ては挑戰的な行爲に目を蔽つて來た
 のである、今次の大戦はルーヴルエ
 ルト自身が好んで起した戦争である
 大戦を勃發せんと望んだルーヴル
 エルトは故意に日本の名譽を毀損す
 るが如き要求を敢て提示した、日本
 は直ちに反撃に出たのである、米海
 軍兵力は眞珠灣に、英海軍は東亞に
 おいて日本海軍に撃滅された、日獨
 伊三國は三國條約に順應し生
 死の誓約を愈よ固くするに至つてお
 る、三國はその將來と世界新秩序の
 建設が完成する迄は矛を收めざる不
 退轉の決意を固めてゐる、この三國
 とこれに友好を示す同盟國の結合こ
 そは世界最良の國家群を構成するの
 であると言はざるを得ない、この
 結合が如何に強力無比のものである
 かはその後の事態の推移がこれを實
 證してゐる、昨年十二月以來東亞に
 おける我々の盟邦日本は連戰連勝を
 得て廣大なる地域を占領し日本軍は
 今や英帝國の心臓たるインドを脅威
 するまでに威力を加へ得るに至つた
 △獨ソ戰 スターリングラードが陥
 落すれば我々の最も危険な敵は挽回
 し得ざる一大打撃を蒙ることは必至
 である、今年の獨軍並にその同盟軍
 の軍事行動が終止した時それは最悪
 の事態に直面するに至るであらう、
 地域、人力、食糧、軍事基地、並に
 各種原料生産地を喪失したソ聯の地
 位は今日既に昔日の影はない、獨軍
 並に同盟軍は既に百六十萬平方キロ
 口の半數と同地域の重要地點は既に

獨軍の掌中にある、この地域に居住
 する住民九千萬は既にドイツの支配
 下に歸し加ふるに今次戦争で戦傷死
 乃至俘虜となつたソ聯民は千四百萬
 乃至達してゐる、換言すればソ聯は歐
 露全人口の三分の二たる一億以上は歐
 人の數を喪失してゐるのである、ソ聯
 の穀物生産地の三分の二、肉類生産
 の三分の二及び砂糖の生産地の殆ど
 全部は既に獨軍に確保されてゐる、
 加ふるにソ聯は鐵、鑛物、石炭の六
 十乃至七十パーセント又マンガン鐵
 の九十五パーセントを喪失した、か
 らしてソ聯は人的資源、食糧、原料の
 供給の點で困憊の状態にあると言へ
 る、ソ聯石油生産量の約九十パーセ
 ントも既に危殆に瀕してゐる、コー
 カサスの石油をヴォルガ河を通じて
 輸送することは今や不可能となつた
 近代戦においては石油を持たない陸
 軍と空軍は存在し得ない、前述の如
 き大損害を蒙つた國家が自動的に壊
 滅することは自明の理である、米英
 兩國はソ聯に對し援助の手をさし延
 べてゐるが、その眞意はソ聯の犠牲
 を更に大きくせんとするにある、ソ
 聯向けの米英護送船團は獨軍により
 殲滅され又將來も殲滅されるであら
 う、米英兩國の援助の不如意に直面
 したソ聯は兩國に對して第二戰線の
 結成を要求した、この結果が過般の
 デエツツ上陸作戦である、然し獨軍
 はこの様な企圖に對しては萬全の準
 備を整へてゐる、獨軍並に同盟軍の
 現勢力をもつては第二戰線は愚
 か第三、第四、第五戰線の展開も全
 く不可能である事を知るべきであり
 かかる企圖により倒壊するソ聯の抗
 戰力を挽回する事は全く不可能であ
 る

△食糧及び資源 獨軍のウクライナ
 及びドネツ盆地、クバン地區等のソ
 聯穀倉地帯占領によつて歐洲の最大
 問題たる食糧問題は完全に解決し得
 たのである、その上これら食糧を
 ドイツ、イタリアその他全歐大陸各
 國に運ぶべき輸送路の安全は確保さ
 れてゐる、従つて今後歐洲における
 食糧供給状態は年と共に改善されて
 行くものと確信する、更にヴォルガ
 下流に至る全歐並に東亞の全資源を
 獲得した今日においては樞軸三國は
 原料物資についても何等不安なき地
 位に立つてゐるのである、日獨伊の
 軍需工業生産力は量的に敵國に勝つ
 てゐるのみならず、あらゆる點から
 みて質的にも優れてゐるのである、
 また勞働力の點に至つては三國條約
 加盟國が約四億一千五百萬の人口を
 擁してゐるのに對し、米英は僅かに
 一億九千萬の人口中より熟練工を抜
 き出さねばならぬのである、かくみ
 び全世界に亘る最大の一般産業並に
 軍需工業の中心地を掌握した三條約
 國が軍需工業において敵國のそれら
 如何に勝つてゐるかは容易に想像し
 得るところである

△戰略的地位 次に三條約國の戰略
 的地位について述べれば、今日日獨
 伊の陸海空軍は世界各地に於ける攻
 撃不能の軍事根據地を獲得してゐる
 ので、その根據地に自由に出撃し
 敵軍をその陣地から撃退せしめ得る
 有利な地位に立つてゐるのである、
 即ち東部戰線においてはドイツ並に
 その同盟國軍は歐洲からポルシエヴ
 イズムの脅威を抹殺すべく反覆攻撃
 を加ふべく、地中海及びアフリカの獨
 伊軍は英軍に息つく暇も與へぬであ
 らう、西歐方面は北はノルウェーか
 ら南はスペイン國境に至るまでこと
 ごとく要塞化され、これを固める獨
 軍は上陸を企圖せんとする敵軍を片
 つ端しから撃退すべく待機中である

勝利への不動の基礎

獨紙の論調

ベルリン【六三】日獨伊三國條約締
 結二周年記念にあたる廿七日の當
 各紙朝刊は一齊に日獨伊外交換祝
 辭を大々的に掲載、更に歐洲各同盟
 國外相の聲明をも加へて第一面全部
 を埋め、この二年間に於て三國同盟
 の精神が如何に正しく且つ強固なも
 のであるかが實證されたばかりでな
 く、新秩序建設による世界恒久平和
 確立の目的に向ひ盟友三國が軍事、
 政治、經濟の各方面に亘り既に輝か
 しき成果を挙げ前途尙遠と雖へど
 も今や三國の勝利獲得が確實となつ
 た」と強調してゐる、殊に各紙共過
 去一年間における日本の輝かしき戰
 果を詳細に回顧し、これは獨伊及び
 其の同盟國の歐洲、北阿及び大西洋
 における成果と相俟つて最後の勝利
 への不動の基礎を作り上げたもので
 あると述べてゐる

戰爭完遂の決意披露

ヒットラー演説

ベルリン【六三】ドイツの一九四二
 四三年度冬季救濟事業開始式は、三
 十日午後六時からベルリンのスポル
 トパラストに於て黨國の首腦以下黨
 員出席の下に盛大に行はれたが、席
 上ヒットラー總統はドイツ本年度の
 赫々たる戰果を讃へ、更に最後の勝
 利を得る迄戦ひ抜く固き決意を表明
 する重大演説を行つた、席場にはカ
 イテル幕僚長以下軍首腦部も臨席し
 たが、殊にエジプト戰線から歸還し
 たロメル元帥が北阿沙漠戰の軍服に
 身を堅めて現はれるや滿場の喝采を
 浴びた、式は先づゲツペルス宣傳相
 の冬季救濟事業報告によつてはじま
 り宣傳相は來るべき冬季に於てはド
 イツ國民のかはらざる支持によつて
 同様の好成績を収めんことを要請し

▲總統演説 ベルリン【六三】ヒッ
 トラー總統演説詳報左の通り

△大西洋憲章の愚劣
 余が前回の演説から既に一年の歲月
 が経過した「將來の問題について議
 論するのはやめようではないか」と
 の獨軍將士の言葉は余は支持するも
 のである、大西洋憲章の如き協約を
 締結する事は容易なことである、斯
 かる愚劣な協約が數年で失効する事は
 明白であり嚴然たる事實の前にはそ
 の効力を完全に喪失するであらう、
 ルーヴルエルトは嘗て米國民に對し
 「必ず諸君の困苦を除去する」旨
 の確約を行つた、流石は賢明な遺言
 である、然し余をして言はしむれば
 ルーヴルエルトが今次大戦に介入す
 る事を回避して米國の全勞働力を利
 用し、有用な生産を擴充し、更に一
 キロ平方メートルに十人といふ人口
 の稀薄な國に居住する人々の困苦を
 除去し一千三百萬の失業者に職業を
 與へる事が更に容易な事であつた、
 我らは最後の勝利を得るまでは
 敵を完全に撃破する決意をもつてゐ
 る、敵側の發表する所謂「大戦果」
 に比較すれば獨軍の戰果發表は控へ
 目であるといへる、敵は戰闘の殆ど
 全部において勝利を収めたと思つて

をリダンケルクの敗戦の如きは敵にきとつては正に世界戦史に特記すべき最大の勝利であるのだ、彼等は九時間繼續した軍事行動(デネツブ上陸作戦)が勝利國の顯著且つ勇敢な行動であると思はれてゐる、勿論かかる敵側の「勝利」と獨軍の勝利とは比較する事は出来ない、獨軍が一キキロ前進してもこの事實は敵側をして言はしむれば「問題にならぬ」のである、獨軍が更にドン河に到達し、ヴォルガ河に進出してスターリングラードを包圍しても之は「問題でない」のだ、スターリングラードは必ず陥落することを余は確言する、更にコーカサスに進撃し、ウクライナを占領し、ドネツ盆地の石炭産出地を確保しても矢張り「問題にならぬ」のである、我々がソ聯の有する鐵の六十五乃至七十パーセントを掌中に收め更に世界最大の穀倉をドイツに全歐洲に開放しても「問題にならぬ」カナダ軍を主力とし少數の英軍から編成された軍隊がデネツに到着し九時間の後に殲滅されてもそれは「戰勝國の戦力を誇示するも」のであるのだ、獨空軍歩兵部隊、戰車隊、鐵道隊の活躍も彼等をして言はしむれば矢張り「問題にならぬ」ものである、獨潜水艦の活躍もこれと同様である、獨軍はギリシヤを征服し、クレタ島を占領し、英軍を北阿列線で撃破した、しかし「これも問題」にならぬと言ふ、かかる豪語と虚構な言辭の裏に彼等は將來の切札を持つてゐる、即ち第二戰線の展開である

にあり、警戒せよ」と、しかし我々はこの警告を無視して我々の進むべき道を進んで来た、それかといつて我々は第二戰線に對する用意を欠いてゐるわけではない、チャーチルが余に對して「第二戰線の問題を考へてみたまへ」と言へば余は直ちにこれに對して「余は貴族の言明を少しも恐れてゐない、若し貴族が有數な作家であるなら第二戰線展開の場所を慎重に考へて見なければならぬ」と答へよう、尤も軍事的に愚劣な人間のやる作戦を豫想する事は出来ぬ、全然豫期されぬ狂人的な作戦を實行するかも知れないのだ、しかしチャーチルが如何なる場所を選んで第二戰線を展開しても大勢に影響はない、上陸軍が九時間以上陸地に留ることが出来れば僅僚であらう

△對ソ戰 余の見るところでは一九四二年はドイツ國民にとつて最も苛酷な年である、特に昨年から今年にわたる冬季は苛酷であつた、しかしこの期間は既に過ぎた、これ以上の惡條件は將來出現することはないであらう、我々は各將軍に打ち勝つたのである、獨軍はその陣地を確立し今夏早々作戦を再開する事が出来たが、これは神の攝理がドイツ國民と共にある證左にほかならない、獨軍の今年の作戦は

一、必要地點はこれを確保する
 二、必要な地點に對しては斷乎攻撃を加へる
 三、可及的速かに油田を占據すること
 四、最後に殘された廣大な小麥生産地を奪取すること
 五、最後に殘された廣大な小麥生産地を奪取すること

完全に達成せられた、右兩作戦を終つたのち獨軍はヴォルコフ戰線に移動、同戰線の敵を殲滅すると共に多數の俘虜を得た、次期作戦はドン河強行渡河に對する準備であつた、當時敵はハリコフ地區の撃破を目標として執拗な攻撃を企圖したが激戰三回のち總數七十五個師團は潰滅するといふ大損害を蒙つた、次いで獨軍は一大攻撃に移つた、本攻勢の目的は

△第二戰線 米英は第二戰線の結成を呼號してゐる、彼等は言ふ「第二戰線展開は近

半島並にセバストポリの戦争によつ

て完全には達成せられた、右兩作戦を終つたのち獨軍はヴォルコフ戰線に移動、同戰線の敵を殲滅すると共に多數の俘虜を得た、次期作戦はドン河強行渡河に對する準備であつた、當時敵はハリコフ地區の撃破を目標として執拗な攻撃を企圖したが激戰三回のち總數七十五個師團は潰滅するといふ大損害を蒙つた、次いで獨軍は一大攻撃に移つた、本攻勢の目的は

一、最後に殘された廣大な小麥生産地を奪取すること
 二、最後に殘された廣大な小麥生産地を奪取すること

食糧と重要原料を確保するためにほかならない、右計畫の第一歩として獨軍は既に交通路を戦前の状態に回復した、數萬キロの鐵道は今や完全に修理を終つてゐる、數千の橋梁は新たに建設され新しい道路は開通した、余は全ドイツ國民が獨軍司令部の作戦に無限の信頼を寄せてゐることを承知してゐる、東方地域における各種の施設は來年度に至り著しく改善されるであらう、我々は同地域に我々の産業基地を建設するであらう、而して同地域に居住する住民をソ聯の支配から離脱せしめることが必要である、これ等の住民の恐怖が如何に深刻であり生活状態が如何に悲惨であるかは全く想像の外であるソ聯政權に對する恐怖は數百萬の人の心に充満してゐる、我々は北部西部、否全地域にわたつて歐洲を防御してゐる、ドイツと共同してこの防衛戦に勇戦してゐるルーニア、ハンガリー、クロアチア、スロヴァキア、フィンランドその他の國家を考へるとき我々は今次の對ソ戰こそソ聯に對する歐洲諸國の十字軍であると聲明出来るのである

△日本の參戰 余が昨年この壇上で演説して以來、日本が戦争に参加した(大喝采)日本軍は香港、シンガポールを陥れ、更に比島、ジャワ、スマトラをもその掌中に收めた、今日我々は全世界にわたる同盟を結成しつつある、而してこの同盟はただ「持たざる國」のみでなく名譽と品性とのために戦ひ、未だ會て見ざる野卑且つ卑劣な國家結合をこの世界から除去せんと決意したあらゆる國々によつて結成

されつつあるのである

△新武器の登場 常に生産を改善し、就中新銳武器の製造に努力してゐるのは敵方ではなかり、我々も、現在まで我々は毎年敵の持つ新武器よりも遙かに優秀な武器を持つて戰場に臨んだ、これは將來においても同様であらう

△チャーチルに警告 我々の敵は第二戰線展開のほかに對獨攻撃の他の戦法を發見したと思つてゐる、即ち無幸の民に對する爆撃を最初に發明したその人物がドイツに對する空爆を更に一層熾烈化するであらうと聲明したのである、一九四〇年五月チャーチルがドイツの一般市民に對して最初の爆撃機を送つたとき、余は彼に警告を發したが、何等の効果がなかつた、そこで我々は英國に徹底的な爆撃を加へたのである。そこでチャーチルは突然尻ごみをはじめ「空爆は野蠻である」と云ひだした、然るに今日そのチャーチルが再び空爆の指揮をとつてゐるのである、余はこの際一言してをく「即ち「我々が爆撃の返禮を申上げる時」がやがてまた來るであらう」と

△新社會の誕生 一九三九年十二月一日余は當時のドイツ國會において「今度の世界戦争を挑發した張本人はユダヤ人であり彼等はこれによつて歐洲の諸國民を根絶せんとしてゐるのであるが根絶されるのは彼等自身であらう」との演説を行つた、我々の將士はその前線において勇敢な戦を續けつつあるが統後國民はこの前線のドイツ將士に對して限りなき感謝を捧げなければならぬ、而してこの感謝は單にドイツ將兵のみでなく、我々の側に立

つて戦つてゐるあらゆる國の將士にも寄せらるべきである、現在の闘争は恐らく我々の歴史上最も激烈なものであらうが、この闘争のうちから國家團結の偉大なる喜びが生れて來よう、悲しみにおいて又喜びにおいて固く結びつきあふ友愛の情こそ戦争が生み出した大きな利益である、これこそ我が黨が平和時において常に達成せんとしつゝてゐた所であり即ち我々は第一次大戦の経験によつてこの國家結合を達成せんとしたのである、これは今や漸くにして實を結ばんとしてゐる、古き世界は葬り去られ偏見嫉妬なきよき社會が必ずやこの戦争から生れ出るであらう

余はこの機會に銃後戦線の業績を讃へた、ドイツの勞働者達は實に素晴らしい成果を挙げ一方一般國民も亦完全にその義務を果した、即ち余は銃後の國民に對しては東西南北いづれの前線においてもドイツ軍は巖の如く搖ぎなき不敗の態勢にあることを告げることが出来ると共に前線のドイツ將士に對しても亦銃後國民は完全に結束の下に國土を守つてゐると告げることが出来るのである、週を追ひ月を追つてあらゆる生活の分野における我が國民のよき分子は次第に結合されて鎗壁の社會に成長しつゝある、この團結社會こそ再び來るべき偉大なる冬季救済事業においてその偉力を發揮しよう、余はこれ以前線の將士並に或は武器工場において或は農場において獸身的な努力をなしてゐる産業戰士になり代つて余はこの際一言斷つておきたい、この團結の仕事は妨害せんとする者に

△前線、銃後の結束

は容赦なき鎗槌が下されるであらう

△戦勝は樞軸側に
我々は斷じて降服するものではない
我々の敵はその能力の許す限り戦争を繼續するであらう、我々はこれに對して彼等を打倒するため必要な凡ゆる方法を講ずるものである、敵が我々を撃破することは不可能であるドイツ國及びその同盟國は戦勝の榮光に輝く若き國家としての名譽を獲得するであらう

總統演説の意義

ベルリン【一九二〇】ヒットラー總統の演説は四月廿六日の國會以來五ヶ月振りのものであつたが、ドイツ國民が直接に總統の口から戦局の現状の將來に就いて明確な言明を得たがつてゐた際に對して國民に對しては特に非常な感銘と安心を與へた、戦争が長期化するに伴ひ種々の流言が流布されてゐることはゲッペルス宣傳相自身開會の演説で述べてゐる通りであるが、殊に本年度の戦局の様

に對しては徹底させ充分理解せしめる民の間に必要なる事であつた、總統はかかる情勢に應じ先づ今年度の對ソ作戰の目標は北中部では専ら守勢を採り、南部戦線では徹底的攻勢に出でソ聯の戦力を弱らせることにあり、その目的の大半は既に充分に達した、かくて所期の作戦は計畫通り進行し、歐洲新秩序が豫定通り確立され勝利の見込はいよいよ確實になつたと確言し、國民に對し非常な安堵を與へた、昨年十月三日の冬期救済發會式で發表したやうな戦果の具體的數字は今回は全然示されなかつた、これは既に數日前リッペントロッツ外相が詳細に發表し内外に對し非常な感銘を與へたので今回はこれを引用することを避けたものであらう、而して將來の作戦目標については全然言明を避けてゐるが、ただ英の獨國內爆撃に對しては必ず報復すると應酬したことは獨國民の氣持に譬つたり應へるもので、總統の作戦指導に一層の信頼を深めたことは疑ひない、次に目立つて感ぜられたことは銃後と戦線との協力及び國內の勞働強化を示唆したことである殊に新秩序を確立しながらこの儘敵を土俵際に押しつゝめ、歐洲を戦勝に導くためには獨の産業力を完全に運用し充分な戦力の維持を計らなければならぬが、かうした見地から國民に現在以上勞働力を強化する必要があることを示唆したのは注目するべきであらう、何れにしても今回の演説は全體としては新しい事實や言明は見られないが、國民をして戦争の困難を充分自覺させ長期戦に備へる國民の協力を促進する上に對からぬ効果を與へたことは疑ひないところである

總統將校を激勵

ベルリン【一九二〇】ヒットラー總統は廿八日突如ベルリンに歸還し、シムボルトパラストに參集した陸海空軍及び親衛隊の青年將校士官候補生一萬二千に對し激勵の演説を行つた、右將校等は何れも戦線へ赴くもので、ヒットラー總統はドイツの歴史を説いて現下の存亡に關する大戦争に及び將校の任務重大な所以を強調した

在獨印、同獨立大會

ベルリン【一九二〇】在獨インド人、アラビア人等は東亞の同志と相呼應して活潑な反英獨立運動を續けてゐるが、ベルリン回教協會は廿二日ベルリン飛行會館でインド、アラビア、獨逸大會を開催、前イラク首相ガイアヤン、在歐インド獨立運動の指導者チヤンドラ・ボース兩巨頭の外我が大島大使、呂宜文滿洲國公使、獨伊當頭から日、獨、伊三國と協力してその局その他約二百名の關係者出席兩巨頭の獨立に邁進する旨の熱辯があつた次で大會は兩民族の提携強化を強調した決議を採擇し大いに反英獨立の氣勢を擧げた

日本潜水艦を送る

ベルリン【一九二〇】獨海軍基地に寄港して歴史的交流を行ひ樞軸海軍のたぬ萬丈の氣を吐いた日本潜水艦は再び新作戦に向つて出動したが、この歴史的な出撃を送つたDNB前線記者は廿九日、その日の模様を次のごとく傳へてゐる

勞働力補給解決

ベルリン【一九二〇】獨勞働力補給問題は歐洲新秩序建設成否の鍵を握るものとして注目的になつてゐるが勞働力統制官ザウケル氏は廿四日國際記者團に對し獨の勞働力補給問題は既に完全に解決されたとの次のやうに言明した

我が基地を訪問した日本の無名の英雄達が再びその壯途についた印象的の國民の間に交された心からの離別の情を決して忘れる日はないであらうこれら英雄達の成し遂げた壯舉が如何に偉大であり重要であるかは、地球儀を一睨すればわかるのである、而も彼等は既に往の大業を誇らず、今再び雲煙萬里の彼方へと新作戦のため出航せんとしてゐるのだ、この送別にあつたドイツ國民の抱く氣持を象徴するかのやうに日本潜水艦の小塔はドイツの花で埋れてゐる、見よ、その色とりどりの花に飾られた塔頂にはたたく軍艦旗を、誰かこの風景を見て萬感の胸にあふれない者があらうか、この日壯途に就く日本潜水艦を見送るため埠頭を埋めつゝしたドイツ官民は定刻に近づくに従つて一種の深い沈黙のうちに感情を抑へてゐる、ヤグがドイツ潜水艦隊司令長官デーニツツ大將はドイツ海軍を代表して日本潜水艦乗組將士の前途を祝福すれば日本海軍代表はこれに感謝の意を表した、かくて定刻埠頭を埋める獨潜水艦乗組員達の叫ぶ、「萬歳」聲裡に艦は靜かに埠頭を離れて行く、何時からとなく、誰からとなく、靜かに力強く、ドイツ國歌の齊唱が海の内へ、そして遠い盟邦へまでとどけと流れて行く

余が昨年冬勞働力調整の大任を引き受けた時には事態は容易ならぬものがあると感じたが、幸にして現在では勞働力補給問題は完全に解決されこれからは今後年戦争が續いても勞働力にはこと欠かぬと云ふ状態になつた、今年七月現在の全獨農業勞働者数は戦前の一九三八年を凌駕し收穫も非常に好成績である、戦争第四年目にパンと肉の割當を増加することは食糧問題の安全が確保されたことを實證するものであらう、又軍需工業について見てもこれまでの如何

なる大戦間に對しても充分に武器彈藥を供給して來たが、將來共その補給は充分に確保されてゐる、殊にソ聯捕虜その他の勞働者が獨に於て働くことを歓迎し大いに勞働能力を發揮してゐるが、これが勞働者補給の助けになつてゐることは喜ぶべきことである

戰時運輸改善

ベルリン【九三】

△鐵道運輸の合理化 運輸の増進はドイツの戰時經濟遂行上勞働力の動員とならんで最も困難な而も最も重要な問題である、ドイツ經濟當局は一般經濟の合理化と歩調を合せて、運輸の合理化能率増進につとめてゐる、旅客輸送では列車數の整理廢合、食堂車全廢の外最近では寢臺の利用を公職上必要あるものに限ることとした、貨物輸送に當つては戰時不急品の輸送制限占領下各地の貨車動員に加へ六月以來輸送能率増進に關する總括的な報告に基き各關係當局により種々の措置が講ぜられてゐる例へば鐵道貨物の荷扱ひ期限の短縮期間嚴守義務の強化が行はれ、企業經營者は取扱ひ貨物を一週間に適宜按配してをり、また運輸のため主として捕虜勞働力を利用して輸送貨物積卸し部隊が各地に設けられた

△中央交通統制委員會の設置 九月初めからは使用済貨車を期限前に返却した荷扱者に對して獎勵金を交付することとし貨車繰りを良くしました戰時中貨車の積載貨物噸數を規定能力以上一定限度まで増加することにもした、一方國有鐵道では鐵道による物資輸送を計画的に進めるため主要經濟部門から代表者を加へてペルリ

ンに中央交通統制委員會を設置した最近經濟省から出た貨物輸送機關の負擔輕減に關する報告は輸送能率増進に一般經濟界の積極的な協力を要請したものと見て注目される、此布告は經濟統制の任に當る各機關に對し發せられこれ等の機關が交通機關の合理的な利用と一致させて生産及び消費の統制を計るため出來得る限りの處置を講ずることを要求し同時に一般企業經營者もこれを助けて交通機關の負擔輕減に努めることを希望したものである

△運輸増進の具體的措置 一般經濟界がそのために實行する措置は多岐に亘つてゐるが、右の報告に擧げられてゐる中から主なもの拾ふと次の通りである

- (一)商品の供給と仕入れ關係を合理的に變更し交通機關の負擔輕減を計る
- (二)一定の商品について仕入先の範圍を地域的に限定する
- (三)商品賣買者に對して一定の交通機關を利用する義務を課する
- (四)原料の配給、企業經營の生産の對象或は註文契約の配分を交通機關の合理的な利用を考へて定める
- (五)交通機關の負擔輕減を計る目的から一部經營の操業停止或は逆に操業復活を行ふ
- (六)生産品の規格統一と整理を行ひ供給される商品の代替性を多くし、物資輸送の必要を出來るだけ少くす
- (七)原材料、機械等の利用について出來るだけ輸送力の多い所からのものを利用する
- (八)一定量の物資の貯蔵を心掛けないの運輸困難に備へる

△物資供給地域の分割 ドイツ經濟當局が一般經濟界の協力に基き交通機關の負擔輕減に最も重點を置いてゐるのは結局國內の生産と消費を地域的に出來るだけ合理的に組立てふ必要な物資の輸送を減らすといふ點である、この様な方針は既に戰前から部分的に實施され、例へば牛乳バターパンその他食糧消費地を中心として一定の供給地域を定め遠距離の輸送を避けて來た、戰爭以來既にピエルの消費地内輸送は原則として最長百キロ以内に限られ、また目下煙草については全國に亘り、供給地域の分割が行はれてをり、十一月には實施の運びに至るものとみられてゐるその他木材に關しても近く數量品質の兩方面から仕入先の地理的な調整が行はれる模様である、更にコークスについては西部及び東部の兩生産者間に供給地域の協定が出來てをり、セメント工場を新設してゐるのも一面では交通機關の負擔輕減を計るものとして注目されよう



三國條約二周年外相メツセーヂ

ローマ【九三】

日獨伊三國條約調印二周年記念日に際しチアノ伊外相は十六日夜ラヂオを通じて左の如きメツセーヂを放送した

三國が勇戰奮闘して理想の實現に邁進しつゝある事實を確認する、三國條約は單なる外交的打算から生れ出たものでもなくまた一時的唯物的必要から生れ出たものでもない、それは日獨伊國民が三國共通の使命、共通の重要性を深く認識した事から生ずるに至つたものである、過去數年人間類更生の眞實の力は日獨伊三國に依つて顯現せられるに至り三國は團結して生存權の確保、世界新秩序の創造、維持、共榮の増進等共通目的に向つて正義の争闘を行つて來た、これこそ三國條約の精神に外ならぬ、爾來三國條約はブルガリア、ハンガリー、ルーマニア、スロヴァキヤ、クロアチヤ等の盟邦を加へ、その勢力圏は擴大進展した、今日我々は三國條約の精神の下に、正義に基き世界新秩序及び平和を創造し國民の要望に應へんとし酷しい闘争を行つてゐる、これこそ我々國民指導者が常に抱懐してゐる理想なのである、此の理想に基き三國の軍隊、及び傑出した人物が必ずや歐洲否世界に名譽ある平和と正義を實現する事を確信するものである

▲外相主催記念會 ローマ【九三】 三國同盟條約締結二周年記念日に當りチアノ伊外相は廿七日夜調印各國大使並に陸海軍武官を招いて記念レセプションを開催した、日本側からは堀切大使、加藤陸軍武官、阿部海軍武官等が、ドイツ側からはマツケンゼン大使等が出席した、席上チアノ外相は三國同盟の意義を強調、要旨次の如き演説を行つた

三國同盟條約は歴史的情勢と共通利害並に共通理想の表象である、最近數年間於て三國同盟締結諸國家は各自が二つの問題に當面してゐることを發見した

即ち第一には各國が富豪國家に依り室息されんとしてゐること、第二はルシエヴィストの脅威が即ちこれである、文明の傳統を保持しまた子孫のための仕事と國民のための地域を保障せんがため、更には締盟各國の政治的宗教的傳統と國內諸制度を防禦せんがために、今日、日獨伊三國は大西洋の端から太平洋の端に至るまで全世界に亘つて血を以て勝利の裡に大攻勢を展開してゐるのである

米特使歸國

羅馬【九三】

米大統領ルーズヴェルトの遣ローマ法王謁見使マイロン・テラーは二十七日ヴァチカン市を出發、歸國することに應へり二十六日法王ピオ十二世に謁見、訣別の挨拶を行つた

▲法王訪問目的 ベルリン【九三】 法王謁見の目的は、テラーの訪問はスイスその他の中立筋では多少注目を惹いてゐるが獨側では次の如く一笑に附してゐる

テラーの法王訪問の第一の目的は今年秋の議會選舉に際し米國內のカトリック教徒の投票を獲得する爲大統領が法王と協力してゐる様な印象與へんとした事である

第二はテラーが久しく不在で種々事務上の要件を處理する必要があること、米國の新大僧正の任命等は一つの現はれである、なほ第三は恐らく法王を説服して大西洋會談の英米和平案に同意せんとした事であらうが、併しこれに依り和平のさぐりを入れんとしても全然無意味

である、ドイツは勝利を確保するま
では絶對に和平を口にしない

汪政權と事務的聯絡

ローマ【九・三】ヴァチカン筋より得
た情報によればヴァチカン當局では
中國に於けるカンリツク教徒の大部
分が南京國民政府の勢力下に在る實
情に鑑み同政府と事務的接觸を保つ
必要を認め目下その準備を進めてあ
る模様である。而して事實上この事
務的接觸に當るは北京に駐在する
駐華ヴァチカン代表ザニン師又はそ
の麾下の教職者と見られるが、ヴァ
チカン當局としては公式には重慶の
政權と外交關係を保つてゐるため、
汪政權に對して充分の好意を持つて
はゐるが南京國民政府を承認し得ぬ
苦しい立場にある。

然しヴァチカン當局が重慶と外交關
係を維持してゐることが汪政權下に
あるカンリツク教徒の立場を困難な
らしめる恐れあるため汪政權と事務
的聯絡をつけようといふ譯である、
従つて之を以て直ちに南京政府承認
の第一歩とするのは早計であるが
日本及び日本の東亞共榮圈建設に積
極的好意を有してゐる法王應特に法
王ピオ十二世が右の便法に依つて東
亞新秩序に聯絡をつけて置かうとす
る熱意は充分にうかがはれる所であ
る。

フランス

ヴィシー外交界活況

ヴィシー【九・三】ラヴァル首相は二
十一日我が三谷大使をはじめ米代理

大使タツク、イタリア總領事ツオツ
ビ伯、ハンガリー公使ベツセネイ男
と順次會談、終日多忙を極めた、こ
れに先立ち同首相は週末の十九日ド
イツ代表クルーグ・フォン・ニツダ
總領事と長時間にわたり會談してを
りヴィシー外交界が頗る多事を告げ
つつあるとの印象が深い、ラヴァル
首相折衝の内容について唯一つ判明
してゐるのは、さきに同首相が十八
歳乃至五十歳のフランス労働者徵用
及びフランス労働力による對獨援助
の方針を決定したのに對し、米國政
府が反對を表明し、その他事毎にフ
ランスの現實即應政策に干渉しつづ
あることである最近米英兩國の對佛
國民煽動工作は益々露骨となり、十
九日及び廿日パリにおける爆彈事件
その他の騷擾事件なるものを採り上
げ事實の有無を問はず惡質宣傳の具
に供してゐるがラヴァル首相は米國
の壓迫に拘らず斷乎既定方針を堅持
すべく諸外國代表と多角的に接觸し
てその態度を闡明したものとみられ
る。

獨佛労働者供給協定成立

ヴィシー【九・三】ポール・マリオン
佛情報長官はかねてラヴァル首相と
ナチス黨支部長ザウケル氏との間に
折衝中であつたドイツにおける佛勞
働者雇傭問題は圓滿な妥結を見た旨
二十四日發表した

▲ヴィシー【九・三】フランス労働者
の對獨供給協定は佛首相ラヴァール
氏及ドイツ側代表ザウケル氏の手で
調印を了した

在獨フランス熟練工待遇 に関する新令

ヴィシー【九・三】ヴィシー政府は廿
七日政府令を發してドイツの労働戰
線に働くフランス熟練工獲得に關す
るラヴァル首相の意圖を明らかにし
た、これに依ると自發的にドイツに
赴く佛労働者に對してはフランスで
得得る賃銀の半額に相當する金額
を更に特別給與として本國に殘留す
る、家族に支給し右資金には賠償金
の一部を當てる筈である、但しこれ
は飽迄自發的にドイツに向ふ熟練工
に限られてゐる

プノア・メシヤン辭職

ヴィシー【九・三】政府主席附國務長
官ジャツク・プノア・メシヤン氏は
辭職した旨廿七日公表された、プノ
ア・メシヤン氏はラヴァル内閣にお
ける「知獨派」と見られてゐる人で
あるが、最近ラヴァル首相と所見を
異にしたため辭職するに至つたもの
と見られる

占領地の米國籍者を逮捕

リスボン【九・三】ヴィシー情報によ
れば佛占領地帯に居住する米國籍者
約千六百名は獨軍政當局により治安
維持の必要上逮捕されたといはれる
逮捕米人の大部分は結婚乃至出生地
の關係で佛市民権を併有する二重國
籍人である

スペイン

内外根本策を確定

ベルリン【九・三】トランス・オツエ
アン通信マドリッド來電によればス
ペイン政府は過去數日間わたり連

日開議を開催して内外情勢を検討す
るとともに現下の情勢に對應すべき
國策の審議を行つたが廿二日開議決
定に基き政府の政策根本方針に關し
て左の如く發表した
一、九月十七日から廿一日迄フラン
コ總領首唱の下に開議を開催し、國
際關係ならびに國內政策に關聯する
一般情勢を慎重に検討した
一、外交政策に關し政府は過去六ヶ
年にわたつて堅持し來つた態度を確
認した、これはスペイン内亂の目的
スペイン青少年の反共精神、歐洲新
秩序の要望に合致するとともにスベ
インのポルトガルに對する緊密な友
好關係並にスペインの米洲諸國との
歴史的一體性に基くものである
一、軍事的には政府はスペインの戰
備を強化擴充する方策を確認した
一、國內政策に關しては政府は最近
の事態發展に鑑み全スペイン民族の
精神的統一を保持し國民をして國法
と當局の權威とを尊重し最も嚴格な
規律を守らしめ國內不安もしくは
分裂を助成せんとするが如き企圖を
未然に防ぎ國家の權力と尊嚴性を害
はんとする如き謀略行爲を嚴重に取
締る決心である

テラー、マドリッド着

マドリッド【九・元】米大統領ルーズ
ヴェルトの法王應特派使節マイロン
・テラーは歸米の途廿九日マドリ
ッドに到着した

バルカン諸國

ドナウ航行協定成立

ウィーン【九・元】ドナウ河航行に關
する諸問題審議のためウィーンで開
催中の關係諸國共同委員會は二十九
日第五次會議終了後「參加各國は友
好的な協力精神に基き審議を進めた
結果、完全なる諒解に到達した」旨
發表された會議參加國は獨、伊、プ
ラ、スロヴァ、クロアチア、ルーマ
ニア、スロヴァ、ハンガリーの諸
國で、ドイツ代表が議長をつとめた

陸相更迭

ヴィシー【九・元】プタバス
ト來電によればハンガリー
陸相ハルタ將軍は二十四日辭職、後
任としてコロシニヴァイル軍管區司
令官ウイール・ナジ大將が任命された

ソ聯

ウイルク、スターリンと 會談

▲モロトフと會談 モスクワ【九・
三】ウイルクは廿三日スターリン
首相と會見、ルーズヴェルトの親書
を手交したのも約二時間にわたつて
懇談した、右會見にはモロトフ外務
人民委員も同席した

▲訪ソ失敗 リスボン【九・三】モス
クワより當地に達した情報に依れば
米大統領特使ウイルクは二十三日
スターリン首相と會見後新聞記者と
の會見において左の如く談話を發表

したが、特にその中で従来の型を破つて「スターリン首相と隔意なき懇談を遂げた」といふ様な外交辭令を一切使はなかつた點は、スターリンとの會談がうまくゆかなかつたことを裏書きするものでモスクワからの英米の新聞報道もウイスキーのソ聯訪問が事實上失敗に終つたことを示唆してゐるのは注目し得る

ウイスキー援ソを泣訴

モスクワ【九・三】米大統領特使ウイスキーは廿六日モスクワを出發重慶に向ふにあつて第二戦線問題とソ聯の窮狀に關し大要次の如き聲明を行つた

「赤い星」市防衛の重要性 強調

リスボン【九・三】モスクワ來電によれば赤軍機關紙「赤い星」は廿八日スターリングラード市ならびにコーカサス死守の重大意義を強調次の如く論じてゐる

南部戦線の赤軍は昨年モスクワを防衛した赤軍と比肩し得べき極度に重要な任務を課せられてゐる。即ちス

手出来ないやうな窮狀にある、しかしそれにも拘らずソ聯民衆は悲壯にもこの慘狀を克服して勝利を選ぼうとする決意を固めてゐるのであり、ソ聯政府は余の知らんと欲することは何でも調査する便宜を與へてくれ

對芬講和説否定

リスボン【九・三】モスクワ來電、ソ聯フィンランド兩政府の單獨講和説を繞り各方面で種々取沙汰されてゐる折柄ソ聯政府は廿四日特別發表をもつて右は單なる風説に過ぎず事實無根である旨正式に否定した

ド・ゴール政權承認

リスボン【九・三】ロンドン來電によればソ聯政府及び在ロンドンド・ゴール政權は廿七日共同コミュニケをもつてソ聯のド・ゴール政權正式承認を發表した

宮川參事官出發

クイビシエフ【九・三】臨時歸朝を命ぜられた大使館宮川參事官は二十四日午後三時クイビシエフ發東京へ向つた

石炭増産成績

クイビシエフ【九・三】ドン・パスの最重要資源を喪つたソ聯は獨ソ開戦以來の石炭増産運動に一層の拍車をかけ凡ゆる人的物的の困難を排して増産に必死の努力を續けてゐるが、

その成績は餘り渺々しくない模様である、このほどソ聯石炭人民委員部から九月一日より十五日に至る半月間の採炭成績が發表されたが、これによるも右期間内の採炭總量は八月同期に比較して三・九%の増加に過ぎず計畫未遂行に終つてゐる事は特に注目し得る

米土關係漸次惡化

イスタンブール【九・三】駐土米大使スタインハートは二十六日アンカラを出發エジプト經由歸國の途に就いた、外交筋では次の如く見てゐる即ちスタインハートの着任當時はトルコ政府は同大使に非常な好感を示したが、最近米國がトルコを聯合國側に引入れんとしてトルコ抱込みに狂奔するに及んでトルコ政府の同大使に對する態度は警戒的となり、又最近の米大統領特使ウイスキーの訪土當時にも政府の態度は相當冷淡なものであつた、かうした米土關係の惡化に依りスタインハートの立場も益々困難を加へるに至つたため今回の招遣となつたものである

元首相死亡

ベルリン【九・三】DNB通信ローマ電に依ればイラク元首相ナギ・ボシヤ・エル・スリジ氏は某地の英政政治收容所に於て死亡した、スリジ氏は前國王フエイサル一世の下で初代首相を勤めた人で昨年四月の反英クーデターの際には首相ラシッド・アリ・エル・ガイラニ氏の緊密なる協力者であつた

ウイルソン、バグダッドに着

リスボン【九・三】バグダッド來電によれば新任英イラン、イラク軍司令官ヘンリー・メイトランド・ウイルソンは廿四日バグダッドに到着した



外相重患

ベルリン【九・三】DNB通信がアンカラよりの情報として傳へるところによれば、トルコ外相メネメンジヨグルーは目下病床にあるが相當重患の模様で廿二日立合醫師の協議の結果廿三日更に第二回目の手術を行ふことに決したと云はれる

ライ

首相英米のデマ粉碎

イスタンブール【九・二六】 聯合國側はイラン、イラク兩國が夫々國境を要塞化して、防衛線を構築して居りこれは萬一獨軍がコーカサス戦線をイランに向つて進撃した場合兩國は樞軸に對し宣戰布告を行ふとしてゐることを意味するものである旨の宣傳を行つてゐるが二十八日テヘラン情報に依ればイラン首相アミーッド・ガヴーンは二十六日の國會において斯る流説は全く虚構の宣傳であるとして斷乎これを否定した、アンカラの消息筋ではイランは凡ゆる手段を盡して戰爭介入を防止するであらうと見てゐる

兵役期間延長案を上げ

イスタンブール【九・二六】 イラン政府は二十八日一般壯丁の軍務服役期間延期に關する新法案を議會に提出した、尙ほガヴーン・イラン首相は新法案の目的はイラン國內の秩序維持にある旨を力説してゐる

アビラア サウジ・アラビアの首府移轉

イスタンブール【九・二六】 當地に達した情報に依ればサウジ・アラビア政府は今回メッカ東南方のタィフに首府を移轉し、新首府の名稱をアヂヂエとすることに決定した



米増援部隊アフリカ着

ストツクホルム【九・二六】 パリ放送に

よればこの程米増援部隊がアフリカ西部海岸シエラ・レオネ、同西部エギー領コング及び南阿聯邦地方に到着したといはれる

トブチエ 英、埃及王の特權を停止

ベルリン【九・二六】 DNB通信がボボロ・デ・イタリヤ紙のソフイア電として傳へるところによればエジプトにおける英軍司令部は二週間前國王フアルク一世並びにエジプト政府が有する一切の特權の行使を停止したが右はエジプト國王並びに政府機關の奧地エジプトスタンへの移轉に關する英軍當局の提案を國王並びに政府が拒絶したためと云はれる、なほ同情報によれば王宮は目下英駐屯兵により嚴重に警備されてゐる

カイロの大學生反英デモ

リスボン【九・二六】 エジプトにおける反英運動はインドの騷擾に呼應して漸く活潑化しつつあり、カイロより情報によれば二十三日インド回教聯盟に屬する學生多數が同市のエル・アザール大學前で反英示威運動を行ひ警官隊と衝突、學生多數が檢擧された

婦女子引揚準備

リスボン【九・二六】 ロイター情報によれば佛領西アフリカのダカール總督ボアソンは同地區居住の歐洲人婦人子供全部の人口調査を命じた、古は同地區の人口極めて多く萬一の場合防衛に非常な混亂を來す虞があるので一戸あたり二人

以上の子女を有する家族を各自の本国に送還するための措置とみられる

英・米

ウイルキー言明の波紋

リスボン【九・二六】 ロイター通信の報道によれば、ウイルキーが第二戰線問題に對するソ聯の深刻な不満を卒直に指摘したことは英米外交界に新しい論戰の的となつてゐる、一體英ソ間には第二戰線構成的諒解が何時出來たかについて英ソ間の見解が一致せず、モロトフのワシントン訪問後公表された聲明書に第二戰線が確保されてゐるとソ聯が云へば、英國は本年中に第二戰線を展開すると約束した覚えがないと徒らに論議の華を咲かせてゐるのみである

船腹不足に悲鳴

ストツクホルム【九・二六】 ロンドン來電、英國海軍通として知られるウイルキナー・卿は最近の英國週刊雜誌ピクチャー・オブ・ザ・ワールドにおいて「聯合國の船舶問題は今や全滅の危機に瀕し最近の事態は前大戦中における一九一七年の危機に匹敵する情勢である」と悲鳴を上げ左の如く述べてゐる

刻下の關心事は英國政府がソ聯に對して何を送つてゐるかといふことではなくして英國の援ソ物資がどれだけのソ聯に到達してゐるかといふことである、米國の消息筋では聯合國は未だ依然として、その造船能力より遙かに多く船舶を失つてゐるに反

しドイツ側では聯合軍が擧沈し得るよりも遙かに多くの潜水艦を建造し得る能力があることを指摘してゐる英國の海軍力は戰略上の失敗と慎重を缺いたため今や重大なる危機に當面するに至つた、一例を挙げれば最近の米國雜誌フエア・プレイに發表された米國海上保險會社の統計は左の如き興味ある數字を示してゐる

即ち一九四一年二月より今年五月末に至る間に米國保險會社は五千四百八十七萬二千八百六十六弗の保險料を受取つたに對し同期内に一億六千五百八十八萬八千八百八十四弗の損害補償金を支拂つて居り換言すれば半年間に差引四千六百四十八萬六千六百八十八弗の缺損となる譯でかかる困難な事態は米國史上最大のものである

に増加した、戰爭擴大のため確實に資料が得られなないので、この調査も必しも正確ではないが大體の傾向を伺ふことが出来る、更に種類別棉花消費について見れば戰爭前までみられた米棉の消費減少の傾向が戰爭以來逆轉し、一九四一年度度の世界の米棉消費は一千二百三十六萬噸と一九三八年一九三九年度の一千二百五十五萬噸に比し百一十九萬噸の増加、二十五年に對し米棉以外各種棉花の世界消費は一九三八年一九三九年度の一千七百二十六萬噸から一千三百四十五萬噸に激減してゐる、戰爭以來英國の米棉消費が半減し、その他棉花の消費は三分の一の減少にとどまり、戰前に於いて米棉とその他棉花の消費額が略等しかつた歐洲大陸では一九四一年度度には米棉消費十五萬噸に對し米棉以外の棉花の消費五十四萬噸と云ふ割合になつてゐる、又東洋諸國の米棉消費は一九三九—四〇年度には百三十三萬噸に上つたが、一九四一年度度の消費はその十分の一程度に過ぎなかつた、しかるに世界棉花消費に於いて米棉消費が増加し、その他棉花の消費が減少してゐることは昨棉花年度に於いて如何に米國の棉花消費が激増したかを示すもので、ニューヨーク棉花取引所では本年度の棉花消費見通しにつき益々米洲大陸即ち米國と南米諸國に集中し、従つて米棉の消費傾向もなほ繼續するものとしてをり、本棉花年度に於ける米棉消費高を總額一千三百萬噸に達するものと見積つてゐる

世界棉花消費、戰爭で一大變貌

ベルリン【九・二六】 ニューヨーク棉花取引所の調査によると去る八月末に終つた一九四一年度度の世界棉花消費總額は二千五百八十一萬噸と見積られ、前年度の二千六百五十四萬噸に比し七十三萬噸の減少に當るこれを國別に見ると英國の棉花消費は一九四〇—四一年度の二百一十一萬噸から一九四一年度には百七十四萬噸に、英國及び蘇聯を除く歐洲の消費は百九十八萬噸から六十九萬噸に、蘇聯の消費は三百二十九萬噸から三百萬噸に、東洋諸國の消費はそれぞれ減少したの對し、米國の棉花消費は九百七十二萬噸から一千三百三十萬噸に激増、主として南米諸國を含むその他諸國の棉花消費も二百二十七萬噸から二百七十五萬噸

米國の對イラン經濟工作英國側に不安

ロイマ【九・二六】 中立國筋より得た情

報によれば米國政府はイランの各種資源に目を付け伸張を計畫しつつあり、ために英國側に不安の念を覺えさせてゐるといわれる即ち目下イランには各種の名目を持つ米國使節團が訪問してゐるが、これらは全てイランの經濟調査を名として米國資本による同國經濟資源操縱を意圖するものといはれ殊に米國技術使節團の如きはその活動露骨を極め、英人筋ではこれに多大の疑惑を懷き、米國はイランの經濟狀態を視察するよりも寧ろ目下空手形のままになつてゐるイランに對する軍需品供給の履行を圖るべきではないか」と非難してゐる

イギリス

☆ 政治・軍事

會議派を反印的と強ふ

— 彈壓を固執するアメリカ

リスボン【九三】ロンドン來電によればインド事務相アメリカは二十九日ロンドンで開かれた集會の席上、インド問題について演説し、インドは今後も引續き英國の壓政下に存立を續ける外はないと強辯したが、聽衆の瀾次で屢々演説を妨げられ殊に一婦人が「即時インドを解放せよ」と叫ぶ聲に徹頭徹尾妨害されたといはれる、アメリカの演説要旨は次の通り

ンヂー一派が強要しつつあるものに外ならない、會議派の行動はインドの戰爭遂行の努力を水泡に歸せしめのみならずインド將來の自由と統一の爲之を打破するのが當初の急務である、目下何よりも第一の急務はインド防衛の問題で國內の平和を確立し指導宜しきを得たがインドは將來大した犠牲も拂はずに一流國家並に國防國家となるのが出来ようが、夫は茲暫らくは到底インドのし得るところでないその時期迄はインドにして若しインドの平和を維持し安全を確保せんと欲するならば利害關係を同じくする英國その他の國家と提携する外はない

第二戦線問題で政府を難詰

ストツクホルム【九三】スターリン

グラードが危殆に瀕し、ソ聯の存亡が急を告げるに伴ひ英國では投ソ聯の第二戦線の展開問題が再び野の重んじられては廿九日の英下院に於てもこの問題がとりあげられ第二戦線の即時展開を主張する議員側と政府との間に相當緊張した應酬が行はれた、チャーチルは同日の下院で聯合國側が今後とるべき攻撃作戦の時期及び場所等に関して應調したが、は不利益であることを強調したが、議員側は納得するに至らず、米大統領特使ウィルキーがモスクワにおいて「獨ソ戦始戦以來赤軍の蒙つた損

害は實に五百萬に達する」とソ聯の窮境を訴へ第二戦線結成の急なることを強調した言明を引用してこれに應酬した、一方民間に於ては第二戦線の展開を要求する聲が次第に強くなり、情報によれば英國政府高官の手許には第二戦線問題に對するため消極的態度を非難する書簡が續々と到着してゐるといはれる、これは英國新聞紙上にも具體的に現はれつつあり、例へば廿九日のデーリー・ワーカー紙は副首相アトリーが現在第二戦線展開を要求するのは無責任だと示唆した言明を取り上げて「ウィルキー・スターリン、シコロスキー、ド・ゴール、ベネシユ等第二戦線論者」と、積極攻勢を見送つて荏苒無爲のうちに時を空費してゐる消極論者きめつけてゐる、自軍派のタクムス紙でも歐洲大陸に對する空爆のみでは戰爭を勝利に導くものでないことを強調し、又デーリー・エクスプレス紙は現在米國で今秋聯合軍による歐洲本土進攻を豫想する者は一對二の割合だとその困難を米國の責任にしてゐる、この第二戦線熱の再燃に對しBBC放送局を始め英政府の諸機關は「空騒ぎはやめて良心的に日々の仕事に励みよ、若し生産戦線に遲滞を來すやうなことがあれば對ソ物資援助も果し得ないではないか、第二戦線は時機が來れば開始されるのだその決定に當る能力のあるのは軍當局のみだからこれを信頼せよ」と鎮撫に努めてゐる

首相上陸作戦の失敗報告

リスボン【九三】ロイター通信、ロンドン電によれば、チャーチル英首

相は廿日下院において過般のジエツト上陸作戦の結果を報告し、右作戦中聯合軍側の蒙りし損害極めて多く参加兵員の約半数を失つた旨を發表した但しチャーチルは右損失に關する數字の發表を行はなかつた

ド・ゴール歸英
ストツクホルム【九三】ロンドン來電によれば反ヴァイシー政府首領ド・ゴールは廿六日佛領赤道アフリカのギールブルグイルから空路ロンドンに歸着したといはれる、彼は約二ヶ月にわたリシリア及びアフリカ各地を歴訪してゐたものである

顧維鈞重慶へ

リスボン【九三】UP通信ロンドン電によれば駐英大使顧維鈞は二ヶ月の豫定で近く重慶に歸還する筈である

【九三】ロイター通信ロンドン電によれば英海軍當局はアンソン並にハウ兩新銳戰艦の性能に關しキング・ジョージ五世級と比較し改良された點を廿一日左の如く發表した
甲板及び側面装甲の比率が一層合理化され特に吃水線以下の装甲と空襲を受けた際の防備装置が十分改良されてゐる
なほジェーン海軍年鑑によれば兩艦とも、十四吋砲十門、五、二五吋砲十六門、四連機關砲及び機銃を有し魚雷發射管を有しないが、吃水線以下の装甲は特に魚雷攻撃に堪へ得るやう設計され厚さ十六吋あり、装甲の全重量だけで一萬四千噸に達する兩艦の建造費は二百九十萬ポンドで目下極秘裡に建造してゐる四萬噸級のライオン及びテメラに至つては更に莫大な經費を要するものとみられる

航空機増産を焦る

ストツクホルム【九三】戦局の擴大と空中戦闘の熾烈化に伴ひ最近英國空軍の消耗損失率は非常に高に上りこれが補填に躍起となつた英國當局は遂に米國式に則り航空機の大量生産を開始した模様である、即ち廿二日ロンドン來電によれば英國がその優秀性を誇るスピットファイヤー戰闘機の製作には現在既にフォード工場に於ける如き「流水作業」(ストリーミング・システム)が應用されてゐるこれによる大量生産が實施されてゐるといはれる、又この方法による新スピットファイヤー機にはその構造に於ても改良が加へられ、新型機には廿口径砲四門が裝備されてゐるが、備砲の重量増加にも拘らず速度

ストツクホルム【九三】ロンドン來電によれば、チャーチル英首相は、第二戦線熱の再燃に對しBBC放送局を始め英政府の諸機關は「空騒ぎはやめて良心的に日々の仕事に励みよ、若し生産戦線に遲滞を來すやうなことがあれば對ソ物資援助も果し得ないではないか、第二戦線は時機が來れば開始されるのだその決定に當る能力のあるのは軍當局のみだからこれを信頼せよ」と鎮撫に努めてゐる

及び運動性能は低減してゐないといはれてゐる

☆ 財政・經濟

新造船に手が廻らず

リスボン【九三】英國海軍省の船舶問題擔當官は造船の不進捗を嘆じ對米放送において次の如く述べてゐる英國の造船所は大戦以來商船並に軍艦の改装及び修繕に忙殺されその造船能力の半ばをこれに振り向けるの止所の新造船は著しく阻害され激化する船舶撃沈に對處するを困難たらしむるに至つた

▲造船所に罷業勃發 ストツクホルム【九三】ロンドンよりの情報に依れば英國最大を誇るヴィイクカリス・アーミストロング造船所では廿三日突如罷業が勃發したと云はれる原因は職工の賃銀値上要求にあり政府はその成行を憂慮してゐる

食糧相の語る食糧對策

リスボン【九三】英國食糧大臣ウルトンは廿八日新聞記者會見において前週彼が今冬の食糧事情は好轉の見込なる旨聲明したの關し詳細説明を求められたが次の如く答へた食糧供給の好轉如何は海外よりの輸入にかかつてゐる、然し乍ら從來免角重要視された肉類は今日では全食糧品中その地位き程重要でなくなつてゐる、勿論あるに越したことはないが實狀はこの様に變化してゐる、そこで肉類を別とすると目下チーズ及馬鈴薯の供給が潤澤で而もその食糧品としての價値は甚だ大きい、従つて我々はチーズや馬鈴薯を食用と

して大いに利用すべきである、やがてその内に年が變ればこれに代つて他の潤澤な食糧品が見つかるだらうその時には我々は又そつちの方に轉換して行く、英國の食糧對策はかういふやり方で進めるつもりだ

戰時財政と國民生活

【九二】戰前英國の政府支出は約十億磅であつたが一九四〇年には三十億磅一九四一年には四十六億磅と飛躍的に増加し、一九四二年度豫算に於ては米國の貸與法によるものを除いては五十二億即ち戰前の五倍に増加した、他方國民所得は一九三八年の四十六億磅に對し一九四一年には六十三億と僅かに三割七分強の増加に過ぎないから英國の戰時財政の困難さが察せられる、次に掲ぐる大藏省發表の一九三八年、四〇年、四一年の財政実績につき財政のやりくり状態を檢討して見よう(單位百萬磅)

政府支出	一九三八年	一九四〇年	一九四一年
國庫收入	八、八五	一三、三三	一四、六五
豫算外收入	三、五	三、三	四、九
純收入不足	一、〇五	一、八六	二、三六
個人貯蓄並に未配當利益	四、〇六	八、三三	一、〇六
個人所有の國庫資本消費	四、〇六	三、六	四、九
政府及び個人所有在外資本の消耗	五	七、五	七、四

在外資本の消耗八億磅を以て埋合はせてゐるが、在外資本の消耗は三ヶ年のみの合計で既に十六億磅に達してゐる、四二年度豫算に於ては廿六億磅は國庫收入により残り二十六億磅は借金を以て賄ふこととなつてゐる、収入概算の内容は次の通りである

△直接税

一、所得税 戰前の五志六片から七志六片、八志六片、十志と順次引上げられ、現在は所得税と附加税を加へれば最高十九志六片即ち一磅の手中取僅か六片の所まで引上げられた、此の邊が限度で之以上の引上げは不可能であらう、戰前に於ては所得税収入四億磅見當だつたが四二年度豫算では附加税共に九億八千萬磅と見積つてゐる

△間接税

一、酒と煙草の消費税が各々二億磅一、購買税の率は三割三分乃至六割六分だが大部分は六割六分、其の收入概算八千四百萬磅其他關稅收入等を加へ間接税の收入概算八億磅となつてゐる

貯蓄を期待し得るや否や疑問であり又在在外資本の消耗七億磅にも無理がある、キングダースレーの計算によれば戰前の英國在外投資總額約四十億と稱せられるが、エコノミスト誌は其のうち既に六割を失つたと言つてゐる現在残つてゐるのは、主としてラテン・アメリカ諸國に對するもので從來の如く處分は簡單でない従つて今後尅大な戰時財政を賄ふはどうして國民生活の水準を低下せしむる外に途はないからう、即ち現在小賣物資の五分の三は割當制となつてゐるが更に之を擴張して國民一人の消費量を最少限に止め、國民所得の餘剰を強制貯蓄せしむることが必要となつて來るだらう、問題は英國國民がどこ迄生活を落し得るかである、及び地方場は全部政府が統制し民間及び地方政廳の起債を殆ど禁止し軍事工業に對しては政府が毎月の生産実績によつて前拂ひして流動資本を供給し固定資本は政府が造つて貸す方法をとつてゐる、公債残高は一九三八年末の八十一億磅から一九四一年末には百四十億磅に増加したが低金利政策奏效して利拂額は二億千七百萬磅對する二億五千七百萬磅と極めて僅かな増加に止つてゐる、現行利率を示せば次の通り

九十日大藏省證券	一パーセント
六ヶ月大藏預金證券(T.D.B.)	二パーセント
中期物	二パーセント半
稍々長期物	三パーセント

此の外カナダは物資を以て十億弗(二億二千五百萬磅)本國に獻納する事となつており之が四二年度の國庫收入中に加算されてゐる、次に不足額二十六億は國民の貯蓄十九億磅在外資本の消耗七億磅を以て補ふ事にしてゐるが、第一昨年倍額に近しい貯蓄を期待し得るや否や疑問であり又在在外資本の消耗七億磅にも無理がある、キングダースレーの計算によれば戰前の英國在外投資總額約四十億と稱せられるが、エコノミスト誌は其のうち既に六割を失つたと言つてゐる現在残つてゐるのは、主としてラテン・アメリカ諸國に對するもので從來の如く處分は簡單でない従つて今後尅大な戰時財政を賄ふはどうして國民生活の水準を低下せしむる外に途はないからう、即ち現在小賣物資の五分の三は割當制となつてゐるが更に之を擴張して國民一人の消費量を最少限に止め、國民所得の餘剰を強制貯蓄せしむることが必要となつて來るだらう、問題は英國國民がどこ迄生活を落し得るかである、及び地方場は全部政府が統制し民間及び地方政廳の起債を殆ど禁止し軍事工業に對しては政府が毎月の生産実績によつて前拂ひして流動資本を供給し固定資本は政府が造つて貸す方法をとつてゐる、公債残高は一九三八年末の八十一億磅から一九四一年末には百四十億磅に増加したが低金利政策奏效して利拂額は二億千七百萬磅對する二億五千七百萬磅と極めて僅かな増加に止つてゐる、現行利率を示せば次の通り

と二割九分二厘騰貴したに過ぎない
△卸賣指數

一九三九年八月	一〇〇	全商品
同 年十二月	一〇〇	全商品
一九四〇年十二月	一〇〇	全商品
一九四一年十二月	一〇〇	全商品
一九四二年三月	一〇〇	全商品
△小賣(生活費)指數		
一九三九年八月	一〇〇	全商品
同 年十一月	一〇〇	全商品
一九四〇年十二月	一〇〇	全商品
一九四一年十二月	一〇〇	全商品
一九四二年三月	一〇〇	全商品

備條件並に國家調停法廷令」を發布し豫告なき爭議を禁じながら、政府は今なほ労働組合の團體交渉権並びに爭議の權利を認めてゐるため、開戦後も勞銀引上げ要求の爭議が頻發する有様だつた、政府に對し各方面から勞銀政策の確立が要望されてゐるが労働組合の勢力が強く速かに實現困難の模様である

アメリカ

☆ 政治

「五人委員會」新設

ブエノスアイレス【九二】ワシントン來電によれば米國政府は最近の戰時生産の滞滯に鑑み飽くまでも所期の生産水準への到達を實現すべく十八日これが爲に必要な権限を附與せる「五人委員會」を新に設置し米國の軍需工業を悉く同委員會の指揮監督下に置くことになつた、而して同委員會は戰時生産局長官ネルソンに直屬し、その顔觸れは左の通り
委員長チャールズ・ウキルソン(ゼネラル・エレクトリック社長兼戰時生産局長)委員、プレホン・サマヴェル 陸軍中將(陸軍軍需局長官)ニコルス 陸軍少將、同ロビンソン 海軍中將、ハーワード・ヴィケリー 海軍少將(海軍委員會次長)
▲ブエノスアイレス【九二】U・P ワシントン電によれば、在來の戰時生産局は執行權を有せぬ委員會組織であつたが、今同執行權を有する「五人委員會」を同局内に内設したのである、尙同委員會は戰時生産局長、

陸、海軍首腦各二名、合計五名を以つて構成される

汎米インフレ對策委員會

リスボン【九二】ワシントン來電 今次大戰の飛沫をうけて中南米諸國にもインフレ傾向が次第に進展してゐるが、これが對策考究のためこの程汎米金融委員會内にインフレ對策特別委員會が設けられ、この程ワシントンに第一回會議が開催された、右特別委員會は米國委員の外にブラジル、ボリヴイア、キューバ、コスタリカ及びドミニカ各代表を以て構成されてゐるが、これらは特に國內インフレ傾向の強い諸國だといはれてゐる

ソ聯へ精油工場を移讓

ブエノスアイレス【九二】ワシントン來電によれば援ソ物資供給に躍起となつてゐる米國は今回精油工場をそのままソ聯へ輸送することになつたといはれる、即ち二十九日財務長官モーゲンソーは
テキサス州の精油工場を取り壊しソ聯へ輸送するが、これが組立には米人技師が當る筈である、この計畫は石油調整官イツクスの承認済みのものである
旨言明して注目を惹いた、なほニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙の報道によれば武器貸與法に基きソ聯へ工場を輸送するのは今回が最初である

インフレ抑制修正案下院通過

ブエノスアイレス【九二】ワシントン來電によれば米國下院は廿三日夜二百三十四票對九十六票を以てインフレ抑制法案に農産物價の値上りを認める重大修正案を可決、これを上院に廻附した

修正案可決の意義

ブエノスアイレス【九二】ワシントン來電 米國下院は廿三日問題のインフレ抑制法案可決に當り事實上これを否決するやうな重大修正を附したが、この修正案は農産物價の値上りを認める關係が、これが立法化は米國の一般生計費の五分又はそれ以上の昂騰を招來することを意味し従つてこれは當然労働賃銀の値上げ要求をも招來すべく、かくて農産物價及び賃銀の抑制を骨子とするインフレ抑制法案の目標は全くその根底から破壊されるわけである、右修正案が農村出身議員團によつて下院に提案されるや、大統領ルーズヴェルトはかかる修正案が可決される場合はインフレ抑制法案全體に對して大統領の拒否權を發動せざるを得ないと恫喝したが、その警告にも拘らず下院が絶對多數を以て同修正案を可決したことは、インフレ抑制案といふ米國戰時經濟直しの根幹とも云ふべき重大法案が骨抜きとなつたことなきことながら茲にははしくも戰時米國の深刻な政治的内訌を表面化したわけである、廿四日より同法案の審議を開始する上院が下院通過案に對して如何なる態度に出るかは不明だが、政界消息通の間では今後上、下兩院及び財務當局間の折衝によつて何等か政府の面目をたてるやうな妥協案が成立するのではないかと見てゐる

上院紛糾

リスボン【九二】ロイター通信ワシントン電によればインフレ防止法案を審議中の米上院では二十九日農業ブロッコ派議員によつて農産物平衡價格引上げを企圖する修正案が新たに上程されるに及んで政府支持派と反對派の間に激烈な論戰が展開されたが、表決の結果四十八票對四十三票で農業ブロッコの修正案が可決された、かくてインフレ防止法案は修正後表決に附される情勢となつたがその後各派の動向が定らず結局上院はインフレ防止案に對する投票を延期して午後七時散會した

上院インフレ防止案可決

リスボン【九二】米上院は三十日に

上院農業委員會農村ブロッコの修正案を可決
ブエノスアイレス【九二】

△國民所得(百萬磅單位)

年度	地代	利潤	月棒	勞銀	計
一九三九	三三	一五	二八	一七	四九
一九四〇	三三	一五	二七	一七	四九
一九四一	三三	一五	二七	一七	四九
一九四二	三三	一五	二七	一七	四九

(註・勞銀は兵の俸給を含む)
而して勞銀は依然上昇の趨勢を辿つてゐる、これは一九四〇年七月「雇

至り遂に政府支持派と反対派の間に妥協が成立した結果民主黨ブラウンワグナーの兩議員提出の妥協案で八十六票對四票で可決直ちに下院に廻付した、ブラウン、ワグナー修正案を更に修正した結果となるので一日には上下兩院協議會が開かれる段取りとならう、消息筋では恐らく今週中に大統領署名の手續を完了するものと見てゐる、尙同法案は大統領に十月一日以後賃金、俸給並びに農産物價を安定する権限を賦與するものであるが、農産物の最高價格については特に政府原案の平衡價格採用を修正して本年九月十五日現在の價格を採用するものである

インフレ特別委員會を新設

ブエノスアイレス【九・三】ワシントンより達した情報によればルーゼvelt大統領は激化するインフレの脅威を眺め今回インフレ對策特別委員會を新設することを決意、近くヘンダーソン物價管理局長官、ウィツカード農務長官、デヴィス戰時勞働局長官を右特別委員に任命することとなつた、右委員會はとかく國民の間に起り勝ちであつたインフレ對策の獨裁化に對する非難を表面抑へんとする意圖を持つものといはれるが又一方では十一月の議會選舉への工作にすぎぬと見る向もある

勞働組合側原則的にインフレ抑制に賛成

ブエノスアイレス【九・三】ルーゼvelt大統領のインフレ抑制案に對して勞働組合側が如何なる態度に出るか注目的となつてゐるが、米

國勞働總同盟(AFL)總裁ウィリアム・グリーンは今回、ルーゼvelt大統領と勞働組合側代表者との間に行はれた會議において右インフレ抑制案に關して相互の了解が出来たと發表し、政府政策原則支持の意向を明らかにした、なほグリーンは最近上院金融委員會に對し總同盟側の意見に關する證言を行つたが、同證言のうちで賃銀及び農産物を安定させるため行政命令によつて大統領に適當な手段を講ぜしめるが如き簡單な措置に賛意を表し、勞働者側は團體契約及び勞資調停の原則は捨てぬ旨述べた、なほ、産業組織會議(CIO)側では議長フィリップ・マレーを代表してヴァン・ピットナ

インフレ抑制案に賛意

が同様に右インフレ抑制案に賛意を表したが、賃銀安定の基準を八月十五日現在より九月十五日現在の賃銀水準に置くべしとなしてゐる

印度産業支配を企圖

—英紙論評—
ストツクホルム【九・三】米人技師團の印度訪問に關聯して、ロンドン・タイムス商工版は左の如く報道、米國は印度の軍需生産並に一般産業の支配を企圖しつつありと述べてゐる

最近印度に到着したワシントンよりの所謂技術使節の勸告助言は現地に於ける英國官憲によつて直に實行に移さるべきこととなつてゐる、新設の戰時資源委員會の如きもこの勸告に基いたものであるが、米人技師團は今や米國の方針に従つて全印度産業を組織せんとして居り又現在の軍需工業を米國支配の下に利用せんとしてゐる、すでにこの傾向は産業界

各方面に現はれてゐるが、亞麻紡織業の如きも最近配給制當面を實施皮革工業も新増産計畫を樹て又電信電話事業も米國の支配の下に擴張計畫を施しつつある

名士、英印調停の必要を強調

ストツクホルム【九・三】ロイター通信ニューヨーク電によれば廿八日ニューヨーク・タイムス紙は一面全面にわたり米著名著述家、實業界名士等の署名入り激文を掲載し現在行詰りの状態にある英印關係打開のためには米國政府並に重慶政府が積極的の仲介の勞をとるべきだと強調してゐる、要旨左の通り

ルーズヴェルト及び蔣介石はインドの動向に聯合國の運命が賭けられてゐることを認識すべきである、而して英國とインド國民會議派その他政黨領袖の間を斡旋し、インドを聯合國の伍列に参加せしむるため新たに會談を開かしむるやう努力すべきである

胡適・離米

リスボン【九・三】ワシントン來電によれば前駐米重慶政權大使胡適は廿一日ニューヨーク經由歸國の途についた

新重慶大使ハルと初會見

リスボン【九・三】ロイター通信ワシントン電によれば新駐米重慶大使魏道明は廿日ハル國務長官を訪問、初會見を行つた

收容邦人を農作に使役

ブエノスアイレス【九・三】米國西部

沿岸在留の同胞は戰爭勃發以來西部諸州に急設された二十數ヶ所の假收容所に分散收容されてゐるが、愈よ本格的に奥地收容所に送られることになり、廿二日のワシントン電は日本人の處置に關しノリス上院議員の言明を左の如く報じてゐる

米國西部沿岸に在住する日本人の一萬五千人はアーカンソー州の收容所に送る管であつたが、今回ネブラスカ、コロラド、ワイオミング、モンタナ各州に於ける甜菜收穫に當らせることになり、收穫期後に收容所に入所せしめる管である

米國西部沿岸在留の同胞十二萬餘は本年三月三日四部防衛司令官デウキットの發した「軍事地域設定」により同地域より強制立退を命ぜられ假收容所に收容された、これに關し米國政府は「日本人の第五部隊の危険行為を完封するにある」と表明してゐるが、眞の意圖は日本人の獨立した社會機構を根本的に破壊すると共に農産物生産に日本人を驅使するたためであつた、ノリス米上院議員の言明は正にこれを裏書するものであらう

グルー四度國民に警告

ブエノスアイレス【九・三】前駐日米大使グルーは廿二日ニューヨークで開かれた赤十字看護婦後援大會で演説を行ひ四たび日本の舉國的戰爭決意とその實力の海り難きを強調米女性の奮起を促した、演説要旨左の通り

余は過去十年間日本に生活して來たので日本國民を知つてゐる、また日本の軍事機構即ち陸海空軍及び現在では輸送船や兵站補給船に變つてゐる商船隊等についても若干の知識を持つてゐる、余は日本の陸、海、空軍將兵の戰闘精神、彼等が皇室と祖國に死をもつて奉ぜんとする不動の決意、彼等が過去幾十年間行ひ來つた激しい訓練を知つてゐる彼等は支那事變を「聖戰」と呼んできた、余は今度の世界全體戰に彼等がどんなスローガンを附けたかは知らないがそれが以前より弱いものであることはあり得ない、彼等の戰闘精神と戰闘決意は斷じて我々のそれに劣るものではない、彼等は國を擧げて男も女も總力戦に立ち向つてゐる、彼等の軍事組織は強力且峻嚴な機構に發展し來り、幾多の戰線に在る日本の兵隊は猛虎の如くに闘ひつつありまた今後とも闘ひ續けるであらう、國內における工場は着實に武器を製造しつつあり、その船舶はこれらの武器と必要なる資材を確實に輸送しつつある、そして銃後、前線を問はず日本の婦人達は男子と同様に熱烈な忠義心と勇氣をもつて男子を援けつつあり、彼女等も亦しつかりしてゐるのだ、我々は日本の男女が「米國に目を見せて呉れよう」と言つてゐることを知らねばならぬ、この熱狂的な統一と決意とそして彼等自身正しいことを信じてゐる戰爭目的への全的な獻身の國から最近歸つて來た我々にとつては我々の偉大なる國土、米國民たるの金錢に代へ難い誇りと自由及びその市民たる資格の重要な一部である義務等が危機に直面してゐるといふ事實を知りながら我國の男女が平和時と同様に日常生活の因襲を追ひ續けてゐるといふ事實は全く理解し難い處である、我々は正に危機に直面してゐるのだ

國勢調査

ブエノスアイレス【九・六】ニユーヨーク來電 米國國勢局廿八日發表によれば一九四二年一月一日現在の米國推定總人口は一億三千三百九十六萬五千人と昨年同日調査に比し百三十二萬七千人の著増を示した、尙この増加率は過去十ヶ年平均増加率の二倍にあたり、國勢局はこれは主として米國軍需景氣に刺戟されて外國人の入國増加と海外戦争地域よりの米國人引上げによるものとみてゐる

☆軍 事

本土危し

―下院議員演説

リスボン【九・三】ワシントン來電によればオレゴン州選出下院議員エンジェルは廿二日下院において米本土に對する日本軍の脅威を強調次の如く述べた

餘は日本がその戦争計畫の主要目標が最後には米太平洋岸であることを確信する、最近日本飛行機と信ぜられる一機がオレゴン州に侵入して焼夷彈を投下し、又日本潜水艦はオレゴン州を砲撃したがそれ以前にも日本潜水艦は南部カリフォルニアの沿岸を砲撃してゐる、日本軍をアリゾナ・シヤン列島から驅逐せぬ限り日本軍は米大陸に攻撃の手を伸ばして來ることは疑ない

海軍の面目地に墜り

リスボン【九・三】日本海軍がアトカ島ナザン灣を奇襲、米甲巡ノーザンブトン型一隻に大損害を與へ別に潜水艦二隻撃沈の事實は帝國海軍のア

リニューシヤン一帯における制海權確立を實證したものと米國民の憂慮を深めてゐる、ワシントン來電によれば米共和黨下院議員ホーマー・エンゼルスは過般日本飛行機のオレゴン州爆撃に關し廿二日の下院で「日本軍をアリニューシヤン列島より驅逐せぬ限り米大陸の不安は絶へぬであらう」と率直に表明したが、右はアラスカ海軍區司令部が日本軍の鳴神島及び熱田島確保以來、不斷に失地回復の機を狙ひ主として空軍による制肘行動に出てゐるに拘らず、何等の効果が無い事實に對して當局への非難をも兼ねたものだと思はれる、更にブエノスアイレス來電によれば米海軍省船舶局はアラスカ敗戦の因を戦車輸送船の不足に歸し、ノツクス海軍長官に適當な對策樹立方を上申したが米上院戦争遂行調査委員會のハリ・ツルマン委員長はノツクスが未だ何等の對策に出でぬ旨公言しアラスカの重要基地失陥に對する米國指導層の焦慮を表明したほどで海軍省内の要望する對策も成立せぬうちに新に甲巡、潜水艦等相前後して自己の根據地圏内で襲はれたのであるから米海軍の面目は甚しく失陥を免れない

アラスカ公路竣成を急ぐ

ブエノスアイレス【九・三】米國政府は日本海軍のアリニューシヤン基地確保を契機として去る三月米國カナダ兩國間に成立した基本協定に基きアラスカ軍用公路の竣成を急いでゐるが、二十四日ワシントン來電によれば陸軍長官スチュムソンは同日の新聞記者會見に於てアラスカ公路の完成近しと發表、左の如く述べた

アラスカ防衛の生命線たるカナダ、アラスカ間の軍事公路は豫定の計畫より數ヶ月前早く使用し得る事となり來る十二月一日より明春四月の解氷期まで全長一千六百哩の大公路上に輸送車輛の初運轉が開始されやう、但し四月初めから向ふ二ヶ月間は解氷期に入るため通行不能に陥るものと思はれる、同公路は單に豫定より數ヶ月早く竣工したのみならず、技術者の計畫では最初は先づ速成的な「開拓路」を建設する積りであつたが現在出來上つた開拓路は事實上全く出來たトラック道路でありその大部分は兩側通行が可能である

所謂アラスカ公路とはカナダのブリティッシュ・コロンビア州東北部にあるフォート・セント・ジョンを基點としニューコン州のドリンソンを経てカナダ、アラスカ國境を越えアラスカの米陸軍基地フェアバンクスに到るものでフォート・セント・ジョンからカナダのアルバータ州首府エドモントンまでの間は既に公路が出來て居り米、加、アラスカを結ぶ一大輸血路をなすものである

航空戰鬥力が重要

―軍事道の批評

ブエノスアイレス【九・三】ブエノスアイレスの有力紙ラ・プレッサ紙は最近米國著名の航空専門家セヴェルスキーの著書「空軍による勝利」を批評した「セヴェルスキーと海軍力の衰退」と題する一文を發表し相當の反響をよんでゐる、要旨左の通りセヴェルスキーの著書のうち「海軍力の衰退」と題する一章は米國の陸海空の軍人の間に非常な問題となつてゐる、セヴェルスキーの見解に依れば海軍力は今後衰退の一途を辿るのであり、今や航空機が海軍艦艇を驅逐し去る過渡期に直面しつつかるのであつてしかもこの過渡期は早急に過ぎ去らんとしてゐる、英海軍に於ける歐洲大陸の封鎖が今尙續けられてゐるのはドイツが現在長距離飛行機を十分利用し得ぬといふ單純な理由に基づくものである、ドイツが對ソ作戦を終了せんか同國は時を移さず強大な爆撃機部隊を建造して英國の海上輸送を妨害するであらう、その時期が到來するまではドイツは英國の海軍力に對しては殆んど關心を示さず、しかも英國が空軍建設の代りに艦隊勢力増強の爲頻りに巨費を費消してゐるのを我が思ふ壺とばかり北叟笑んでゐる次第だ、セヴェルスキーは數回に亘り今後五ヶ年以内の三千二百機の航續力ある長距離飛行機の製作が可能であり既に現在に於て二千四百機の飛行機を製作することが出來ると述べてゐる、若し英國が空軍を持たないならば、その勇敢なる海軍も獨空軍の攻撃の前に商船團の護送に殆んど何等の價値なきものとなつてしまふだらう、貨物船すらカタバルトを裝備してゐる事實は對空防禦の如何に重要なかを物語るものである、比島が日本軍の掌中に陥つたのが結局比島に充分な空軍勢力がなかつた爲である、セヴェルスキーの主張する所によると艦艇對飛行機の製作費用は四萬五千噸の戦艦アイオー一隻を建造する費用が一億弗を要するのに對しその費用を以てすれば各廿噸の爆彈を積んで米國歐洲間の往復飛行が出来る長距離爆撃機百機を製作することが可

能である、一九四一年九月米國政府は海軍建造計畫の爲に三十億弗の巨額支出を決定したがこの費用を以てすれば五十噸の爆彈搭載力ある超爆撃機一千五百が建造出來たであらう例へば五千萬弗の費用を以て建造された航空母艦は同じ費用を以て五十噸の爆彈搭載力ある長距離爆撃機廿五機を製作出来るのであり、これは二百五十隻の第一線艦艇を撃破し得る抑々航空母艦なるものは費用ばかり嵩み、しかも舊式な格納庫に過ぎず地上に基地を持つ飛行機の行動範圍たる海岸近くには寄つてくることが出来ない、現在の空中要塞は四噸の爆彈を搭載するが、B一九爆撃機は五十噸を搭載し得る、現在の照準器の能力によれば一萬米の高空から投下された爆彈は百米の半徑を持つ目標の内側に落下することとなつてゐる、航空の見地からすれば大西洋の如きは湖水のやうなものでしか西洋の湖水の面積は次第に狭小化されつつある、即ち海上艦隊は年々沿岸附近から後退しなければならず、今後三年も経てば行動する水域がなくなつてしまふだらう、故にセヴェルスキーの意見では米國が依然として長距離爆撃機の代りに軍艦や航空母艦の建造を續けることは全く諒解に苦しむ所である、航空機製造の見地に立てば米國工業の位置は樞軸側を凌駕する機に恵まれた状態にある然るに眞珠灣の苦い經驗を経た後で海軍長官ノツクスは飛行機が海上艦艇に代位するといふ考へ方を一笑に附してゐた、かくてセヴェルスキーは米國の作戦計畫を海軍

力におくことは正に自殺行爲でありこの理論を固執する者は米國を破滅に導くもので後世非常な責任を問はれることとならうと結論してゐる

▲ヴインソンも言明 ブエノスアイレス【九・三】ロイター通信ワシントン

來電によれば下院海軍委員長ヴインソンは米國の海軍擴張案に關して廿二日聲明を發表し左の如く述べた海軍の戦闘機は攻撃力及び裝備に於て劣つてゐるが、雷撃機は海上の艦艇に對する最も有力な攻撃兵器である、長距離輸送機及び偵察機は多數あり北はアイスランド、アラスカから南は南米、印度洋方面まで廣汎な地域に使用して餘りがある、米國は現在聯合國、殊に重慶及びソ聯向け飛行機生産に全力を傾倒すると共に外國人の搭乗員をも養成中である。今次海軍に於ては飛行機の役割が重大となり、航空母艦の護衛について他の艦艇が當らず、飛行機自身がこれに當ると言ふわけである

大型輸送艇の試作を許可

ブエノスアイレス【九・九】ワシントン來電によれば米國戰時生産局は十九日國防工場管理局が造船業者ヘンリー・カイザーに千八百萬弗で大型飛行輸送艇三機の試作許可を與へた旨發表した、この大型輸送艇は太平洋沿岸にあるカイザーの共同事業家ヒューズの工場で建造、更に戰時生産局はカイザーが右三機の試作に續いて今後新輸送艇製作に當るべき新工場的设计を提出するやう要求した、新輸送艇は六十噸積、二重胴體である

▲大型輸送艇は木造 ストックホルム【九・二】カイザーは政府當局者と

爆撃機の大生産を認む

ブエノスアイレス【九・六】米國は目下大型爆撃機の大生産に大重となつてゐるが、ニューヨークよりの情報によれば最近ダグラス、フォード、ボーイング三飛行機製作所は夫々大規模の生産を開始したと云はれる、特にダグラス飛行機製作所が新設したオクラホマ工場ではB二十四型の大量生産を行ふと共にボーイング會社の他の「空の要塞」B十七型及び方フォード飛行機製作所のウキローラン(カリフォルニア州)新工場では爆撃機専門の大量生産を行ふことになり、既に操業を開始したが同工場は職工八萬から九萬を擁すると云はれる、又ボーイング會社では政府當局より新型「空の要塞」製作の指令を受けたと報せられる、但し飛行機の全生産量は必ずしも増加せず最近戰時生産局長官ドナルド・ネルソンの發表したところによれば、本年七月に於ける全生産量は六月に比し一割一分増加し、又戦闘機は六分増加した程度で、まだ豫定には到達しなかつた、ネルソンも今後數ヶ月間數量に到達せしめることは期待し得ないと言明してゐる、その原因の一つは計畫が尠大なため收支相償はざる點にあり、現在この状態改善に全力を傾注してゐるが本年末期に於ては生産量を著しく増加する見込みと言はれる

ヴインソン見得を切る

ブエノスアイレス【九・二】ワシントン來電に依れば米下院海軍委員長カイール・ヴインソンは二十二日の下院に於て米海軍の建艦、飛行機製作等が豫定以上に進捗しつゝありと左の如く大見得を切り、太平洋に於ける慘敗續きの苦境を大海軍實現の將來への約束によつて糊塗せんとしてゐる

米海軍現在の尠大なる建艦計畫が實現した曉には米國は世界中で最も強大な海軍力を保有することになる、米國の建艦能力は無制限で、目下の建艦状況は各艦型とも何れも飛躍的な進捗を示し計畫よりも數ヶ月先んじてゐる、昨年六月末現在建造中の艦艇、哨戒艇、水雷敷設艦等を含めて千六百九十七隻に上つてゐたが本年六月現在に於て建造中の艦艇は三千二百三十隻に達し、昨年に較べて約二倍の艦艇を建造中である、このほが聯合國向けの艦艇二百八十八隻をも建造中、それ以外にも一萬一千六百五十九隻の小型舟艇を建造中である、また海軍機の製作に於ても各種に亘つて目覺しい進捗を示し昨年度二千六十七機に比し本年六月末現在に於て既に四千八百七十五機の新鋭機を製作してゐる、而も製作能力は愈々増大しつゝある

開戦以來の艦艇損失

ブエノスアイレス【九・二】米國政府は開戦以來各方面における相次ぐ敗戦の糊塗に汲々たる有様で特に海軍に於てはその損失艦船の隻数を極度に隠蔽し現在まで海軍當局から發表されたものは實際の損失の極一部に過ぎないが廿八日のA・P電によると現在迄に米當局の確認した米海軍の損失艦船の隻数は戦艦、補助艦艇を含め尠なくとも五十九隻に達する

新空母進水

リスボン【九・二】ロイター通信タインシー(マサチューセツツ州)來電によれば日本海軍部隊に撃沈された米航空母艦レキシントン(の名を襲ぐ新空母は豫定より早く廿六日クインシーの船渠で進水した、右は龍骨据付ハケ月で進水したもので初めはカボットと命名されたが、のちレキシントンと改名されたのである

ハワイ防衛に二千萬弗支出

ブエノスアイレス【九・九】ホルノル來電によればハワイ市民防衛局長フランク・レイシーは、ハワイの一般防衛強化のため二千萬弗の豫算を以て各種の施設を急ぎつつある旨廿九日發表した

日本軍の空襲に脅へるハワイ當局が最も力癆を入れてゐるのは空襲時に備へる食糧貯藏、衛生設備の強化、防空壕建設及び警防團、消防隊の組織と訓練等で市民防衛局は十七集團から成り更に各集團が十二の分團に分れて二千五百二十九人の團員と一萬四千人の義勇團員を擁してゐる、又ホルノルでは醫療施設の完備が急がれ既に一千病床の増設を見、多數の公共建築物が病院に改造されたといはれる

☆ 財政・經濟

新海軍豫算要求

ブエノスアイレス【九・三】ワシントン來電によれば米大統領ルーズヴェルトは二十一日議會に對して書翰を送り、二十七億三千萬弗の新規海軍豫算を要求した、新豫算内譯は次の如くである

海軍航空局關係 九六〇,〇〇〇,〇〇〇
商船武裝費 一〇〇,〇〇〇,〇〇〇
兵員給與其他 一,六七一,〇〇〇,〇〇〇
計 二,七三一,〇〇〇,〇〇〇

▲ブエノスアイレス【九・三】新豫算は大東亞戰勃發以來米國の蒙つた艦隊軍用船並に海軍航空機の擴充費填及び増強並に護送船制機の擴充費等に充てられるもので、そのうち約三分の一が海軍所屬航空關係の増強費に充てられてゐる事實は大東亞戰に於ける海戰の結果に鑑みためである、又約一億弗は商船隊の維持及び關係人件費に振り充てられるが、主として大西洋航路の安全確保を目的とするものと言はれてゐる

海軍航空追加豫算

ブエノスアイレス【九・九】ワシントン來電によれば米大統領ルーズヴェルトは廿九日議會に對し海軍航空機建造費として二十八億六千二百萬弗の追加豫算を要求した

戰爭支出四百五十億弗

ブエノスアイレス【九・三】米國政府の發表によれば本年八月中の戰費支出額は五十一億八千二百萬弗に上り一九四〇年六月の國防計畫實施以來の軍事費支出高は合計四百四十七億四千萬弗となつてゐる、この中には聯合國その他に對する軍需資材供給の費用及び武器貸與法に基づくクレ

ドイツの供與は含まれてゐない、因に四百五十億弗に上る軍事支出の内譯は陸軍省二百三十三億七千二百萬弗、海軍省百三十二億七千八百萬弗その他關係戰時機關八十億九千八百萬弗である

新稅案、軍事費賄ひには不充分

ストツクホルム【九三】ロンドン來電「英紙デーリー・メール、ワシントン電によれば米國財務長官モーゲンソンは新聞記者會見において目下議會で審議中の増稅案は所要軍事費を賄ふには不充分であり、超過利得稅はまだ増徴の餘地があると指摘した

四十億弗新募債

ブエノスアイレス【九三】米國財務長官モーゲンソンは來る十月中に總額四十億弗に上る財務省證券の發行を行ふ旨發表した、かゝる尅大な起債が一度に行はれることは前大戰以來初めてのこと、モーゲンソンは右に關し廿九日聯邦準備制度理事會の各理事と協議を行ふ筈である

政府負債九百億ドル

ブエノスアイレス【九三】ワシントン來電廿八日現在の米國政府負債は總額九億ドルに達し國防計畫開始直前たる一九四〇年末當時に比し二倍以上の膨脹振りである、最近におけるその増加率は月四十億ドルの割である七月一日に始まつた本會計年度に於ても既に今日迄の政府借入金總額百三十億ドルの巨額に達してゐる、なほ同期間中の政府支出は總額百五十億ドルでこの中約百四十億ドルは

直接の戰費である

在米封鎖歐洲資産四十七億ドル

ブエノスアイレス【九三】米國財務省の見積りによれば、現在米國內に凍結されてゐる歐洲諸國のドル資産は總額四十七億四千萬ドルである、この内中立國の分は二十三億ドルで更にその内の十四億八千萬ドルはスイスのものである

南米債總額八億五千萬弗

ブエノスアイレス【九三】米國商務省發表によれば米國所有の南米債總額は八億五千二百萬弗に達してゐると言はれるが、その主たる内譯は、ブラジル 二二八(百萬弗)、アルゼンチン 一八二、チリ 一七九、コロンビア 一二八である、商務省は右發表において南米債の六割三分までは既に償還期限が到達してをり而もその平均利率は二分三厘程度にすぎないと述べてゐる

生産不振

ストツクホルム【九三】ロンドン電のエコノミスト誌は八月廿九日號において「米國生産事情の一面」と題し米國の戰時生産状況を大要左の如く紹介してゐる

戰時生産局長官ネルソンの米國戰時生産進捗情況に關する報告は一面彼の戰時生産計畫方針に對し最近頗るやかましくなつてきた非難に答へんとしたものである、ネルソンは米國の軍需生産全體が七月は前月に比し一割六分の上昇を示したことを指摘、さらにその内譯として航空機生産一割一分、兵器生産二割六分、建艦二

割二分、造船六分のそれぞれ増加數字を擧げてゐる、然し六月中の戰時生産は決して良好なものではなかつた、而してこれは原料資材の配給が不足したため、また配給方法の失敗を示す例證も夥しい件數に上つてゐる

戰時生産局報告

ブエノスアイレス【九三】ワシントン來電に依れば米國戰時生産局長官ドナルド・ネルソンは卅日同局の第三次報告を行ひ八月中の戰時生産状況を概観し大要左の通り述べてゐる一九四二年度の戰時生産は今春豫定された四百五十億弗を超過しよう、米國の生産は今日既に歐洲樞軸諸國のそれを凌駕して居り、すべし計畫は着々實施されてゐる、しかし八月における戰争資材生産は同月初に豫定された數字よりも約十四パーセント少く米國としては決して誇り得るやうなものではない、八月中のリパティ型船舶五十六隻を建造するに要した平均日數は一隻につき八十三日で七月の平均日數約百八日に比すれば龍骨据付けから完成までの日數は二割三分の減少である、だが同月中の生産を概観するとそれは「良」と不良の混合」である、従つて當面第一の目標は「より良く平衡された計畫」にあり、即ち或る部分は早く或る部分は遅い跛行状態を是正して得られる限りの資材を出来るだけ活用するにある、米國は今や今年度の最も重要な四半期に入らんとしてゐる、各自は戰時生産増大のためその最善を盡された

ブラジルのニツケル増産に乗出す

米・伯關係會社間に協定成立

ブエノスアイレス【九三】フィナアシンヤル・ニユース紙の報道によればブラジル大統領は今回ブラジルにおけるニツケル増産に關して最近ブラジルの鐵山會社エムブレセ・コメラシヤール・デ・ゴヤスと米國スメリチング・アンド・リファイニング會社との間に締結をみた協定に認可を與へた、右協定はブラジルのゴヤス州において米・伯共同ニツケル採掘を計ることを規定したものである、なほ右米國會社はエンプレセ會社の事業擴張のため同社發行の五分利債購入の形式で五百萬弗の投資を行ふべく準備中と言はれるが現在迄のところ原礦の採掘はこれに必要な燃料と電力の不足により殆んど何等の實績を擧げてゐない

木製タイヤの生産

ゴム不足對策

リスボン【九三】米紙ホルテイモア・ニユース・ポストの報ずるところによれば米國インディアナポリスの某工場は目下木製の自動車用タイヤを多量生産中であると云はれるが、これら木製タイヤ装置の自動車も最高速度一時間四十哩を出すことが出来る由である

米墨ゴム協定

燃 料 ニューヨーク市のタクシー一部運轉停止

ブエノスアイレス【九三】米國戰時運輸局は今回ニューヨーク市におけるタクシー總數一萬一千七百臺の三千九百臺の運轉を停止せしめる旨の命令を發したが、右措置により約一千萬ガロンのガソリンの節約が期待されてゐる、なほ最近の統計によれば余米の自動車運輸は戰前に比し三割方減少してをり、特に東部諸州ではゴム、ガソリンの消費制限のため既に七割の減少をみたといはれる

全米にガソリン切符制

商船建造に躍起

【ワシントン九日電】

米政府は開戦以來各洋上における夥しい商船喪失による深刻な船腹不足を補充すべく大統領自ら海軍委員委員長ランドを奮勵して日夜船舶建造に躍起の努力を續けてゐるがワシントン來電によればルーズヴェルトは廿五日、ランドの提出した過去一年間の造船報告を査閲しその返書において
余が一九四二年及び一九四三年度において二千四百萬トン建造の指令を發したことは造船界並に海軍委員會に對する一種の挑戦であつたが、右挑戦は立派に且つ有効に受け入れられたつゝある
と述べ最近の造船能力増大を自讃した、ランド報告によれば最近の造船率は一日三隻の割合でこれは鋼鐵製商船建造の新記録であると誇稱し次の通り述べた
若し今後三箇月間のリパティ型(一萬五百噸)貨物船の建造が豫定通り行くなれば今年度内八百萬噸建造の大統領の目標は達せられるであらう現在の造船能力は今年初頭に比すれば倍加し明年度の目標達成も亦可能であると云つて差支へない
と述べてゐる、米當局の發表に依れば昨年九月廿七日最初のリパティ型貨物船が進水して以來、今日迄過去約二ヶ年間の建造数は四百七十六隻約五百萬噸と言はれるが、しかしこれでも尙各洋上において樞軸海空軍に撃沈された船舶數には未だ遙かに及ばぬことは海軍省の發表により明かである同發表によれば今年一月から七月迄七ヶ月間に合計二百九十九隻三百三十三萬八千三百十五噸が建造されたに對し米參戰以來七月二十五日迄の略同期間に米の喪失せる船舶はA.P.の推定によれば三百九十八隻に達して居り尙約百隻の喪失超過となり、噸數もこれに應じて多くなつてゐる尙今年上半期中の建造内譯は左の通り
上半期の建造、一年十六隻十九萬七千六百廿八噸、二月廿六隻廿八萬九千五百四十九噸、三月廿六隻二十六萬、千四百七十三噸四月三十六隻、四十萬千六百廿二噸、五月五十七隻、六十一萬九千七百七十九噸、六月十七隻七十四萬八千五百四十四噸七月七十一隻七十九萬三千噸計二百九十九隻三百三十九萬八千五百五十五噸七月建造分の内譯はリパティ型五十二隻、英國向貨物船八隻、大型油槽船六隻その他五隻、地域的では東岸三十隻西岸廿七隻、カリブ海域十隻である。

貨物船建造日數短縮

【ワシントン九日電】

米國政府は樞軸海軍航空部隊による貨物船撃沈に對處、これを補填するため夜を日に次で建造を急ぎ、就中リパティ型一萬五百噸貨物船に關しては龍骨据付より進水まで一ヶ月内外の記録を以て造船工事を獎勵してゐるが廿三日ワシントン來電に依れば米國有造船業者ヘンリー・カイザーの造船所(ワシントン州シヤトル)に於て建造に着手した同型貨物船は龍骨据付後僅か十日間の廿三日進水し從來の記録である廿四日を十四日間も短縮したと言はれる、機装過程も既に八割七分完成してゐるので、カイザーは五日後の廿七日には政府に引渡すと豪語してゐる、なほ戰爭前に於ける米國の此の種貨物船建造日數は大體三、四ヶ月を要してゐた

武器貸與計畫と對外貿易

【ワシントン九日電】

商務省の發表によれば本年一月以降七月までの七ヶ月間の米國對外貿易は輸出累計四十億二千五百六十七萬ドルに對し輸入累計は十六億五千七百四十四ドルで、結局二十三億七千三百九十九ドルと言ふ尙大なる出超を示してゐる、これを前年同期に比較すれば輸出が六十五パーセント激増したの對し輸入は五百二十二パーセントを減少し出超額は前年同期の七億九千五萬ドルの約三倍になつた、米國は輸入を極力引締め乍ら、如何に英蘇その他聯合國への武器供給に努めてゐるかが窺はれる、米の對外輸出は殆んど大部分が武器貸與計畫に基くもので最近米政府から議會に提出された報告によると右による本年六乃至八月の三ヶ月間の對英物資供給は約五億佛本年三、五月の四億ドルに比し更に一億ドルの増加又同法により中東及近東諸國に送られた物資は本年六月八月間に三億五千萬ドルに上つてゐる、武器貸與計畫により急激に膨脹する米國の對聯合國クレヂットが如何にして整理されるかが重要な問題の一つだが、右報告によると昨年三月以降本年七月末に同法の適用される諸國に同法に基き米國が供給した物資は合計三十五億二千五百萬ドルに上つてゐる、これに對し米國から供給をうけた物資は同期間に五十八億ドルに達してゐる

「働く女」急増

【ワシントン九日電】

労働力の不足に悩む米國では有閑婦人の労働戦線狩り出しに躍起となつてゐるが近着の米週刊雜誌「ユナイテッド・ステーツ・ニューズ」九月廿一日號の報ずるところによれば毎週五萬の女が家庭を離れて軍需工場その他の仕事場に向つてゐると傳へられる、この割合で行くと來年末には四人に一人、場合によれば三人に一人の割合で十八歳から四十五歳までの女が職場で働く勘定にならう、即ち工場に働く男二人に對し女一人の割合になる、昨年軍需工場で働いた女は約二百十萬だつたが今年末まで來年末は更に百五十萬の増員を必要とするだらう、なほ各職場で働いてゐる婦人の總數は一千四百三十萬だが來年末には一千八百萬以上に増加する見込である代表的な工業部門に於ける男子労働者に對する婦人の進出歩合を示せば左の通り
輕兵器製造三七%、造船二%、爆藥製造一五%、藥品化學工業一一%、織維工業四五乃至五〇%電車、バス從業員四%運輸電信電話五五%

中西米諸國

【ワシントン九日電】

労働争議 七月 八日
参加人員 〇、七三人 六、四四人
労働日 三三、六四日 二六、三三三日
數損失 三三、六四日 二六、三三三日
内務長官、炭坑労働強化を主張
【ワシントン九日電】

登録制實施

【ワシントン九日電】

市來電によればメキシコ政府は來る十月一日以降十五歳から四十五歳までの男子全部に對し登録制を實施するに決定した旨廿二日布告を發した、但しこの内陸軍現役に召集されるものは十八歳以上である

最高國防會議設置

【ワシントン九日電】

D.N.P.通信によればメキシコ政府は今最高國防會議を設置するに決し右の旨廿四日發表された右會議は大統領カマチョを首班とし國防經濟労働、農業、工業の各省の代表者をもつて構成される

暴動勃發

【ワシントン九日電】

D.N.P.通信によればメキシコ情報として報ずるところに依れば去る十五日メキシコ

のヴェラ・クルス州に政争に端を發したる暴動が勃發しメキシコ政府はこれを鎮壓のため軍隊を急派したといはれる、二十日メキシコ市に歸還した目撃者の談によれば騷擾は豫想以上に大規模なもので既に第一回國の衝突に於て全國農民聯盟の有力者十一名並に上院議員ジマス・ムニス、下院議員サルヴァドル・ゴンサレスの兩名が殺害されたといはれる

經濟動員調整官を任命

ブエノスアイレス【九・二】リオデジヤネイロ來電によればブラジル大統領ヴァルガスは過般實施した總動員法に基きブラジル經濟の總動員趨勢を強化すべく新に經濟調整官を設置して廿九日初代調整官に有力實業家とルイス・デ・パロスを任命した、經濟調整官は生産、農業、外國爲替輸入及び重要物資割當等の統制に關する廣汎な権限を賦與されてゐる

ノックス視察

マナバ

通信バルボア【九・二】ロイター電に依れば米海軍長官ノックスは二十五日空路バルボアに到着した、パナマ滞在期間は未だ發表されないがパナマ大統領アルヌルフ・オリアス博士及び外相R・アレインジを訪問し次いでパナマ地峽西岸の軍事施設を視察の豫定である

海上交通杜絶

アピンロコ

ブエノスアイレス【九・二】コロンビア新聞エル・テイエムボの報道によればカリブ海方面の樞軸國潜水艦の猛威により同國マダグレナ地方の主要港サンタ・マルタはこれ三ヶ月間一隻の船舶の入港もなかつたと云はれかかる海上交通の杜絶は同地方の經濟の甚だしい打撃を與へパナナの輸出の如きは完全に不可能となつたと

伊國領事ほか逮捕

ルジラブ

リスボン【九・二】リオデジヤネイロ來電に依ればブラジル當局はリオデジヤネイロ駐在のイタリヤ領事他數名の伊國人を諜報の嫌疑者として逮捕した旨廿一日發表

經濟、商業に對しては他の如何なる軍事的措置よりも遙かに甚大な影響を及ぼすものと見られる、米國政府は既にブラジルに對して技術顧問モリス・クツタを團長とする技術使節團を派遣したが、同使節團はブラジルの軍需工業就中金屬、化學纖維工業の開發に當る管である、更に現在米國に於て使用されてゐない多數の工業設備がブラジルに發送されることとなつた、一方ブラジル側に於て委員が任命され、これはクツタ使節團と協力してブラジルの平和産業を軍需産業に轉換し、又國防方面で緊急必要とされてゐる地方的物資生産の促進に當る管である、ブラジルの當面する問題は燃料供給であり石炭其他動員資源の開發も大いに促進される管と稱される、一方製鐵鋼工業も既に最高能率を擧げつとあると言はれ、又ボーキサイドは目下大量に米國に向け輸送されてゐる、その他クローム、マンガンの新鐵山も採掘を開始しつつあり、又纖維工業は米國の専門家の應援を得て新纖維の研究に當る管であるブラジルの當面する更に他の問題は概して舊式且能率のあがらない同國の交通機關整備の問題であるが目下の所米國から新資材を輸送することが不可能な状態に鑑み、米國側は部分品等の修理に當ることとなつてゐる、更に米國より派遣の技術團はブラジル國內七萬五千の工場に單純化した製造工程を紹介又他の技術家連は軍需産業の爲に特殊木材の使用法を研究する管といはれる

モラトリアム布告

米の兵器廠と化するブラジル

ブエノスアイレス【九・二】リオデジヤネイロ來電によればブラジル大統領ヴァルガスは廿日、同日より向ふ一週間一切の金融、商業上の契約につきモラトリアムを布告した、この期間諸銀行も休業する、理由は政府が財政經濟總動員を實施し戰時生産機構確立のために必要な一切の手段を講ずるためと云はれる

經濟、商業に對しては他の如何なる軍事的措置よりも遙かに甚大な影響を及ぼすものと見られる、米國政府は既にブラジルに對して技術顧問モリス・クツタを團長とする技術使節團を派遣したが、同使節團はブラジルの軍需工業就中金屬、化學纖維工業の開發に當る管である、更に現在米國に於て使用されてゐない多數の工業設備がブラジルに發送されることとなつた、一方ブラジル側に於て委員が任命され、これはクツタ使節團と協力してブラジルの平和産業を軍需産業に轉換し、又國防方面で緊急必要とされてゐる地方的物資生産の促進に當る管である、ブラジルの當面する問題は燃料供給であり石炭其他動員資源の開發も大いに促進される管と稱される、一方製鐵鋼工業も既に最高能率を擧げつとあると言はれ、又ボーキサイドは目下大量に米國に向け輸送されてゐる、その他クローム、マンガンの新鐵山も採掘を開始しつつあり、又纖維工業は米國の専門家の應援を得て新纖維の研究に當る管であるブラジルの當面する更に他の問題は概して舊式且能率のあがらない同國の交通機關整備の問題であるが目下の所米國から新資材を輸送することが不可能な状態に鑑み、米國側は部分品等の修理に當ることとなつてゐる、更に米國より派遣の技術團はブラジル國內七萬五千の工場に單純化した製造工程を紹介又他の技術家連は軍需産業の爲に特殊木材の使用法を研究する管といはれる

ンチンゼン

下院對樞軸斷交勸告案可決

リスボン【九・二】ロイター通信並びにBBC放送によればブエノスアイレス電によればアルゼンチン下院は廿九日夜數時間間に亘る激烈な討論の後、對樞軸斷交關係斷絶勸告案を六十七對六十四の僅差をもつて可決した、同案は廿日上院に回附される管である

トルコ對亞穀物買付けを交渉

ブエノスアイレス【九・三】アルゼンチン農相はこの程トルコ政府がアルゼンチン小麥五十萬噸購入交渉を申出た旨發表した、右發表によればトルコ政府は金によつて代金支拂を提議してゐるが、難點は船腹の不足にあり、トルコ側はアルゼンチンの積出港からベルシヤ灣のバスラ或はリスボンまでの輸送をアルゼンチン船を以て行ひそれ以後の輸送はトルコ側が手配するよう交渉してゐる

經濟近況

對樞軸斷交案握り潰し

ブエノスアイレス【九・二】米國の抱込工作中に屈せず中立を續けてゐるアルゼンチンも戰爭以來經濟界に種々の變貌を惹起してゐるが今の所同國が急速に工業化しつつあるとはいへない、現存工業製品の原料が大部分國內農産物である點が特徴で精糖、葡萄酒釀造、織物及び精革業の盛況はこの間の消息を物語つてゐる、然し乍ら過去に於けると同様將來も肉類及穀物類の過剩生産物を輸出し其代り海外より工業品の輸入を計らねばならぬアルゼンチンが國內に農工兩界の相克關係を導くことに不安を抱いてゐることは當然で既に工業界の活況は國內農業界と次第にその摩擦を大きくしてゐる模様で工業界の如きは早くも戦後の利益擁護の法令を制定すべしと政府に要請してゐる

有様である、對外貿易においては現在各種完成品の輸出は相當額に上り一九四二年の輸出額は一億五千ペソに達する見込で特に藥品、織物、ラジオ、酒類などの輸出増加が見立つてゐる、いづれにせよアルゼンチンは今の所右によつて戦争以來米國よりの物資供給不足により混亂状態に陥つてゐる南米貿易の部分的再調整を行つてゐるわけだ

過剩穀物在荷高

プエノシアイレズ【九・元】アルゼンチン農務省發表九月廿六日現在における同國の輸出過剩穀物在荷左の通り(單位千トン)

Table with 2 columns: Item (小麥, 玉蜀黍, 豆), Previous Period (前年同期), Current Period (九月廿六日現在). Values range from 5,011 to 766.

對外貿易

プエノシアイレズ【九・元】本年一月八月のアルゼンチン對外貿易は輸出合計二十一億ペソと昨年同期に比し四億ペソを増加、内輸出高十二億〇四百萬ペソ、輸入八億九千六百萬ペソで、主要國別に見ると左の通り(單位百萬ペソ)

Table with 2 columns: Country (合 計, 内アメリカ, イギリス, ブラジル), Export (輸出), Import (輸入). Values range from 120.4 to 70.

タイヤ販賣禁止

プエノシアイレズ【九・元】アルゼンチン政府はゴム節約の爲自家用自動車のみタイヤ販賣を禁止した但し古タイヤの再製品だけは一般に賣出すこ

燃料自給に邁進

プエノシアイレズ【九・元】アルゼンチン政府は大戦勃發以來燃料の海外依存脱却を目指して石油増産に努力して來たが、昨年の同國石油生産高は顯著なる増加を示した、例へばアルゼンチン國有石油會社の昨年の採油高は二百二十六萬六千立方メートルと前年より二十四萬三千立方メートル多く、また一九三六年に比し二倍の上昇振りである一方同國の精油高も著しい増加飛躍を示し、國內のガソリン消費の八割五分を賄ふことが出來たといはれる

ガソリン切符制實施

プエノシアイレズ【九・元】アルゼンチンのガソリン切符制は愈々實施され自動車及び自動自轉車の所有者に對しては本年末まで有效的の割當切符が交付された

經濟界近況

プエノシアイレズ【九・元】サンチャゴ來電、チリ中央銀行は本年上半期のチリ經濟状態につき次の如き報告を寄せてゐる

チリの各種農産物の上半期における生産高は二、三の例外を除き減退を示した、鐵産高指數は昨年同期に比し五ポイント低落に當るが、重要鐵産物たる硝石、銅鐵及び鐵鑛石の生産高は未發表で、從つて今の所鐵業不振の原因に就ては事情を詳にしない、一方同期間の小麥收穫高は千五百二十萬ハンドレットドウェイトと過去九年來の不作振り、この結果國內食糧確保のため同期間中ア

ルゼンチンより輸入した小麥は百九十萬ハンドレットドウェイトに達してゐる、大麥も同様百三十八萬四千ハンドレットドウェイトと一九三一年以來の最小記録を示し、燕麥は過去の最小記録たる一九二五年上半期實收高より百三十二萬八千ハンドレットドウェイト方少くなつてゐる、しかし米及び麻の收穫高は例外的に上昇を示した、次に對外貿易においては輸入の均衡よく維持されたがその内容には變化甚だしく、就中鐵産物の輸出面における地位が増大したことが目立つてゐる、一方米國よりの物資輸入は船腹不足の深刻化を反映して減退甚だしく、對米貿易はチリよりの出超に終つてゐる

大統領重任

リスボン【九・三〇】ロイター通信アスンシオン來電によればバラグワイ大統領モリニゴは本年をもつて任期満了となるが時局に鑑みその任期を一期間延長して一九四三年から一九四八年まで重任することを承認した

編輯後記

○今回の中央協力會議に、正直なものに馬鹿を見せぬ方法を講ずることと云ふ提案があつた。國民ひとしく切實な共感を覺えたことと思ふ。正直なものも如何に馬鹿な目にあつてゐるか、今更ら例證を探すまでもない。馬鹿正直と云ふ言葉は昔からあり、辭林に「正直に過ぎて才智の足らざること」とあるが今では過ぎるものもなく正直即馬鹿となりかねない有様である。教科書でどんなに正直が輝いても世界へ出ると闇に塗り潰されるのでは國民教育上も實に憂ふべきことだ。先頃賜暇で二年振りには驚いた友人に印象を聞いたところ、子供の遊びに闇ごつこがあつたのが鋭くなったやうだと答へた。○これも協力會議の提案、久米正雄氏の戸外の禮法制定の意見は誠に結構である。國民服の時など殊に適當な敬禮の仕方がほしい。何か日本人らしい方式はないものか。○儀禮は形式と不可分なため、とかく形に囚はれ易い。つひ一儀禮的なことはよきやうとなり、趣旨はそれでよい場合も、過ぎれば儀禮そのもので否定するこゝたになつて了ふ。○儀禮も所詮は精神である。近頃各集會で國民儀禮が盛んに行はれる様になつたのは喜ばしいが、時とすると余りに粗略に濟まされることもあるのは残念だ。頭の下げ方一つにもその人の全人格が現れる。十年前の言動を顧みて冷汗の出ることが多いにつけ、一人前のお時儀が出來る様になりたいたいものだと思ふ。

同盟旬報 (第六卷) (毎月三回十日發行) (定價) 四十錢 (送料二錢) 半年分前金七十圓 (送料共) 一年分同十三圓 (送料共) 海外 半年分前金九圓 (送料共) 一年分同 大圓十錢 (同) 編輯發行 杉田才一 印刷所 スタート印刷株式會社 (東京一〇八) 發行所 社 同盟通信社 (東京市神田區區比谷公園) 電話 (銀座一〇七) 七二二 (同) 七二〇 (同) (員番號二二〇〇〇八) 配給元 日本出版配給株式會社 東京市神田區淡路町二ノ九 營業所 東京市京橋區銀座西七ノ三 社 同盟通信社出版部 電話 (銀座一〇七) 七二二 (同) 七二〇 (同) 振替 東京 三五八〇〇

報週濟經際國

號日六廿月九

號日三月十

☆☆

「同盟」の世界通信網に基く潑刺たる國際情報！
「同盟旬報」姉妹週刊誌（大正九年一月創刊）

△時評！自己反省と必勝態勢の再建
△論叢！翼賛壯年團の立場！民族資本の動員！時局と廣告

アメリカ勞働政策の再検討
滿洲國輕工業の振興

スターリンググラード攻防戰
米英の内幕を解く（廿七）

戰爭とカナダ
アラスカの産業

ソ聯國民の戰時生活（十二）
小賣業者の資産評價基準

戰時食糧經濟學（清算の巻）
金融界けふこの頃（財界トビック）

△時評！經營責任者の陣頭指揮
△論叢！敵を侮るな！清郷工作と治強運動！認識不足と報道不足

統制會の現狀とその進路
比島の金融工作（現地報告）

ジャワ建設の新段階
米國軍擴の實相

米國のインフレーション
米英の内幕を解く（廿六）

ポルトガル中立の理念
大東亞省設立と内外地一元化

戰時食糧經濟學（米の巻）
金融界けふこの頃（財界トビック）

毎週土曜日發行 B5判約八〇頁

一部三〇錢（送一錢）一年一四圓五〇錢（送共）

昭和十七年版

同盟通信社編纂

A5判上製 八〇〇頁
價三・〇〇送・四五

同時事年鑑

☆轉換世界史の活記録!! ☆決戰日本の國勢標識!!

對英米決戰の火蓋は切られた。今こそ一億熱火となつて總進軍の秋、皇國の隆替は實に我綜合國力の發揮如何にかゝる。この時に當り世界維新の陣頭に巨歩を進むる祖國日本の總力を科學的に把握するの要益々大である。本書はこの要求に答ふべく「同盟」の世界大通信網と完備せる調査機構を總動員して成る一大綜合年鑑である。新らしき歴史を創造する基礎資料たると共に家庭必備の日常辭典としても敢へて學校、圖書館、會社、事務所は勿論全國民の必備を薦む。

☆大東亞戰の必然を物語る國民承諾!

同時事年表

縦九寸横五寸三八四折本
定價 三十錢

同盟時事年鑑（昭和十七年版）購讀者（但し所定の引換カード送付の方）及び同盟旬報を今回年極で豫約される方（發着用紙通信欄に年表入用と記入のこと）に贈呈します

同盟通信社

東京・日比谷・市會館
東京・東區・日比谷
東京・東區・日比谷
東京・東區・日比谷

同盟戰時特輯

各 B 6 判 定價 20 円 4

- 1 日本的世界觀 大串兎代夫著
- 2 新東亞とツピンの現實 中屋 健次著
- 3 食糧對策と食糧營團 木村 昇著
- 4 落下傘部隊 佐藤喜一郎著
- 5 英國の植民地統治方式 伊東 敬著
- 6 新東亞とタイの現實 大澤 滋著
- 7 金融新體制と銀行 永山 公明著
- 8 新東亞と蘭印の現實 俣野 博夫著
- 9 中小商工業の再編成 今村 武雄著
- 10 獨逸占領地統治方式 海野 稔著

以下續刊

既刊・新刊

東南亞細亞における外國投資

C・F・リーマー序 H・G・キャリス著
日本國際協會・太平洋問題調查部譯

東南亞細亞に百年の永きに亘り
暴威をふるつた英・米・蘭の資
本が如何に確固たる地盤を有し
たかに就いて、その實相を研究
することは、大東亞における戦前の國際關係を解釋する
うへにも、亦共榮圈建設といふのが國當面の政策遂行の
うへから言つても 緊要不可缺であらう。然るに東南亞
細亞全般に亘る外國投資の綜合的調査は、遺憾ながらわ
が國においてもまた外國においても存しない。この事實
に鑑み、太平洋問題調查會が對支投資の専門家たる
リーマー教授の監修のもとに企畫した本書は、洵に
得難き調査と言はねばならぬ。著者キャリス博士は
リーマー教授と等しくミンガン大學に在職し、同教
授の指導のもとに本調査に直接從事した。……著者
は列國の投資額に關して分析を行ふ半面、投資が原
住民に與へた影響を所謂「二重經濟」の問題として
論及し、東亞諸民族に對する歐米列強の植民政策の
實態を示してゐる。(譯者序より)

A 5 判上製函入
價二・五〇・七一七

- ◆ 序文……(C・F・リーマー)
- 一 比律賓における外國投資
- 二 蘭領印度における外國投資
- 三 英領マレーにおける外國投資
- 四 タイ(シヤム)における外國投資
- 五 佛領印度支那における外國投資
- 六 ビルマにおける外國投資
- 七 結論

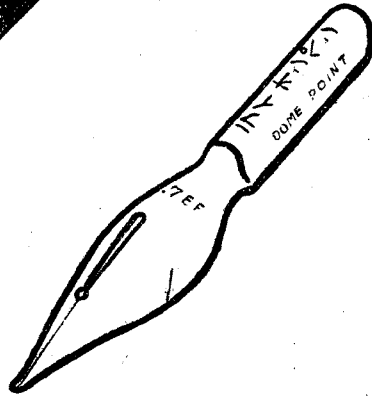
(240頁)
(統計表 24)

社團 同盟通信社

東京市銀座西7の3 振替東京35800

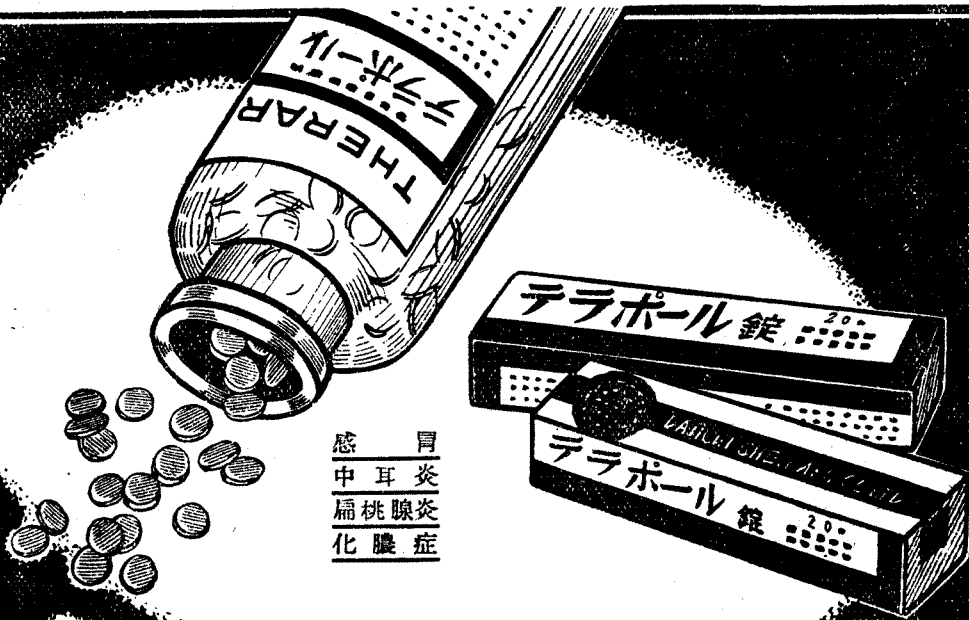


北に、南に、
文化建設の
武器
たらん



ライオンペン

ライオン文具・株式会社 福井 商店 大阪・東京・大連



感 胃
中 耳 炎
扁 桃 腺 炎
化 膿 症

東京 第一製薬株式会社 大阪

胃腸

胃腸無力症
食慾不振
便秘、下痢等



…に對して高單位ビタミンB₁劑の投與は根本的に胃腸の組織を賦活し筋肉の緊張を調整し、その過勞を恢復し、消化液の分泌を元めて食慾を旺盛ならしむ。

栄養

虚弱小兒
妊・産・授乳時等の…

場合に高單位のビタミンB₁を補給し胃腸機能を元めて栄養素の吸收を促進し以て、疾病の治療を容易ならしめ、發育を促進せしむ。



疲労

疲労とビタミンB₁との關係が釋明された



今日一錠中B₁含有量〇・五グラムの本劑の投與は、組織中の酸性有害代謝産物を除去し、疲労を去り身体の活動を強化し、所期の目的を達す。

脚氣

一般脚氣
心臟脚氣
乳兒脚氣

等に高單位ビタミンB₁の投與は、四肢に於ける異常感覺、浮腫、体重減少等の諸症狀を消退し、原發性、繼發性に拘らず所期の目的を達し得



結核

結核とビタミンB₁との關係は最近頃に注目せられ…

本劑投與は、結核菌毒素によつて惹起せる發熱、盜汗、速脈、倦怠感等を去り、栄養を昂め、全身的狀態を改善せしめ、生

体の治癒力を増強す。

B₁ 強力メタボリン錠

武田發賣品

V・B₁含有量一錠中〇・五グラム
包裝
一〇〇錠
三〇〇錠
一〇〇〇錠

2(2)308

昭和十二年七月三十日第三種郵便物認可

發行所 東京市麴町區日比谷公園

社 同人 盟 通信 社
電話代番 東京 〇七二二二番
神戶 〇四二二番
大阪 〇三二二番
東京 三五八〇〇番